

高信頼化システム監視機能 HA モニタ メッセージ

3000-9-203-90

前書き

■著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2005, 2025, Hitachi, Ltd.

■輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

■商標類

記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■発行

2025年11月 3000-9-203-90

変更内容

変更内容 (3000-9-203-90) Linux (x86) 版 HA モニタ 01-80

追加・変更内容	変更個所
次のメッセージを追加した。 KAMN016-I, KAMN124-I, KAMN125-I, KAMN127-W, KAMN128-W, KAMN129-E, KAMN551-I, KAMN553-W, KAMN554-W, KAMN555-W, KAMN556-I, KAMN557-I, KAMN558-E, KAMN559-I	1.2 , 2.1 , 2.2 , 2.6
次のメッセージを変更した。 KAMN174-W, KAMN282-E, KAMN456-E, KAMN607-E, KAMN609-W, KAMN635-E, KAMN640-E, KAMN766-E, KAMN977-W(Linux(x86))	2.2 , 2.3 , 2.5 , 2.7 , 2.8 , 2.9

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

はじめに

このマニュアルは、 HA モニタが出力するメッセージについて説明したものです。このマニュアルを読むことで、ユーザが、 HA モニタが出力するメッセージの意味を理解し、必要に応じて適切な対処ができる目的としています。

■ 対象製品

●P-1M2C-1111 HA モニタ 01-35

適用 OS : AIX 5L V5.1, AIX 5L V5.2, AIX 5L V5.3, AIX V6.1, AIX V7.1, AIX V7.2, AIX 7.3

●P-1B2C-E111 HA モニタ 01-20

適用 OS : HP-UX 11.0, HP-UX 11i, HP-UX 11i V2(PA-RISC)

●P-1J2C-E111 HA モニタ 01-33

適用 OS : HP-UX 11i V2(IPF), HP-UX 11i V3(IPF)

●P-9S2C-E111 HA モニタ 01-42

適用 OS : Red Hat Enterprise Linux AS 3(x86), Red Hat Enterprise Linux AS 4(x86), Red Hat Enterprise Linux ES 3(x86), Red Hat Enterprise Linux ES 4(x86), Red Hat Enterprise Linux AS 3(AMD64 & Intel EM64T)^{※1}, Red Hat Enterprise Linux AS 4(AMD64 & Intel EM64T)^{※1}, Red Hat Enterprise Linux ES 4(AMD64 & Intel EM64T)^{※1}, Red Hat Enterprise Linux 5(x86), Red Hat Enterprise Linux 5(AMD/Intel 64)^{※1}, Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform(x86), Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform(AMD/Intel 64)^{※1}

●P-872C-E111 HA モニタ 01-80

適用 OS : Red Hat Enterprise Linux Server 7(x86_64), Red Hat Enterprise Linux Server 8(x86_64), Red Hat Enterprise Linux Server 9(64-bit x86_64), Oracle Linux 7(x86_64)^{※2}, Oracle Linux 8(x86_64)^{※2}, Oracle Linux 9(x86_64)^{※2}

●P-9S2C-E211 HA モニタ Extension 01-00

適用 OS : Red Hat Enterprise Linux AS 3(x86), Red Hat Enterprise Linux AS 4(x86), Red Hat Enterprise Linux ES 3(x86), Red Hat Enterprise Linux ES 4(x86), Red Hat Enterprise Linux AS 3(AMD64 & Intel EM64T), Red Hat Enterprise Linux AS 4(AMD64 & Intel EM64T), Red Hat Enterprise Linux ES 4(AMD64 & Intel EM64T), Red Hat Enterprise Linux 5(x86), Red Hat Enterprise Linux 5(AMD/Intel 64), Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform(x86), Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform(AMD/Intel 64)

●P-9V2C-E111 HA モニタ 01-31

適用 OS : Red Hat Enterprise Linux AS 3(IPF), Red Hat Enterprise Linux AS 4(IPF), Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform(Intel Itanium)

これらのプログラムプロダクトのほかにもこのマニュアルをご利用になれる場合があります。詳細は「リースノート」でご確認ください。

注※1

Intel EM64T でだけ動作します。

注※2

OCI 環境の場合だけサポートします。

■ 対象読者

システム管理者、オペレータ、およびプログラマの方を対象としています。システム管理者は、システムの導入、設計、構築をすることを想定しています。オペレータは、構築されたシステムで日々の運用をする想定しています。プログラマは、ユーザプログラムの作成をすることを想定しています。

また、次の知識をお持ちの方を前提としています。

- ・該当するハードウェアの知識
- ・該当する OS の知識
- ・系切り替え構成にするプログラムの知識
- ・ユーザプログラムのコーディングに使用する C 言語の文法の知識

系切り替え構成にするプログラムとして、OpenTP1 または HiRDB を使用する場合は、あらかじめ OpenTP1 または HiRDB のマニュアルをお読みいただくことをお勧めします。

■ 前提機種の違いによる相違点の表記

HA モニタは適用 OS や前提機種が複数あります。適用 OS や前提機種によって、ハードウェアの構成や名称が異なります。このマニュアルでは、適用 OS や前提機種ごとに説明が分かれています。また、説明が同じ場合は、ハードウェア名称に総称を使用しています。使用している機種のハードウェア名称に読み替えてください。

適用 OS	前提機種	ハードウェア名称	
AIX	エンタープライズサーバ EP8000 シリーズ	SP	
HP-UX (PA-RISC)	HITACHI 9000V シリーズサーバ	GSP または MP (まとめて GSP と呼びます)	障害管理プロセサ (総称)
HP-UX (IPF)	統合サービスプラットフォーム BladeSymphony	SVP	
	日立アドバンストサーバ HA8500 シリーズ	MP, BMC または OA (まとめて MP と呼びます)	

適用 OS	前提機種	ハードウェア名称	
Linux (x86)	統合サービスプラットフォーム BladeSymphony	SVP	
	日立アドバンストサーバ HA8000 シリーズ	xK モデル以前 xL～xM モデル xN モデル以降 (HA8000V を含む)	SVP BMC 管理サーバまたは BMC
	日立高信頼サーバ RV3000	管理サーバ	
	統合サービスプラットフォーム BladeSymphony	SVP	
Linux (IPF)	日立アドバンストサーバ HA8500 シリーズ	MP または BMC (まとめて MP と呼びます)	

目次

前書き 2

変更内容 3

はじめに 4

1 メッセージの概要 9

1.1 メッセージの形式 10

1.1.1 メッセージの出力形式 10

1.1.2 メッセージの記述形式 10

1.2 メッセージ ID と適用 OS の対応 13

1.3 メッセージの言語種別の設定 18

2 KAMN で始まるメッセージ 19

2.1 KAMN000～KAMN099 20

2.2 KAMN100～KAMN199 35

2.3 KAMN200～KAMN299 78

2.4 KAMN300～KAMN399 147

2.5 KAMN400～KAMN499 205

2.6 KAMN500～KAMN599 247

2.7 KAMN600～KAMN699 276

2.8 KAMN700～KAMN799 333

2.9 KAMN900～KAMN999 368

付録 395

付録 A 各バージョンの変更内容 396

付録 A.1 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-79, AIX 版 HA モニタ 01-35 (3000-9-203-80) 396

付録 A.2 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-78, AIX 版 HA モニタ 01-34 (3000-9-203-70) 396

付録 A.3 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-77, AIX 版 HA モニタ 01-33 (3000-9-203-60) 396

付録 A.4 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-76, Linux (x86) 版 HA モニタ 01-75 (3000-9-203-50) 397

付録 A.5 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-74 (3000-9-203-40) 397

付録 A.6 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-73, AIX 版 HA モニタ 01-32 (3000-9-203-30) 397

付録 A.7 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-72, AIX 版 HA モニタ 01-31 (3000-9-203-20) 398

付録 A.8 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-71, AIX 版 HA モニタ 01-30 (3000-9-203-10) 398

付録 A.9 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-70, AIX 版 HA モニタ 01-29 (3000-9-203) 398

付録 A.10 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-69 (3000-9-134-Y0) 399

付録 A.11 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-68 (3000-9-134-X0) 399

付録 A.12	AIX 版 HA モニタ 01-28 の変更内容 (3000-9-134-W0)	399
付録 A.13	Linux (x86) 版 HA モニタ 01-67 の変更内容 (3000-9-134-V0)	400
付録 A.14	AIX 版 HA モニタ 01-27 の変更内容 (3000-9-134-U0)	400
付録 A.15	Linux (x86) 版 HA モニタ 01-66 の変更内容 (3000-9-134-T0)	400
付録 A.16	Linux (x86) 版 HA モニタ 01-65, 01-64 の変更内容 (3000-9-134-S0)	401
付録 A.17	Linux (x86) 版 HA モニタ 01-63, AIX 版 HA モニタ 01-25 の変更内容 (3000-9-134-R0)	401
付録 A.18	AIX 版 HA モニタ 01-24, 01-23 の変更内容 (3000-9-134-Q0)	402
付録 A.19	Linux (x86) 版 HA モニタ 01-61 の変更内容 (3000-9-134-P0)	402
付録 A.20	Linux (x86) 版 HA モニタ 01-58 の変更内容 (3000-9-134-O0)	403
付録 A.21	Linux (x86) 版 HA モニタ 01-57 の変更内容 (3000-9-134-N0)	403
付録 A.22	Linux (x86) 版 HA モニタ 01-56 の変更内容 (3000-9-134-M0)	403
付録 A.23	Linux (x86) 版 HA モニタ 01-55-01 の変更内容 (3000-9-134-L0)	404
付録 A.24	Linux (x86) 版 HA モニタ 01-55 の変更内容 (3000-9-134-K0)	404
付録 A.25	Linux (x86) 版 HA モニタ 01-54 の変更内容 (3000-9-134-J0)	404
付録 A.26	Linux (x86) 版 HA モニタ 01-53 の変更内容 (3000-9-134-I0)	405
付録 A.27	Linux (x86) 版 HA モニタ 01-52 の変更内容 (3000-9-134-H0)	405
付録 A.28	Linux (x86) 版 HA モニタ 01-51 の変更内容 (3000-9-134-G0)	406
付録 A.29	Linux (x86) 版 HA モニタ 01-50 の変更内容 (3000-9-134-F0)	406
付録 A.30	Linux (x86) 版 HA モニタ 01-42 の変更内容 (3000-9-134-E0)	406
付録 A.31	HP-UX (IPF) 版 HA モニタ 01-33, Linux (x86) 版 HA モニタ 01-42 の変更内容 (3000-9-134-D0)	407
付録 A.32	AIX 版 HA モニタ 01-22, Linux (x86) 版 HA モニタ 01-41 の変更内容 (3000-9-134-C0)	407
付録 A.33	Linux (x86) 版 HA モニタ 01-40, HA モニタ Extension 01-00 の変更内容 (3000-9-134-B0)	408
付録 A.34	HP-UX (IPF) 版 HA モニタ 01-32 の変更内容 (3000-9-134-A0)	408
付録 A.35	Linux (x86) 版 HA モニタ 01-32 の変更内容 (3000-9-134-90)	409
付録 A.36	Linux (IPF) 版 HA モニタ 01-31, Linux (IPF) 版 HA モニタ 01-30 の変更内容 (3000-9-134-80)	409
付録 A.37	Linux (x86) 版 HA モニタ 01-22, AIX 版 HA モニタ 01-21 の変更内容 (3000-9-134-60)	410
付録 A.38	HA モニタ 01-20, HA モニタ 01-13 の変更内容 (3000-9-134-40)	411
付録 A.39	HA モニタ 01-12 の変更内容 (3000-9-134-20)	412
付録 A.40	HA モニタ 01-11 の変更内容 (3000-9-134-10)	413
付録 A.41	HA モニタ 01-10 の変更内容 (3000-9-134)	414
付録 B	このマニュアルの参考情報	415
付録 B.1	関連マニュアル	415
付録 B.2	このマニュアルで使用する製品名・機能名	417
付録 B.3	このマニュアルで使用する英略語	419
付録 B.4	このマニュアルで使用する KB (キロバイト) などの単位表記	420

用語解説 421

1

メッセージの概要

この章では、HA モニタのメッセージについて概要を説明します。

1.1 メッセージの形式

メッセージの形式について説明します。

1.1.1 メッセージの出力形式

出力されるメッセージの形式を次に示します。

KAMNnnn-i xx....xx

- KAMNnnn-i : メッセージ ID
- xx....xx : メッセージテキスト

1.1.2 メッセージの記述形式

(1) 記述形式

このマニュアルでのメッセージの記述形式を次に示します。

KAMNnnn-i(X) (OS 名)

[日本語]

メッセージテキスト

[英語]

Message text

メッセージの意味について説明します。

aa....aa : 可変値について説明します。

S :

システムがメッセージを出力したあとにする、主な処理を示します。

○ :

メッセージ確認後、オペレータがする処理を示します。

対策 :

メッセージ確認時のシステム管理者の処置を示します。

なお、「○：」や「対策：」に記載されている「保守員に連絡してください。」とは、購入時の契約に基づいて、システム管理者が弊社問い合わせ窓口へ連絡することを示します。

(2) メッセージ ID の記号の説明

メッセージ ID の記号の意味を次に示します。

KAMN :

HA モニタのメッセージであることを示します。

nnn :

メッセージの通し番号を示します。

i :

メッセージの種類を示します。

E :

- 各ライブラリ、コマンド、サーバの機能が働かない障害が発生したことを示しています。
- 定義誤り、コマンドのオペランド指定誤りによって、動作できないことを示しています。

W :

- 各ライブラリ、コマンド、サーバからのメモリの使用状況などについての警告を示しています。
- 定義誤り、コマンドのオペランド指定誤りはありましたが、値を仮定して動作を続行することを示しています。

D :

- 各ライブラリ、コマンド、サーバの機能が働かない障害が起きたため、動作を保留していることを示しています。動作を続行する場合は、何らかの対応が必要です。

I :

E、W、およびD に該当しないメッセージで、単純に動作を示しています。

(X) :

メッセージの出力先種別を示します。

(E) : 標準エラー出力

(S) : 標準出力

(L) : メッセージログファイル (syslog)

一つのメッセージが、複数の出力先を持つ場合は、出力先種別を "+" でつないで記載します。また、出力先がメッセージログファイル (syslog) だけの場合は省略し、空白にします。

(OS 名) :

OS ごとにそのメッセージの詳細が異なる場合、OS の種類を示します。

表記と意味を次に示します。

表記	意味
(AIX)	AIX 上で動作する HA モニタについて説明する場合の表記です。

表記	意味
(HP-UX(PA-RISC))	HP-UX(PA-RISC)上で動作する HA モニタについて説明する場合の表記です。
(HP-UX(IPF))	HP-UX(IPF)上で動作する HA モニタについて説明する場合の表記です。
(Linux(x86))	Linux(x86)上で動作する HA モニタについて説明する場合の表記です。
(Linux(IPF))	Linux(IPF)上で動作する HA モニタについて説明する場合の表記です。

出力されるメッセージの ID と、OS の対応については、「[1.2 メッセージ ID と適用 OS の対応](#)」を参照してください。

1.2 メッセージ ID と適用 OS の対応

メッセージ ID と、そのメッセージを出力する適用 OS との対応を、次の表に示します。

表 1-1 メッセージ ID と適用 OS の対応

メッセージ ID の範囲	AIX	HP-UX (PA-RISC)	HP-UX (IPF)	Linux (x86)	Linux (IPF)
KAMN001-I～KAMN012-E	○	○	○	○	○
KAMN013-E	—	—	—	○	—
KAMN014-E	○	—	—	—	—
KAMN015-E, KAMN016-I	—	—	—	○	—
KAMN021-E	○	○	○	○	○
KAMN030-E～KAMN037-I	○	—	—	—	—
KAMN050-I～KAMN058-W	○	○	○	○	○
KAMN066-E	○	—	—	○	—
KAMN100-I～KAMN106-E	○	○	○	○	○
KAMN107-I, KAMN108-I	○	—	—	○	—
KAMN109-I	—	—	—	○	—
KAMN112-E	○	—	—	○	○
KAMN113-E	○	—	—	○	—
KAMN115-E	—	—	—	○	—
KAMN116-W	○	○	○	○	○
KAMN117-E～KAMN119-W	—	—	—	○	—
KAMN120-E	○	○	○	○	○
KAMN121-W～KAMN129-E	—	—	—	○	—
KAMN130-E～KAMN163-E	○	○	○	○	○
KAMN164-E	—	—	—	○	—
KAMN165-E	○	○	○	○	○
KAMN166-W	—	○	○	—	—
KAMN169-E～KAMN179-E	○	○	○	○	○
KAMN180-I	○	—	—	○	○
KAMN181-I, KAMN183-I	○	—	—	—	—
KAMN184-E～KAMN199-E	○	○	○	○	○

メッセージ ID の範囲	AIX	HP-UX (PA-RISC)	HP-UX (IPF)	Linux (x86)	Linux (IPF)
KAMN201-I～KAMN229-E	○	○	○	○	○
KAMN230-E, KAMN232-E	○	-	-	-	-
KAMN233-E～KAMN234-E	○	○	○	○	○
KAMN235-I	-	-	-	○	-
KAMN236-I～KAMN238-D	○	○	○	○	○
KAMN239-I	○	-	-	-	-
KAMN241-I～KAMN255-D	○	○	○	○	○
KAMN256-I	-	○	○	-	-
KAMN257-I～KAMN261-I	○	○	○	○	○
KAMN262-E～KAMN264-I	-	-	-	○	-
KAMN265-W	○	○	○	○	○
KAMN266-I～KAMN269-E	-	-	-	○	-
KAMN270-W～KAMN276-E	○	○	○	○	○
KAMN277-E～KAMN278-I	-	-	-	○	-
KAMN280-I～KAMN281-I	○	○	○	○	○
KAMN282-E	-	-	-	○	-
KAMN283-W～KAMN287-I	-	-	-	○	-
KAMN288-W	○	-	-	○	-
KAMN290-I	○	○	○	○	○
KAMN291-W	-	-	-	○	-
KAMN292-E～KAMN293-E	○	-	-	○	-
KAMN294-I～KAMN295-I	-	-	-	○	-
KAMN296-I	○	○	○	○	○
KAMN298-I	○	○	○	○	○
KAMN299-I	○	-	○	○	○
KAMN300-E～KAMN399-E	○	○	○	○	○
KAMN400-E, KAMN402-E	○	○	○	○	○
KAMN404-I	○	-	○	○	-
KAMN407-I	-	-	-	○	○
KAMN408-E, KAMN409-I	○	○	○	○	○

1. メッセージの概要

メッセージ ID の範囲	AIX	HP-UX (PA-RISC)	HP-UX (IPF)	Linux (x86)	Linux (IPF)
KAMN410-I, KAMN411-I	○	—	○	○	—
KAMN412-E	○	○	○	○	○
KAMN413-E	—	—	—	○	—
KAMN414-E	○	—	—	○	—
KAMN415-W	—	—	—	○	—
KAMN420-I～KAMN432-W	○	○	○	○	○
KAMN433-W～KAMN439-W	○	—	○	○	○
KAMN444-E～KAMN446-E	○	○	○	○	○
KAMN447-W	○	—	—	○	—
KAMN448-W～KAMN463-W	○	○	○	○	○
KAMN464-I	—	—	—	○	—
KAMN465-E	○	○	○	○	○
KAMN466-E, KAMN474-E	○	—	○	○	○
KAMN475-E	○	—	—	○	○
KAMN477-W	○	○	○	○	○
KAMN478-E	○	—	—	○	—
KAMN479-E～KAMN493-E	—	○	○	—	—
KAMN494-E～KAMN496-I	○	○	○	○	○
KAMN497-E	—	—	—	○	—
KAMN498-E, KAMN499-E	○	○	○	○	○
KAMN511-E～KAMN513-E	—	—	—	○	—
KAMN514-E	○	—	—	○	—
KAMN515-E, KAMN516-E	—	—	—	○	—
KAMN517-E	○	○	○	○	○
KAMN519-E	—	—	—	○	—
KAMN521-W	○	—	—	○	—
KAMN523-E～KAMN530-E	—	—	—	○	—
KAMN531-I～KAMN542-I	○	—	—	○	—
KAMN543-I～KAMN559-I	—	—	—	○	—
KAMN601-W, KAMN607-E	○	○	○	○	○

1. メッセージの概要

メッセージ ID の範囲	AIX	HP-UX (PA-RISC)	HP-UX (IPF)	Linux (x86)	Linux (IPF)
KAMN608-W	—	○	○	○	○
KAMN609-W～KAMN621-E	○	○	○	○	○
KAMN622-E	—	○	○	—	○
KAMN624-E, KAMN625-W	○	—	○	○	○
KAMN626-E	○	○	○	○	○
KAMN628-I, KAMN629-I	○	—	—	—	—
KAMN635-E	○	○	○	○	○
KAMN639-W	—	—	—	○	—
KAMN640-E～KAMN643-W	○	○	○	○	○
KAMN644-W	○	—	—	○	—
KAMN646-I	○	—	—	○	—
KAMN647-I～KAMN649-E	○	—	—	○	—
KAMN650-E	○	○	○	○	○
KAMN651-E	○	—	—	○	○
KAMN654-E	○	—	—	—	—
KAMN655-W, KAMN656-I	—	—	—	○	—
KAMN660-E～KAMN663-I	○	○	○	○	○
KAMN666-E, KAMN667-I	—	—	—	○	—
KAMN671-E～KAMN675-E	○	—	—	—	—
KAMN676-E～KAMN681-E	—	○	○	—	○
KAMN682-E	○	—	—	—	—
KAMN683-E	—	○	○	—	○
KAMN684-E	○	—	○	○	○
KAMN685-W	—	—	○	—	○
KAMN686-W	—	—	—	○	—
KAMN689-E	—	○	○	—	○
KAMN690-W	○	○	○	—	—
KAMN693-W, KAMN694-W	○	—	—	—	—
KAMN695-I～KAMN699-I	—	—	—	○	○
KAMN701-I, KAMN702-W	○	○	○	○	○

1. メッセージの概要

メッセージ ID の範囲	AIX	HP-UX (PA-RISC)	HP-UX (IPF)	Linux (x86)	Linux (IPF)
KAMN703-I～KAMN708-I	-	-	-	○	-
KAMN717-E	○	○	○	○	○
KAMN723-E～KAMN729-W	○	-	-	○	-
KAMN730-E～KAMN741-E	○	○	○	○	○
KAMN750-W～KAMN763-E	-	-	-	○	-
KAMN764-E～KAMN772-W	-	-	-	○	-
KAMN773-E, KAMN774-W	-	-	-	○	-
KAMN775-I～KAMN779-E	-	-	-	○	-
KAMN901-E	○	○	-	-	-
KAMN902-E, KAMN903-E	-	○	-	-	-
KAMN904-E	○	○	-	-	-
KAMN905-E, KAMN906-E	-	○	-	-	-
KAMN909-E, KAMN910-E	○	○	-	-	-
KAMN920-I～KAMN922-E	○	-	-	-	-
KAMN931-I～KAMN963-E	○	○	○	○	○
KAMN964-E～KAMN969-E	-	-	-	○	-
KAMN970-E～KAMN975-D	○	○	○	○	○
KAMN976-W	○	-	-	-	-
KAMN977-W, KAMN978-I	○	-	○	○	○
KAMN979-I	-	-	○	-	-
KAMN980-W, KAMN981-E	-	-	-	○	-

(凡例)

○：出力します。 - : 出力しません。

1.3 メッセージの言語種別の設定

HA モニタでは、メッセージは英語と日本語との 2 種類で出力されます。どちらの言語で出力するかは、OS の言語設定に従います。出力する言語の設定および切り替えについては、次のマニュアルを参照してください。

- ・マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタ AIX(R)編』
- ・マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタ HP-UX 編』（適用 OS が HP-UX (PA-RISC) の場合）
- ・マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタ HP-UX (IPF) 編』（適用 OS が HP-UX (IPF) の場合）
- ・マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタ Linux(R)編』（適用 OS が Linux (IPF) の場合）
- ・マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタ Linux(R) (x86) 編』（適用 OS が Linux (x86) の場合）

2

KAMN で始まるメッセージ

この章では、メッセージ KAMN で始まるメッセージの詳細を説明します。

2.1 KAMN000～KAMN099

KAMN001-I (S+L)

[日本語]

HA モニタ (*VV-rr-ss*) を起動します。

[英語]

HAmonitor (vv-rr-ss) is started.

HA モニタの起動を開始します。

VV：バージョン番号

rr：リビジョン番号

ss：限定コード

S：

処理を続行します。

KAMN002-I (S+L)

[日本語]

HA モニタを起動しました。処理を開始します。

[英語]

HAmonitor was completed. Processing is started.

HA モニタを正常に起動しました。

S：

処理を続行します。

KAMN003-E (E+L)

[日本語]

HA モニタを起動できません。

[英語]

HA monitor cannot be started.

HA モニタの起動処理でエラーが検出されたため、 HA モニタを起動できません。このメッセージの前に、エラーの詳細を示すメッセージが表示されます。

S :

処理を終了します。

○ :

エラーの詳細を示すメッセージが指示する処置をしてください。

なお、次に示すすべての条件を満たす場合は、カーネルパラメタのソケットバッファサイズの指定値を見直してください。

- エラーの詳細を示すメッセージが、メッセージ KAMN601-W である。
- メッセージ KAMN601-W が示す詳細コードが 233、かつエラーが発生した関数名が"ipc_setsockopt"である。
- HA モニタの環境設定の servmax オペランドで、一つの系で同時に稼働できるサーバの最大数を指定している。

KAMN004-E (E+L)

[日本語]

スーパーユーザでないためコマンドを実行できません。

[英語]

Because not super user, command cannot be executed.

スーパーユーザでないため、実行した HA モニタのコマンドは実行できません。

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

スーパーユーザの権限で、コマンドを再実行してください。

KAMN005-E (E+L)

[日本語]

HA モニタが正しく組み込まれていません。

[英語]

HAmonitor does not install correctly.

HA モニタが正しく組み込まれていないため、 HA モニタを起動できません。

S :

処理を終了します。

○ :

/opt/hitachi/Hamon の下にファイルが正しく組み込まれていることを確認してください。正しい場合には、システム管理者に連絡してください。

対策 :

このメッセージの前に出力されるメッセージ KAMN601-W で示される、システムコールのエラー要因を取り除いてください。

HA モニタをインストールしているファイルシステムに対して、/etc/fstab ファイルや mount コマンドで nosuid オプションを指定しないでください。

KAMN006-E (E+L)

[日本語]

HA モニタが既に稼働しています。

[英語]

HAmonitor is already processing.

HA モニタがすでに稼働しているため、 HA モニタを起動できません。

S :

処理を終了します。

○ :

稼働中の HA モニタを終了させ、 HA モニタを再起動してください。

KAMN007-E (E+L)

[日本語]

HA モニタの制御ファイルがオープンできません。

[英語]

The control file of HAmonitor cannot be opened.

HA モニタの制御ファイル（/opt/hitachi/Hamon/etc/.CTLFILE）がオープンできないため、 HA モニタを起動できません。

S :

処理を終了します。

○ :

制御ファイルがあるか調査し、制御ファイルがあれば削除して、 HA モニタを再起動してください。制御ファイルがなければ、システム管理者に連絡してください。

対策 :

このメッセージの前に出力されるメッセージ KAMN650-E で示される、システムコールのエラー要因を取り除いてください。

KAMN008-E (E+L)

[日本語]

共有メモリを確保できません。

原因コード : aa....aa メモリ量 : bb....bb

[英語]

Shared memory cannot be gotten.

Cause code:aa....aa Memory size:bb....bb

共有メモリ領域が確保できないため、 HA モニタを起動できません。原因コードについては、対応する OS のマニュアルを参照してください。

aa....aa : 原因コード（共有メモリ確保時のシステムコールの errno, 1~3 行）

bb....bb : 確保しようとしたメモリの大きさ（単位：バイト）

S :

処理を終了します。

○ :

現在のシステムの使用できるメモリ量を調査してください。システムの使用できるメモリ量が、 bb....bb で示される値より小さい場合は、システムの値を変更して、 HA モニタを再起動してください。値が大きい場合は、確保したメモリの大きさと原因コードをシステム管理者に連絡してください。

対策 :

このメッセージの前に出力されるメッセージ KAMN650-E で示される、システムコールのエラー要因を取り除いてください。

KAMN009-E (E+L)

[日本語]

HA モニタの制御ファイルに書き込みできません。

原因コード : aa....aa

[英語]

It cannot be written in the control file of HAmonitor.

Cause code:aa....aa

HA モニタの制御ファイル (`/opt/hitachi/Hamon/etc/.CTLFILE`) に、書き込みができません。原因コードについては、対応する OS のマニュアルを参照してください。

aa....aa : 原因コード（制御ファイルに書き込みした際の終了コード、1~2 衡）

S :

処理を終了します。

○ :

原因コードをシステム管理者に連絡してください。

対策 :

このメッセージの前に出力されるメッセージ KAMN650-E で示される、システムコールのエラー要因を取り除いてください。

KAMN010-W (E+L)

[日本語]

HA モニタの制御ファイルがクローズできません。

[英語]

The control file of HAmonitor cannot be closed.

HA モニタの制御処理で、制御ファイル (`/opt/hitachi/Hamon/etc/.CTLFILE`) がクローズできません。

S :

処理を続行します。

○ :

制御ファイルを削除してください。

KAMN011-E (E+L)

[日本語]

HA モニタの実行に必要なメモリが不足しています。メモリ量 : aa....aa

[英語]

A memory that is necessary to execute HAmonitor runs short. Memory size:aa....aa

データ空間の大きさが、 HA モニタの実行に必要なメモリより小さいため、 HA モニタを起動できません。

aa....aa : 確保している共有メモリの大きさ（単位：バイト）

S :

処理を終了します。

○ :

出力される共有メモリの大きさと、 HA モニタの実行に必要なデータ空間の大きさを調査し、 HA モニタを再起動してください。必要な大きさのデータ空間を確保してもこのメッセージが出力される場合は、システム管理者に連絡してください。

対策 :

調査の結果、システムのメモリ量が不足している場合は、メモリ量を増やしてください。メモリ量が十分であれば、メモリ消費の原因を調査してその対策を行ってください。

KAMN012-E (E+L)

[日本語]

HA モニタの処理を開始できません。

[英語]

Processing of HAmonitor cannot be started.

HA モニタのプロセス管理デーモンを起動できません。このメッセージの前に、エラーの詳細を示すメッセージが出力されます。

S :

処理を終了します。

○ :

エラーの詳細を示すメッセージが指示する処置をしてください。

KAMN013-E (E)

[日本語]

ファイル : aa....aa で異常が発生しました。 詳細コード : bb....bb

[英語]

Abnormality occurred in File:aa....aa. Error details:bb....bb.

aa....aa で示すファイルで異常が発生しました。

aa....aa : ファイル名

bb....bb : 詳細コード (システムコールの errno)

S :

処理を終了します。

○ :

このメッセージの前に出力されるメッセージ KAMN601-W で示される、システムコールのエラー要因を取り除いてください。このメッセージの前にメッセージ KAMN601-W が表示されていない場合は、ファイルの読み込み処理で異常が発生しています。詳細コードを基にエラー要因を取り除いたあと、HA モニタの環境設定コマンド (monsetup コマンド) を実行してください。

KAMN014-E (E+L)

[日本語]

リセットパスの設定をしていないため、 HA モニタの起動を中止します。

[英語]

The startup of HAmonitor will be stopped, because reset path is not defined.

HA モニタの環境設定コマンド (monsetup コマンド) で、リセットパスの設定をしていないため、 HA モニタの起動を中止しました。

S :

処理を終了します。

○ :

HA モニタの環境設定コマンド (monsetup コマンド) で、リセットパスの設定をしたあと、 HA モニタを再起動してください。

環境設定コマンド (monsetup コマンド) には、次の指定ができます。

- monsetup -rp
- monsetup -tty
- monsetup -norpstart

KAMN015-E (E+L)

[日本語]

HA モニタの起動が確認できません。

[英語]

The startup of HA Monitor cannot be confirmed.

HA モニタの起動結果が確認できません。

S :

処理を続行します。

O :

HA モニタの起動結果を syslog で確認してください。

KAMN016-I (S+L)

[日本語]

HA モニタエージェントとして動作します。

[英語]

It started as HAmonitor Agent.

エージェントモードが有効になっているため、自系は HA モニタエージェントとして動作します。

S :

処理を続行します。

KAMN021-E (E)

[日本語]

aa....aa コマンドの形式に誤りがあります。

[英語]

There are syntax errors in command(*aa....aa*).

HA モニタのコマンドの実行形式に誤りがあります。

aa....aa : コマンド名

S:

コマンド処理を中止します。

○:

コマンドを正しい形式で実行してください。

KAMN030-E

[日本語]

共有ディスクが異常（オープンエラー）です。ボリュームグループ名：aa....aa 物理ボリューム名：bb....bb 詳細コード：cc....cc

[英語]

Open error occurred in shared disk. Volume Group:aa....aa Physical Volume:bb....bb Error details:cc....cc

物理ボリューム名で示す共有ディスクに、オープンエラーが発生しました。詳細コードは、openx()システムコールの errno を示します。詳細コードについては、対応する OS のマニュアルを参照してください。

aa....aa : ボリュームグループ名

bb....bb : 物理ボリューム名

cc....cc : 詳細コード（1～3 衔）

S:

処理を続行します。ただし、共有ディスクに異常が発生した状態で系切り替えをすると varyon が失敗し、待機サーバから実行サーバに系切り替えができない場合があります。

○:

詳細コードで示す異常の原因を取り除き、サーバを再起動してください。詳細コードが 16 の場合、主に他系が共有ディスクをリザーブしていることが原因です。

リザーブの原因として次が考えられます。

- ボリュームグループ名に示す共有ディスクに対して、ユーザが-u オプションなしで varyonvg を手動で実行している
- 物理ボリューム名が dlmfdrv で始まっている場合、HDLM でその物理ボリュームをリザーブする設定になっている
- ボリュームグループ名に示す共有ディスクが、サーバの環境設定（servers）の hab_gid オペランドに指定した制御グループに含まれていて、かつ HA Booster 側で作成するスクリプト内で、該当するボリュームグループに対して-u オプションなしで varyonvg を実行している

KAMN034-E (E+L)

[日本語]

ボリュームグループの設定に誤りがあります。ボリュームグループ名 : aa....aa

[英語]

There are errors in definition of VolumeGroup. Volume Group name:aa....aa

ボリュームグループの設定に次の誤りがあります。

- システム起動時に自動 varyon する設定になっています。
- VG コンカレント機能が付加されています。
- ボリュームグループを構成する物理ディスクの数が、3,000 を超えています。

aa....aa : ボリュームグループ名

S :

処理を続行します。

○ :

ボリュームグループの設定を見直し、変更してください。

KAMN035-I

[日本語]

ボリュームグループは varyon されています。ボリュームグループ名 : aa....aa

[英語]

VolumeGroup is already varyon. Volume Group name:aa....aa

ボリュームグループが varyon されています。

aa....aa : ボリュームグループ名

S :

処理を続行します。

○ :

このメッセージが、手動で varyonvg コマンドを実行したことによって出力された場合は、サーバを停止して varyoff してください。

KAMN036-E

[日本語]

共有ディスクがリザーブされています。ボリュームグループ名 : aa....aa 物理ボリューム名 : bb....bb

[英語]

Shared disk is reserved in another system. Volume Group:aa....aa Physical Volume:bb....bb

物理ボリューム名で示す共有ディスクが他系にリザーブされています。

aa....aa : ボリュームグループ名

bb....bb : 物理ボリューム名

S :

処理を続行します。

○ :

共有ディスクをリザーブしている系でリザーブを解除してください。

KAMN037-I

[日本語]

共有ディスクのリザーブ解除処理を実行しました。ボリュームグループ名 : aa....aa 物理ボリューム名 : bb....bb

[英語]

Reset to shared disk was executed. Volume Group:aa....aa Physical Volume:bb....bb

物理ボリューム名で示す共有ディスクのリザーブ解除処理を実行しました。

aa....aa : ボリュームグループ名

bb....bb : 物理ボリューム名

S :

処理を続行します。

KAMN050-I (S+L)

[日本語]

HA モニタが終了しました。

[英語]

HAmonitor is terminated.

HA モニタの停止コマンド（`monstop` コマンド）で、 HA モニタを正常終了しました。

S :

処理を続行します。

KAMN051-E (E+L)

[日本語]

HA モニタが稼働していません。

[英語]

HAmonitor is not processing.

次の原因で、 HA モニタのコマンドを実行できません。

- HA モニタがプロセスとして動作していません。
- 制御ファイル（`/opt/hitachi/HAmont/etc/.CTLFILE`）に異常があります。
- 共有メモリに異常があります。

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

HA モニタが稼働している状態でこのメッセージが出力された場合は、 HA モニタを OS の `kill` コマンドで強制停止させて、再起動してください。

KAMN052-W (E+L)

[日本語]

`monstop` コマンドに共有メモリに対するアクセス権がないため、共有メモリが解放できません。 HA モニタのインストールに誤りがあります。

[英語]

Shared memory cannot be freed, because command (`monstop`) cannot have access to shared memory. HAmonitor does not install correctly.

HA モニタ本体と、 HA モニタの停止コマンド（`monstop` コマンド）のグループ ID が一致していないため、 HA モニタを終了できません。 HA モニタのインストール方法に誤りがあります。

S :

処理を続行します。

○ :

正しい方法でインストールし直してください。

KAMN053-W (E+L)

[日本語]

共有メモリが解放できません。

[英語]

Shared memory cannot be freed.

HA モニタで確保していた共有メモリの解放時に、システムコールでエラーが発生しました。

S :

処理を続行します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

システムコールのエラー要因を取り除いてください。

KAMN054-E (E+L)

[日本語]

monstop コマンドに異常が発生しました。HA モニタを終了できません。

[英語]

Errors occurred in command(`monstop`). HA monitor cannot be terminated.

プロセス間通信で異常が発生したため、HA モニタを終了できません。

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

HA モニタの停止コマンド（`monstop` コマンド）を再実行してください。

KAMN055-E (E+L)

[日本語]

実行サーバ、又は待機サーバがあります。HA モニタを終了できません。

[英語]

Online server or Standby server exists. HA monitor cannot be terminated.

実行サーバ、または待機サーバがあるため、HA モニタの終了要求は受け付けられません。

S :

処理を終了します。

O :

サーバ・系の状態表示コマンド（`monshow` コマンド）でサーバの状態を確認してください。

実行サーバがあれば、該当するサーバの停止方法で停止させてから、HA モニタの停止コマンド（`monstop` コマンド）を実行してください。

待機サーバがあれば、待機サーバ停止コマンド（`monsbystp` コマンド）ですべて停止させてから、HA モニタの停止コマンド（`monstop` コマンド）を実行してください。

KAMN056-I (S+L)

[日本語]

HA モニタが終了しました。

[英語]

HA monitor is terminated.

HA モニタを正常終了しました。

S :

処理を続行します。

KAMN058-W

[日本語]

サーバ：(aa....aa) の group オペランドは無効です。

[英語]

The group operand of server:(aa....aa) is invalid.

サーバ識別名で示すサーバは、サーバ対応の環境設定 (servers) の group オペランドでグループ化したサーバの一つとして指定されていますが、次のどちらかの原因のため、この指定は無効です。

1. 同じグループに指定されているサーバの数がシステムの制限を超えている
2. 稼働中のグループにサーバが追加または変更された

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○ :

原因が「1」に該当する場合は、グループに指定されているサーバの数が制限を超えないように、サーバ対応の環境設定 (servers) を修正してください。

原因が「2」に該当する場合は、グループ中のすべてのサーバを停止してからサーバ対応の環境設定を修正してください。

KAMN066-E

[日本語]

HA モニタのプロセスが異常終了しました。OS をパニックします。詳細コード：*aa....aa*

[英語]

The HA monitor process stopped abnormally. An operating system panic occurred. (details code:*aa....aa*)

HA モニタのプロセスが異常終了したため、OS をパニックします。

aa....aa : 詳細コード

詳細コード	意味
PRCMAIN	prcmain プロセスが異常終了
HAIOD	haiod プロセスが異常終了
HCMREAD	hcmread プロセスが異常終了

S :

処理を終了します。

○ :

ホストを再起動してください。

対策：

保守員に連絡してください。

2. KAMN で始まるメッセージ

2.2 KAMN100～KAMN199

KAMN100-I (S)

[日本語]

定義ファイルのチェックを開始します。

[英語]

A check of a definition file is started.

定義チェックコマンド（moncheck コマンド）を受け付け、環境設定の定義ファイルのチェックを開始します。

S :

処理を続行します。

KAMN101-I (S)

[日本語]

定義ファイルのチェックが終了しました。誤りはありません。

[英語]

A check of a definition file was completed perfectly.

環境設定の定義ファイルに誤りはなく、チェックが正常終了しました。

S :

処理を続行します。

KAMN102-E (E)

[日本語]

定義ファイルのチェックが終了しました。ファイルに誤りがあります。

[英語]

A check of a definition file was stopped abnormally.

環境設定の定義ファイル中に誤りがあります。

S :

処理を終了します。

O :

環境設定の定義ファイルを修正してください。

KAMN105-I (S)

[日本語]

定義ファイル : aa....aa bb....bb [cc....cc]

[英語]

Definition file:aa....aa, bb....bb [cc....cc]

定義チェックコマンド (moncheck コマンド) で出力されるデバイス情報のヘッダ部分です。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : 'Host Name' または 'Alias'

cc....cc : ホスト名, サーバ識別名, またはプログラム識別名

S :

処理を続行します。

KAMN106-E (E)

[日本語]

[aa....aa] をチェックするために使用する [bb....bb] コマンドが実行できません。

[英語]

It was started the command of [bb....bb] to check [aa....aa].

But abnormality occurred in the command processing.

定義チェックコマンド (moncheck コマンド) でデバイス確認を実行しましたが、異常が発生しました。システムにないデバイスを定義しているか、またはデバイスドライバがインストールされていません。

aa....aa : チェックしようとしたオペランド名

bb....bb : 実行しようとしたコマンド名

S :

処理を終了します。

○：

システム管理者に連絡してください。

対策：

定義を修正、またはデバイスドライバをインストールしてください。

KAMN107-I (S)

[日本語]

サーバ：aa....aa のリザーブ解除処理を開始します。

Device Status

bb....bb cc....cc

[英語]

Reservation release processing for server:aa....aa will now start.

Device Status

bb....bb cc....cc

サーバ識別名で示すサーバが使用する、共有ディスクのリザーブ解除処理を開始します。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : servers のデバイス名

cc....cc : デバイスの状態

S :

処理を続行します。

KAMN108-I (S)

[日本語]

サーバ：aa....aa のリザーブ解除処理が完了しました。詳細コード：bb....bb

[英語]

Reservation release processing for server:aa....aa is complete. Details:bb....bb

サーバ識別名で示すサーバが使用する、すべての共有ディスクのリザーブ解除処理が完了しました。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : 詳細コード

詳細コード	意味
SUCCESS	サーバ aa....aa で使用する共有ディスクのリザーブ解除に成功しました。
FAILURE	サーバ aa....aa で使用する共有ディスクのリザーブ解除に、一部、またはすべて失敗しました。

S :

処理を終了します。

対策 :

詳細コード別に、次の処置をしてください。

詳細コード	処置
SUCCESS	すべての共有ディスクのリザーブ解除に成功しているため、処置は不要です。
FAILURE	このメッセージの前に出力されている、エラーの詳細を示すメッセージが指示する処置をしてください。

KAMN109-I (S)

[日本語]

定義ファイル : aa....aa

[英語]

Definition file: aa....aa

定義チェックコマンド (moncheck コマンド) で出力されるデバイス情報のヘッダ部分です。

aa....aa : 定義ファイル名

S :

処理を続行します。

KAMN112-E (E+L)

[日本語]

hab_gid は指定できない環境です。

[英語]

This environment cannot specify hab_gid.

現在のソフトウェア構成では、サーバ対応の環境設定の hab_gid オペランドは指定できません。

S:

処理を終了します。

○:

HA Booster が正しくインストールされているかを確認してください。

KAMN113-E (E)(AIX)

[日本語]

aa....aa オペランドの指定値 : *bb....bb* に設定誤りがあります。 詳細コード : *cc....cc*

[英語]

The setting of specified value *bb....bb* of the *aa....aa* operand is wrong. Detailed code:*cc....cc*.

定義ファイルに指定されたオペランドの設定に誤りがあります。

aa....aa : オペランド名

bb....bb : オペランドの指定値

cc....cc : 詳細コード

詳細コード	意味
CTLGRP	サーバ対応の環境設定の <code>disk</code> オペランドに指定されたボリュームグループは、 HA Booster の制御グループに登録されています。
PATH	次のどちらかの誤りがあります。 <ul style="list-style-type: none">指定したデバイスがありません。絶対パスではなく相対パスで指定されています。 マルチパスソフトウェアに HDLM を使用している場合、上記に加えて次のどちらかの誤りがあるおそれがあります。 <ul style="list-style-type: none">HDLM がインストールされていません。HDLM のサービスが停止しています。
DEVICE_INFO	次の誤りがあるか、デバイス情報の取得に失敗したおそれがあります。 <ul style="list-style-type: none">指定したデバイスが、物理デバイスではありません。 マルチパスソフトウェアに HDLM を使用している場合、上記に加えて次のどれかの誤りがあるおそれがあります。 <ul style="list-style-type: none">指定したデバイスが、HDLM の論理デバイスではありません。HDLM がインストールされていません。HDLM のサービスが停止しています。
DLMRSVLEVEL_NOT_SET	サーバ対応の環境設定の <code>scsi_device</code> オペランドに指定された HDLM の論理デバイスは、OS の <code>chdev</code> コマンドによって <code>dlmrsvlevel</code> 属性に <code>hamonitor</code> が設定されていません。

S:

処理を続行します。

○:

詳細コード別に、次の処置をしてください。

詳細コード	処置
CTLGRP	制御グループに登録されているボリュームグループをサーバ対応の環境設定の disk オペランドに指定して使用することはできません。サーバ対応の環境設定の disk オペランドに指定されたボリュームグループが制御グループに登録されないように設定を変更してください。
PATH	共有ディスクの物理デバイス名、または HDLM の論理デバイス名を確認し、オペランドの指定値を修正してください。
DEVICE_INFO	共有ディスクの物理デバイス名、または HDLM の論理デバイス名を確認し、オペランドの指定値を修正してください。 誤りがない場合は、デバイス情報の取得に失敗したおそれがあります。システム管理者に連絡してください。
DLMRSVLEVEL_NOT_SET	オペランドの指定値に示した HDLM の論理デバイスで、OS の chdev コマンドによって dlmrsvlevel 属性に hamonitor を設定してください。 設定および確認方法などの詳細については、マニュアル『Hitachi Dynamic Link Manager Software ユーザーズガイド (AIX(R)用)』およびソフトウェア添付資料を参照してください。

KAMN113-E (E)(Linux(x86))

[日本語]

aa....aa オペランドの指定値 : *bb....bb* に設定誤りがあります。詳細コード : *cc....cc*

[英語]

The setting of specified value *bb....bb* of the *aa....aa* operand is wrong. Detailed code:*cc....cc*.

定義ファイルに指定されたオペランドの設定に誤りがあります。

aa....aa : オペランド名

bb....bb : オペランドの指定値

cc....cc : 詳細コード

詳細コード	意味
CTLGRP	サーバ対応の環境設定の disk オペランドに指定されたボリュームグループを構成するディスクデバイスが、HA Booster の制御グループに登録されています。
PATH	次のどれかの誤りがあります。 <ul style="list-style-type: none">指定したシンボリックリンク、または論理デバイスがありません。絶対パスではなく相対パスで指定されています。

2. KAMN で始まるメッセージ

詳細コード	意味
	<p>上記に加えて次のどれかの誤りがあるおそれがあります。</p> <p>オペランド名が <code>scsi_device</code> でマルチパスソフトウェアに HDLM を使用している場合</p> <ul style="list-style-type: none"> • HDLM がインストールされていません。 • HDLM のサービスが停止しています。 <p>オペランド名が <code>dmmp_device</code> でマルチパスソフトウェアに DMMP を使用している場合</p> <ul style="list-style-type: none"> • DMMP がインストールされていません。 • DMMP のサービスが停止しています。
DEVICE_TYPE	<p>次のどれかの誤りがあります。</p> <p>オペランド名が <code>scsi_device</code> の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> • マルチパスソフトウェアに HDLM を使用しているとき 指定したデバイスが、 HDLM の論理デバイスではありません。 HDLM がインストールされていません。 HDLM のサービスが停止しています。 • VMware ESXi での仮想化環境のとき 指定したシンボリックリンクのデバイスが SCSI リザーブに対応していません。 指定したシンボリックリンクが論理デバイス (LVM の論理ボリューム、 マルチパスソフトウェアの論理デバイスなど) のシンボリックリンクです。 • KVM での仮想化環境のとき VMware ESXi での仮想化環境のときと同じです。 • 上記以外を使用しているとき VMware ESXi での仮想化環境のときと同じです。 <p>オペランド名が <code>dmmp_device</code> でマルチパスソフトウェアに DMMP を使用している場合</p> <ul style="list-style-type: none"> • 指定したデバイスが、 DMMP の論理デバイスではありません。 • DMMP がインストールされていません。 • DMMP のサービスが停止しています。

S :

処理を続行します。

○ :

詳細コード別に、 次の処置をしてください。

詳細コード	処置
CTLGRP	制御グループに登録されているディスクデバイスで構成されたボリュームグループをサーバ対応の環境設定の <code>disk</code> オペランドに指定して使用できません。サーバ対応の環境設定の <code>disk</code> オペランドに指定されたボリュームグループを構成するディスクデバイスが、 制御グループに登録されない設定に変更してください。
PATH	共有ディスクのシンボリックリンク、 または HDLM もしくは DMMP の論理デバイス名を確認し、 オペランドの指定値を修正してください。
DEVICE_TYPE	共有ディスクのシンボリックリンク、 または HDLM もしくは DMMP の論理デバイス名を確認し、 オペランドの指定値を修正してください。

詳細コード	処置
	<p>オペランド名が <code>scsi_device</code> でマルチパスソフトウェアに HDLM を使用している場合で、指定した論理デバイスが正しいときは、HDLM のサービスの動作状況を確認してください。</p> <p>オペランド名が <code>dmmp_device</code> の場合で、指定した論理デバイスが正しいときは、DMMP のサービスの動作状況を確認してください。</p>

KAMN115-E (E)

[日本語]

このシステムでは `aa....aa` を指定出来ません。

[英語]

In this system, `aa....aa` cannot be specified.

定義に誤りがあります。

`aa....aa` : オペランド名

S :

処理を中断します。

○ :

HA モニタの環境設定、またはサーバ対応の環境設定を確認してください。必要に応じて定義を修正したあと、HA モニタを再起動してください。

KAMN116-W (E)

[日本語]

複数のサーバに同じ共有リソースが定義されています。オペランド名：`aa....aa` オペランドの指定値：`bb....bb`

[英語]

The same shared resource is defined for two or more servers. operand name:`aa....aa` specified operand value:`bb....bb`

サーバ対応の環境設定で、複数のサーバに同じ共有リソースが定義されています。

`aa....aa` : オペランド名

`bb....bb` : オペランドの指定値

S :

処理を続行します。

○ :

サーバ対応の環境設定で、オペランドの指定値を確認し、修正してください。

KAMN117-E (E)

[日本語]

定義ファイル:sysdef の multicast_lan オペランドに指定されている指定値:*aa....aa* が、/etc/hosts ファイルに存在しないか、クラス D のマルチキャストアドレスではありません。

[英語]

The *aa....aa* of the multicast_lan operand of definition file:sysdef does not exist in the /etc/hosts file, or is not class D multicast address.

HA モニタの環境設定の multicast_lan オペランドに指定されている値が/etc/hosts ファイル内にないか、または/etc/hosts ファイルにクラス D のマルチキャストアドレス以外が指定されています。

aa....aa : マルチキャストグループ ID (TCP/IP LAN) に対応するホスト名

S :

処理を終了します。

○ :

次の指定値を見直し、修正してください。

- HA モニタの環境設定の multicast_lan オペランドの指定値
- /etc/hosts ファイルに指定したマルチキャストグループ ID

KAMN118-W (E)

[日本語]

複数のプログラムの同じオペランドに、同一の値が指定されています。オペランド名:*aa....aa* オペランドの指定値:*bb....bb*

[英語]

The same value is specified for the same operand of two or more programs. operand name:*aa....aa* specified operand value:*bb....bb*

モニタモードのプログラム対応の環境設定で、複数の program 定義文の同じオペランドに、同一の値が指定されています。

aa....aa : オペランド名

bb....bb : オペランドの指定値

S :

処理を終了します。

○ :

モニタモードのプログラム対応の環境設定のオペランドの指定値を確認し、修正してください。

KAMN119-W (E)

[日本語]

定義ファイル : programs がありますが、モニタモードのプログラム管理機能を使用する設定になっていません。

[英語]

Definition file:programs exists, but does not specify to use the function of program.

HA モニタの環境設定の pgmmax オペランドに 1 以上が指定され、かつモニタモードのプログラム対応の環境設定の定義ファイルがありますが、モニタモードのプログラム管理機能を使用する設定になっていません。

S :

処理を続行します。

○ :

次の項目を確認してください。

- モニタモードのプログラム管理機能を使用しないのに、HA モニタの環境設定の pgmmax オペランドに 1 以上を指定していないか。
- モニタモードのプログラム管理機能を使用するのに、サーバ対応の環境設定の program オペランドに nouse を指定していないか。または、program オペランドを定義し忘れていないか。

KAMN120-E (E)

[日本語]

定義ファイル : *aa....aa bb....bb* 定義文の *cc....cc* オペランドに *dd....dd* がありません。

[英語]

Definition file :*aa....aa*, There is not *dd....dd* in *cc....cc* operand of the *bb....bb* definition sentence.

プログラム起動時、該当するサーバ定義を、プログラム名またはサーバ識別名を基に探しましたが、一致するもののがありません。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : 定義文名

cc....cc : オペランド名

dd....dd : オペランドの内容

S :

処理を終了します。

○ :

サーバ対応の環境設定の内容を確認してください。

KAMN121-W (E)

[日本語]

定義ファイル：sysdef の *aa....aa* オペランドに指定されている指定値：*bb....bb* が、/etc/services ファイルに存在しません。

[英語]

The TCP/IP service *bb....bb* specified for the *aa....aa* operand in the definition file:sysdef does not exist in the /etc/services file.

HA モニタの環境設定の *aa....aa* オペランドに指定されている値が/etc/services ファイル内にないか、または *aa....aa* オペランドに指定した値に誤りがあります。

aa....aa : オペランド名

bb....bb : オペランドの指定値 (TCP/IP LAN のサービス名)

S :

処理を続行します。

○ :

HA モニタの環境設定の誤りを訂正し、HA モニタを再起動してください。

KAMN122-E (E+L)

[日本語]

TCP／IP のサービス名 :aa....aa のポート番号 :bb....bb は既に使用されているため、使用できません。

[英語]

Port Number:bb....bb of the TCP/IP service name:aa....aa cannot be used, because the port is already in use.

/etc/services ファイル内のサービス名で示されるサービスのポート番号は、監視パスで使用しているポート番号と重複しているか、またはほかのプログラムが使用しています。

aa....aa : TCP/IP LAN のサービス名

bb....bb : TCP/IP LAN のポート番号

S :

処理を続行します。

O :

使用されていないポート番号を指定して、HA モニタを再起動してください。

KAMN123-E (E)

[日本語]

HA モニタの環境確認に失敗しました。詳細コード :aa....aa :bb...bb :cc....cc

[英語]

The environment check for HA Monitor failed. Error details:aa....aa:bb...bb:cc....cc.

HA モニタの環境確認に失敗しました。

aa....aa : 詳細コード (1 衞)

詳細コード	意味
4	Linux Tough Dump サービスを使用できません。

bb....bb : 内部エラーコード

cc....cc : システムコールの errno (1~3 衞)

詳細コードが 4 の場合 : 0

S :

処理を中止します。

○：

内部エラーコード別に、次の処置をしてください。

内部エラーコード	処置
LTD_NOT_FOUND	HA モニタの環境設定に <code>lanport_ltd</code> オペランドが定義されていますが、Linux Tough Dump がインストールされていません。 次のどちらかの処置をしてください。 <ul style="list-style-type: none">Linux Tough Dump サービスを使用する場合は、Linux Tough Dump をインストールしてください。Linux Tough Dump サービスを使用しない場合は、HA モニタの環境設定から <code>lanport_ltd</code> オペランドを削除してください。

KAMN124-I

[日本語]

ホスト：`aa....aa` の HA モニタエージェントと接続しました。

[英語]

It connected with HAmonitor Agent of host:`aa....aa`.

ホスト名で示すホストの HA モニタエージェントと接続しました。

aa....aa：ホスト名

S：

処理を続行します。

KAMN125-I

[日本語]

ホスト：`aa....aa` の HA モニタエージェントが終了しました。

[英語]

HAmonitor Agent of host:`aa....aa` is terminated.

ホスト名で示すホストの HA モニタエージェントが終了しました。

aa....aa：ホスト名

S：

処理を続行します。

KAMN127-W (E)

[日本語]

定義ファイル：sysdef の aa....aa オペランドに指定されている指定値 : bb....bb が、 /etc/hosts ファイルに存在しません。

[英語]

The bb....bb of the aa....aa operand of definition file:sysdef is not exist in the /etc/hosts file.

HA モニタの環境設定の aa....aa オペランドに指定されている値が /etc/hosts ファイル内にないか、または aa....aa オペランドに指定した値に誤りがあります。

aa....aa : オペランド名

bb....bb : TCP/IP LAN のホスト名

S :

処理を続行します。

○ :

HA モニタの環境設定の誤りを訂正し、 HA モニタを再起動してください。

KAMN128-W

[日本語]

ホスト : aa....aa の HA モニタエージェントと接続しました。自ホストの HA モニタとバージョンが違います。

[英語]

It connected with HAmonitor Agent of host:aa....aa. The version of HAmonitor of each host is different.

ホスト名で示すホストの HA モニタエージェントと接続しましたが、自系ホストの HA モニタとバージョンが異なっています。

aa....aa : ホスト名

S :

処理を続行します。

○ :

バージョンの異なる HA モニタ (HA モニタエージェントを含む) 同士で接続した場合は、誤っているバージョンの HA モニタを停止し、正しいバージョンの HA モニタをインストールし直してから再起動してください。なお、意図的に異なるバージョン同士で接続している場合は問題ありません。

KAMN129-E (E)

[日本語]

本環境では、*aa....aa* コマンドは使用できません。

[英語]

The *aa....aa* command cannot be used in this environment.

コマンド名で示すコマンドは、この環境では使用できません。

aa....aa : コマンド名

S :

処理を終了します。

○ :

環境の設定を見直し、コマンドを再実行してください。

KAMN130-E (E)

[日本語]

定義ファイル：*aa....aa* ファイルがないか、ファイルが読み取り用になっていないため、オープンできません。

[英語]

Definition file:*aa....aa*, Because the file does not exist or the file does not consist for reading, it cannot open.

環境設定の定義ファイルをオープンできません。

aa....aa : 定義ファイル名

S :

処理を終了します。

○ :

環境設定の定義ファイルがあるかどうか、および読み込み属性があるかどうかを確認し、定義ファイルを修正してください。

定義ファイルが `programs` の場合は、次の項目も確認してください。

- モニタモードのプログラム管理機能を使用しないのに、HA モニタの環境設定の `pgmmax` オペランドに 1 以上を指定していないか。
- モニタモードのプログラム管理機能を使用しないのに、サーバ対応の環境設定の `program` オペランドに `use` を指定していないか。

KAMN140-E (E)

[日本語]

定義ファイル : aa....aa bb....bb 行目の文字数が多過ぎます。

[英語]

Definition file:aa....aa, The number of characters of the bb....bb line is too much.

環境設定の定義ファイル内で指定された文字列の長さが、1,024 文字を超えていきます。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : 文字列がある相対行番号

S :

処理を終了します。

○ :

定義ファイル中の、エラーとなった行の文字列を確認してください。

KAMN142-E (E)

[日本語]

定義ファイル : aa....aa bb....bb 行目の cc....cc 定義文の dd....dd オペランドの指定値の定義方法が誤っています。

[英語]

Definition file:aa....aa, The method of a definition of the value of the dd....dd operand of the cc....cc definition sentence of the bb....bb line is incorrect.

定義ファイル中の、オペランドの指定値の定義方法が誤っています。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : 指定値がある相対行番号

cc....cc : 定義文名

dd....dd : オペランド名

S :

処理を終了します。

○ :

環境設定の定義ファイル中の、エラーとなった行の指定値を確認し、修正してください。

KAMN144-E (E)

[日本語]

定義ファイル : $aa....aa$ $bb....bb$ 行目の $cc....cc$ 定義文の定義方法が誤っています。

[英語]

Definition file: $aa....aa$, The method of a definition of the $cc....cc$ definition sentence of the $bb....bb$ line is incorrect.

定義ファイル中の、定義文の定義方法が誤っています。

$aa....aa$: 定義ファイル名

$bb....bb$: 定義文がある相対行番号

$cc....cc$: 定義文名

S :

処理を終了します。

○ :

環境設定の定義ファイル中の、エラーとなった行の定義文を確認してください。

KAMN146-E (E)

[日本語]

定義ファイル : $aa....aa$ $bb....bb$ 行目の $cc....cc$ 定義文の $dd....dd$ オペランドの定義方法が誤っています。

[英語]

Definition file: $aa....aa$, The method of a definition of the $dd....dd$ operand of the $cc....cc$ definition sentence of the $bb....bb$ line is incorrect.

環境設定の定義ファイル中の、オペランドの定義方法が誤っています。

$aa....aa$: 定義ファイル名

$bb....bb$: オペランドがある相対行番号

$cc....cc$: 定義文名

$dd....dd$: オペランド名

S :

処理を終了します。

○：

環境設定の定義ファイル中の、エラーとなった行のオペランドを確認し、修正してください。

KAMN148-W (E+L)

[日本語]

定義ファイル： $aa....aa$ $bb....bb$ 行目の $cc....cc$ 定義文の $dd....dd$ オペランドの指定値 $ee....ee$ に不要な区切り記号($ff....ff$)があります。区切り記号を無視します。

[英語]

Definition file: $aa....aa$, Unnecessary end symbol($ff....ff$) is defined in the $ee....ee$ of the $dd....dd$ operand of the $cc....cc$ definition sentence of the $bb....bb$ line. An end symbol is ignored.

環境設定の定義ファイル中のオペランドに不要な区切り記号があるため、区切り記号を無視します。

$aa....aa$ ：定義ファイル名

$bb....bb$ ：オペランドがある相対行番号

$cc....cc$ ：定義文名

$dd....dd$ ：オペランド名

$ee....ee$ ：オペランドの指定値

$ff....ff$ ：区切り記号

S：

処理を続行します。

○：

サーバ対応の環境設定の定義ファイル中の、エラーとなった行のオペランドを確認し、修正してください。

KAMN150-E (E)

[日本語]

定義ファイル： $aa....aa$ $bb....bb$ 定義文の $cc....cc$ オペランドの指定値 $dd....dd$ が誤っています。

[英語]

Definition file: $aa....aa$, Specification of $dd....dd$ of the $cc....cc$ operand of the $bb....bb$ definition sentence is incorrect.

環境設定の定義ファイル中の、オペランドの指定値が誤っています。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : 定義文名

cc....cc : オペランド名

dd....dd : オペランドの指定値

S :

処理を終了します。

○ :

環境設定の定義ファイル中の、エラーとなった行の指定値を確認し、修正してください。

KAMN151-E (E)

[日本語]

定義ファイル：*aa....aa bb....bb* 定義文の *cc....cc* オペランドの指定値の指定数が最大値を超えています。

[英語]

Definition file:*aa....aa*, The number of the values of the *cc....cc* operand of the *bb....bb* definition sentence has exceeded a maximum value.

環境設定の定義ファイル中の、オペランドの数が、最大値を超えています。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : 定義文名

cc....cc : オペランド名

S :

処理を終了します。

○ :

環境設定の定義ファイル中の、オペランドの数を減らしてください。

KAMN152-E (E)

[日本語]

定義ファイル : *aa....aa bb....bb* 定義文の *cc....cc* オペランドの指定値 *dd....dd* の文字列長が誤っています。

[英語]

Definition file:*aa....aa*, Length of a character string in *dd....dd* of the *cc....cc* operand of the *bb....bb* definition sentence is incorrect.

環境設定の定義ファイル中の、オペランドの指定値の文字列長が範囲外です。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : 定義文名

cc....cc : オペランド名

dd....dd : オペランドの指定値

S :

処理を終了します。

○ :

環境設定の定義ファイル中の、オペランドの指定値の文字列長を修正してください。

KAMN153-E (E)

[日本語]

定義ファイル : *aa....aa bb....bb* 定義文に *cc....cc* オペランドは定義できません。

[英語]

Definition file:*aa....aa*, The *cc....cc* operand cannot be defined to the *bb....bb* definition sentence.

環境設定の定義ファイル中の定義文の中に、指定できないオペランドがあります。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : 定義文名

cc....cc : オペランド名

S :

処理を終了します。

○ :

環境設定の定義ファイル中の、定義文の中の指定できないオペランドを削除してください。

KAMN154-E (E)

[日本語]

定義ファイル : $aa....aa$ $bb....bb$ 定義文の $cc....cc$ オペランドに指定値がありません。

[英語]

Definition file: $aa....aa$, The $cc....cc$ operand of the $bb....bb$ definition sentence does not have a value.

環境設定の定義ファイル中の、オペランドに指定値がありません。

$aa....aa$: 定義ファイル名

$bb....bb$: 定義文名

$cc....cc$: オペランド名

S :

処理を終了します。

○ :

環境設定の定義ファイル中のオペランドに、指定値を定義してください。

KAMN155-W (E+L)

[日本語]

定義ファイル : $aa....aa$ $bb....bb$ 定義文の $cc....cc$ オペランドに指定値 $dd....dd$ が複数定義されています。二つ目以降の値を無視します。

[英語]

Definition file: $aa....aa$, The $dd....dd$ is defined in several to the $cc....cc$ operand of the $bb....bb$ definition sentence. A value after the second is ignored.

環境設定の定義ファイル中の、オペランドに同じ値が複数指定されているため、二つ目以降の指定値を無視します。

$aa....aa$: 定義ファイル名

$bb....bb$: 定義文名

$cc....cc$: オペランド名

$dd....dd$: オペランドの指定値

S:

処理を続行します。

○:

環境設定の定義ファイル中のオペランドの、重複している指定値を削除してください。

KAMN156-W (E+L)

[日本語]

定義ファイル : $aa....aa$ $bb....bb$ 定義文に $cc....cc$ オペランドが複数定義されています。二つ目以降のオペランドを無視します。

[英語]

Definition file: $aa....aa$, The $cc....cc$ operand is defined in several to the $bb....bb$ definition sentence. An operand after the second is ignored.

環境設定の定義ファイル中の定義文の中に、同じオペランドが複数定義されているため、二つ目以降のオペランドを無視します。

$aa....aa$: 定義ファイル名

$bb....bb$: 定義文名

$cc....cc$: オペランド名

S:

処理を続行します。

○:

環境設定の定義ファイル中の、定義文の中の重複しているオペランドを削除してください。

KAMN157-E (E)

[日本語]

定義ファイル : $aa....aa$ $bb....bb$ 定義文は定義できません。

[英語]

Definition file: $aa....aa$, The $bb....bb$ definition sentence cannot be defined.

環境設定の定義ファイル中に、定義できない定義文があります。

$aa....aa$: 定義ファイル名

bb....bb : 定義文名

S :

処理を終了します。

○ :

環境設定の定義ファイル中の、 HA モニタの定義文以外の内容を削除してください。

KAMN158-E (E)

[日本語]

定義ファイル : *aa....aa bb....bb* 定義文が複数定義されています。

[英語]

Definition file:*aa....aa*, The *bb....bb* definition sentence is defined in several.

環境設定の定義ファイル中に、 同じ定義文が複数定義されています。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : 定義文名

S :

処理を終了します。

○ :

環境設定の定義ファイル中の、 重複している定義文を削除してください。

KAMN159-E (E)

[日本語]

定義ファイル : *aa....aa bb....bb* 定義文の *cc....cc* オペランドがありません。

[英語]

Definition file:*aa....aa*, There is not a *cc....cc* operand of the *bb....bb* definition sentence.

環境設定の定義ファイル中の定義文の中に、 必要なオペランドが定義されていません。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : 定義文名

cc....cc : オペランド名

S :

処理を終了します。

○ :

環境設定の定義ファイル中の定義文の中に、必要なオペランドを追加してください。

KAMN160-E (E)

[日本語]

定義ファイル : aa....aa 定義解析中に必要なメモリが不足しました。

[英語]

Definition file:aa....aa, A memory necessary in the definition analysis ran short.

定義解析処理用の作業領域の確保で、エラーが発生しました。

aa....aa : 定義ファイル名

S :

処理を終了します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

不要なプロセスを削除して、再実行してください。

KAMN161-E (E)

[日本語]

定義ファイル : aa....aa bb....bb 定義文がありません。

[英語]

Definition file:aa....aa, There is not a bb....bb definition sentence.

環境設定の定義ファイル中に、必要な定義文が定義されていません。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : 定義文名

S :

処理を終了します。

○：

環境設定の定義ファイル中に、必要な定義文を追加してください。

KAMN162-E (E)

[日本語]

定義ファイル : *aa....aa bb....bb* 定義文の *cc....cc* オペラントの指定値 *dd....dd* は範囲外です。

[英語]

Definition file:*aa....aa*, The *dd....dd* of the *cc....cc* operand of the *bb....bb* definition sentence is outside a range.

環境設定の定義ファイル中のオペラントの指定値が、範囲外です。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : 定義文名

cc....cc : オペラント名

dd....dd : オペラントの指定値

S :

処理を終了します。

○：

環境設定の定義ファイル中のオペラントの指定値を確認し、修正してください。

KAMN163-E (E)

[日本語]

定義ファイル : *aa....aa bb....bb* 定義文の *cc....cc* オペラントの指定内容が誤っています。

[英語]

Definition file:*aa....aa*, There is a mistake in contents specified as the *cc....cc* operand of the *bb....bb* definition sentence.

環境設定の定義ファイル内のオペラントの指定内容が誤っています。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : 定義文名

cc....cc : オペランド名

S :

処理を中止します。

○ :

環境設定の定義ファイル中の、エラーとなったオペランドの指定値を確認し、修正してください。

KAMN164-E

[日本語]

サーバ：(*aa....aa, aa....aa*) は、定義ファイル：*bb....bb* にグループ名：*cc....cc* でサーバグループとして指定がありますが、*dd....dd* オペランドの指定値が一致していません。

[英語]

The servers:(*aa....aa, aa....aa*) are specified as a server group with the group name:*cc....cc* in the definition file:*bb....bb*, but the specified value of the *dd....dd* operand is not in agreement.

定義ファイル名で示す定義ファイルで、サーバグループ定義を指定していますが、オペランド名で示すオペランドの指定値が一致していません。

aa....aa : サーバ識別名、またはリソースサーバ識別名

bb....bb : 定義ファイル名

cc....cc : グループ名

dd....dd : オペランド名

S :

処理を終了します。

○ :

定義ファイル名で示す定義ファイルのオペランド名で示すオペランドを、サーバグループで一致するように修正してください。

KAMN165-E (E)

[日本語]

定義ファイル：*aa....aa bb....bb* 定義文の *cc....cc* オペランドと *dd....dd* オペランドの指定値の個数が一致しません。

[英語]

Definition file:*aa....aa*, The number of the specification values of the *cc....cc* operand and the *dd....dd* operand of the *bb....bb* definition sentence does not agree.

環境設定の定義ファイル中の、オペランド間の指定値の個数が、一致していません。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : 定義文名

cc....cc : オペランド名

dd....dd : オペランド名

S :

処理を終了します。

O :

環境設定の定義ファイル中の、エラーとなった両方のオペランドの指定値の個数が一致するように修正してください。

KAMN166-W (S+L)

[日本語]

定義ファイル：*aa....aa bb....bb* 定義文に *cc....cc* オペランドを指定していないため、*dd....dd* オペランドを無視します。

[英語]

Definition file:*aa....aa*, Because *cc....cc* operand is not specified in the *bb....bb* definition sentence, the *dd....dd* operand is ignored.

HA モニタの定義内に必要なオペランドが指定されていないため、*dd....dd* オペランドの指定を無視します。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : 定義文名

cc....cc : オペランド名

dd....dd : オペランド名

S :

処理を続行します。

O :

環境設定の定義ファイル中に必要なオペランドを追加し、必要に応じて HA モニタを再起動してください。

KAMN169-E (E)

[日本語]

定義ファイル:sysdef function 定義文の `pathpatrol_retry` オペランドの指定内容が誤っています。再チェック間隔と再チェック回数の積が、監視パスのヘルスチェック間隔を超えてています。

[英語]

Definition file:sysdef, There is a mistake in contents specified as the `pathpatrol_retry` operand of the function definition sentence. The product of retry interval and retry times has exceeded the health check interval.

HA モニタの環境設定の `pathpatrol_retry` オペランドの指定内容が誤っています。`pathpatrol_retry` オペランドに指定した再チェック間隔と再チェック回数の積が、`pathpatrol` オペランドに指定した監視パスのヘルスチェック間隔を超えてています。

S :

処理を終了します。

○ :

HA モニタの環境設定の、`pathpatrol` オペランドおよび `pathpatrol_retry` オペランドの内容を修正してください。

KAMN170-W (E)

[日本語]

定義ファイル:connection の `aa....aa` 行の内容：`bb....bb` に誤りがあります。

[英語]

There are errors of contents:`bb....bb` for the `aa....aa` line of definition file:connection.

接続構成設定ファイルの内容に誤りがあります。

`aa....aa` : 誤りがある相対行番号

`bb....bb` : 誤りの内容

S :

誤りのあった情報から";"までの情報を無視し、処理を続行します。

○ :

接続構成設定ファイル中の誤りを訂正してください。また、誤りとなった情報中に指定してあったホストと接続していないおそれがあるため、サーバ・系の状態表示コマンド (`monshow` コマンド) を-c オプションを指定して実行し、接続を確認してください。接続していない場合は、HA モニタ間の手動接続コマンド (`monlink` コマンド) を実行して手動で接続してください。

KAMN172-W (E)

[日本語]

定義ファイル:sysdef の lan オペランドに指定されている指定値 :aa....aa が、 /etc/hosts ファイルに存在しません。

[英語]

The aa....aa of the lan operand of definition file:sysdef is not exist in the /etc/hosts file.

HA モニタの環境設定の lan オペランドに指定されている値が /etc/hosts ファイル内にないか、または lan オペランドに指定した値に誤りがあります。

aa....aa : 監視パス (TCP/IP LAN) のホスト名

S :

処理を続行します。ただし、誤りとなつた監視パスは使用できません。

○ :

HA モニタの環境設定の誤りを訂正し、 HA モニタを再起動してください。

KAMN173-W (E)

[日本語]

定義ファイル : sysdef の lanport オペランドに指定されている指定値 :aa....aa が、 /etc/services ファイルに存在しません。

[英語]

The aa....aa of the lanport operand of definition file:sysdef is not exist in the /etc/services file.

HA モニタの環境設定の lanport オペランドに指定されている値が /etc/services ファイル内にないか、または lanport オペランドに指定した値に誤りがあります。

aa....aa : 監視パス (TCP/IP LAN) のサービス名

S :

処理を続行します。ただし、誤りとなつた監視パスは使用できません。

○ :

HA モニタの環境設定の誤りを訂正し、 HA モニタを再起動してください。

KAMN174-W (E+L)

[日本語]

定義ファイル：sysdef の lan オペランドに指定されている指定値：*aa....aa* に対応する監視パスが使用できません。

[英語]

The *aa....aa* of the lan operand of definition file:sysdef cannot use as the Patrol Path.

HA モニタの環境設定の lan オペランドに指定されている、TCP/IP のホスト名に対応する監視パスが使用できません。次の要因が考えられます。

- ・ネットワークインターフェースが起動されていません。
- ・ブロードキャストできないネットワークを使用しています。
- ・/etc/hosts ファイルに指定した、 HA モニタ用監視パスの IP アドレスに誤りがあります。

aa....aa : 監視パス (TCP/IP LAN) のホスト名※

注※

HA モニタエージェントを使用した構成で、エージェントヘルスチェックに使用するパスの場合は、監視パス (TCP/IP LAN) のホスト名に「(agt)」が付加されます。

S :

指定を無視して処理を続行します。ただし、誤りとなった監視パスは使用できません。

○ :

ネットワークインターフェースを起動していない場合は、ネットワークインターフェースを起動したあと、 HA モニタを再起動してください。ブロードキャストが使えないネットワークを使用している場合は、使用を取りやめてください。また、/etc/hosts ファイルに指定した IP アドレスを見直してください。誤りがある場合は、修正後 HA モニタを再起動してください。

KAMN175-I

[日本語]

定義ファイル：connection を更新します。

[英語]

Definition file:connection is updated.

接続構成設定ファイルに指定されていないホストと接続したため、そのホストの情報を接続構成設定ファイルに追加指定します。

S :

接続構成設定ファイルを更新し、処理を続行します。

KAMN176-E

[日本語]

定義ファイル：connection に指定されているホスト :aa....aa と接続できません。

[英語]

It could not be connected with host:aa....aa specified as definition file:connection.

接続処理の限界になりましたが、接続構成設定ファイルに指定されているホストと接続できませんでした。次の要因が考えられます。

- ホストが稼働していません。
- 接続構成設定ファイルの内容に誤りがあります。
- 監視パスに異常があり、通信が失敗しました。

aa....aa : ホスト名

S :

接続できなかったホストを無視して処理を続行します。

○ :

ホストが起動しているのにこのメッセージが出力された場合は、接続構成設定ファイルの内容を確認してください。監視パスに TCP/IP LAN を使用している場合は、HA モニタの環境設定、/etc/hosts ファイル、および/etc/services ファイルの内容も確認してください。ファイルの内容に誤りがある場合は、修正後に HA モニタ間の手動接続コマンド（monlink コマンド）で HA モニタ間を接続してください。誤りがない場合は、ホスト間の通信異常が考えられます。

HA モニタ間の手動接続コマンド（monlink コマンド）を数回実行しても接続できない場合、監視パスの異常を取り除き、HA モニタを再起動してください。

KAMN177-E

[日本語]

TCP/IP のサービス名 :aa....aa のポート番号 :bb....bb は既に使用されているため、HA モニタの監視パスとして使用できません。

[英語]

Because it is already used, Port Number bb....bb of Service Name:aa....aa of TCP/IP cannot be used as a Patrol Path of the HAmonitor.

/etc/services ファイル内の、サービス名で示されるサービスのポート番号は、ほかのプロセスが使用しています。HA モニタの監視パスとしては使用できません。

aa....aa : 監視パス（TCP/IP LAN）のサービス名

bb....bb : 監視パス (TCP/IP LAN) のポート番号

S :

処理を続行します。ただし、誤りとなつた監視パスは使用できません。

○ :

システム上で HA モニタの監視パスのポート番号と同じ値を使用しているプロセスを終了させるか、またはポート番号を変更してから、HA モニタを再起動してください。

KAMN178-W

[日本語]

定義ファイル:connection の *aa....aa* 行目に指定されているホスト:*bb....bb* の指定値:*cc....cc* が誤っています。

[英語]

Value:*cc....cc* of host:*bb....bb* specified for the *aa....aa* line of definition file:connection is wrong.

接続構成設定ファイルに指定されているホストアドレス、または IP アドレスが、該当するホストの値と一致していません。

aa....aa : 接続構成設定ファイル中の相対行番号

bb....bb : ホスト名

cc....cc : ホストアドレス、または IP アドレス

S :

誤りを無視して処理を続行します。

○ :

接続構成設定ファイル中の誤りを修正してください。

KAMN179-E

[日本語]

IP アドレスに対応する TCP/IP のホスト名が取得できません。IP アドレス:*aa....aa*

[英語]

The TCP/IP host name for the IP address cannot be acquired. IP address:*aa....aa*

次の原因で、TCP/IP のホスト名の取得に失敗しました。

- プロセスの生成に失敗しました。

なお、監視パス状態表示コマンド（monpath コマンド）を-i オプションを指定して実行したときに TCP/IP のホスト名は表示されません。

aa....aa : IP アドレス

S :

処理を続行します。

O :

プロセスの生成に失敗した場合は、このメッセージの前に出力されるメッセージ KAMN601-W で原因を調査して、障害要因を取り除いてください。

KAMN180-I (S)(AIX)

[日本語]

他系の OS パニック検知機能を使用します。

[英語]

The function that detects Operating System panic of other systems is used.

他系の OS パニック検知機能を使用して HA モニタが動作します。

S :

処理を続行します。

KAMN180-I (S)(Linux(x86)および Linux(IPF))

[日本語]

他系の OS パニック検知機能を使用します。

[英語]

The function that detects Operating System panic of other systems is used.

他系の OS パニック検知機能を使用できるシステム環境です。

S :

処理を続行します。

KAMN181-I (S)

[日本語]

他系の OS パニック検知機能をハードウェアがサポートしていません。

[英語]

Hardware is not supporting the function that detects Operating System panic of other systems.

他系の OS パニック検知機能を使用しないで HA モニタが動作します。

S :

処理を続行します。

KAMN183-I (S)

[日本語]

他系の OS パニック検知機能を使用しません。

[英語]

The function that detects Operating System panic of other systems is not used.

他系の OS パニック検知機能を使用しないで HA モニタが動作します。

S :

処理を続行します。

KAMN184-E (E)

[日本語]

定義ファイル : aa....aa bb....bb 行目 cc....cc オペランドの指定値の指定数が最大値を超えてます。

[英語]

Definition file:aa....aa line bb....bb, The number of the values of the cc....cc operand is too much.

環境設定の定義ファイル中の、オペランドの指定値の指定数が、最大値を超えてます。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : 定義ファイル中の相対行番号

cc....cc : オペランド名

S :

処理を終了します。

○ :

環境設定の定義ファイル中の， オペランドの数を減らしてください。

KAMN185-E (E)

[日本語]

定義ファイル : *aa....aa bb....bb* 行目 *cc....cc* オペランドの指定値の指定数が足りません。

[英語]

Definition file:*aa....aa* line *bb....bb*, The number of the values of the *cc....cc* operand is not enough.

環境設定の定義ファイル中の， オペランドの指定値の指定数が， 最小値より小さくなっています。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : 定義ファイル中の相対行番号

cc....cc : オペランド名

S :

処理を終了します。

○ :

環境設定の定義ファイル中の， オペランドの数を増やしてください。

KAMN186-E (E)

[日本語]

定義ファイル : *aa....aa bb....bb* 行目 *cc....cc* オペランドの指定値 *dd....dd* が誤っています。

[英語]

Definition file:*aa....aa* line *bb....bb*, There is a mistake in contents:*dd....dd* as the *cc....cc* operand.

環境設定の定義ファイル中の， オペランドの指定値が誤っています。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : 定義ファイル中の相対行番号

cc....cc : オペランド名

dd....dd : オペランドの指定値

S :

処理を終了します。

○ :

環境設定の定義ファイル中の、オペランドの指定値を修正してください。

KAMN187-E (E+L)

[日本語]

定義ファイル：*aa....aa bb....bb* 行目 *cc....cc* オペランドの指定値の指定数が最大値を超えてます。

[英語]

Definition file:*aa....aa* line *bb....bb*, The number of the values of the *cc....cc* operand is too much.

環境設定の定義ファイル中の、オペランドの指定値の指定数が、最大値を超えてます。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : 定義ファイル中の相対行番号

cc....cc : オペランド名

S :

処理を終了します。

○ :

環境設定の定義ファイル中の、オペランドの数を減らしてください。

KAMN188-E (E+L)

[日本語]

定義ファイル：*aa....aa bb....bb* 行目 *cc....cc* オペランドの指定値の指定数が足りません。

[英語]

Definition file:*aa....aa* line *bb....bb*, The number of the values of the *cc....cc* operand is not enough.

環境設定の定義ファイル中の、オペランドの指定値の指定数が、最小値より小さくなっています。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : 定義ファイル中の相対行番号

cc....cc : オペランド名

S :

処理を終了します。

○ :

環境設定の定義ファイル中の、オペランドの数を増やしてください。

KAMN189-E (E+L)

[日本語]

定義ファイル：*aa....aa bb....bb* 行目 *cc....cc* オペランドの指定値 *dd....dd* が誤っています。

[英語]

Definition file:*aa....aa* line *bb....bb*, There is a mistake in contents:*dd....dd* as the *cc....cc* operand.

環境設定の定義ファイル中の、オペランドの指定値が誤っています。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : 定義ファイル中の相対行番号

cc....cc : オペランド名

dd....dd : オペランドの指定値

S :

処理を終了します。

○ :

環境設定の定義ファイル中の、オペランドの指定値を修正してください。

KAMN190-E (E+L)

[日本語]

LAN の状態設定ファイル：*aa....aa* がありません。

[英語]

There is not a LAN status setting file:*aa....aa*.

LAN の状態設定ファイル名で示す状態設定ファイルがありません。

aa....aa : LAN の状態設定ファイル名

S :

処理を終了します。

○ :

LAN の状態設定ファイル名で示す状態設定ファイルを作成し、 HA モニタまたはサーバを再起動してください。

KAMN191-E (E+L)

[日本語]

LAN の状態設定ファイル：*aa....aa* では、 LAN の状態が設定できません。 詳細コード：*bb....bb*

[英語]

The LAN status cannot be set the LAN status setting file:*aa....aa*. Error details:*bb....bb*.

LAN の状態設定ファイル名で示す状態設定ファイルでは、 LAN の状態が設定できません。

aa....aa : LAN の状態設定ファイル名

bb....bb : 詳細コード（システムコールの `errno` を設定）

S :

処理を終了します。

○ :

LAN の状態設定ファイル名で示す状態設定ファイルに実行権限が与えられているかどうかを確認してください。 実行権限がなければ、 OS の `chmod` コマンドで実行権限を与えて、 HA モニタまたはサーバを再起動してください。 実行権限がある場合は、 システム管理者に連絡してください。 OS の `chmod` コマンドについては、 対応する OS のマニュアルを参照してください。

対策：

詳細コードで示すシステムコールのエラー要因を取り除いてください。

KAMN192-E

[日本語]

LAN の状態設定ファイル：*aa....aa* がありません。

[英語]

There is not a LAN status setting file:*aa....aa*.

LAN の状態設定ファイル名で示す状態設定ファイルがありません。

aa....aa : LAN の状態設定ファイル名

S :

処理を続行します。

○ :

LAN の状態設定ファイル名で示す状態設定ファイルを作成し、必要に応じて LAN の状態を設定してください。

KAMN193-E

[日本語]

LAN の状態設定ファイル：*aa....aa* では、LAN の状態が設定できません。詳細コード：*bb....bb*

[英語]

The LAN status cannot be set the LAN status setting file:*aa....aa*. Error details:*bb....bb*.

LAN の状態設定ファイル名で示す状態設定ファイルでは、LAN の状態が設定できません。

aa....aa : LAN の状態設定ファイル名

bb....bb : 詳細コード（システムコールの `errno` を設定）

S :

処理を続行します。

○ :

LAN の状態設定ファイル名で示す状態設定ファイルに実行権限が与えられているかどうかを確認してください。実行権限がなければ、OS の `chmod` コマンドで実行権限を与えて、HA モニタまたはサーバを再起動してください。実行権限がある場合は、システム管理者に連絡してください。OS の `chmod` コマンドについては、対応する OS のマニュアルを参照してください。

対策：

詳細コードで示すシステムコールのエラー要因を取り除いてください。

KAMN194-W (E)

[日本語]

サーバ：(aa....aa,aa....aa,…) は、定義ファイル：servers にグループ名：bb....bb でグループサーバとして指定がある為、定義ファイル：servers_opt の exclusive_servers オペランドの指定がそのサーバ間においては無効になります。

[英語]

The servers:(aa....aa,aa....aa,…) invalidate specification of exclusive_servers operand of a definition file:servers_opt between the servers so that there is specification as bb....bb group server in the definition file:servers.

サーバ識別名で示すサーバは、サーバ対応の環境設定ではグループ化したサーバの一つとして指定されています。同一のグループに指定されているサーバ同士を排他サーバにできません。排他サーバの環境設定(servers_opt) の exclusive_servers オペランドの指定がそのサーバ間では無効になります。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : グループ名

S :

処理を続行します。

対策：

同一のグループのサーバ同士が排他サーバとならないように、定義を修正してください。

KAMN195-E (E)

[日本語]

定義ファイル：aa....aa bb....bb 行目 cc....cc オペランドは定義できません。

[英語]

Definition file:aa....aa, line bb....bb, The cc....cc operand cannot be defined.

環境設定の定義ファイル中の定義文の中に、指定できないオペランドがあります。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : 定義ファイル中の相対行番号

cc....cc : オペランド名

S :

処理を終了します。

○ :

環境設定の定義ファイル中の定義文の中の、指定できないオペランドを削除してください。

KAMN196-E (E)

[日本語]

定義ファイル : aa....aa bb....bb 行目 cc....cc オペランドの指定方法が誤っています。

[英語]

Definition file:aa....aa line bb....bb, The method of a definition of the cc....cc operand is incorrect.

環境設定の定義ファイル中の、オペランドの指定方法が誤っています。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : 定義ファイル中の相対行番号

cc....cc : オペランド名

S :

処理を終了します。

○ :

環境設定の定義ファイル中の、オペランドの指定を修正してください。

KAMN197-E (E+L)

[日本語]

定義ファイル : aa....aa bb....bb 行目 cc....cc オペランドは定義できません。

[英語]

Definition file:aa....aa, line bb....bb, The cc....cc operand cannot be defined.

環境設定の定義ファイル中の定義文の中に、指定できないオペランドがあります。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : 定義ファイル中の相対行番号

cc....cc : オペランド名

S :

処理を終了します。

○ :

環境設定の定義ファイル中の、定義文の中の指定できないオペランドを削除してください。

KAMN198-E (E+L)

[日本語]

定義ファイル : aa....aa bb....bb 行目 cc....cc オペランドの指定方法が誤っています。

[英語]

Definition file:aa....aa line bb....bb, The method of a definition of the cc....cc operand is incorrect.

環境設定の定義ファイル中の、オペランドの指定方法が誤っています。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : 定義ファイル中の相対行番号

cc....cc : オペランド名

S :

処理を終了します。

○ :

環境設定の定義ファイル中の、オペランドの指定を修正してください。

KAMN199-E (E)

[日本語]

サーバ : (aa....aa, aa....aa, ...) は、定義ファイル : servers にグループ名 : bb....bb でサーバグループとして指定がありますが、standbypri オペランドの指定値が一致していません。

[英語]

Although server: (aa....aa, aa....aa, ...) has specification in definition file:servers as a server group by group name:bb....bb, the specification value of a standbypri operand is not in agreement.

サーバ対応の環境設定で、サーバグループ定義を指定していますが、standbypri オペランドの指定値が一致していません。

aa....aa : サーバ識別名、またはリソースサーバ識別名

bb....bb : グループ名

S :

処理を終了します。

○：

サーバ対応の環境設定の standbypri オペランドを、サーバグループで一致するように修正してください。

2.3 KAMN200～KAMN299

KAMN201-I

[日本語]

ホスト：aa....aa の HA モニタと接続しました。

[英語]

It connected with HAmonitor of host:aa....aa.

ホスト名で示すホストの HA モニタと接続しました。

aa....aa : ホスト名

S :

処理を続行します。

KAMN202-E

[日本語]

ホスト：aa....aa との通信で異常が発生しました。開始応答が送信できません。

[英語]

A communication error with host:*aa....aa* occurred. Start answer cannot be sent.

ホスト名で示す他系の HA モニタへの開始応答送信時に、エラーが発生しました。

aa....aa : ホスト名

S :

ホスト名で示すホストからの開始連絡を無視します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策：

通信エラーの原因を取り除き、ホスト名で示すホストの HA モニタを再起動してください。

KAMN203-E

[日本語]

ホスト:aa....aaとの通信で異常が発生しました。起動不可応答が送信できません。

[英語]

A communication error with host:aa....aa occurred. Start impossibility answer cannot be sent.

ホスト名で示す他系の HA モニタへの起動不可応答送信時に、エラーが発生しました。

aa....aa : ホスト名

S :

ホスト名で示すホストからの開始連絡を無視します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

通信エラーの原因を取り除き、ホスト名で示すホストの HA モニタの環境設定の name オペランドおよび address オペランドを、他系の値と重複しないように修正して、HA モニタを再起動してください。
HA モニタの環境設定に誤りがなければ、時間をおいて HA モニタを再起動してください。

KAMN204-E

[日本語]

ホスト:aa....aa で自ホストの障害処理をしています。HA モニタを終了します。

[英語]

Obstacle processing of own host is being done on host:aa....aa. HAmonitor is terminated.

ホスト名で示すホストが障害処理を実行中のため、HA モニタを終了します。このメッセージの出力後、ホスト名で示すホストからシステムリセットされます。

aa....aa : ホスト名

S :

処理を終了します。

○ :

ホストの障害処理が終了したあと、HA モニタを再起動してください。

KAMN205-E

[日本語]

稼働中のホストと、ホスト名及びホストアドレスが重複しています。HA モニタを終了します。

[英語]

Host name and host address are duplicated with the processing host's. HA monitor is terminated.

HA モニタの環境設定のホスト名とホストアドレスが、現在稼働中の他系ホストと重複しています。

S :

処理を終了します。

O :

HA モニタの環境設定の `name` オペランドおよび `address` オペランドを、他系の値と重複しないように修正して、HA モニタを再起動してください。

KAMN206-E (E)

[日本語]

aa....aa コマンドで異常が発生しました。コマンド処理を中止します。

[英語]

An error occurred in command(*aa....aa*). Command cannot be executed.

コマンド（shell）と HA モニタの間で、通信エラーが発生しました。

aa....aa : コマンド名

S :

コマンド処理を中止します。

O :

コマンドを再実行してください。再実行しても通信エラーが発生する場合は、システム管理者に連絡してください。なお、出力されたコマンド名が `monswap` の場合、系切り替え中にサーバ（TP1 または HiRDB）が異常終了して、このメッセージが表示されることがあります。サーバの系切り替えができる場合は、このメッセージを無視してください。

対策：

このメッセージの前に出力されるエラーメッセージを基に、原因を調査してください。

KAMN207-E

[日本語]

起動ホスト数が制限を超えるました。HA モニタを終了します。

[英語]

The number of connected hosts exceeded upper limit. HA monitor is terminated.

他系の HA モニタに開始連絡を送信しましたが、自系の起動によって起動ホスト数の最大値を超えるため、開始が受け付けられませんでした。

S :

自系の HA モニタを終了します。

○ :

システムの構成を再検討してください。

KAMN208-E

[日本語]

稼働中のホストとホスト名が重複しています。HA モニタを終了します。

[英語]

Host name is duplicated with the processing host's. HA monitor is terminated.

他系の HA モニタに開始連絡を送信しましたが、送信先のホストとホスト名が重複しているため、開始が受け付けられませんでした。

S :

自系の HA モニタを終了します。

○ :

HA モニタの環境設定を確認して、ホスト名がシステム内で固有のものになるように修正してください。

KAMN209-E

[日本語]

稼働中のホスト :aa....aa とホストアドレスが重複しています。HA モニタを終了します。

[英語]

Host address is duplicated with host:aa....aa's. HA monitor is terminated.

他系の HA モニタに開始連絡を送信しましたが、送信先のホストとホストアドレスが重複しているため、開始が受け付けられませんでした。

aa....aa : ホスト名

S :

自系の HA モニタを終了します。

○：

HA モニタの環境設定を確認して、ホストアドレスがシステム内で固有のものになるように修正してください。

KAMN210-I

[日本語]

ホスト : *aa....aa* の HA モニタが終了しました。

[英語]

HA monitor of host:*aa....aa* is terminated.

ホスト名で示すホストの HA モニタが終了しました。

aa....aa : ホスト名

S :

処理を続行します。

KAMN211-I (S)

[日本語]

待機サーバ : *aa....aa* は正常終了しました。

[英語]

Standby server:*aa....aa* was terminated normally.

サーバ識別名で示す待機サーバが正常終了しました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN212-E (E)

[日本語]

実行サーバ : *aa....aa* は計画停止しました。

ホスト(*bb....bb*)との通信で異常が発生したため、系切り替えできません。

[英語]

Online server:*aa....aa* was stopped by plan. Because an error occurs in communication with host(*bb....bb*), Hotstandby cannot be done.

サーバの系切り替えコマンド（`monswap` コマンド）で実行サーバを計画停止しましたが、ホスト名で示すホストとの通信で障害が発生したため、系切り替えはできません。ホスト名で示すホスト上で HA モニタと待機サーバが正常に動作している場合は、そのホストからシステムリセットされます。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : ホスト名

S :

処理を終了します。

○ :

HA モニタと待機サーバが動作している場合は、待機サーバを正常終了させたあと、相手ホスト上で実行サーバを再開始するか、相手ホストが自系ホストの通信障害を検出して系切り替えをするのを待ってください。

ホスト名で示すホスト上で HA モニタが動作していない場合は、自系ホスト上で実行サーバを再起動してください。また、システム管理者に連絡してください。

対策 :

通信障害の原因を調査してください。

KAMN213-I (S)(AIX)

[日本語]

Own host name : *aa....aa*

Own servers Pair servers

Alias Status Status Host name

bb....bb cc....cc dd....dd ee....ee

[英語]

Own host name : *aa....aa*

Own servers Pair servers

Alias Status Status Host name

bb....bb cc....cc dd....dd ee....ee

サーバ・系の状態表示コマンド（`monshow` コマンド）で出力されるサーバの状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : サーバ識別名

cc....cc : 自系サーバの状態

dd....dd : 相手系サーバの状態

ee....ee : 相手系のホスト名

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(AIX)

[日本語]

Own host name : *aa....aa*

Group name : *bb....bb*

Alias : *cc....cc* Status : *dd....dd*

[英語]

Own host name : *aa....aa*

Group name : *bb....bb*

Alias : *cc....cc* Status : *dd....dd*

サーバグループの状態表示時に出力されるサーバの状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : サーバグループのグループ名

cc....cc : サーバ識別名

dd....dd : サーバの状態

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(AIX)

[日本語]

Own host name : *aa....aa*

Server : *bb....bb*

*** DISK information ***

-NAME-----
cc....cc
dd....dd
on_opt="ee....ee"
ff....ff
*** LA information ***
-NAME-----
gg....gg
*** Line Switch information ***
-NAME-----id---port---
hh....hh ii....ii jj....jj
*** File system information ***
-NAME-----
kk....kk
mount dir=*ll....ll*
mount opt=*mm....mm*
*** HABST information ***
-NAME-----
nn....nn
[英語]
Own host name : *aa....aa*
Server : *bb....bb*
*** DISK information ***
-NAME-----
cc....cc
dd....dd
on_opt="ee....ee"
ff....ff
*** LA information ***
-NAME-----
gg....gg
*** Line Switch information ***
-NAME-----id---port---
hh....hh ii....ii jj....jj
*** File system information ***
-NAME-----

```
kk....kk  
mount dir=ll....ll  
mount opt=mm....mm  
*** HABST information ***  
-NAME-----  
nn....nn
```

共有リソース情報の表示時に出力されるサーバの状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : サーバ識別名

cc....cc : ボリュームグループのスペシャルファイル名

dd....dd : 共有リソースの接続失敗時にサーバの起動を中止する機能を使用するかどうか

neck : 共有リソースの接続失敗時にサーバの起動を中止する機能を使用する

表示なし : 共有リソースの接続失敗時にサーバの起動を中止する機能を使用しない

ee....ee : ボリュームグループのオンライン化時のオプション

ff....ff : 強制 varyon 機能を使用するかどうか

forced varyon : 強制 varyon 機能を使用する

表示なし : 強制 varyon 機能を使用しない

gg....gg : LA 名

hh....hh : 回線切替装置のスペシャルファイル名

ii....ii : 回線切替装置の装置 ID

jj....jj : 回線切替装置の入力ポート

kk....kk : ファイルシステムのスペシャルファイル名

ll....ll : マウント先ディレクトリ名

mm....mm : OS の `mount` コマンドのオプション

nn....nn : 制御グループ ID

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(AIX)

[日本語]

Own host name : *aa....aa*
Own servers Pair servers
Alias Status pri Status pri Host name
bb....bb cc....cc dd....dd ee....ee ff....ff gg....gg

[英語]

Own host name : *aa....aa*
Own servers Pair servers
Alias Status pri Status pri Host name
bb....bb cc....cc dd....dd ee....ee ff....ff gg....gg

マルチスタンバイ機能使用時の、サーバの優先度表示時に出力されるサーバの状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : サーバ識別名

cc....cc : 自系サーバの状態

dd....dd : 自系サーバの優先度 (1~4 衍)

ee....ee : 相手系サーバの状態

ff....ff : 相手系サーバの優先度 (1~4 衍)

gg....gg : 相手系のホスト名

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(AIX)

[日本語]

Own host name : *aa....aa*
Alias Patrol time
bb....bb cc....cc

[英語]

Own host name : *aa....aa*
Alias Patrol time

bb....bb cc....cc

サーバ障害監視時間の表示時に出力されるサーバの状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : サーバ識別名

cc....cc : サーバ障害監視時間 (1~3 枠)

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(AIX)

[日本語]

Own host name : *aa....aa*

Host name Function Status

bb....bb cc....cc dd....dd

[英語]

Own host name : *aa....aa*

Host name Function Status

bb....bb cc....cc dd....dd

システムディスクの監視状態の表示時に出力される監視の状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : 自系のホスト名

cc....cc : 機能 (オペランド)

dd....dd : 監視状態

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(AIX)

[日本語]

Own host name : *aa....aa*

Alias Function Status

bb....bb cc....cc dd....dd

[英語]

Own host name : *aa....aa*

Alias Function Status

bb....bb cc....cc dd....dd

モニタモードのサーバの監視状態および業務ディスクの監視状態の表示時に出力される監視の状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : サーバ識別名

cc....cc : 機能 (オペランド)

dd....dd : 監視状態

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(HP-UX(PA-RISC))

[日本語]

Own host name : *aa....aa*

Own servers Pair servers

Alias Status Status Host name

bb....bb cc....cc dd....dd ee....ee

[英語]

Own host name : *aa....aa*

Own servers Pair servers

Alias Status Status Host name

bb....bb cc....cc dd....dd ee....ee

サーバ・系の状態表示コマンド (`monshow` コマンド) で出力されるサーバの状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : サーバ識別名

cc....cc : 自系サーバの状態

dd....dd : 相手系サーバの状態

ee....ee : 相手系のホスト名

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(HP-UX(PA-RISC))

[日本語]

Own host name : *aa....aa*

Group name : *bb....bb*

Alias : *cc....cc* Status : *dd....dd*

[英語]

Own host name : *aa....aa*

Group name : *bb....bb*

Alias : *cc....cc* Status : *dd....dd*

サーバグループの状態表示時に出力されるサーバの状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : サーバグループのグループ名

cc....cc : サーバ識別名

dd....dd : サーバの状態

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(HP-UX(PA-RISC))

[日本語]

Own host name : *aa....aa*

Server : *bb....bb*

*** DISK information ***

-NAME-----

cc....cc

```

 $dd....dd$ 
on_opt="ee....ee"
*** PORT information ***
-NAME-----
 $ff....ff$ 
*** Line Switch information ***
-NAME-----id---port---
 $gg....gg hh....hh ii....ii$ 
*** File system information ***
-NAME-----
 $jj....jj$ 
mount dir=kk....kk
mount opt=ll....ll
[英語]
Own host name : aa....aa
Server : bb....bb
*** DISK information ***
-NAME-----
 $cc....cc$ 
 $dd....dd$ 
on_opt="ee....ee"
*** PORT information ***
-NAME-----
 $ff....ff$ 
*** Line Switch information ***
-NAME-----id---port---
 $gg....gg hh....hh ii....ii$ 
*** File system information ***
-NAME-----
 $jj....jj$ 
mount dir=kk....kk
mount opt=ll....ll

```

共有リソース情報の表示時に出力されるサーバの状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : サーバ識別名

cc....cc : ボリュームグループのスペシャルファイル名

dd....dd : 共有リソースの接続失敗時にサーバの起動を中止する機能を使用するかどうか

neck : 共有リソースの接続失敗時にサーバの起動を中止する機能を使用する

表示なし : 共有リソースの接続失敗時にサーバの起動を中止する機能を使用しない

ee....ee : ボリュームグループのオンライン化時のオプション

ff....ff : 回線切替装置のスペシャルファイル名

gg....gg : 回線切替装置のスペシャルファイル名

hh....hh : 回線切替装置の装置 ID

ii....ii : 回線切替装置の入力ポート

jj....jj : ファイルシステムのスペシャルファイル名

kk....kk : マウント先ディレクトリ名

ll....ll : OS の `mount` コマンドのオプション

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(HP-UX(PA-RISC))

[日本語]

Own host name : *aa....aa*

Own servers Pair servers

Alias Status pri Status pri Host name

bb....bb cc....cc dd....dd ee....ee ff....ff gg....gg

[英語]

Own host name : *aa....aa*

Own servers Pair servers

Alias Status pri Status pri Host name

bb....bb cc....cc dd....dd ee....ee ff....ff gg....gg

マルチスタンバイ機能使用時の、サーバの優先度表示時に出力されるサーバの状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : サーバ識別名

cc....cc : 自系サーバの状態

dd....dd : 自系サーバの優先度 (1~4 枠)

ee....ee : 相手系サーバの状態

ff....ff : 相手系サーバの優先度 (1~4 枠)

gg....gg : 相手系のホスト名

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(HP-UX(IPF))

[日本語]

Own host name : *aa....aa*

Own servers Pair servers

Alias Status Status Host name

bb....bb cc....cc dd....dd ee....ee

[英語]

Own host name : *aa....aa*

Own servers Pair servers

Alias Status Status Host name

bb....bb cc....cc dd....dd ee....ee

サーバ・系の状態表示コマンド (`monshow` コマンド) で出力されるサーバの状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : サーバ識別名

cc....cc : 自系サーバの状態

dd....dd : 相手系サーバの状態

ee....ee : 相手系のホスト名

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(HP-UX(IPF))

[日本語]

Own host name : *aa....aa*
Group name : *bb....bb*
Alias : *cc....cc* Status : *dd....dd*

[英語]

Own host name : *aa....aa*
Group name : *bb....bb*
Alias : *cc....cc* Status : *dd....dd*

サーバグループの状態表示時に出力されるサーバの状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : サーバグループのグループ名

cc....cc : サーバ識別名

dd....dd : サーバの状態

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(HP-UX(IPF))

[日本語]

Own host name : *aa....aa*
Server : *bb....bb*
*** DISK information ***
-NAME-----
cc....cc
dd....dd
on_opt="*ee....ee*"
*** File system information ***
-NAME-----
ff....ff
mount dir=*gg....gg*
mount opt=*hh....hh*

[英語]

```
Own host name : aa....aa
Server : bb....bb
*** DISK information ***
-NAME-----
cc....cc
dd....dd
on_opt="ee....ee"
*** File system information ***
-NAME-----
ff....ff
mount dir=gg....gg
mount opt=hh....hh
```

共有リソース情報の表示時に出力されるサーバの状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : サーバ識別名

cc....cc : ボリュームグループのスペシャルファイル名

dd....dd : 共有リソースの接続失敗時にサーバの起動を中止する機能を使用するかどうか

neck : 共有リソースの接続失敗時にサーバの起動を中止する機能を使用する

表示なし : 共有リソースの接続失敗時にサーバの起動を中止する機能を使用しない

ee....ee : ボリュームグループのオンライン化時のオプション

ff....ff : ファイルシステムのスペシャルファイル名

gg....gg : マウント先ディレクトリ名

hh....hh : OS の `mount` コマンドのオプション

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(HP-UX(IPF))

[日本語]

```
Own host name : aa....aa
Own servers Pair servers
Alias Status pri Status pri Host name
bb....bb cc....cc dd....dd ee....ee ff....ff gg....gg
[英語]
Own host name : aa....aa
Own servers Pair servers
Alias Status pri Status pri Host name
bb....bb cc....cc dd....dd ee....ee ff....ff gg....gg
```

マルチスタンバイ機能使用時の、サーバの優先度表示時に出力されるサーバの状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : サーバ識別名

cc....cc : 自系サーバの状態

dd....dd : 自系サーバの優先度 (1~4 枠)

ee....ee : 相手系サーバの状態

ff....ff : 相手系サーバの優先度 (1~4 枠)

gg....gg : 相手系のホスト名

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(HP-UX(IPF))

[日本語]

```
Own host name : aa....aa
Alias Patrol time
bb....bb cc....cc
```

[英語]

```
Own host name : aa....aa
Alias Patrol time
bb....bb cc....cc
```

サーバ障害監視時間の表示時に出力されるサーバの状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : サーバ識別名

cc....cc : サーバ障害監視時間 (1~3 枠)

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(Linux(x86))

[日本語]

Own host name : *aa....aa*

Own servers Pair servers

Alias Status Status Host name

bb....bb cc....cc dd....dd ee....ee

[英語]

Own host name : *aa....aa*

Own servers Pair servers

Alias Status Status Host name

bb....bb cc....cc dd....dd ee....ee

サーバ・系の状態表示コマンド (`monshow` コマンド) で出力されるサーバの状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : サーバ識別名

cc....cc : 自系サーバの状態

dd....dd : 相手系サーバの状態

ee....ee : 相手系のホスト名

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(Linux(x86))

[日本語]

Own host name : *aa....aa*

```
Group name : bb....bb
Alias : cc....cc Status : dd....dd
[英語]
Own host name : aa....aa
Group name : bb....bb
Alias : cc....cc Status : dd....dd
```

サーバグループの状態表示時に出力されるサーバの状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : サーバグループのグループ名

cc....cc : サーバ識別名

dd....dd : サーバの状態

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(Linux(x86))

[日本語]

```
Own host name : aa....aa
Server : bb....bb
*** DISK information ***
-NAME-----
cc....cc
dd....dd
on_opt="ee....ee"
*** File system information ***
-NAME-----
ff....ff
mount dir=gg....gg
mount opt=hh....hh
*** HABST information ***
-NAME-----
ii....ii
[英語]
```

```
Own host name : aa....aa
Server : bb....bb
*** DISK information ***
-NAME-----
cc....cc
dd....dd
on_opt="ee....ee"
*** File system information ***
-NAME-----
ff....ff
mount dir=gg....gg
mount opt=hh....hh
*** HABST information ***
-NAME-----
ii....ii
```

共有リソース情報の表示時に出力されるサーバの状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : サーバ識別名

cc....cc : ボリュームグループのスペシャルファイル名

dd....dd : 共有リソースの接続失敗時にサーバの起動を中止する機能を使用するかどうか

neck : 共有リソースの接続失敗時にサーバの起動を中止する機能を使用する

表示なし : 共有リソースの接続失敗時にサーバの起動を中止する機能を使用しない

ee....ee : ボリュームグループのオンライン化時のオプション

ff....ff : ファイルシステムのスペシャルファイル名

gg....gg : マウント先ディレクトリ名

hh....hh : OS の `mount` コマンドのオプション

ii....ii : 制御グループ ID

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(Linux(x86))

[日本語]

Own host name : *aa....aa*
Own servers Pair servers
Alias Status pri Status pri Host name
bb....bb cc....cc dd....dd ee....ee ff....ff gg....gg

[英語]

Own host name : *aa....aa*
Own servers Pair servers
Alias Status pri Status pri Host name
bb....bb cc....cc dd....dd ee....ee ff....ff gg....gg

マルチスタンバイ機能使用時の、サーバの優先度表示時に出力されるサーバの状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : サーバ識別名

cc....cc : 自系サーバの状態

dd....dd : 自系サーバの優先度 (1~4 衍)

ee....ee : 相手系サーバの状態

ff....ff : 相手系サーバの優先度 (1~4 衍)

gg....gg : 相手系のホスト名

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(Linux(x86))

[日本語]

Own host name : *aa....aa*
Alias Patrol time
bb....bb cc....cc

[英語]

Own host name : *aa....aa*
Alias Patrol time

bb....bb cc....cc

サーバ障害監視時間の表示時に出力されるサーバの状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : サーバ識別名

cc....cc : サーバ障害監視時間 (1~3 枠)

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(Linux(x86))

[日本語]

Own host name : *aa....aa*

Host name Function Status

bb....bb cc....cc dd....dd

[英語]

Own host name : *aa....aa*

Host name Function Status

bb....bb cc....cc dd....dd

システムディスクの監視状態の表示時に出力される監視の状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : 自系のホスト名

cc....cc : 機能 (オペランド)

dd....dd : 監視状態

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(Linux(x86))

[日本語]

Own host name : *aa....aa*

Alias Function Status

bb....bb cc....cc dd....dd

[英語]

Own host name : *aa....aa*

Alias Function Status

bb....bb cc....cc dd....dd

モニタモードのサーバの監視状態、および業務ディスクの監視状態の表示時に出力される監視の状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : サーバ識別名

cc....cc : 機能 (オペランド)

dd....dd : 監視状態

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(Linux(IPF))

[日本語]

Own host name : *aa....aa*

Own servers Pair servers

Alias Status Status Host name

bb....bb cc....cc dd....dd ee....ee

[英語]

Own host name : *aa....aa*

Own servers Pair servers

Alias Status Status Host name

bb....bb cc....cc dd....dd ee....ee

サーバ・系の状態表示コマンド (`monshow` コマンド) で出力されるサーバの状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : サーバ識別名

cc....cc : 自系サーバの状態

dd....dd : 相手系サーバの状態

ee....ee : 相手系のホスト名

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(Linux(IPF))

[日本語]

Own host name : *aa....aa*

Group name : *bb....bb*

Alias : *cc....cc* Status : *dd....dd*

[英語]

Own host name : *aa....aa*

Group name : *bb....bb*

Alias : *cc....cc* Status : *dd....dd*

サーバグループの状態表示時に出力されるサーバの状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : サーバグループのグループ名

cc....cc : サーバ識別名

dd....dd : サーバの状態

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(Linux(IPF))

[日本語]

Own host name : *aa....aa*

Server : *bb....bb*

*** DISK information ***

-NAME-----

cc....cc

```

dd....dd
on_opt="ee....ee"
*** File system information ***
-NAME-----
ff....ff
mount dir=gg....gg
mount opt=hh....hh
*** HABST information ***
-NAME-----
ii....ii
[英語]
Own host name : aa....aa
Server : bb....bb
*** DISK information ***
-NAME-----
cc....cc
dd....dd
on_opt="ee....ee"
*** File system information ***
-NAME-----
ff....ff
mount dir=gg....gg
mount opt=hh....hh
*** HABST information ***
-NAME-----
ii....ii

```

共有リソース情報の表示時に出力されるサーバの状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : サーバ識別名

cc....cc : ボリュームグループのスペシャルファイル名

dd....dd : 共有リソースの接続失敗時にサーバの起動を中止する機能を使用するかどうか

neck : 共有リソースの接続失敗時にサーバの起動を中止する機能を使用する

表示なし : 共有リソースの接続失敗時にサーバの起動を中止する機能を使用しない

ee....ee : ボリュームグループのオンライン化時のオプション

ff....ff : ファイルシステムのスペシャルファイル名

gg....gg : マウント先ディレクトリ名

hh....hh : OS の `mount` コマンドのオプション

ii....ii : 制御グループ ID

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(Linux(IPF))

[日本語]

Own host name : *aa....aa*

Own servers Pair servers

Alias Status pri Status pri Host name

bb....bb cc....cc dd....dd ee....ee ff....ff gg....gg

[英語]

Own host name : *aa....aa*

Own servers Pair servers

Alias Status pri Status pri Host name

bb....bb cc....cc dd....dd ee....ee ff....ff gg....gg

マルチスタンバイ機能使用時の、サーバの優先度表示時に出力されるサーバの状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : サーバ識別名

cc....cc : 自系サーバの状態

dd....dd : 自系サーバの優先度 (1~4 衍)

ee....ee : 相手系サーバの状態

ff....ff : 相手系サーバの優先度 (1~4 衍)

gg....gg : 相手系のホスト名

S :

処理を続行します。

KAMN213-I (S)(Linux(IPF))

[日本語]

Own host name : aa....aa

Alias Patrol time

bb....bb cc....cc

[英語]

Own host name : aa....aa

Alias Patrol time

bb....bb cc....cc

サーバ障害監視時間の表示時に出力されるサーバの状態リストを示します。

aa....aa : 自系のホスト名

bb....bb : サーバ識別名

cc....cc : サーバ障害監視時間 (1~3 枠)

S :

処理を続行します。

KAMN214-I (S)

[日本語]

使用方法 : monswap サーバ識別名

monswap -g グループ名

monswap -f サーバ識別名

monswap -f -g グループ名

[英語]

Usage:monswap alias

monswap -g group

monswap -f alias

monswap -f -g group

サーバの系切り替えコマンド（`monswap` コマンド）の実行形式が誤っているとき、メッセージ KAMN021-E、または KAMN327-E に続いて出力されます。

S :

処理を続行します。

KAMN215-E (E)

[日本語]

実行サーバ：`aa....aa` は実行中ではありません。`bb....bb` コマンドは実行できません。

[英語]

Online server:`aa....aa` is not processing. Command(`bb....bb`) cannot be executed.

コマンドが実行されましたが、指定されたサーバは実行サーバとして起動完了状態ではありません。

`aa....aa` : サーバ識別名

`bb....bb` : コマンド名

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

サーバ識別名と実行サーバの状態を確認し、コマンドを再実行してください。

KAMN216-E (E)

[日本語]

系切り替えのできる待機サーバ(`aa....aa`)がありません。

`monswap` コマンドは実行できません。

[英語]

Standby server:`aa....aa` that Hotstandby can be able does not exist.

Command(`monswap`) cannot be executed.

サーバの系切り替えコマンド（`monswap` コマンド）で計画系切り替えが実行されましたが、指定されたサーバには系切り替えのできる待機サーバがありません。または待機サーバが待機完了状態ではありません。

`aa....aa` : サーバ識別名

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

サーバ識別名と待機サーバの状態を確認し、コマンドを再実行してください。

KAMN217-I (S)

[日本語]

実行サーバ : aa....aa は計画停止しました。

待機サーバに系切り替えします。

[英語]

Online server:aa....aa was stopped by plan.

Standby server is done into Hotstandby.

サーバの系切り替えコマンド（`monswap` コマンド）によって、実行サーバの計画停止を完了しました。待機サーバに系切り替えをします。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN219-I (S)

[日本語]

使用方法：`monact` サーバ識別名

[英語]

Usage:`monact alias`

待ち状態のサーバ起動コマンド（`monact` コマンド）の実行形式が誤っているとき、メッセージ KAMN021-E、または KAMN327-E に続いて出力されます。

S :

処理を続行します。

KAMN220-E

[日本語]

定義ファイル : aa....aa name オペランドと alias オペランドが示すサーバの定義は、ホスト(bb....bb)のサーバの定義と一致しません。

[英語]

Definition file:aa....aa, The definition of server that the name operand and the alias operand shows does not correspond with the definition of the server of host(bb....bb).

サーバ識別名、またはプログラム名のどちらかが一致していません。サーバを異常終了します。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : ホスト名

S :

サーバの起動処理を終了します。

○ :

環境設定の定義ファイルを修正し、サーバを再起動してください。

KAMN221-E (E)

[日本語]

サーバ : aa....aa は実行サーバです。

bb....bb コマンドは実行できません。

[英語]

Server:aa....aa is Online server.

Command(bb....bb) cannot be executed.

コマンドが実行されましたが、指定されたサーバが実行サーバであるため、実行できません。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : コマンド名

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

サーバ識別名と実行サーバの起動種別、状態を確認し、コマンドを再実行してください。

KAMN222-I

[日本語]

実行サーバ : aa....aa が既に起動されています。

[英語]

Online server:aa....aa is already started.

サーバ識別名で示すサーバは、すでに起動されています。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を終了します。

O :

サーバ対応の環境設定を修正し、サーバを再起動してください。

KAMN225-I

[日本語]

サーバ : aa....aa を実行サーバとして起動します。

[英語]

Server:aa....aa is started as Online server.

サーバ識別名で示すサーバを、実行サーバとして起動します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN226-I

[日本語]

サーバ : aa....aa を待機サーバとして起動します。

実行サーバは bb....bb が示すホスト上にあります。

[英語]

Server:aa....aa is started as Standby server.

Online server is on host(bb....bb).

サーバ識別名で示すサーバを、待機サーバとして起動します。待機サーバに対する実行サーバはホスト名で示すホスト上にあります。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : ホスト名

S :

処理を続行します。

KAMN227-E (E)

[日本語]

待機サーバ：*aa....aa* は起動待ち状態ではありません。

`monact` コマンドは実行できません。

[英語]

Standby server:*aa....aa* is not starting wait state.

Command(`monact`) cannot be executed.

待ち状態のサーバ起動コマンド（`monact` コマンド）が実行されましたが、サーバ識別名で示すサーバは起動中、または待機中です。

aa....aa : サーバ識別名

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

サーバ識別名と待機サーバの起動種別、状態を確認し、コマンドを再実行してください。

KAMN229-E

[日本語]

定義ファイル：*aa....aa alias* オペランド(*bb....bb*)が示すサーバは既にあるため、起動を中止します。

[英語]

Definition file:*aa....aa*, The server specified the alias operand(*bb....bb*) stops an activation, because it already exists.

サーバ対応の環境設定で、定義されているサーバ識別名と同じサーバ識別名を持つサーバがあります。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : サーバ識別名

S :

処理を終了します。

○ :

環境設定の定義ファイルを修正し、サーバを再起動してください。

KAMN230-E

[日本語]

サーバ：*aa....aa* の *bb....bb* がオンラインにできません。

[英語]

bb....bb of server:*aa....aa* cannot be made ONLINE.

サーバ識別名で示すサーバのデバイスがオンライン状態になりません。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : デバイス名称

S :

処理を続行します。

○ :

必要に応じてデバイスをオンライン状態にしてください。

KAMN232-E

[日本語]

サーバ：*aa....aa* の *bb....bb* がスタンバイにできません。

[英語]

bb....bb of server:*aa....aa* cannot be made STANDBY.

サーバ識別名で示すサーバのデバイスがスタンバイ状態なりません。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : デバイス名称

S :

処理を続行します。

○ :

必要に応じてデバイスをスタンバイ状態にしてください。

KAMN233-E

[日本語]

サーバ : aa....aa の bb....bb が接続できません。

[英語]

bb....bb of server:aa....aa cannot be connected.

サーバ識別名で示すサーバのデバイスが接続できません。接続しないで処理を続行します。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : デバイス名称

S :

処理を続行します。

○ :

必要に応じてデバイスを接続してください。

対策 :

エラーの原因を調査してください。デバイス名称がファイルシステム名称の場合、/opt/hitachi/Hamon/spool/サーバ識別名.fslog ファイルに取得された切り替え時のログを参考に、エラーの原因を調査してください。

KAMN234-E

[日本語]

サーバ : aa....aa の bb....bb が切り離しきれません。

[英語]

bb....bb of server:aa....aa cannot be disconnected.

サーバ識別名で示すサーバの、デバイスの切り離しができません。接続したまま処理を続行します。レプリケーションソフト (DRBD) を使用している場合、待機サーバ起動時に、タイミングによってこのメッセージが出力されることがあります。この場合は、問題ないため対処不要です。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : デバイス名称

S :

処理を続行します。

○ :

必要に応じてデバイスの切り離しをしてください。特にファイルシステムを使用している場合は、リソースが破壊されるおそれがあるため、必ず切り離しをしてください。

対策 :

エラーの原因を調査してください。デバイス名称がファイルシステム名称の場合は、*/opt/hitachi/Hamon/spool/サーバ識別名.fslog* ファイルに取得された切り替え時のログを確認してください。デバイス名称がボリュームグループ名の場合は、*/opt/hitachi/Hamon/spool/ボリュームグループ名.vglog* ファイルに取得された、接続時のログを確認してください。

KAMN235-I

[日本語]

サーバ：*aa....aa* を系切り替え待ち状態にしました。

[英語]

The state of Server:*aa....aa* changed to the Hotstandby wait state.

サーバ識別名で示す待機系のサーバを、実行系の障害を検知時に、LAN インタフェースの状態チェックを行うため、系切り替え待ち状態にしました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN236-I (S)

[日本語]

起動待ち状態の待機サーバ：*aa....aa* を実行サーバとして起動します。

[英語]

Standby server:*aa....aa* of starting wait state is started as Online server.

サーバ識別名で示す待機サーバの強制起動処理を完了しました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN237-E

[日本語]

aa....aa のサーバの処理を中止します。

[英語]

The processing about the server under *aa....aa* is stopped.

サーバ定義解析処理でエラーが発生しました。プログラム名で示すサーバについては処理しません。

aa....aa : プログラム名

S :

処理を終了します。

○ :

このメッセージの前にメッセージ KAMN601-W が output されている場合は、そのメッセージで示されるシステムコールのエラー要因を取り除き、サーバを再起動してください。メッセージ KAMN601-W が output されていない場合は、定義チェックコマンド (moncheck コマンド) を実行してエラーを確認してからサーバ対応の環境設定を修正し、サーバを再起動してください。

KAMN238-D

[日本語]

待機サーバ：*aa....aa* は起動待ち状態です。

[英語]

Standby server:*aa....aa* is starting wait state.

実行サーバが起動していないため、サーバ識別名で示す待機サーバは実行サーバの起動待ち状態です。

このメッセージは、ユーザへの状態通知を目的として一定間隔で出力します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○：

次のどちらかを実施してください。

- 実行サーバを起動する。
- 他系で実行サーバが稼働していないことを必ず確認したあと※，待ち状態のサーバ起動コマンド（`monact` コマンド）を実行する。

注※ 確認しないで待ち状態のサーバ起動コマンド（`monact` コマンド）を実行すると，他系で実行サーバが稼働していた場合に二つの実行サーバが稼働するため，共有リソースが破壊されるおそれがあります。

KAMN239-I

[日本語]

サーバ：`aa....aa` のデバイス処理で，`bb....bb` コマンドが`cc....cc` 回実行されました。

[英語]

The `bb....bb` command was processed `cc....cc` times by device processing of server:`aa....aa`.

サーバ識別名で示すサーバのデバイス処理で，コマンド名で示すコマンドが実行回数で示す回数だけ実行されました。

`aa....aa`：サーバ識別名

`bb....bb`：コマンド名

`cc....cc`：実行回数

S：

処理を続行します。

対策：

コマンドが必要な回数だけ実行されなかった場合は，その原因を調査し，デバイスを必要な状態にしてください。

KAMN241-I

[日本語]

サーバ：`aa....aa` を待機サーバとして起動完了しました。

[英語]

Server:`aa....aa` was completed as Standby server.

サーバ識別名で示す待機サーバの起動が完了しました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN242-D (E+L)

[日本語]

自ホスト：*aa....aa* の HA モニタは異常終了した後の再起動です。実行サーバ：*bb....bb* は他ホストで起動している可能性があります。起動種別を待機サーバに変更し起動待ち状態にしました。

[英語]

After stopping abnormally, HAmonitor of an own host:*aa....aa* is a restart. Online server:*bb....bb* has the possibility that is starting in other hosts. The initial state was changed to Standby server, and it was made a start wait state.

HA モニタが、異常終了したあとに再起動されました。実行サーバが他系ホストで起動しているおそれがあるため、サーバ識別名で示すサーバの起動種別を待機サーバに変更し起動待ち状態にしました。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○ :

HA モニタが異常終了した原因を調査してください。他系で実行サーバが稼働していないことを必ず確認したあと※、実行サーバの起動待ち状態になっているサーバを、待ち状態のサーバ起動コマンド（*monact* コマンド）で実行サーバとして起動させるか、HA モニタを正常終了させてください。

注※ 確認しないで待ち状態のサーバ起動コマンド（*monact* コマンド）を実行すると、他系で実行サーバが稼働していた場合に二つの実行サーバが稼働するため、共有リソースが破壊されるおそれがあります。

KAMN243-D (E+L)

[日本語]

自ホスト：*aa....aa* でシステムリセットができないか、又は異常終了したサーバがあります。実行サーバ：*bb....bb* は他ホストで起動している可能性があります。起動種別を待機サーバに変更し起動待ち状態にしました。

[英語]

There is a fail of system reset or the Server who stops abnormally in the own host:*aa....aa*. Online server:*bb....bb* has the possibility that is starting in other hosts. The initial state was changed to Standby server, and it was made a start wait state.

自系ホストでシステムリセットができないか、または異常終了したサーバがあります。実行サーバが他系ホストで起動しているおそれがあるため、サーバ識別名で示すサーバの起動種別を待機サーバに変更し、実行サーバの起動待ち状態にしました。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○ :

サーバが異常終了した原因を調査してください。他系で実行サーバが稼働していないことを必ず確認したあと※、起動待ち状態になっているサーバを待ち状態のサーバ起動コマンド（`monact` コマンド）で実行サーバとして起動させるか、HA モニタを正常終了させてください。

注※ 確認しないで待ち状態のサーバ起動コマンド（`monact` コマンド）を実行すると、二つの実行サーバが稼働するため、共有リソースが破壊されるおそれがあります。

KAMN244-D (E+L)

[日本語]

自ホスト：*aa....aa* は他ホストとの通信で異常が発生しました。実行サーバ：*bb....bb* は他ホストで起動している可能性があります。起動種別を待機サーバに変更し起動待ち状態にしました。

[英語]

Own host:*aa....aa* had abnormality in communication with other hosts. Online server:*bb....bb* has the possibility that is starting in other hosts. The initial state was changed to Standby server, and it was made a start wait state.

他系ホストとの通信に異常が発生しました。実行サーバが他系ホストで起動しているおそれがあるため、サーバ識別名で示すサーバの起動種別を待機サーバに変更し起動待ち状態にしました。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○：

通信に異常が発生した原因を調査し、実行サーバの起動待ち状態になっているサーバを、待ち状態のサーバ起動コマンド（monact コマンド）で実行サーバとして起動させるか、待ち状態のサーバ停止コマンド（mondeact コマンド）で停止させてください。

KAMN245-E

[日本語]

待機サーバ：aa....aa が複数起動されています。

[英語]

Standby server:aa....aa is started in several.

サーバ識別名で示す待機サーバが、複数起動されています。

aa....aa : サーバ識別名

S：

処理を終了します。

○：

サーバ対応の環境設定を修正し、サーバを再起動してください。

KAMN246-W

[日本語]

ホスト：aa....aa の HA モニタと接続しました。

自ホストの HA モニタとバージョンが違います。

[英語]

It connected with HA monitor of host:aa....aa.

The version of HA monitor of each host is different.

ホスト名で示すホストの HA モニタと接続しましたが、自系ホストの HA モニタとバージョンが異なっています。

aa....aa : ホスト名

S：

処理を続行します。

対策：

バージョンの異なる HA モニタ同士で接続した場合は、誤っているバージョンの HA モニタを停止し、正しいバージョンの HA モニタをインストールし直してから再起動してください。なお、意図的に異なるバージョン同士で接続している場合は問題ありません。

KAMN249-E (E+L)

[日本語]

ホスト：*aa....aa* と自ホストの HA モニタのバージョンが違います。
処理を中止します。

[英語]

The version of HAmonitor of host:*aa....aa* and own host is different.
Processing is stopped.

ホスト名で示すホストと自ホストとで、 HA モニタのバージョンが異なります。

aa....aa : ホスト名

S :

処理を中止します。

○ :

各ホストの HA モニタのバージョンを確認してください。

KAMN251-I

[日本語]

サーバ：*aa....aa* を実行サーバとして起動完了しました。

[英語]

Server:*aa....aa* was completed as Online server.

サーバ識別名で示す実行サーバの起動が完了しました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN252-I

[日本語]

サーバ : *aa....aa* は、系切り替えできる状態になりました。

[英語]

Server:*aa....aa*, Hotstandby was enabled.

他系のサーバは、系切り替えができる状態になりました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN253-E (E+L)

[日本語]

実行サーバ : *aa....aa* は、ホスト : *bb....bb* とで重複しています。サーバで使用しているリソースが破壊されている恐れがあるため、実行サーバを早急に終了させてください。

[英語]

Online server:*aa....aa* duplicates in host:*bb....bb*. Make an Online server end immediately so that there is a fear of breaking a resource used in the server.

接続したホストで、サーバ識別名で示すサーバが稼働しています。サーバで使用していたリソースが破壊されているおそれがあります。早急に実行サーバを終了させ、リソースの状態を確認してください。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : ホスト名

S :

実行サーバが終了するまで、30秒に1回このメッセージを出力します。

O :

実行サーバを終了させ、システム管理者に連絡してください。

対策 :

実行サーバで使用していたリソースの状態を調査し、確認後にサーバを再起動してください。

KAMN254-I

[日本語]

サーバ : aa....aa を実行サーバとして再起動完了しました。

[英語]

Server:aa....aa restart completed as Online server.

サーバ識別名で示す実行サーバの再起動が完了しました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN255-D

[日本語]

実行サーバ : aa....aa を再起動待ち状態にしました。

[英語]

Server:aa....aa was made a restart wait state.

サーバ識別名で示す実行サーバを再起動待ち状態にしました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○ :

実行サーバを起動してください。または、再起動待ち状態の実行サーバをサーバの系切り替えコマンド (`monswap` コマンド) で計画系切り替えをするか、待ち状態のサーバ停止コマンド (`mondeact` コマンド) で停止してください。

KAMN256-I (S)

[日本語]

LAN adaptor status

Pair Interface Status

aa....aa bb....bb cc....cc

dd....dd ee....ee

[英語]

LAN adaptor status

Pair Interface Status

aa....aa bb....bb cc....cc

dd....dd ee....ee

サーバ・系の状態表示コマンド (`monshow` コマンド) に `-l` オプションを指定した場合に表示される二重化された LAN アダプタの情報です。

aa....aa : 定義された LAN アダプタペア (`lanX-lanY`)

bb....bb : 現用として使用する LAN アダプタ名

cc....cc : 現用として使用する LAN アダプタの稼働状態

dd....dd : 予備として使用する LAN アダプタ名

ee....ee : 予備として使用する LAN アダプタの稼働状態

LAN アダプタの稼働状態には次の情報を表示します。

OK : 該当する LAN アダプタが正常であることを示します。

NG : 該当する LAN アダプタが異常であることを示します。

* : 該当する LAN アダプタが現在、現用として動作していることを示します。* が表示されていない他方の LAN アダプタは予備として待機状態であることを示します。

S :

処理を続行します。

KAMN257-I

[日本語]

サーバ : *aa....aa* の停止要求を受け付けました。

[英語]

The stop request of the server:*aa....aa* was accepted.

サーバ識別名で示すサーバの停止処理を開始します。また、対応する待機サーバの停止処理も開始します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

実行サーバおよび対応する待機サーバの停止を行います。

KAMN258-D

[日本語]

実行サーバ : aa....aa は再起動待ち状態です。

[英語]

Online server:aa....aa is restart wait state.

サーバ識別名で示す実行サーバは再起動待ち状態です。

このメッセージは、ユーザへの状態通知を目的として、一定間隔で出力されます。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○ :

実行サーバを起動してください。または、再起動待ち状態の実行サーバをサーバの系切り替えコマンド (monswap コマンド) で計画系切り替えをするか、待ち状態のサーバ停止コマンド (mondeact コマンド) でサーバを停止してください。

KAMN259-I

[日本語]

サーバ : aa....aa の系切り替えが完了しました。ホスト : bb....bb

[英語]

Server:aa....aa, Hotstandby was completed. Host:bb....bb

サーバ識別名で示すサーバが、ホスト名で示すホストに系切り替え処理が完了しました。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : ホスト名

S :

処理を続行します。

KAMN260-I

[日本語]

サーバ:aa....aa の監視を開始します。

[英語]

Patrol of server:aa....aa is started.

HA モニタがサーバ識別名で示すサーバの障害監視を開始します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN261-I

[日本語]

サーバ:aa....aa の監視を終了します。

[英語]

Patrol of server:aa....aa is ended.

HA モニタがサーバ識別名で示すサーバの障害監視を終了します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN262-E

[日本語]

プログラム:aa....aa のスローダウンを検知しました。プログラムを異常終了させます。プロセス ID:bb....bb

[英語]

Slowdown of program:aa....aa was detected. The program is made to stop abnormally. Process ID:bb....bb.

プログラム識別名で示すプログラムの監視中、稼働報告が送られてこなくなったため、スローダウンしていると判断し、プログラムを異常終了させます。

aa....aa : プログラム識別名

bb....bb : スローダウンしたプログラムのプロセス ID

S :

設定に従って再起動します。設定した再起動回数を超える場合は、実行サーバが系切り替えできる状態であれば切り替えをします。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

プログラムがスローダウンした原因を取り除いてください。

KAMN263-E

[日本語]

プログラム : aa....aa が異常終了しました。プロセス ID : bb....bb

[英語]

Program:aa....aa stopped abnormally. Process ID:bb....bb.

プログラム識別名で示すプログラムに障害が発生しました。

aa....aa : プログラム識別名

bb....bb : 異常終了したプログラムのプロセス ID

S :

設定に従って再起動します。設定した再起動回数を超える場合は、実行サーバが系切り替えできる状態であれば系切り替えをします。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

プログラムが異常終了した原因を取り除いてください。

KAMN264-I

[日本語]

プログラム : aa....aa を再起動します。

[英語]

Program:aa....aa is restarted.

プログラム識別名で示すプログラムを再起動します。

aa....aa : プログラム識別名

S :

処理を続行します。

KAMN265-W (E+L)

[日本語]

自ホスト：*aa....aa* の HA モニタは異常終了した後の再起動です。

[英語]

After stopping abnormally, HAmonitor of an own host:*aa....aa* is a restart.

自ホストの HA モニタが、異常終了したあとに再起動されました。

aa....aa : ホスト名

S :

処理を続行します。

○ :

HA モニタが異常終了したあと、ホストを再起動していない場合は、ホストを再起動してください。特にファイルシステムを使用している場合は、リソースが破壊されるおそれがあるため、必ず再起動してください。

KAMN266-I

[日本語]

プログラムの異常を検知しました。サーバ：*aa....aa* の系切り替えを開始します。

[英語]

Server:*aa....aa*, Hotstandby is started. Because an error of program was detected.

サーバ識別名で示すサーバが管理するプログラムの障害を検知したため、サーバの系切り替えを実行します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN267-W

[日本語]

プログラム : *aa....aa* のスローダウンを検知しましたが、実行サーバ : *bb....bb* には待機サーバがないため動作監視を続けます。プロセス ID : *cc....cc*

[英語]

Slowdown of program: *aa....aa* was detected. Patrol of Online server:*bb....bb* is continued, because there is not Standby server. Process ID:*cc....cc*.

プログラム識別名で示すプログラムの監視中、稼働報告が送られてこなくなったため、スローダウンしていると判断しましたが、サーバ識別名で示すサーバの待機サーバが起動していないため、状態監視を続行します。

aa....aa : プログラム識別名

bb....bb : サーバ識別名

cc....cc : スローダウンしたプログラムのプロセス ID

S :

状態監視を続行します。実行サーバに対応する待機サーバの起動完了後、系切り替えをします。

O :

実行サーバに対応する待機サーバが、他系のホスト上で起動されていなければ、待機サーバを起動してください。

対策 :

実行サーバの系切り替え完了後、プログラムがスローダウンした原因を調査してください。

KAMN268-E

[日本語]

プログラム : *aa....aa* の異常を検知しましたが、サーバ : *bb....bb* には待機サーバがないため系切り替えは行いません。プロセス ID : *cc....cc*

[英語]

An error of program:*aa....aa* was detected, but server:*bb....bb* exchange of system will not start because Standby server is not ready. Process ID:*cc....cc*.

プログラム識別名で示すプログラムの障害を検知しましたが、サーバ識別名で示すサーバの待機サーバが起動していないため、系切り替えを中止しました。

aa....aa : プログラム識別名

bb....bb : サーバ識別名

cc....cc : 異常終了したプログラムのプロセス ID

S :

処理を続行します。

○ :

待機サーバを起動し、必要に応じて手動で計画系切り替えをするか、実行サーバまたは障害となったプログラムを再起動してください。

KAMN269-E (E)

[日本語]

プログラム : *aa....aa* がありません。

[英語]

Program:*aa....aa* does not exist in system.

コマンドオプションで指定されたプログラムが稼働していません。

aa....aa : プログラム識別名

S :

処理を終了します。

○ :

プログラム識別名を確認し、コマンドを再実行してください。

KAMN270-W

[日本語]

サーバ : *aa....aa* の監視コマンドの起動に失敗しました。サーバの監視は行われません。

[英語]

Patrol command of server:*aa....aa* execution was failed. Patrol of server will not be executed.

実行サーバの場合、サーバ対応の環境設定の `patrolcommand` オペランド、または `ptrlcmd_ex` オペランドに指定したサーバ監視コマンドの起動ができなかったため、サーバを監視できません。

待機サーバの場合、サーバ対応の環境設定の `sby_ptrlcmd_ex` オペランドに指定したサーバ監視コマンドの起動ができなかったため、サーバを監視できません。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○ :

指定したサーバ監視コマンドが実行できるかどうかを確認してください。

KAMN271-I

[日本語]

サーバ : aa....aa の監視コマンドの起動が完了しました。

[英語]

Patrol command of server:aa....aa is started.

モニタモードのサーバの監視コマンドの起動が正常に終了しました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN272-E

[日本語]

サーバ : aa....aa の監視コマンドによりサーバの異常を検知しました。計画系切り替えを開始します。

[英語]

An error of Online server:aa....aa was detected by patrol command. A planned exchange of system is started.

モニタモードのサーバの監視コマンドでサーバの異常を検知したため、計画系切り替えを実行します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

待機サーバに系切り替えをします。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

サーバの異常の原因を調査し、サーバを再起動してください。モニタモードのサーバの監視機能 (servers の ptrlcmd_ex オペランドを指定) を使用している場合、/opt/hitachi/Hamon/spool/

`ptrlcmd_ex/サーバ識別名_ptrlcmdlog` ファイルに取得された監視コマンドの実行ログを参考に、サーバの異常の原因を調査してください。

なお、サーバ起動後、すぐにこのエラーメッセージが出力されて異常を検知する場合は、設定誤りのおそれがあります。次の設定を確認してください。

- HA モニタから利用するシェルの改行コードが OS に準拠しているか。
- HA モニタから利用するシェルの構文やパスなどの設定値が正しいか。

KAMN273-E (E+L)

[日本語]

aa....aa のサーバの起動に失敗しました。

原因コード：*bb....bb* 詳細コード：*cc....cc*

[英語]

Server *aa....aa* is terminated with an error.

reason:*bb....bb* details:*cc....cc*

実行サーバの場合、サーバ対応の環境設定の `waitserv_exec` オペランドに `yes` を指定しているとき、モニタモードのサーバの起動コマンド (`monbegin` コマンド)、またはサーバの異常終了時の再起動でサーバの起動に失敗しました。

待機サーバの場合、モニタモードのサーバの起動コマンド (`monbegin` コマンド)、またはサーバの異常終了時の再起動でサーバの起動に失敗しました。

aa....aa : プログラム名

bb....bb : 原因コード (HA モニタ固有、1~2 桁)

原因コード	意味
1	サーバの起動コマンド実行時のシステムコールエラー
2	サーバの起動コマンドのエラー
3	サーバの停止コマンド実行時のシステムコールエラー
4	サーバの停止コマンドのエラー

cc....cc : 詳細コード

原因コード	詳細コード	意味
1 または 3 の場合	<code>errno</code> の値	システムコールの <code>errno</code> の値を表示します。
2 または 4 の場合	126	プログラムファイルに実行権限がありません。

原因コード	詳細コード	意味
	127	プログラム本体がありません。
	そのほかの場合	サーバの起動コマンドまたはサーバの停止コマンドの戻り値を表示します。

S :

実行サーバの場合、環境設定と状況によって実行サーバが系切り替えするか、再起動するか、または未起動の状態となります。

待機サーバの場合、環境設定と状況によって待機サーバが停止するか、または再起動します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

原因コード別に、次の処置をしてください。必要に応じ、実行サーバまたは待機サーバを再起動してください。

原因コード	処置
1 または 3	システムコールのエラー要因を取り除いてください。
2 または 4	サーバの起動コマンドまたはサーバの停止コマンドが実行できるかどうかを確認してください。 実行できる場合は、出力されている原因コードのエラーの原因を取り除いてください。実行できない場合は、コマンドを修正してください。

KAMN274-I

[日本語]

aa....aa のサーバを再起動しました。

[英語]

Server *aa....aa* is normally restarted.

サーバ対応の環境設定の `servexec_retry` オペランドを指定しているとき、プログラムの異常を検出したため、プログラムを再起動しました。

または、サーバ対応の環境設定の `sby_servexec_retry` オペランドを指定しているとき、待機系で異常を検出したため、待機サーバを再起動しました。

aa....aa : プログラム名

S :

処理を続行します。

KAMN275-E

[日本語]

サーバ:aa....aa の監視コマンドによりサーバの異常を検知しました。サーバの再起動を行います。

[英語]

An error of Online server:aa....aa was detected by patrol command, Server is now restarting.

サーバ対応の環境設定の `servexec_retry` オペランドを指定しているとき、プログラムの異常を検出したため、プログラムを再起動します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

O :

サーバが異常終了した原因を取り除いてください。

対策 :

サーバの異常の原因を調査してください。モニタモードのサーバの監視機能 (servers の `ptrlcmd_ex` オペランドを指定) を使用している場合、`/opt/hitachi/Hamon/spool/ptrlcmd_ex/サーバ識別名_ptrlcmdlog` ファイルに取得された監視コマンドの実行ログを参考に、サーバの異常の原因を調査してください。

なお、サーバ起動後、すぐにこのエラーメッセージが出力されて異常を検知する場合は、設定誤りのおそれがあります。次の設定を確認してください。

- HA モニタから利用するシェルの改行コードが OS に準拠しているか。
- HA モニタから利用するシェルの構文やパスなどの設定値が正しいか。

KAMN276-E

[日本語]

サーバ:aa....aa の監視コマンドによりサーバの異常を検知しましたが、待機サーバがないため系切り替えは行いません。

[英語]

An error of Online server:aa....aa was detected by patrol command, but exchange of system will not start because Standby server is not ready.

次の原因のどれかに該当し、系切り替えをしようとしたが、待機サーバがないため、系切り替えを中止しました。

- サーバ対応の環境設定の `servexec_retry` オペランドに `0` を指定しているとき、プログラムの異常を検知しました。
- サーバ対応の環境設定の `switch_error` オペランドに `retry` を指定しているとき、プログラムの異常を検知しました。
- サーバ対応の環境設定の `servexec_retry` オペランドに `0` 以外を指定しているとき、プログラムの再起動限界に達しました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

環境設定と状況によって実行サーバが再起動するか、または未起動の状態となります。

○ :

実行サーバが実行処理中の状態の場合、待機サーバを起動し、必要に応じて手動で計画系切り替えをしてください。

実行サーバが未起動の状態の場合、サーバを再起動してください。

対策 :

サーバの異常の原因を調査してください。モニタモードのサーバの監視機能 (`servers` の `ptrlcmd_ex` オペランドを指定) を使用している場合、`/opt/hitachi/Hamon/spool/ptrlcmd_ex/サーバ識別名_ptrlcmlod` ファイルに取得された監視コマンドの実行ログを参考に、サーバの異常の原因を調査してください。

なお、サーバ起動後、すぐにこのエラーメッセージが出力されて異常を検知する場合は、設定誤りのおそれがあります。次の設定を確認してください。

- HA モニタから利用するシェルの改行コードが OS に準拠しているか。
- HA モニタから利用するシェルの構文やパスなどの設定値が正しいか。

KAMN277-E

[日本語]

aa....aa のサーバの停止に失敗しました。原因コード : *bb....bb* 詳細コード : *cc....cc*

[英語]

Stopping of server *aa....aa* failed. reason:*bb....bb*, details:*cc....cc*

サーバの停止コマンドが `0` 以外で終了、またはサーバの停止コマンドの実行に失敗しました。

aa....aa : プログラム名（サーバの停止コマンド）

bb....bb : 原因コード

cc....cc : 詳細コード

原因コードと詳細コードの意味を次に示します。

原因コード	詳細コード	意味
4	0	サーバの停止コマンドが実行できませんでした。
	そのほかの場合	実行したサーバの停止コマンドのリターンコードを表示します。

S :

処理を続行します。

○ :

サーバが停止していない場合は、サーバの停止コマンドを手動で実行するなどで、サーバを停止してください。

KAMN278-I

[日本語]

実行サーバ : aa....aa の停止処理が完了しました。 詳細コード : bb....bb

[英語]

Server aa....aa was successfully stopped. details:bb....bb

実行サーバの停止処理が完了しましたが、サーバの停止コマンドが正常終了しませんでした。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : 詳細コード

詳細コードの意味を次に示します。

詳細コード	意味
0	サーバの停止コマンドが実行できませんでした。
そのほかの場合	実行したサーバの停止コマンドのリターンコードを表示します。

S :

処理を終了します。

○ :

サーバが停止していない場合は、サーバの停止コマンドを手動で実行するなどで、サーバを停止してください。

KAMN280-I

[日本語]

実行サーバ:aa....aa は正常終了しました。

[英語]

Online server:aa....aa was terminated normally.

サーバ識別名で示す実行サーバは正常終了しました。

aa....aa : サーバ識別名

S:

処理を続行します。

KAMN281-I

[日本語]

待機サーバ:aa....aa は正常終了しました。

[英語]

Standby server:aa....aa was terminated normally.

サーバ識別名で示す待機サーバは正常終了しました。

aa....aa : サーバ識別名

S:

処理を続行します。

KAMN282-E

[日本語]

現在の設定では aa....aa コマンドに bb....bb オプションは指定できません。 詳細コード:cc....cc

[英語]

With the current settings, the bb....bb option cannot be specified for the command aa....aa.
details:cc....cc

コマンド名で示すコマンドに指定されたオプションは、現在の設定では指定できません。

aa....aa : コマンド名

bb....bb : オプション

cc....cc : 詳細コード

コマンド名、オプション、および詳細コードの意味を次に示します。

コマンド名	オプション	詳細コード	意味
monbegin	-w	1	指定したサーバ識別名のサーバ対応の環境設定の <code>waitserv_exec</code> オペランドに <code>yes</code> が指定されていません。
monchange	-m patrol	3	HA モニタエージェントと接続した HA モニタでは、 <code>-m patrol</code> を指定した <code>monchange</code> コマンドを実行できません。

S :

処理を終了します。

○ :

設定または指定するオプションを見直し、コマンドを再実行してください。

KAMN283-W

[日本語]

プログラム：*aa....aa* の監視方法が定義と一致していません。指定したシグナル番号：*bb....bb* プロセス ID：*cc....cc*

[英語]

Program:*aa....aa*, the patrol method is not corresponding to the definition. Signal:*bb....bb*
Process ID:*cc....cc*.

プログラム識別名で示す UAP は、次のどちらかの原因で `hamon_patrolstart` 関数で指定している監視方法と定義が一致しないため、稼働報告の監視を行いません。

- `hamon_patrolstart` 関数の `signum` 引数に 0 以外（稼働報告の監視を指定）を指定したが、モニタモードのプログラム対応の環境設定の `patrol` オペランドを指定していない。
- `hamon_patrolstart` 関数の `signum` 引数に 0（プロセスの監視を指定）を指定したが、モニタモードのプログラム対応の環境設定の `patrol` オペランドを指定している。

aa....aa : プログラム識別名

bb....bb : `hamon_patrolstart` 関数に指定したシグナル番号

cc....cc : `hamon_patrolstart` 関数を発行した UAP のプロセス ID

S :

UAP のプロセスを監視します。UAP の稼働報告は監視しません。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

UAP の稼働報告の監視が必要な場合は、`hamon_patrolstart` 関数にシグナル番号を指定してサーバを再起動してください。または、モニタモードのプログラム対応の環境設定の `patrol` オペランドを指定して UAP を再起動してください。

KAMN284-I

[日本語]

プログラム : *aa....aa* の監視を開始します。指定したシグナル番号 : *bb....bb* プロセス ID : *cc....cc*

[英語]

Patrol of program:*aa....aa* is started. Signal:*bb....bb* Process ID:*cc....cc*.

HA モニタが、プログラム識別名で示すプログラムの監視を開始します。

aa....aa : プログラム識別名

bb....bb : `hamon_patrolstart` 関数に指定したシグナル番号

cc....cc : HA モニタが監視を開始するプログラムのプロセス ID

S :

処理を続行します。

KAMN285-E

[日本語]

プログラム : *aa....aa* の起動に失敗しました。

原因コード : *bb....bb* 詳細コード : *cc....cc*

[英語]

Program:*aa....aa* is terminated with an error.

Reason:*bb....bb* Details:*cc....cc*

プログラム識別名で示すプログラムの起動、または再起動に失敗しました。

aa....aa : プログラム識別名

bb....bb : 原因コード (HA モニタ固有, 1~2 桁)

cc....cc : 詳細コード

原因コードと詳細コードの意味を次に示します。

原因コード	詳細コード	意味
1	1	タイムアウト時間内に、プログラムの再起動コマンドが完了しませんでした。
	2	タイムアウト時間内に UAP が <code>hamon_patrolstart</code> 関数を発行しました。
	3	タイムアウト時間内にプログラムの再起動コマンドが未完了で、かつ UAP が <code>hamon_patrolstart</code> 関数を発行しました。
2	126	<code>restartcommand</code> オペランドに指定したファイルに実行権限がありません。
	127	<code>restartcommand</code> オペランドに指定したファイルがありません。
	256	プログラムの再起動コマンド実行時のシステムコールエラーが発生しました。
	そのほかの場合	プログラムの再起動コマンドの戻り値を表示します。

S :

原因コードが 1 の場合は、サーバの起動コマンドを停止し、設定に従って再起動します。設定した再起動回数を超える場合は、実行サーバが系切り替えできる状態であれば系切り替えをします。

原因コードが 2 の場合は、処理を中止します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

原因コード別に、次の処置をしてください。

原因コード	処置
1	プログラムの再起動コマンドがリターンしない原因、およびプログラムが <code>hamon_patrolstart</code> 関数を発行しない原因を調査し、原因を取り除いてください。必要に応じて手動で計画系切り替えをするか、実行サーバまたは障害となったプログラムを再起動してください。
2	プログラムの再起動コマンドが実行できるかどうかを確認してください。実行できる場合は、出力されている原因コードのエラーの原因を取り除いてください。実行できない場合は、コマンドを修正してください。必要に応じて手動で計画系切り替えをするか、実行サーバまたは障害となったプログラムを再起動してください。

KAMN286-I

[日本語]

ホスト : *aa....aa* の監視を開始します。

[英語]

Patrol of host:*aa....aa* is started.

ホスト名で示すホストの監視を開始します。

aa....aa : ホスト名

S :

処理を続行します。

KAMN287-I

[日本語]

ホスト : *aa....aa* の監視を終了します。

[英語]

Patrol of host:*aa....aa* is ended.

ホスト名で示すホストの監視を終了します。

aa....aa : ホスト名

S :

処理を続行します。

KAMN288-W

[日本語]

実行サーバ : *aa....aa* は系切り替え可能状態ではありません。

[英語]

The online server:*aa....aa* is not in a hot standby state.

サーバ識別名で示す実行サーバは系切り替え可能状態でないため、系切り替えができません。このメッセージは、ユーザへの状態通知を目的として、一定間隔で出力されます。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○：

待機サーバを起動してください。

KAMN290-I

[日本語]

実行サーバ：aa....aa は計画停止しました。

[英語]

Online server:aa....aa was stopped by plan.

サーバ識別名で示す実行サーバは計画停止しました。

aa....aa : サーバ識別名

S：

処理を続行します。

KAMN291-W

[日本語]

サーバ：aa....aa のボリュームグループ：bb....bb の切り離しをスキップしました。

[英語]

Disconnection of the volume group:bb....bb of the server:aa....aa was skipped.

サーバ識別名で示すサーバのボリュームグループの切り離し処理をスキップしました。接続したまま処理を続行します。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : ボリュームグループ名

S：

処理を続行します。

○：

必要に応じてデバイスの切り離しをしてください。

対策：

このメッセージの前に出力されるメッセージ KAMN234-E で示されるシステムコールのエラー要因を取り除いてください。デバイス名称がファイルシステム名称の場合は、/opt/hitachi/Hamon/spool/サーバ識別名.felog ファイルに取得された切り替え時のログを確認してください。デバイス名称がボリューム

ムグループ名の場合は、/opt/hitachi/Hamon/spool/ボリュームグループ名.vglog ファイルに取得された、接続時のログを確認してください。

KAMN292-E(AIX および Linux(x86))

[日本語]

サーバ：aa....aa の起動コマンドがタイムアウトしました。

[英語]

Processing of a start command of server:aa....aa carried out the timeout.

サーバ識別名で示すサーバの起動コマンドがタイムアウトしました。

実行サーバの場合、サーバの起動コマンド（name、または actcommand）を停止してサーバの起動を中止します。

待機サーバの場合、サーバの起動コマンド（sby_actcommand）を停止してサーバの起動を中止します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を中止します。

○ :

サーバの起動コマンドが完了しなかった原因を取り除き、サーバを再起動してください。

KAMN293-E (AIX)

[日本語]

サーバ：aa....aa の停止コマンドがタイムアウトしました。

[英語]

Processing of a end command of server:aa....aa carried out the timeout.

サーバ識別名で示すサーバの停止コマンドがタイムアウトしました。

実行サーバの場合、サーバの停止コマンド（name、または termcommand）を停止しサーバの停止処理を続行します。

待機サーバの場合、サーバの停止コマンド（sby_termcommand）を停止してサーバの停止処理を続行します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○ :

サーバの停止コマンドが完了しなかった原因を取り除いてください。

KAMN293-E(Linux(x86))

[日本語]

サーバ : aa....aa の停止コマンドがタイムアウトしました。

[英語]

Processing of a end command of server:aa....aa carried out the timeout.

サーバ識別名で示すサーバの停止コマンドがタイムアウトしました。

実行サーバの場合、サーバの停止コマンド（name、または termcommand）および監視中の UAP を停止しサーバの停止処理を続行します。

待機サーバの場合、サーバの停止コマンド（sby_termcommand）を停止してサーバの停止処理を続行します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○ :

サーバの停止コマンドが完了しなかった原因を取り除いてください。

KAMN294-I

[日本語]

プログラム : aa....aa の監視を終了します。プロセス ID : bb....bb

[英語]

Patrol of program:aa....aa is ended. Process ID:bb....bb.

HA モニタが、プログラム識別名で示すプログラムの監視を終了します。

aa....aa : プログラム識別名

bb....bb : HA モニタが監視を終了するプログラムのプロセス ID

S :

処理を続行します。

KAMN295-I

[日本語]

プログラム :aa....aa の障害によって、サーバ :bb....bb を再起動します。

[英語]

Program:aa....aa is abnormally. Server:bb....bb is restarted.

プログラム識別名で示すプログラムの障害を検知しました。モニタモードのプログラム対応の環境設定の restartcommand オペランドが指定されていないため、サーバ識別名で示すサーバを再起動します。

aa....aa : プログラム識別名

bb....bb : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN296-I

[日本語]

サーバ :aa....aa を実行サーバとして起動リトライ中にしました。詳細コード :bb....bb

[英語]

An attempt was made to start server:aa....aa as an online server, but startup was not successful and is now being retried. (details code:bb....bb)

サーバ識別名で示すサーバを起動リトライ中にしました。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : 詳細コード

詳細コード	意味
RESOURCE	共有リソースの接続に失敗したため、サーバを起動リトライ中にしました。
SERVER	サーバの起動に失敗したため、サーバを起動リトライ中にしました。

S :

処理を続行します。

KAMN298-I

[日本語]

サーバ : aa....aa の停止処理が完了しました。

[英語]

The processing to stop the server:aa....aa is complete.

サーバ識別名で示すサーバの停止処理が完了しました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN299-I(AIX, HP-UX(PA-RISC), Linux(x86), および Linux(IPF))

[日本語]

ホスト : aa....aa から停止の連絡を受けました。 詳細コード : bb....bb

[英語]

Contact of a halt was received from host:aa....aa. Details:bb....bb

ホスト名で示すホストから停止の連絡を受けました。 停止したホストに接続していて、系切り替え待ち状態であるサーバへの系切り替えを開始します。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : 停止要因の詳細コード

詳細コード	意味
29	電源断 (ホストは電源断状態)
31	ダンプ処理発生 (ホストはダンプ処理中)

S :

処理を続行します。

KAMN299-I (HP-UX(IPF))

[日本語]

ホスト : aa....aa から停止の連絡を受けました。 詳細コード : bb....bb

[英語]

Contact of a halt was received from host:aa....aa. Details:bb....bb

ホスト名で示すホストから停止の連絡を受けました。 停止したホストに接続していく、 系切り替え待ち状態であるサーバへの系切り替えを開始します。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : 停止要因の詳細コード

詳細コード	意味
29	電源断（ホストは電源断状態）
31	ダンプ処理発生（ホストはダンプ処理中）
53	系のリセット処理の完了（マシンの機種が HA8500 で OA を冗長化した構成の場合）

S :

処理を続行します。

2.4 KAMN300～KAMN399

KAMN300-E

[日本語]

実行サーバ：aa....aa が異常終了しました。

[英語]

Online server:aa....aa stopped abnormally.

サーバ識別名で示す実行サーバに障害が発生しました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

環境設定と状況によって実行サーバが系切り替えするか、再起動するか、または未起動の状態となります。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

障害の原因を調査し、取り除いてください。実行サーバが未起動の状態の場合、サーバを再起動してください。

KAMN301-E

[日本語]

実行サーバ：aa....aa のスローダウンを検知しました。

サーバを異常終了させます。

[英語]

Slowdown of Online server:aa....aa was detected.

The server is made to stop abnormally.

サーバ識別名で示す実行サーバの状態監視中、稼働報告が送られてこなくなったため、スローダウンしていると判断し、サーバを異常終了させます。

aa....aa : サーバ識別名

S :

環境設定と状況によって実行サーバが系切り替えするか、再起動するか、または未起動の状態となります。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

サーバのスローダウンの原因を調査し、取り除いてください。実行サーバが未起動の状態の場合、サーバを再起動してください。

KAMN302-W

[日本語]

サーバ : aa....aa の異常終了処理で、デバイスの処理ができません。

[英語]

While server:aa....aa abnormal end processing, a device cannot be processed.

サーバ識別名で示すサーバの異常終了処理で、デバイスのエラーが発生しました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

対策 :

系切り替えが行われていない場合は、マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタ Linux(R) (x86) 編』の『共有リソースの切り離し失敗に対処する』の手順を参照して対策してください。

KAMN303-E

[日本語]

実行サーバ : aa....aa の異常終了に伴い、HA モニタを異常終了させます。

[英語]

Following an abnormal end of an Online server:aa....aa, the HAmonitor is made to end abnormally.

サーバ識別名で示す実行サーバの異常終了に伴い、HA モニタを異常終了させます。このメッセージは系のペアダウン機能使用時に出力されます。

aa....aa : サーバ識別名

S:

HA モニタを異常終了させます。ホストは別ホストの HA モニタからシステムリセットされます。このメッセージが出力される前に、メッセージ KAMN300-E、または KAMN301-E が出力されます。

○:

システム管理者に連絡してください。

対策:

メッセージ KAMN300-E、または KAMN301-E の出力原因を調査し、ホストを再起動させてください。

KAMN304-E

[日本語]

ホスト : aa....aa の実行サーバ(bb....bb)が異常終了しました。

[英語]

Online server:bb....bb of host(aa....aa) stopped abnormally.

ホスト名で示すホストの実行サーバが異常終了しました。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : サーバ識別名

S:

実行サーバが系切り替えできる状態ならば、待機サーバに系切り替えをします。実行サーバが系切り替えできない状態ならば、自系ホスト上の待機サーバは異常終了（または起動失敗）します。

○:

ホスト名で示すホストの実行サーバが異常終了した原因を調査してください。

KAMN305-E

[日本語]

実行サーバ : aa....aa は起動できません。

[英語]

Online server:aa....aa cannot start.

サーバ識別名で示す実行サーバが起動処理中に異常終了しました。起動処理を終了します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

環境設定と状況によって実行サーバが再起動するか、または未起動の状態となります。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

障害の原因を調査し、取り除いてください。実行サーバが未起動の状態の場合、サーバを再起動してください。

KAMN306-E

[日本語]

待機サーバ : aa....aa は起動できません。

[英語]

Standby server:aa....aa cannot start.

サーバ識別名で示す待機サーバが起動処理中に異常終了しました。起動処理を終了します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を終了します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

障害の原因を調査し、サーバを再起動してください。

KAMN307-E

[日本語]

待機サーバ : aa....aa が異常終了しました。

[英語]

Standby server:aa....aa stopped abnormally.

サーバ識別名で示す待機サーバが異常終了しました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を終了します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

障害の原因を調査し、サーバを再起動してください。

KAMN308-E

[日本語]

ホスト : *aa....aa* の待機サーバ(*bb....bb*)が異常終了しました。

[英語]

Standby server:*bb....bb* of host(*aa....aa*) stopped abnormally.

ホスト名で示すホストの待機サーバが異常終了しました。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : サーバ識別名

S :

処理を終了します。

○ :

ホスト名で示すホストの待機サーバが異常終了した原因を調査してください。

KAMN309-W

[日本語]

実行サーバ : *aa....aa* のスローダウンを検知しましたが、HA モニタの定義に従って状態監視を続けます。

[英語]

Slowdown of Online server:*aa....aa* was detected. Patrol is continued according to the definition of the HAmonitor.

サーバ識別名で示す実行サーバの状態監視中に稼働報告が送られてこなくなったため、スローダウンが発生したと判断しましたが、サーバ対応の環境設定の `switchtype` オペランドに `manual` が指定されているため、状態監視を続行します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○ :

サーバの系切り替えコマンド (`monswap` コマンド) で、計画系切り替えをしてください。計画系切り替え後、スローダウンの原因を調査し、サーバを再起動してください。

KAMN310-I

[日本語]

サーバ：*aa....aa* の系切り替えを開始します。

[英語]

Server:*aa....aa*, Hotstandby is started.

サーバ識別名で示すサーバの系切り替えを開始します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN311-I

[日本語]

サーバ：*aa....aa* の系切り替えが完了しました。

[英語]

Server:*aa....aa*, Hotstandby was completed.

サーバ識別名で示すサーバの系切り替え処理が終了しました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN312-E

[日本語]

サーバ : aa....aa の系切り替えができないため、実行サーバを起動できません。

[英語]

Server:aa....aa, Hotstandby is failed.

サーバ識別名で示すサーバの系切り替えができません。

aa....aa : サーバ識別名

S :

環境設定と状況によって実行サーバが再起動するか、または未起動の状態となります。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

障害の原因を調査し、取り除いてください。実行サーバが未起動の状態の場合、サーバを再起動してください。

KAMN313-E

[日本語]

サーバ : aa....aa に待機サーバがないため、系切り替えができません。

[英語]

Server:aa....aa, Hotstandby cannot be done, because Standby server does not exist.

サーバ識別名で示すサーバに対応する待機サーバがないため、系切り替えができません。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を終了します。

○ :

実行サーバを再起動してください。

KAMN314-E

[日本語]

サーバ : aa....aa の系切り替えの処理で、デバイスの処理ができません。

[英語]

While Hotstandby processing of server:*aa....aa*, a device cannot be processed.

サーバ識別名で示すサーバの系切り替え処理でデバイスのエラーが発生しました。系切り替えができません。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○ :

システム管理者に連絡してください。障害を取り除いたあと、サーバを再起動してください。

対策 :

このメッセージの前に出力されるメッセージ KAMN601-W で示される、システムコールのエラー要因を取り除いてください。

KAMN315-E

[日本語]

実行サーバ：*aa....aa* の再起動限界を検知しました。

[英語]

Online server:*aa....aa* is the limit of a restart.

サーバ識別名で示す再起動待ち状態の実行サーバ、または起動リトライ中のサーバの、再起動限界を検知しました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

サーバが再起動待ち状態の場合、待機サーバに系切り替えをします。このメッセージの前にメッセージ KAMN319-I が表示されています。

サーバが起動リトライ中の場合、サーバは停止します。このメッセージの前にメッセージ KAMN296-I が表示されています。

○ :

システム管理者に連絡してください。障害の原因を取り除いたあと、サーバを再起動してください。

対策 :

このメッセージの前に出力される次のメッセージを基に、障害の原因を調査し、障害の原因を取り除いてください。サーバの起動方法がサーバモードの場合、サーバ側の障害の原因を調査してください。

サーバの状態	サーバの起動方法	
	サーバモード	モニタモード
再起動待ち状態	KAMN300-E	—
起動リトライ中	KAMN300-E	<ul style="list-style-type: none"> • 共有リソース接続失敗 KAMN498-E • サーバ起動コマンド実行失敗 KAMN273-E • サーバ監視コマンドで異常検知 KAMN276-E KAMN300-E

(凡例)

—：出力されません。

KAMN316-E

[日本語]

ホスト : *aa....aa* の実行サーバ(*bb....bb*)の再起動限界を検知しました。待機サーバを、実行サーバの起動待ち状態にします。

[英語]

Online server:*bb....bb* of host(*aa....aa*) is the limit of a restart. Standby server was made a start wait state.

ホスト名で示すホストの実行サーバの再起動限界を検知しました。サーバ対応の環境設定の `switchtype` オペランドに `manual` が指定されているため、待機サーバを実行サーバの起動待ち状態にします。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : サーバ識別名

S :

待機サーバを、実行サーバの起動待ち状態にします。

○ :

実行サーバの障害の原因を調査し、障害の原因を取り除いてからサーバを再起動してください。または、待ち状態のサーバ起動コマンド（`monact` コマンド）で実行サーバとして起動するか、待ち状態のサーバ停止コマンド（`mondeact` コマンド）で停止してください。

KAMN317-W

[日本語]

メモリ不足のため、実行サーバ：aa....aa の再起動を監視できません。

[英語]

It is a memory shortage. Restart patrol of the Online server(aa....aa) cannot be done.

サーバ識別名で示す実行サーバの再起動の監視中に、メモリ不足が発生しました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

O :

このメッセージの前に出力されるメッセージ KAMN601-W を基に、原因を調査してください。実行サーバが再起動しない場合は、サーバを再起動してください。または、再起動待ち状態の実行サーバをサーバの系切り替えコマンド（monswap コマンド）で計画系切り替えをするか、待ち状態のサーバ停止コマンド（mondeact コマンド）で停止してください。

KAMN318-I

[日本語]

再起動待ち状態の実行サーバ：aa....aa を強制停止しました。

[英語]

Online server:aa....aa of a restart wait state was stopped by force.

サーバ識別名で示す再起動待ち状態の実行サーバを強制停止しました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN319-I

[日本語]

ホスト：aa....aa の実行サーバ(bb....bb)が再起動待ち状態になりました。

[英語]

Online server:bb....bb of host(aa....aa) became a restart wait state.

ホスト名で示すホストの実行サーバが、再起動待ち状態になりました。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN320-E (E+L)

[日本語]

実行中の処理が多過ぎます。

aa....aa コマンドが実行できません。

[英語]

The number of executing process exceeded upper limit.

Command(*aa....aa*) cannot be executed.

プロセスが生成できないため、コマンド処理を実行できません。

aa....aa : コマンド名

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

実行中の処理が減るのを待って、コマンドを再実行してください。

KAMN321-I

[日本語]

待機サーバ：*aa....aa* がありません。

待機サーバの異常終了処理を行います。

[英語]

Standby server:*aa....aa* does not exist in system.

It is changed to abnormally termination processing of Standby server.

サーバ識別名で示す待機サーバがありません。待機サーバの異常終了処理をします。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○ :

待機サーバが停止した原因を調査してください。

KAMN322-E (E)

[日本語]

サーバ : aa....aa がありません。

[英語]

Server:aa....aa does not exist in system.

コマンドのオプションに指定されたサーバが稼働していません。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を終了します。

○ :

サーバ識別名を確認し、コマンドを再実行してください。

KAMN323-E (E)

[日本語]

サーバ : aa....aa との通信で異常が発生しました。bb....bb コマンドが実行できません。

[英語]

Server:aa....aa, an error occurred on communication with it. Command(bb....bb) cannot be executed.

コマンド名で示すコマンドの処理中にサーバとの通信エラーが発生しました。コマンド処理を終了します。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : コマンド名

S :

コマンド処理を中止します。

○：

コマンドを再実行してください。再実行してもこのメッセージが出力される場合は、システム管理者に連絡してください。

対策：

このメッセージの前に出力されるエラーメッセージを基に、原因を調査してください。

KAMN324-W (E)

[日本語]

待機サーバ : aa....aa がありません。

bb....bb コマンドの処理を続行します。

[英語]

Standby server:aa....aa does not exist in system. Command(bb....bb) processing is continued.

待機サーバがありません。コマンド処理を続行します。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : コマンド名

S：

コマンド処理を続行します。

対策：

該当する待機サーバが存在しない原因を調査してください。

KAMN325-I (S)(AIX)

[日本語]

使用方法 : monshow -c

monshow [サーバ識別名]

monshow -d [サーバ識別名]

monshow -g [グループ名]

monshow -r

monshow -p [サーバ識別名]

monshow -t [サーバ識別名]

monshow -o -m

monshow -o -s [サーバ識別名]

[英語]

Usage:monshow -c

```
monshow [alias]
monshow -d [alias]
monshow -g [group]
monshow -r
monshow -p [alias]
monshow -t [alias]
monshow -o -m
monshow -o -s [alias]
```

サーバ・系の状態表示コマンド（monshow コマンド）の実行形式が誤っているとき、メッセージ KAMN021-E、または KAMN327-E に続いて出力されます。

S :

処理を続行します。

KAMN325-I (S)(HP-UX(IPF)、および Linux(IPF))

[日本語]

使用方法 : monshow -c

```
monshow [サーバ識別名]
monshow -d [サーバ識別名]
monshow -g [グループ名]
monshow -r
monshow -p [サーバ識別名]
monshow -t [サーバ識別名]
monshow -u [サーバ識別名]
```

[英語]

Usage:monshow -c

```
monshow [alias]
monshow -d [alias]
monshow -g [group]
monshow -r
monshow -p [alias]
monshow -t [alias]
```

```
monshow -u [alias]
```

サーバ・系の状態表示コマンド（monshow コマンド）の実行形式が誤っているとき、メッセージ KAMN021-E、または KAMN327-E に続いて出力されます。

S:

処理を続行します。

KAMN325-I (S)(Linux(x86))

[日本語]

使用方法: monshow -c

```
monshow [サーバ識別名]
monshow -d [サーバ識別名]
monshow -g [グループ名]
monshow -j
monshow -r
monshow -p [サーバ識別名]
monshow -t [サーバ識別名]
monshow -u [サーバ識別名]
monshow -o -m
monshow -o -s [サーバ識別名]
```

[英語]

Usage: monshow -c

```
monshow [alias]
monshow -d [alias]
monshow -g [group]
monshow -j
monshow -r
monshow -p [alias]
monshow -t [alias]
monshow -u [alias]
monshow -o -m
monshow -o -s [alias]
```

サーバ・系の状態表示コマンド（monshow コマンド）の実行形式が誤っているとき、メッセージ KAMN021-E、または KAMN327-E に続いて出力されます。

S :

処理を続行します。

KAMN325-I (S)(HP-UX(PA-RISC))

[日本語]

使用方法 : monshow -c

```
monshow [サーバ識別名]  
monshow -d [サーバ識別名]  
monshow -g [グループ名]  
monshow -l  
monshow -r  
monshow -p [サーバ識別名]
```

[英語]

Usage:monshow -c

```
monshow [alias]  
monshow -d [alias]  
monshow -g [group]  
monshow -l  
monshow -r  
monshow -p [alias]
```

サーバ・系の状態表示コマンド（monshow コマンド）の実行形式が誤っているとき、メッセージ KAMN021-E、または KAMN327-E に続いて出力されます。

S :

処理を続行します。

KAMN326-I (S)

[日本語]

使用方法 : monsbystp サーバ識別名

[英語]

Usage:monsbystp alias

待機サーバ停止コマンド（monsbystp コマンド）の実行形式が誤っているとき、メッセージ KAMN021-E、または KAMN327-E に続いて出力されます。

S:

処理を続行します。

KAMN327-E (E)

[日本語]

aa....aa コマンドで指定できないオプションが指定されています。

[英語]

The option that cannot be specified in command(*aa....aa*) is specified.

コマンド名で示すコマンドに、指定できないオプションが指定されました。

aa....aa : コマンド名

S:

コマンド処理を中止します。

○:

指定したオプションを確認し、HA モニタのコマンドを再実行してください。

KAMN328-E (E)

[日本語]

サーバ：*aa....aa* は待機サーバです。*bb....bb* コマンドは実行できません。

[英語]

Server:*aa....aa* is Standby server. Command(*bb....bb*) cannot be executed.

指定されたサーバは現在待機サーバであるため、コマンドは受け付けられません。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : コマンド名

S:

コマンド処理を中止します。

○:

HA モニタのコマンドは、実行サーバに対して実行してください。

KAMN329-E (E)

[日本語]

待機サーバ：*aa....aa* は待機中ではありません。*bb....bb* コマンドは実行できません。

[英語]

Standby server:*aa....aa* is not on standby. Command(*bb....bb*) cannot be executed.

待機サーバ停止コマンド（`monsbystp` コマンド）で指定された待機サーバが、待機完了状態ではないため、コマンドは受け付けられません。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : コマンド名

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

待機サーバが待機完了状態になってから、待機サーバ停止コマンド（`monsbystp` コマンド）を実行してください。

KAMN330-E (E)

[日本語]

実行サーバ：*aa....aa* は計画停止しました。待機サーバがないため系切り替えができません。

[英語]

Online server:*aa....aa* was stopped by plan. Because Standby server does not exist, Hotstandby cannot be done.

サーバ識別名で示すサーバは計画停止しましたが、待機サーバがないので、系切り替えができません。

マルチスタンバイ機能を使用している場合、通信障害によって待機サーバの存在を確認できなかったときでも、このメッセージが出力されます。この場合、他系ホストの HA モニタおよび待機サーバが正常に動作していれば、そのホストからシステムリセットされ、系切り替えが実施されます。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を終了します。

○ :

実行サーバを再起動してください。マルチスタンバイ機能を使用し、通信障害発生が原因の場合、系切り替えに成功していれば、実行サーバの再起動は不要です。

対策：

原因を調査してください。

KAMN331-E

[日本語]

サーバ：aa....aa の処理中にシステムコール bb....bb の異常が発生しました。

[英語]

While processing server:aa....aa, system call(bb....bb) error occurred.

サーバ識別名で示すサーバの処理中に、システムコールでエラーが発生しました。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : システムコール名

S :

処理を続行します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策：

このメッセージの前に出力されるメッセージ KAMN601-W で示される、システムコールのエラー要因を取り除いてください。

KAMN332-E

[日本語]

サーバ：aa....aa と通信できません。

[英語]

Communication with server:aa....aa cannot be done.

サーバ識別名で示すサーバとの通信（応答メッセージの送信）で、障害が発生しました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○：

これ以前に出力されているメッセージから通信障害の原因を調査し、取り除いてください。

KAMN333-E

[日本語]

実行サーバ：aa....aa がありません。

[英語]

Online server:aa....aa does not in system.

サーバ識別名で示すサーバが、システムにありません。

aa....aa : サーバ識別名

S：

処理を終了します。

○：

システム管理者に連絡してください。

対策：

実行サーバが稼働していない原因を調査してください。

KAMN334-I

[日本語]

サーバ：aa....aa を強制解除しました。

[英語]

The server:aa....aa was forcibly canceled.

待ち状態のサーバの停止コマンド（mondeact コマンド）が実行されたため、サーバ識別名で示す起動リトライ中の実行サーバを強制解除しました。

aa....aa : サーバ識別名

S：

処理を続行します。

KAMN335-I (S)

[日本語]

Connected host information

Host name Host address Patrol time

aa....aa bb....bb cc....cc

[英語]

Connected host information

Host name Host address Patrol time

aa....aa bb....bb cc....cc

サーバ・系の状態表示コマンド（monshow コマンド）で出力される接続ホストの状態リストのヘッダ部分です。1 行目に自系（自ホスト）の情報を、2 行目以降に HA モニタが接続している他系（他ホスト）の情報を表示します。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : ホストアドレス

cc....cc : 系障害監視時間

S :

処理を続行します。

KAMN336-I (S)

[日本語]

起動待ち状態の待機サーバ：*aa....aa* を強制停止しました。

[英語]

Standby server:*aa....aa* of starting wait state was stopped by force.

サーバ識別名で示す起動待ち状態の待機サーバを強制停止しました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN337-E (E)

[日本語]

待機サーバ : *aa....aa* は起動待ち状態ではありません。

bb....bb コマンドは実行できません。

[英語]

Standby server:*aa....aa* is not starting wait state.

Command(*bb....bb*) cannot be executed.

コマンド名で示すコマンドが実行されました。サーバ識別名で示す待機サーバは起動待ち状態でないため、コマンドが実行できません。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : コマンド名

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

コマンドは起動待ち状態の待機サーバに対して実行してください。

リソースサーバの起動待ち状態のサーバを停止する場合は、リソースサーバを起動または停止させてください。リソースサーバの起動または停止が完了したら、コマンドを再実行してください。

KAMN338-I (S)

[日本語]

系切り替え待ち状態の実行サーバ : *aa....aa* を強制停止しました。

[英語]

Online server:*aa....aa* of Hotstandby wait state was stopped by force.

サーバ識別名で示す実行サーバを強制停止しました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN339-E (E)

[日本語]

実行サーバ:aa....aa は系切り替え待ち状態ではありません。

bb....bb コマンドは実行できません。

[英語]

Online server:aa....aa is not Hotstandby wait state.

Command(bb....bb) cannot be executed.

コマンド名で示す HA モニタのコマンドが実行されましたが、サーバ識別名で示す実行サーバは系切り替え待ち状態でないため、コマンドが実行できません。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : コマンド名

S:

コマンド処理を中止します。

○:

コマンドは系切り替え待ち状態の実行サーバに対して実行してください。

KAMN340-E

[日本語]

ホスト:aa....aa の異常を検知しました。

[英語]

Host:aa....aa down was detected.

ホスト名で示すホストの状態監視中、次のどちらかが発生しました。

- alive メッセージを受信していない、または応答がないため、ホストに障害が発生していると判断した。
alive メッセージを受信していない場合、このメッセージの前に、メッセージ KAMN642-W が表示されています。
- ホスト名で示すホストの HA モニタが、ペアダウンまたは共有リソースの切り離し失敗によって、異常終了した。

aa....aa : ホスト名

S:

ホストの監視を終了し、ホストダウン処理を実行します。ホスト名で示すホスト上で実行サーバが動作している場合は、システムリセット後、系切り替えをします。

○:

システム管理者に連絡してください。

対策：

ホストの障害の原因を調査してください。

KAMN341-W

[日本語]

実行サーバ：aa....aa のスローダウンを検知しましたが、待機サーバがないため動作監視を続けます。

[英語]

Slowdown of Online server:aa....aa was detected.

Patrol is continued, because there is not Standby server.

実行サーバ aa....aa の状態監視中、稼働報告が送られてこなくなったため、スローダウンしていると判断しましたが、待機サーバが起動していないため、状態監視を続行します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

状態監視を続行します。実行サーバに対応する待機サーバの起動完了後、系切り替えをします。

O :

実行サーバに対応する待機サーバが、他系のホスト上で起動されていなければ、待機サーバを起動してください。

対策：

実行サーバの系切り替え完了後、スローダウンの原因を調査し、サーバを再起動してください。

KAMN342-W

[日本語]

統計情報ファイルがオープンできません。

[英語]

Statistical information file cannot be opened.

統計情報ファイルをオープンできません。

S :

処理を続行します。統計情報は取得しません。

KAMN343-W

[日本語]

統計情報ファイルがクローズできません。

[英語]

Statistical information file cannot be closed.

統計情報ファイルをクローズできません。

S :

処理を続行します。

対策 :

統計情報ファイルをクローズできない原因を調査してください。

KAMN344-I

[日本語]

ホスト : *aa....aa* をシステムリセットします。

[英語]

Host : *aa....aa* is system reset.

ホスト名で示すホストの障害を検知したため、ホストをシステムリセットします。

aa....aa : ホスト名

S :

ホストをシステムリセットして、処理を続行します。

KAMN345-W

[日本語]

待機サーバ : *aa....aa* の処理中にホスト(*bb....bb*)との通信で異常が発生しました。待機サーバがないと判断します。

[英語]

While processing Standby server:*aa....aa*, an error occurred on communication with host(*bb....bb*). When there is not Standby server, it judges, and it continues processing.

サーバ識別名で示すサーバの処理中に、ホスト名で示すホストとの連絡が取れなくなりました。待機サーバがないと判断して、処理を続行します。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : ホスト名

S :

処理を続行します。

○ :

通信できない原因とサーバの状態を調査してください。

KAMN346-W

[日本語]

待機サーバ：*aa....aa* の処理中にホスト(*bb....bb*)との通信で異常が発生しました。実行サーバがないと判断します。

[英語]

While processing Standby server:*aa....aa*, an error occurred on communication with host(*bb....bb*). When there is not Online server, it judges, and it continues processing.

サーバ識別名で示すサーバの処理中に、ホスト名で示すホストとの連絡が取れなくなりました。実行サーバがないと判断して、処理を続行します。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : ホスト名

S :

処理を続行します。

○ :

通信できない原因とサーバの状態を調査してください。

KAMN347-E(AIX)

[日本語]

ホスト：*aa....aa* のシステムリセットができません。

[英語]

Host:*aa....aa*, system reset is failed.

ホスト名で示すホストの障害を検知して、システムリセットを実行しましたが、エラーが発生しました。このメッセージが出力される前に、メッセージ KAMN621-E、または KAMN624-E が出力されます。

aa....aa : ホスト名

S :

共有ディスクのデータの保護方法によって、処理が異なります。

- 系のリセットをする場合、系切り替え処理を中止します。
- ハイブリッドフェンシングで系切り替えする場合、系切り替え処理を続行し、SCSI リザーブ処理を行います。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

メッセージ KAMN621-E、または KAMN624-E のエラー詳細から、システムリセットができない原因を調査してください。

KAMN347-E(Linux(x86))

[日本語]

ホスト：*aa....aa* のシステムリセットができません。

[英語]

Host:*aa....aa*, system reset is failed.

ホスト名で示すホストの障害を検知して、システムリセットを実行しましたが、エラーが発生しました。パブリッククラウド環境でない場合、このメッセージが出力される前に、メッセージ KAMN621-E、または KAMN624-E が出力されます。

aa....aa : ホスト名

S :

パブリッククラウド環境でない場合、共有ディスクのデータの保護方法によって、処理が異なります。

- 系のリセットをする場合、系切り替え処理を中止します。
- ハイブリッドフェンシングで系切り替えする場合、系切り替え処理を続行し、SCSI リザーブ処理を行います。

パブリッククラウド環境の場合、系切り替え処理を中止します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策：

パブリッククラウド環境でない場合

メッセージ KAMN621-E, または KAMN624-E のエラー詳細から、システムリセットができない原因を調査してください。

AWS 環境下の場合

AWS 上で AWS CLI が実行できなかったおそれがあります。マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタ パブリッククラウド編』の「【AWS】 AWS の設定」を参照して設定を見直し、誤りを修正してください。システムリセットができない原因が不明な場合は、`/opt/hitachi/Hamon/spool/cloud/moncld_fstop_強制停止対象インスタンス ID.log` を参照して、原因を調査してください。

Azure 環境下の場合

Azure 上で Azure CLI が実行できなかったおそれがあります。エンドポイントまでの通信ができるかを調査してください。システムリセットができない原因が不明な場合は、`/opt/hitachi/Hamon/spool/cloud/moncld_fstop_強制停止対象仮想マシンのリソース ID.log` を参照して、原因を調査してください。

OCI 環境下の場合

OCI 上で OCI CLI が実行できなかったおそれがあります。エンドポイントまでの通信ができるかを調査してください。システムリセットができない原因が不明な場合は、`/opt/hitachi/Hamon/spool/cloud/moncld_fstop_強制停止対象インスタンスの OCID.log` を参照して、原因を調査してください。

KAMN347-E (HP-UX(PA-RISC)および Linux(IPF))

[日本語]

ホスト : aa....aa のシステムリセットができません。

[英語]

Host:aa....aa, system reset is failed.

ホスト名で示すホストの障害を検知して、システムリセットを実行しましたが、エラーが発生しました。このメッセージが出力される前に、メッセージ KAMN601-W, または KAMN621-E が出力されます。

aa....aa : ホスト名

S :

系切り替え処理を中止します。

O :

システム管理者に連絡してください。

対策：

メッセージ KAMN601-W, または KAMN621-E のエラー詳細から、システムリセットができない原因を調査してください。

リセット手順ファイル (/opt/hitachi/Hamon/etc/ホスト名.rsp, または default.rsp ファイル) やネットワークの設定に誤りがないか確認し、誤りがある場合は修正してください。

KAMN347-E (HP-UX(IPF))

[日本語]

ホスト : aa....aa のシステムリセットができません。

[英語]

Host:aa....aa, system reset is failed.

ホスト名で示すホストの障害を検知して、システムリセットを実行しましたが、エラーが発生しました。このメッセージが出力される前に、メッセージ KAMN601-W, または KAMN621-E が出力されます。

aa....aa : ホスト名

S :

系切り替え処理を中止します。

ただし、HA モニタの環境設定の mp_redundancy オペランドに use を指定した系に対しては、システムリセットの処理を継続します。

O :

システム管理者に連絡してください。

対策：

メッセージ KAMN601-W, または KAMN621-E のエラー詳細から、システムリセットができない原因を調査してください。

リセット手順ファイル (/opt/hitachi/Hamon/etc/ホスト名.rsp, または default.rsp ファイル) やネットワークの設定に誤りがないか確認し、誤りがある場合は修正してください。

KAMN348-I

[日本語]

ホスト : aa....aa の HA モニタからシステムリセットの要求を受けました。

[英語]

A requirement of system reset was received from the HAmonitor of host:aa....aa.

ホスト名で示すホストの HA モニタから、システムリセットの要求を受けました。このメッセージは、ペアダウン機能使用時、またはサーバが接続しているデバイスの切り離しができない場合に出力されます。

aa....aa : ホスト名

S :

処理を続行します。

KAMN350-E

[日本語]

サーバ：*aa....aa* の処理中に、システムコール *bb....bb* の異常が発生しました。

[英語]

While processing server:*aa....aa*, system call(*bb....bb*) error occurred.

サーバ識別名で示すサーバの処理中に、システムコールでエラーが発生しました。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : システムコール名

S :

処理を終了します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策：

このメッセージの前に出力されるメッセージ KAMN601-W で示される、システムコールのエラー要因を取り除いてください。

KAMN351-E

[日本語]

実行サーバ：*aa....aa* の処理中にホスト(*bb....bb*)との通信で異常が発生しました。

[英語]

While processing Online server:*aa....aa*, an error occurred on communication with host(*bb....bb*).

実行サーバの処理中に、他系ホストとの通信で障害が発生しました。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : ホスト名

S :

処理を終了します。

○ :

通信できない原因と待機サーバの状態を調査し、必要に応じて待機サーバを終了させてください。

KAMN352-E

[日本語]

待機サーバ：*aa....aa* の起動中に実行サーバが終了しました。

[英語]

Online server was terminated in the activating of Standby server:*aa....aa*.

他系ホストのサーバと通信した際、サーバが終了処理中か、または終了していました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を終了します。

○ :

サーバの状態を調査し、必要に応じてサーバを再起動してください。

KAMN353-W

[日本語]

実行サーバ：*aa....aa* の処理中にホスト(*bb....bb*)との通信で異常が発生しました。待機サーバがないと判断します。

[英語]

While processing Online server:*aa....aa*, an error occurred on communication with host(*bb....bb*). When there is not Standby server, it judges, and it continues processing.

サーバ識別名で示すサーバの処理中に、ホスト名で示すホストとの通信で障害が発生しました。ホストに待機サーバがないと判断して、処理を続行します。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : ホスト名

S :

処理を続行します。

○ :

通信できない原因と待機サーバの状態を調査し、待機サーバがあれば終了させてください。

KAMN354-E

[日本語]

ホスト：*aa....aa* の実行サーバ(*bb....bb*)が終了しました。

[英語]

Online server:*bb....bb* of host (*aa....aa*) was terminated normally.

実行サーバが終了状態であるため、待機サーバを起動できません。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : サーバ識別名

S :

処理を終了します。

○ :

サーバの状態を調査し、必要に応じてサーバを再起動してください。

KAMN355-E

[日本語]

サーバ：*aa....aa* の処理で、デバイスの処理ができません。

[英語]

While processing server:*aa....aa*, a device cannot be processed.

サーバ識別名で示すサーバの処理で接続されたデバイスに対する処理の実行中にエラーが発生しました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○：

デバイスを切り離してください。

KAMN356-E

[日本語]

待機サーバ：aa....aa は待機中でないため、系切り替えができません。

[英語]

Standby server:aa....aa cannot be done Hotstandby, because it is not on standby.

サーバの系切り替えコマンド（monswap コマンド）で計画系切り替えを実行しましたが、サーバ識別名で示す待機サーバが系切り替えできる状態ではありませんでした。

aa....aa：サーバ識別名

S：

待機サーバを起動できないサーバとします。

○：

実行サーバを起動してください。

KAMN358-I

[日本語]

ホスト：aa....aa の待機サーバ(bb....bb)が終了しました。

[英語]

Standby server:bb....bb of host (aa....aa) was terminated normally.

ホスト名で示すホストの、サーバ識別名で示す待機サーバの処理が終了しました。

aa....aa：ホスト名

bb....bb：サーバ識別名

S：

処理を終了します。

KAMN359-E

[日本語]

ホスト : *aa....aa* の実行サーバ(*bb....bb*)の状態が異常です。

[英語]

The state of Online server(*bb....bb*) of host(*aa....aa*) is abnormal.

ホスト名で示すホストの実行サーバの状態が異常です。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : サーバ識別名

S :

処理を終了します。

O :

必要に応じて、待機サーバを再起動してください。

KAMN360-I (S)

[日本語]

-----Detailed Information-----

aa....aa bb....bb

[英語]

-----Detailed Information-----

aa....aa bb....bb

サーバ・系の状態表示コマンド（monshow コマンド）で出力されるサーバの詳細情報リストのヘッダ部分です。

aa....aa : メッセージ ID

bb....bb : メッセージテキスト

S :

処理を続行します。

KAMN361-I (S)

[日本語]

系切り替え待ち状態の実行サーバ : *aa....aa* を起動します。

[英語]

Online server:*aa....aa* of Hotstandby wait state is started.

サーバ識別名で示す系切り替え待ち状態の実行サーバを起動します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN362-I

[日本語]

起動待ち状態の待機サーバ : *aa....aa* を強制停止しました。

[英語]

Standby server:*aa....aa* of starting wait state was stopped by force.

サーバ識別名で示す起動待ち状態の待機サーバを強制停止しました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN363-I

[日本語]

系切り替え待ち状態の実行サーバ : *aa....aa* を強制停止しました。

[英語]

Online server:*aa....aa* of Hotstandby wait state was stopped by force.

サーバ識別名で示す系切り替え待ち状態の実行サーバを強制停止しました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN364-D (S+L)

[日本語]

サーバ:aa....aa はシステムリセットができないため系切り替え待ち状態にします。

[英語]

Server:aa....aa is Hotstandby wait state, because system reset is failed.

サーバ識別名で示す実行サーバは、システムリセットができないため系切り替え待ち状態にします。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○ :

他系で実行サーバが稼働していないことを必ず確認したあと※、系切り替え待ち状態の実行サーバを待ち状態のサーバ起動コマンド (`monact` コマンド) で実行サーバとして起動させるか、待ち状態のサーバ停止コマンド (`mondeact` コマンド) で停止させてください。

注※ 確認しないで待ち状態のサーバ起動コマンド (`monact` コマンド) を実行すると、他系で実行サーバが稼働していた場合に二つの実行サーバが稼働するため、共有リソースが破壊されるおそれがあります。

KAMN368-D

[日本語]

実行サーバ:aa....aa は系切り替え待ち状態です。

[英語]

Online server:aa....aa is system switchover wait state.

サーバ識別名で示す実行サーバは、系切り替え待ち状態です。

このメッセージは、ユーザへの状態通知を目的として一定間隔で出力されます。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○ :

他系で実行サーバが稼働していないことを必ず確認したあと※、系切り替え待ち状態の実行サーバを待ち状態のサーバ起動コマンド (`monact` コマンド) で実行サーバとして起動させるか、または待ち状態のサーバ停止コマンド (`mondeact` コマンド) で停止させてください。

注※ 確認しないで待ち状態のサーバ起動コマンド（monact コマンド）を実行すると、他系で実行サーバが稼働していた場合に二つの実行サーバが稼働するため、共有リソースが破壊されるおそれがあります。

KAMN369-I

[日本語]

ホスト：aa....aa が異常です。他ホスト：bb....bb の HA モニタから連絡を受けました。

[英語]

Host:aa....aa is abnormal. A contact was received from the HAmonitor of other host:bb....bb.

ホスト名で示すホストの障害を検知した他系ホストから、連絡を受けました。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : 他系ホスト名

S :

処理を続行します。障害が発生したホストに対する処置は、障害を検出した他系ホストから実施します。

○ :

障害が発生したホストに関する運用をする場合は、システムの状態を確認してください。

KAMN370-E (E)

[日本語]

実行サーバ：aa....aa は既に起動されています。

[英語]

Online server:aa....aa is already started.

サーバ識別名で示す実行サーバはすでに起動されています。

aa....aa : サーバ識別名

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

サーバ対応の環境設定を修正して、サーバを再起動してください。

KAMN371-I (S)

[日本語]

サーバ : *aa....aa* を実行サーバとして起動します。

[英語]

Server:*aa....aa* is started as Online server.

サーバ識別名で示すサーバを、実行サーバとして起動します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN372-E (E)

[日本語]

サーバ : *aa....aa* は待機サーバです。

bb....bb コマンドは実行できません。

[英語]

Server:*aa....aa* is Standby server.

Command(*bb....bb*) cannot be executed.

コマンド名で示す HA モニタのコマンドが実行されましたが、指定されたサーバが待機サーバなので実行できません。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : コマンド名

S :

処理を終了します。

○ :

サーバ識別名、サーバの起動種別、およびサーバの状態を確認し、コマンドを再実行してください。

KAMN373-I (S)

[日本語]

実行サーバ : *aa....aa* は正常終了しました。

[英語]

Online server:*aa....aa* was terminated normally.

HA モニタは、サーバ識別名で示すサーバの終了処理を開始します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN374-I (S)

[日本語]

使用方法：*aa....aa* サーバ識別名

[英語]

Usage:*aa....aa Alias*

コマンドの実行形式が誤っているときに出力されます。

aa....aa : コマンド名

S :

処理を続行します。

KAMN375-E (E)

[日本語]

定義ファイル:servers alias(*aa....aa*)の定義が間違っています。コマンド処理を中止します。

[英語]

Definition file:servers,The method of a definition of the alias(*aa....aa*) is incorrect. Command processing is stopped.

サーバ対応の環境設定の解析処理で、エラーが発生しました。HA モニタのコマンドで指定されたサーバ識別名のサーバに対する処理を中止します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を終了します。

○：

サーバ対応の環境設定を修正し、サーバを再起動してください。

KAMN376-I (S)

[日本語]

サーバ：aa....aa の起動を開始します。

[英語]

Server:aa....aa is started.

サーバ識別名で示すサーバの起動を開始します。

aa....aa : サーバ識別名

S：

処理を続行します。

KAMN377-E (E+L)

[日本語]

サーバ：aa....aa の起動、又は終了中に異常が発生しました。処理を中止します。原因：bb....bb 詳細：cc....cc

[英語]

Errors occurred in the activating or ending of server:aa....aa. Processing is stopped.

Cause:bb....bb Details:cc....cc

サーバ識別名で示すサーバの起動、または終了処理中に、異常が発生しました。サーバに関する処理を中止します。詳細コードについては、対応するOSのマニュアルを参照してください。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : 原因コード (HA モニタ固有、1~2桁)

原因コード	意味
3	<p>サーバ停止要求 原因を次に示します。 定義誤り このメッセージの前に次のメッセージが出力されている場合は、それぞれのメッセージの説明を参照してください。</p>

原因コード	意味
	<p>KAMN190-E, KAMN191-E, KAMN220-E, KAMN222-I, KAMN229-E, KAMN245-E, KAMN412-E, KAMN413-E, KAMN964-E, KAMN970-E</p> <p>これらのメッセージが output されていない場合は、次のどれかに該当します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 同一グループのリソースサーバを複数起動しようとしたため、起動を中止した。 グループが異なるサーバを親サーバに指定していたため、子サーバの起動を中止した。 親サーバの定義に誤りがあり解析に失敗したため、子サーバの起動を中止した。 サーバ識別名で示すサーバはサーバ対応の環境設定の <code>program</code> オペランドで <code>use</code> が指定されているが、モニタモードのプログラム対応の環境設定の <code>server_alias</code> オペランドに指定したサーバ識別名のサーバのプログラムがモニタモードのプログラム対応の環境設定に定義されていないため、起動を中止した。 <code>server_alias</code> オペランドに指定したサーバ識別名のサーバを指定した複数のプログラムで、<code>name</code> オペランドまたは <code>alias</code> オペランドに同じ値が指定されているプログラムがあるため、起動を中止した。 <code>server_alias</code> オペランドに指定したサーバ識別名のサーバを指定したプログラムの <code>name</code> オペランドまたは <code>alias</code> オペランドの指定値が、すでに起動しているプログラムの指定値と同じ値であるため、起動を中止した。 <p>その他の原因</p> <p>このメッセージの前に次のメッセージが output されている場合は、それぞれのメッセージの説明を参照してください。</p> <p>KAMN285-E, KAMN292-E, KAMN445-I, KAMN498-E, KAMN530-E, KAMN933-E, KAMN937-E</p> <p>これらのメッセージが output されていない場合は、次のどれかに該当します。</p> <ul style="list-style-type: none"> リソースサーバの起動中に子サーバが異常終了したため、リソースサーバの起動を中止した。 連動系切り替え中のサーバが異常終了したため、ほかの連動系切り替え中のサーバの起動を中止した。 連動系切り替え時に起動中のサーバがあったため、サーバの起動を中止した。 連動系切り替え中に同一グループのサーバを起動しようとしたため、サーバの起動を中止した。 待機サーバとして起動しているときに、他系で実行サーバを停止した。
4	再起動要求
5	システムコールエラー

cc....cc : 詳細コード (システムコールの `errno` を設定、0 の場合は詳細コードなし)

S :

処理を終了します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

原因コード別に、次の処置をしてください。

原因コード	処置
3	定義誤りの場合は、HA モニタの定義を見直し、必要に応じてサーバを再起動してください。 その他の原因の場合は、サーバの状態を確認し、必要に応じてサーバを再起動してください。
4	コマンドを再実行してください。

2. KAMN で始まるメッセージ

原因コード	処置
5	システムコールのエラー要因を取り除き、コマンドを再実行してください。

KAMN378-I (S)

[日本語]

サーバ : aa....aa を待機サーバとして起動します。

[英語]

Server:aa....aa is started as Standby server.

サーバ識別名で示すサーバを、待機サーバとして起動します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN379-E (E)

[日本語]

サーバ : aa....aa は起動完了していません。

[英語]

Server:aa....aa was not completed as Online server.

サーバ識別名で示すサーバは起動完了していないため、終了処理はできません。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を終了します。

○ :

サーバの状態を確認して、コマンドを再実行してください。

KAMN380-I (S)

[日本語]

待機サーバ : aa....aa を実行サーバとして起動します。

[英語]

Standby server:*aa....aa* is started as Online server.

サーバ識別名で示す待機サーバを、実行サーバとして起動します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN381-E (E+L)

[日本語]

aa....aa のサーバの処理を中止します。

[英語]

Server *aa....aa* processing is stopped.

プログラム名で示すサーバをサーバの起動コマンド (name, actcommand, または sby_actcommand) で起動しようとしたが、できませんでした。

aa....aa : プログラム名

S :

処理を終了します。

○ :

サーバを起動できない原因を取り除いてください。

KAMN382-I (S)

[日本語]

サーバ：*aa....aa* を実行サーバとして起動完了しました。

[英語]

Server:*aa....aa* was completed as Online server.

サーバ識別名で示す実行サーバが、正常に起動完了しました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN383-I (S)

[日本語]

サーバ:aa....aa を待機サーバとして起動完了しました。

[英語]

Server:aa....aa was completed as Standby server.

サーバ識別名で示す待機サーバが、正常に起動完了しました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN384-E

[日本語]

待機サーバの自動起動に失敗しました。

ホスト:aa....aa, サーバ識別名:bb....bb, 原因コード:cc....cc

[英語]

Standby server cannot be started automatically.

Host:aa....aa, Server:bb....bb, Cause:cc....cc

待機サーバを自動起動できませんでした。

aa....aa : 自動起動しようとした待機系のホスト名

bb....bb : 自動起動しようとしたサーバ識別名

cc....cc : 原因コード

原因コード	意味
TIME-OUT	待機系のホストからの応答連絡なし
MEMORY	メモリ不足
SEND	通信障害
SIMULATED	待機系のホストでの自動起動失敗

S :

処理を中止します。

○：

サーバ・系の状態表示コマンド (`monshow` コマンド) を実行して、待機サーバの状態を確認してください。待機サーバが起動状態になっていない場合は、待機系からモニタモードのサーバ起動コマンド (`monbegin` コマンド) を実行してください。

KAMN385-W (E+L)

[日本語]

サーバ：*aa....aa* の起動に失敗しました。サーバを再起動します。

[英語]

Server:*aa....aa* failed in starting. It is restarted.

サーバ識別名で示すサーバの起動に失敗しましたが、サーバを再起動します。

aa....aa：サーバ識別名

S：

処理を続行します。

○：

正常に再起動したかどうかを確認してください。

KAMN386-E (E)

[日本語]

サーバ：*aa....aa* は `monbegin` コマンドで起動したサーバではありません。コマンドは実行できません。

[英語]

Server:*aa....aa* is not a server start in the `monbegin` command. Command cannot be executed.

サーバ識別名で示すサーバは、モニタモードのサーバ起動コマンド (`monbegin` コマンド) で起動したサーバでないため、コマンドが実行できません。

aa....aa：サーバ識別名

S：

処理を中止します。

○：

サーバの名称を確認して、コマンドを再実行してください。

KAMN388-I (S)

[日本語]

再起動待ち状態の実行サーバ : *aa....aa* を強制停止しました。

[英語]

Online server:*aa....aa* of a restart wait state was stopped by force.

サーバ識別名で示す再起動待ち状態の実行サーバを、強制停止しました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN390-I (S)

[日本語]

Path status Display

device name host name status

aa....aa bb....bb cc....cc

[英語]

Path status Display

device name host name status

aa....aa bb....bb cc....cc

監視パス状態表示コマンド (`monpath` コマンド) で出力される監視パスの状態リストのヘッダ部分です。

aa....aa : 監視パスの TCP/IP のホスト名

bb....bb : 他系のホスト名または監視パスの異常状態

cc....cc : 他系との通信状態

S :

処理を続行します。

KAMN390-I (S)

[日本語]

Path status Display
device name host name host(IP_address) status
aa....aa bb....bb cc....cc(dd....dd) ee....ee

[英語]

Path status Display
device name host name host(IP_address) status
aa....aa bb....bb cc....cc(dd....dd) ee....ee

監視パス状態表示コマンド (`monpath -i` コマンド) で出力される監視パスの状態リストのヘッダ部分です。

aa....aa : 監視パスの TCP/IP のホスト名

bb....bb : 他系のホスト名、または監視パスの異常状態

cc....cc : 他系の監視パスの TCP/IP のホスト名 (監視パスが正常な場合に表示)

dd....dd : 他系の監視パスの IP アドレス (監視パスが正常な場合に表示)

ee....ee : 他系との通信状態

S :

処理を続行します。

KAMN391-I (S)

[日本語]

使用方法 : `monpath [-i] [チェック時間]`

[英語]

Usage: `monpath [-i] [check_time]`

監視パス状態表示コマンド (`monpath` コマンド) の実行形式が誤っているとき、メッセージ KAMN021-E または KAMN327-E に続いて出力されます。

S :

処理を続行します。

KAMN392-E (E)

[日本語]

aa....aa コマンドのオプション値 : *bb....bb* が不正です。

[英語]

Option value:*bb....bb* of the *aa....aa* command is improper.

コマンドに指定されたオプションの指定値が誤っています。

aa....aa : コマンド名

bb....bb : オプション値

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

正しいオプション値を指定し、コマンドを再実行してください。

KAMN393-E (E)

[日本語]

HA モニタが監視パスを調査中のため、`monpath` コマンドを受け付けられません。

[英語]

Because the HA monitor is checking a Patrol Path, `monpath` command cannot be accepted.

すでに監視パス状態表示コマンド（`monpath` コマンド）を実行しているか、または `pathpatrol_retry` オペランドを指定して実施する監視パスの再チェックが動作中のため、コマンドが実行できません。

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

30~60 秒待ち、コマンドを再実行してください。

KAMN394-I

[日本語]

ホスト：*aa....aa* でデバイスが切り離しきれません。

[英語]

Devices cannot be disconnected in host :*aa....aa*.

ホスト名で示すホストで、サーバのデバイスが切り離しきれません。このメッセージに続いて、メッセージ KAMN348-I が表示されます。

aa....aa : ホスト名

S :

処理を続行します。

○ :

ホスト名で示すホストでデバイスが切り離しできない原因を調査し、障害の原因を取り除いてください。

KAMN395-I (S)(AIX)

[日本語]

SP Status Display

host name status

aa....aa bb....bb cc....cc

[英語]

SP Status Display

host name status

aa....aa bb....bb cc....cc

SP 状態表示コマンド（`monsp` コマンド）で出力される SP の状態リストを示します。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : SP の状態

OK : 正常

NG : 異常

cc....cc : リセットパス二重化時の識別名

(Primary) : リセットパス

(Secondary) : 交代用リセットパス

S :

処理を続行します。

KAMN395-I (S)(HP-UX(PA-RISC))

[日本語]

GSP Status Display

host name status

aa....aa bb....bb

[英語]

GSP Status Display

host name status

aa....aa bb....bb

GSP 状態表示コマンド (`mongsp` コマンド) で出力される GSP の状態リストを示します。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : GSP の状態

OK : 正常

NG : 異常

S :

処理を続行します。

KAMN395-I (S)(HP-UX(IPF))

[日本語]

aa....aa Status Display

host name status

bb....bb cc....cc

[英語]

aa....aa Status Display

host name status

bb....bb cc....cc

MP 状態表示コマンド (`monmp` コマンド) またはリセットパス状態表示コマンド (`monrp` コマンド) で出力される、 MP またはリセットパスの状態リストを示します。

aa....aa : システムリセットに使用するハードウェア

MP : システムリセットに MP を使用している場合に表示されます。

Reset Path : システムリセットにリセットパスを使用している場合に表示されます。

bb....bb : ホスト名

cc....cc : MP またはリセットパスの状態

OK : 正常

NG : 異常

S :

処理を続行します。

KAMN395-I (S)(Linux(x86)およびLinux(IPF))

[日本語]

aa....aa Status Display

host name status

bb....bb cc....cc

[英語]

aa....aa Status Display

host name status

bb....bb cc....cc

MP 状態表示コマンド (`monmp` コマンド) またはリセットパス状態表示コマンド (`monrp` コマンド) で出力される、MP またはリセットパスの状態リストを示します。

aa....aa : システムリセットに使用するハードウェア

MP : システムリセットに MP を使用している場合に表示されます。

Reset Path : システムリセットにリセットパスを使用している場合に表示されます。

bb....bb : ホスト名

cc....cc : MP またはリセットパスの状態 (物理パーティションリセット機能を使用している場合は、物理パーティションをリセットできるかどうかも表示されます)

OK : 正常

NG : 異常

OK(Partition) : 物理パーティションリセットが可能

NG(Partition) : 物理パーティションリセットが不可能

S :

処理を続行します。

KAMN396-I (S)(AIX)

[日本語]

使用方法 : monsp [他系ホスト名称]

[英語]

Usage: monsp [host_name]

SP 状態表示コマンド (monsp コマンド) の実行形式が誤っているとき、メッセージ KAMN327-E、または KAMN392-E に続いて出力されます。

S :

処理を続行します。

KAMN396-I (S)(HP-UX(PA-RISC))

[日本語]

使用方法 : mongsp [他系ホスト名称]

[英語]

Usage: mongsp [host_name]

GSP 状態表示コマンド (mongsp コマンド) の実行形式が誤っているとき、メッセージ KAMN327-E、または KAMN392-E に続いて出力されます。

S :

処理を続行します。

KAMN396-I (S)(HP-UX(IPF)および Linux(IPF))

[日本語]

使用方法 : aa....aa [他系ホスト名称]

[英語]

Usage: aa....aa [host_name]

MP 状態表示コマンド (monmp コマンド) またはリセットパス状態表示コマンド (monrp コマンド) の実行形式が誤っているとき、メッセージ KAMN327-E、または KAMN392-E に続いて出力されます。

aa....aa : コマンド名

S :

処理を続行します。

KAMN396-I (S)(Linux(x86))

[日本語]

使用方法 : `monrp [他系ホスト名称]`

[英語]

Usage: `monrp [host_name]`

リセットパス状態表示コマンド (`monrp` コマンド) の実行形式が誤っているとき、メッセージ KAMN327-E、または KAMN392-E に続いて出力されます。

S :

処理を続行します。

KAMN397-E (E)

[日本語]

ホスト : `aa....aa` がありません。

[英語]

Host: `aa....aa` does not exist in system.

コマンドで指定されたホストが、稼働していません。

`aa....aa` : ホスト名

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

ホスト名を確認し、コマンドを再実行してください。

KAMN398-E (E)(AIX)

[日本語]

HA モニタが SP をチェック中のため、`monsp` コマンドを受け付けられません。

[英語]

Because the HA monitor is checking a SP, monsp command cannot be accepted.

すでに SP 状態表示コマンド (monsp コマンド) を実行しているか、または HA モニタが SP をヘルスチェック中のため、コマンドは受け付けられません。

S :

コマンド処理を中止します。

O :

30~60 秒待ち、コマンドを再実行してください。

KAMN398-E (E)(HP-UX(PA-RISC))

[日本語]

HA モニタが GSP をチェック中のため、mongsp コマンドを受け付けられません。

[英語]

Because the HA monitor is checking a GSP, mongsp command cannot be accepted.

すでに GSP 状態表示コマンド (mongsp コマンド) を実行しているか、または HA モニタが GSP をヘルスチェック中のため、コマンドは受け付けられません。

S :

コマンド処理を中止します。

O :

30~60 秒待ち、コマンドを再実行してください。

KAMN398-E (E)(HP-UX(IPF))

[日本語]

HA モニタが MP をチェック中のため、aa....aa コマンドを受け付けられません。

[英語]

Because the HA monitor is checking a MP, aa....aa command cannot be accepted.

すでに MP 状態表示コマンド (monmp コマンド) またはリセットパス状態表示コマンド (monrp コマンド) を実行しているか、または HA モニタがリセットパスをヘルスチェック中のため、コマンドは受け付けられません。

リセットパスにスイッチ&マネジメントモジュール、または OA を使用している場合も MP と表示されます。

aa....aa : コマンド名

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

30~60 秒待ち、コマンドを再実行してください。

KAMN398-E (E)(Linux(x86))

[日本語]

HA モニタがリセットパスをチェック中のため、`monrp` コマンドを受け付けられません。

[英語]

Because the HA monitor is checking a Reset Path, `monrp` command cannot be accepted.

すでにリセットパス状態表示コマンド（`monrp` コマンド）を実行しているか、または HA モニタがリセットパスをヘルスチェック中のため、コマンドは受け付けられません。

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

30~60 秒待ち、コマンドを再実行してください。

KAMN398-E (E)(Linux(IPF))

[日本語]

HA モニタが MP をチェック中のため、*aa....aa* コマンドを受け付けられません。

[英語]

Because the HA monitor is checking a MP, *aa....aa* command cannot be accepted.

すでに MP 状態表示コマンド（`monmp` コマンド）またはリセットパス状態表示コマンド（`monrp` コマンド）を実行しているか、または HA モニタがリセットパスをヘルスチェック中のため、コマンドは受け付けられません。

リセットパスにスイッチ&マネジメントモジュールを使用している場合も MP と表示されます。

aa....aa : コマンド名

S :

コマンド処理を中止します。

○：

30~60 秒待ち、コマンドを再実行してください。

KAMN399-E (AIX)

[日本語]

SP に異常が発生しました。相手ホスト名称 : aa....aa

[英語]

Abnormality occurred in SP. Other host:aa....aa.

自系ホストまたはホスト名で示すホストの SP、またはリセットパスに異常が発生しました。

aa....aa : ホスト名

S：

処理を続行します。ただし、SP に異常が発生した状態で系障害を検出するとシステムリセットが失敗し、待機サーバから実行サーバに系切り替えができないまま系切り替え待ち状態になります（メッセージ KAMN364-D が出力されます）。

○：

異常の原因を取り除き、SP 状態表示コマンド（`monsp` コマンド）を実行してください。

KAMN399-E (HP-UX(PA-RISC))

[日本語]

GSP に異常が発生しました。相手ホスト名称 : aa....aa

[英語]

Abnormality occurred in GSP. Other host:aa....aa.

ホスト名で示すホストの GSP、またはリセットパスに異常が発生しました。

aa....aa : ホスト名

S：

処理を続行します。ただし、GSP に異常が発生した状態で系障害を検出するとシステムリセットが失敗し、待機サーバから実行サーバに系切り替えができないまま系切り替え待ち状態になります（メッセージ KAMN364-D が出力されます）。

○：

異常の原因を取り除き、GSP 状態表示コマンド（`mongsp` コマンド）を実行してください。

KAMN399-E (HP-UX(IPF))

[日本語]

MP に異常が発生しました。相手ホスト名称 : *aa....aa*

[英語]

Abnormality occurred in MP. Other host:*aa....aa*

ホスト名で示すホストの MP、またはリセットパスに異常が発生しました。リセットパスにスイッチ＆マネジメントモジュール、または OA を使用している場合も MP と表示されます。

aa....aa : ホスト名

S :

処理を続行します。ただし、MP またはリセットパスに異常が発生した状態で系障害を検出するとシステムリセットが失敗し、待機サーバから実行サーバに系切り替えができないまま系切り替え待ち状態になります（メッセージ KAMN364-D が出力されます）。

また、HA モニタの環境設定の `mp_redundancy` オペランドに `use` を指定した系に対しては、一時的な障害であれば自動的に回復します。

○ :

異常の原因を取り除き、MP 状態表示コマンド（`monmp` コマンド）またはリセットパス状態表示コマンド（`monrp` コマンド）を実行してください。

KAMN399-E(Linux(x86))

[日本語]

リセットパスに異常が発生しました。相手ホスト名称 : *aa....aa*

[英語]

Abnormality occurred in Reset Path. Other host:*aa....aa*

ホスト名で示すホストのリセットパスに異常が発生しました。

aa....aa : ホスト名

S :

処理を続行します。

共有ディスクのデータの保護方法によって、処理が異なります。

- 系のリセットをする場合、リセットパスに異常が発生した状態で系障害を検出するとシステムリセットが失敗し、待機サーバから実行サーバに系切り替えができないまま系切り替え待ち状態になります（メッセージ KAMN364-D が出力されます）。

- ハイブリッドフェンシングで系切り替えする場合、リセットパスに異常が発生した状態で系障害を検出するとシステムリセットが失敗しますが、共有ディスクの SCSI リザーブをして系切り替えを続行します。

○：

異常の原因を取り除き、リセットパス状態表示コマンド（monrp コマンド）を実行してください。

KAMN399-E (Linux(IPF))

[日本語]

MP に異常が発生しました。相手ホスト名称 : aa....aa

[英語]

Abnormality occurred in MP. Other host:aa....aa

ホスト名で示すホストの MP、またはリセットパスに異常が発生しました。リセットパスにスイッチ＆マネジメントモジュールを使用している場合も MP と表示されます。

aa....aa : ホスト名

S：

処理を続行します。ただし、MP またはリセットパスに異常が発生した状態で系障害を検出するとシステムリセットが失敗し、待機サーバから実行サーバに系切り替えができるまま系切り替え待ち状態になります（メッセージ KAMN364-D が output されます）。

○：

異常の原因を取り除き、MP 状態表示コマンド（monmp コマンド）またはリセットパス状態表示コマンド（monrp コマンド）を実行してください。

2.5 KAMN400～KAMN499

KAMN400-E

[日本語]

HA モニタの起動中に異常が発生しました。起動を中止します。

[英語]

While HA monitor activated, an error had occurred. Activation is stopped.

HA モニタの起動中に回避できないエラーが発生しました。このメッセージが出力される前に、エラーの詳細を示す別のメッセージが出力されます。

S :

処理を終了します。

○ :

エラーの詳細を示すメッセージが指示する処置をしてください。

KAMN402-E

[日本語]

定義ファイル :sysdef に誤りがあります。正しい定義ファイルでシステムを再起動してください。

[英語]

There are errors in definition file:sysdef. Start again in the correct definition file.

HA モニタの環境設定に誤りがあるため、 HA モニタを起動できません。

S :

処理を終了します。

○ :

HA モニタの環境設定の定義の誤りを修正し、 システムを再起動してください。

KAMN404-I

[日本語]

ホスト:aa....aa から系障害検知通知を受信しました。障害ホスト:bb....bb

[英語]

A notification of hostdown was received from host :aa....aa. Name of down host:bb....bb

通知元ホスト名称に示す系から、障害ホスト名称に示す系の障害検知通知を受信しました。

aa....aa : 通知元ホスト名称

bb....bb : 障害ホスト名称

S :

処理を続行します。

KAMN407-I

[日本語]

ホスト : aa....aa のシステムリセットに失敗したため、パーティションをシステムリセットします。

詳細コード : bb....bb

[英語]

A system reset will now be performed for the partition because an attempt to perform a system reset of the host:aa....aa has failed. Error details : bb....bb

ホスト名で示すホスト（論理パーティション）のシステムリセットができなかったため、物理パーティションをシステムリセットします。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : 詳細コード

詳細コード	意味
RESET-ERR	障害管理プロセサがリセットに失敗
CTRLPTH-DOWN	リセットパス間の制御線断
LPAR-RSP-FAIL	対象ホストへの問い合わせ異常
SSH-ERR	論理リセットに失敗

S :

処理を続行します。

KAMN408-E

[日本語]

alive メッセージの送信処理が異常終了しました。詳細コード : *aa....aa*

[英語]

The process which send alive message is stopped abnormally. Error details : *aa....aa*

alive メッセージを送信するデーモンの一部が異常終了しました。

aa....aa : 内部エラーコード

S :

処理を続行します。

○ :

HA モニタを再起動してください。

対策 :

保守員に連絡してください。

KAMN409-I (AIX, HP-UX(IPF), HP-UX(PA-RISC), および Linux(IPF))

[日本語]

監視パス : *aa....aa* でのメッセージ送信処理で異常が発生しました。

ホスト : *bb....bb*

[英語]

Sending errors occurred in Patrol Path:*aa....aa*.

Host:*bb....bb*

ホスト名で示すホストへのメッセージ送信処理で、システムコールエラーが発生しました。

aa....aa : 障害監視パス名

bb....bb : ホスト名

S :

処理を続行します。

対策 :

このメッセージの前に出力されるメッセージ KAMN601-W で示される、システムコールのエラー要因を取り除いてください。

KAMN409-I(Linux(x86))

[日本語]

監視パス : *aa....aa* でのメッセージ送信処理で異常が発生しました。

ホスト : *bb....bb*

[英語]

Sending errors occurred in Patrol Path:*aa....aa*.

Host:*bb....bb*

ホスト名で示すホストへのメッセージ送信処理で、システムコールエラーが発生しました。

aa....aa : 障害監視パス名

bb....bb : ホスト名

マルチキャストでのメッセージ送信処理で異常が発生した場合は、ホスト名に"----"を表示します。

S :

処理を続行します。

対策 :

このメッセージの前に出力されるメッセージ KAMN601-W で示される、システムコールのエラー要因を取り除いてください。

KAMN410-I

[日本語]

最少稼働ホスト数以上の系が稼働していることを確認しました。障害ホスト : *aa....aa*

[英語]

The specified number of `suppress_reset` operand or more hosts are confirmed to be processing.

Name of down host:*aa....aa*

最少稼働ホスト数以上の系が稼働していることを確認しました。

aa....aa : 障害ホスト名称

S :

システムリセットのあと、系切り替えをします。

KAMN411-I

[日本語]

ホスト : *aa....aa* のシステムリセットが不要か、または、システムリセットに失敗しました。

[英語]

A system reset to the host:*aa....aa* has not been required or has failed.

障害ホスト名称に示す系のシステムリセットが不要か、またはシステムリセットに失敗しました。

aa....aa : 障害ホスト名称

S :

処理を続行します。

KAMN412-E (AIX, HP-UX(IPF), HP-UX(PA-RISC), および Linux(IPF))

[日本語]

サーバの稼働数が制限を超えるました。

[英語]

The number of connected server exceeded upper limit.

サーバの稼働数が HA モニタのシステムの制限に達しています。起動要求は受け付けられません。

S :

処理を終了します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

HA モニタのシステム上で稼働するサーバの数が制限を超えないように、システムを作り直してください。

KAMN412-E(Linux(x86))

[日本語]

サーバの稼働数が制限を超えるました。

[英語]

The number of connected server exceeded upper limit.

サーバの稼働数、またはグループ化したサーバの稼働数が HA モニタのシステムの制限に達しています。起動要求は受け付けられません。

S :

処理を終了します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

HA モニタのシステム上で稼働するサーバの数が制限を超えないように、システムを作り直してください。

KAMN413-E

[日本語]

プログラムの稼働数が制限を超えました。

[英語]

The number of connected program exceeded upper limit.

プログラムの稼働数が HA モニタのシステムの制限に達しています。起動要求は受け付けられません。

S :

サーバの起動を中止します。プログラムを手動で起動した場合は、プログラムの起動を中止します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

HA モニタのシステム上で稼働するプログラムの数が制限を超えないように、システムを作り直してください。

KAMN414-E

[日本語]

リセットパスを共有するほかの HA モニタとホストアドレスが重複しています。ホストアドレス :
aa....aa IP アドレス : bb....bb 詳細コード : cc....cc

[英語]

The host address is already in use by another HA monitor that shares the reset path. host
address : aa....aa, IP address : bb....bb, details : cc....cc

ホストアドレスが、次のどれかと重複しています。

- IP アドレスに示す HA モニタ
- IP アドレスに示す障害管理プロセサを使用する HA モニタ
- IP アドレスに示す系切替機構を使用する HA モニタ

重複がある場合、次の事象が発生し、両系マウントによるデータベースの破壊などが発生するおそれがあります。

- 系の障害時に、無関係な別の系切り替え構成の系も障害になってしまいます。
- 系の再起動時に、無関係な別の系切り替え構成の系も障害になってしまいます。

なお、自系が VMware ESXi で仮想化した環境では、詳細コードが"SVP/HRL"の場合、ホストアドレスはマシンアドレスを示します。

aa....aa : ホストアドレス

bb....bb : IP アドレス

cc....cc : 詳細コード

詳細コード	意味
HA MONITOR	IP アドレスに示す HA モニタとホストアドレスが重複しています。
SVP/HRL	ホストアドレス、またはマシンアドレスが、次のどちらかと重複しています。 <ul style="list-style-type: none">• IP アドレスに示す障害管理プロセサを使用する HA モニタ• IP アドレスに示す系切替機構を使用する HA モニタ

S :

処理を続行します。

○ :

自系または詳細コードに示した HA モニタを停止したあと、次のどれかの対処を実施してください。

- 系切り替え構成間で相互にメッセージを送受信しないように、ネットワークを分離する。
- 系切り替え構成間で相互にメッセージを送受信しないように、リセットパス（障害管理プロセサを含む）、および監視パスに使用するポート番号を、系切り替え構成ごとに異なる値に変更する。
- 系切り替え構成内だけでなく、ネットワークを共有するすべての HA モニタのホストアドレスを重複しない一意の値に変更する（HA モニタの環境設定の address オペランドの指定値を変更）。

2 点目または 3 点目の対処を実施した場合は、設定を変更した HA モニタを再起動してください。

HA モニタを再起動するまでは、OS を再起動しないでください。

KAMN415-W

[日本語]

HAMON_UAPNAME : aa....aa の要求は受け付けません。

原因コード : bb....bb 要求元プロセス ID : cc....cc

[英語]

The request of HAMON_UAPNAME:aa....aa is not accepted.

Reason:bb....bb. Process ID:cc....cc.

HAMON_UAPNAME に示すプログラム名への不正な要求を受信しました。要求を無視します。なお、HAMON_UAPNAME 環境変数の指定値がプログラム名です。

aa....aa : プログラム名

bb....bb : 原因コード

原因コード	意味
1	<p>プログラム名の不正 原因を次に示します。</p> <p>定義誤り</p> <ul style="list-style-type: none">HAMON_UAPNAME 環境変数に指定したプログラム名が、モニタモードのプログラム対応の環境設定の name オペランドに指定されていない。モニタモードのプログラム対応の環境設定の server_alias オペランドに指定したサーバが稼働していないか、サーバ対応の環境設定に定義されていない。モニタモードのプログラム対応の環境設定の server_alias オペランドに指定したサーバの、サーバ対応の環境設定の program オペランドに、nouse が指定されている。 <p>操作誤り</p> <ul style="list-style-type: none">サーバ対応の環境設定またはモニタモードのプログラム対応の環境設定を修正したあと、サーバを再起動しないで UAP を手動で起動した。モニタモードのプログラム対応の環境設定の server_alias オペランドに指定したサーバを起動しないで UAP を手動で起動した。
2	API の発行タイミングの不正 主に UAP を手動で操作した結果、不正なタイミングで API が発行されたことが原因です。
3	hamon_patrolstart 関数の多重発行

cc....cc : 要求元プロセス ID

S :

処理を終了します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

原因コード別に、次の処置をしてください。

原因コード	処置
1	定義誤りの場合は定義を見直し、サーバを再起動してください。 定義を修正したあと、サーバを再起動していない場合はサーバを再起動してください。 サーバを起動しないで UAP を手動で起動した場合は、サーバを起動してください。サーバを起動しないで、かつ UAP を HA モニタに監視させたくない場合は、HAMON_API_PATROL 環境変数に <code>nouse</code> を指定して UAP を起動してください。
2	サーバおよび UAP の状態を確認してから、UAP を手動で操作してください。
3	<code>hamon_patrolstart</code> 関数を多重発行していないか確認し、必要に応じて UAP を修正してください。

KAMN420-I

[日本語]

グループ：*aa....aa* の連動系切り替えを開始します。

[英語]

Group:*aa....aa* of grouped exchange of systems are started.

グループ名で示すグループの連動系切り替えを開始します。

aa....aa : 連動系切り替えをするグループ名

S :

処理を続行します。

KAMN421-I

[日本語]

サーバ：*aa....aa* はグループ：*bb....bb* で連動系切り替えできる状態になりました。

[英語]

Server:*aa....aa* became a state of which a grouped exchange of system is possible in group:*bb....bb*.

サーバ識別名で示すサーバは、グループ名で示すグループで連動系切り替えができる状態になりました。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : グループ名

S:

処理を続行します。

KAMN423-E (E+L)

[日本語]

自ホストの待機サーバ : *aa....aa* は、 グループ化されているため、 系切り替えできません。

[英語]

Because it is being grouped, Standby server:*aa....aa* of an own host cannot be exchanged of system.

実行系のサーバが異常終了しましたが、 グループ化されているため系切り替えができません。

aa....aa : サーバ識別名

S:

待機サーバ起動完了の状態で待ちます。

○:

実行サーバを起動させるか、 待機サーバ停止コマンド (`monsbystp` コマンド) で待機サーバを停止させてください。または、 連動系切り替えでグループ化したサーバグループ全体の計画系切り替えをしてください。計画系切り替えは、 サーバの系切り替えコマンド (`monswap` コマンド) に `-g` オプションを指定して実施してください。

KAMN424-W

[日本語]

実行サーバ : *aa....aa* のスローダウンを検知しましたが、 グループ化されているため、 系切り替えできません。動作監視を続けます。

[英語]

Slowdown of Online server:*aa....aa* was detected. Because it is grouped, hotstandby cannot be done. Patrol is continued.

サーバ識別名で示す実行サーバの状態監視中にスローダウンを検知しましたが、 グループ化されているため系切り替えができません。状態監視を続けます。

aa....aa : サーバ識別名

S :

サーバの状態監視を続けます。サーバグループの連動系切り替えが開始された場合は、一緒に系切り替えをします。

○ :

サーバがスローダウンした原因を調査してください。

KAMN426-E (E)

[日本語]

グループ : *aa....aa* は、連動系切り替えできる状態ではありません。

[英語]

Group:*aa....aa* are not states that a grouped exchange of system can be done.

グループ名で示すグループは、連動系切り替えができる状態ではありません。

aa....aa : グループ名

S :

処理を中止します。

○ :

-g オプションを指定したサーバ・系の状態表示コマンド (`monshow` コマンド) を実行してグループの状態を確認し、正しいグループ名でコマンドを再実行してください。

KAMN427-I (S+L)

[日本語]

連動系切り替え待ち状態の待機サーバ : *aa....aa* を実行サーバとして起動します。

[英語]

Standby server:*aa....aa* of a grouped exchange of systemwait state is started as Online server.

連動系切り替え待ち状態のサーバの系切り替えを開始します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN428-E (E)

[日本語]

グループ : aa....aa がありません。

[英語]

Group:aa....aa does not exist in system.

グループ名で示すグループがありません。

aa....aa : グループ名

S :

処理を中止します。

○ :

グループ名を確認し、コマンドを再実行してください。

KAMN429-I (S)

[日本語]

グループ : aa....aa の計画系切り替えを開始します。

[英語]

A planned exchange of system is done for a group:aa....aa.

グループ名で示すグループの計画系切り替えを開始します。

aa....aa : グループ名

S :

処理を続行します。

KAMN430-E

[日本語]

グループ : aa....aa のサーバ : bb....bb の系切り替え処理で異常が発生しました。サーバの状態を確認してください。

[英語]

An error occurred in the processing of an exchange of system of group:aa....aa of the server:bb....bb. Confirm the state of the server.

グループ名で示すグループの系切り替え処理で、異常が発生しました。

aa....aa : グループ名

bb....bb : サーバ識別名

S :

処理を中止します。

○ :

サーバ・系の状態表示コマンド (`monshow` コマンド) で、サーバの状態を確認してください。サーバが停止している場合は、再起動してサーバ・系の状態表示コマンド (`monshow` コマンド) を再実行してください。

KAMN431-E (E+L)

[日本語]

サーバ：*aa....aa* は、グループ化されているため計画系切り替えできません。

[英語]

Because it is grouped, a planned exchange of system cannot be done for the server:*aa....aa*.

サーバ識別名で示すサーバは、グループ化されているため計画系切り替えできません。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を中止します。

○ :

サーバ・系の状態表示コマンド (`monshow` コマンド) でサーバの状態を確認し、計画系切り替えを再実行してください。計画系切り替えは、サーバの系切り替えコマンド (`monswap` コマンド) に-g オプションを指定して実施してください。

KAMN432-W

[日本語]

実行サーバ：*aa....aa* の処理中にホスト(*bb....bb*)との通信で異常が発生しました。

[英語]

While processing Online server:*aa....aa*, an error occurred on communication with host(*bb....bb*).

サーバ識別名で示すサーバの処理中に、ホスト名で示すホストとの通信で障害が発生しました。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : ホスト名

S :

処理を続行します。

○ :

通信できない原因とサーバの状態を調査してください。

KAMN433-W

[日本語]

サーバ：*aa....aa* がありません。

[英語]

Server:*aa....aa* does not exist in system.

コマンドのオプションに指定されたサーバが稼働していません。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を終了します。

○ :

サーバ識別名を確認し、コマンドを再実行してください。

KAMN434-W

[日本語]

サーバ：*aa....aa* は、*bb....bb* コマンドを実行できる状態ではありません。コマンド処理を中止します。

[英語]

Server:*aa....aa* is not a state that the *bb....bb* command can be executed. Command processing is stopped.

サーバ識別名で示すサーバは、コマンドを実行できる状態ではありません。コマンド処理を中止します。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : コマンド名

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

サーバの状態を確認し、コマンドを実行できる状態になってからコマンドを再実行してください。

KAMN435-W

[日本語]

サーバ : aa....aa の bb....bb には、cc....cc が指定されています。

[英語]

Server:aa....aa, The cc....cc is defined in the bb....bb.

サーバ識別名で示すサーバの、サーバ対応の環境設定の該当するオペランドには、すでに同じ値が指定されています。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : オペランド名

cc....cc : 指定値

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

サーバ対応の環境設定で、追加しようとした値がすでに定義されていないかどうかを確認し、HA モニタのコマンドを再実行してください。

KAMN436-W

[日本語]

サーバ : aa....aa の bb....bb には、cc....cc が指定されていません。

[英語]

Server:aa....aa, The cc....cc is not defined in the bb....bb.

サーバ識別名で示すサーバの、サーバ対応の環境設定の該当するオペランドには、指定された値がありません。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : オペランド名

cc....cc : 指定値

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

削除しようとした指定値が、サーバ対応の環境設定で定義されていることを確認し、HA モニタのコマンドを再実行してください。

KAMN437-W

[日本語]

サーバ：*aa....aa* の *bb....bb* に *cc....cc* を指定すると、指定数が最大値を超えます。

[英語]

When the *cc....cc* is defined to the *bb....bb* of Server:*aa....aa*, The number of the values has exceeded a maximum value.

サーバ識別名で示すサーバの、サーバ対応の環境設定の該当するオペランドに値を指定すると、指定数が最大値を超えます。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : オペランド名

cc....cc : 指定値

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

指定数が最大値を超えないよう、リソースの構成を見直してください。

KAMN438-W

[日本語]

指定値：*aa....aa* は、指定方法が正しくありません。

[英語]

The value:*aa....aa*, The method of a definition of the value is incorrect.

指定された値は、指定方法が正しくありません。

aa....aa : 指定値

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

正しい指定方法で HA モニタのコマンドを再実行してください。

KAMN439-W

[日本語]

サーバ：*aa....aa* はコマンド処理中のため、*bb....bb* コマンドは実行できません。

[英語]

Because server:*aa....aa* is during command processing, Command(*bb....bb*) cannot be executed.

サーバ識別名で示すサーバはコマンド処理中のため、指定したコマンドを実行できません。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : コマンド名

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

実行中のコマンド処理が終了したあと、コマンドを再実行してください。

KAMN444-E

[日本語]

実行サーバ：*aa....aa* が既に起動されています。サーバ：*bb....bb* は起動できません。

[英語]

Online server:*aa....aa* is already started. Server:*bb....bb* cannot start.

実行サーバ識別名で示すサーバが、すでに起動されているため、サーバ識別名で示すサーバが起動できません。起動処理を中止します。

aa....aa : 実行サーバ識別名

bb....bb : サーバ識別名

S :

処理を中止します。

○ :

必要に応じて実行サーバを停止させるか、計画系切り替えをしてサーバを再起動してください。

KAMN445-I

[日本語]

実行サーバ：*aa....aa* を起動するため、サーバ：*bb....bb* を終了します。

[英語]

Server:*bb....bb* is terminated, because online server:*aa....aa* is started.

実行サーバ識別名で示す実行サーバを起動するため、サーバ識別名で示すサーバを終了します。

aa....aa : 実行サーバ識別名

bb....bb : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN446-E (E)

[日本語]

実行サーバが既に起動されています。サーバ：*aa....aa* は起動できません。

[英語]

Online server is already started. Server:*aa....aa* cannot start.

実行サーバがすでに起動されているため、サーバ識別名で示すサーバが起動できません。起動処理を中止します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を中止します。

○ :

必要に応じて実行サーバを停止させるか、計画系切り替えをしてサーバを再起動してください。

KAMN447-W

[日本語]

稼働中の系の数が最少稼働ホスト数以下です。稼働中の系の数 : $aa....aa$ 最少稼働ホスト数 : $bb....bb$

[英語]

The number of operating hosts is the number specified for the suppress_reset operand or fewer. (number of operating hosts: $aa....aa$, number specified for the suppress_reset operand: $bb....bb$)

ホスト名で示すホストは、稼働中の系の数が最少稼働ホスト数以下そのため、他系へのリセットを抑止している状態です。実行系の障害時、実行系のリセットが抑止され、系切り替え待ち状態となる可能性があります。

$aa....aa$: 稼働中の系の数

$bb....bb$: 最少稼働ホスト数

S :

処理を続行します。

○ :

系切り替え待ち状態としたい場合は、稼働中の系の数を最少稼働ホスト数以上にしてください。

KAMN448-W (E+L)

[日本語]

定義ファイル : servers $aa....aa$ オペランドの処理中に異常が発生しました。詳細コード : $bb....bb$

[英語]

Definition file:servers, Abnormalities occurred during processing of a $aa....aa$ operand.

Details: $bb....bb$

サーバ対応の環境設定の $aa....aa$ オペランドの処理中に異常が発生しました。

$aa....aa$: オペランド名

$bb....bb$: 詳細コード (1~2 行)

詳細コード	意味
1	オペランドの指定値がない
2	オペランドがない

S :

処理を続行します。

○ :

サーバ対応の環境設定に指定したオペランドの内容を確認し、誤りを修正してください。

KAMN449-I

[日本語]

サーバ : aa....aa の bb....bb オペランドの cc....cc に対応する指定値を変更しました。

[英語]

Server aa....aa, The specification value corresponding to cc....cc of a bb....bb operand was changed.

サーバ識別名で示すサーバの、サーバ対応の環境設定の該当するオペランドの指定値を変更しました。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : オペランド名

cc....cc : リソース名称

S :

処理を続行します。

KAMN450-I (S)

[日本語]

使用方法 : mondevice -Q

mondevice サーバ識別名 -a デバイス種別 リソース名称

mondevice サーバ識別名 -d デバイス種別 リソース名称

mondevice サーバ識別名 -c デバイス種別 リソース名称 変更種別 属性

[英語]

Usage: mondevice -Q

mondevice alias -a device-type resource-name

mondevice alias -d device-type resource-name

mondevice alias -c device-type resource-name change-type attribute

サーバの共有リソース動的変更コマンド（mondevice コマンド）の実行形式が誤っているとき、メッセージ KAMN021-E に続いて出力されます。

S :

処理を続行します。

KAMN451-E (E)

[日本語]

サーバ : aa....aa は、 bb....bb コマンドを実行できる状態ではありません。コマンド処理を中止します。

[英語]

Server:aa....aa is not a state that the bb....bb command can be executed. Command processing is stopped.

サーバ識別名で示すサーバは、コマンドを実行できる状態でないため、コマンド処理を中止します。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : コマンド名

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

サーバの状態を確認し、コマンドを実行できる状態になってからコマンドを再実行してください。

KAMN452-E (E)

[日本語]

サーバ : aa....aa の bb....bb には、 cc....cc が指定されています。

[英語]

Server:aa....aa, The cc....cc is defined in the bb....bb.

サーバ識別名で示すサーバの、サーバ対応の環境設定の該当するオペランドには、すでに同じ値が指定されています。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : オペランド名

cc....cc : 指定値

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

サーバ対応の環境設定で、追加しようとした値がすでに定義されていないかどうかを確認し、 HA モニタのコマンドを再実行してください。

KAMN453-E (E)

[日本語]

サーバ : aa....aa の bb....bb には、 cc....cc が指定されていません。

[英語]

Server:aa....aa, The cc....cc is not defined in the bb....bb.

サーバ識別名で示すサーバの、 サーバ対応の環境設定の該当するオペランドには、 指定された値はありません。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : オペランド名

cc....cc : 指定値

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

削除しようとした値が、 サーバ対応の環境設定で定義されていることを確認し、 HA モニタのコマンドを再実行してください。

KAMN454-E (E)

[日本語]

サーバ : aa....aa の bb....bb に cc....cc を指定すると、 指定数が最大値を超えます。

[英語]

When the cc....cc is defined to the bb....bb of Server:aa....aa, The number of the values has exceeded a maximum value.

サーバ識別名で示すサーバの、 サーバ対応の環境設定の該当するオペランドに値を指定すると、 指定数が最大値を超えます。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : オペランド名

cc....cc : 指定値

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

指定数が最大値を超えないよう、リソースの構成を見直してください。

KAMN455-E (E)

[日本語]

指定値：*aa....aa* は、指定方法が正しくありません。

[英語]

The value:*aa....aa*, The method of a definition of the value is incorrect.

指定された値は、指定方法が正しくありません。

aa....aa : 指定値

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

正しい指定方法で HA モニタのコマンドを再実行してください。

KAMN456-E (E)

[日本語]

aa....aa コマンド処理中に異常が発生しました。コマンド処理を中止します。

[英語]

An error occurred in command(*aa....aa*). Command cannot be executed.

コマンド名で示す HA モニタのコマンドの処理中に、異常が発生しました。処理を中止します。

aa....aa : コマンド名

S :

コマンド処理を中止します。

O :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

このメッセージの前に出力されるエラーメッセージを基に、原因を調査してください。

サーバの共有リソース動的変更コマンド (`mondevice` コマンド) を実行してこのメッセージが出力された場合、他系でエラーメッセージが出力されているおそれがあります。他系で出力されるエラーメッセージも参照して原因を調査してください。

`monsetup` コマンドのエージェントモードの設定時に出力された場合、`/etc/systemd/system` 配下に `Hamon-powercontrol.service` ファイルが存在することがあります。`Hamon-powercontrol.service` ファイルがあったとき、削除してコマンドを再実行してください。なお、`Hamon-powercontrol.service` ファイルを`/etc/systemd/system` 配下にコピーして編集する場合は、`monsetup` コマンドのエージェントモードの設定後にしてください。

KAMN457-I

[日本語]

サーバ : *aa....aa* の *bb....bb* に、*cc....cc* を追加しました。

[英語]

Server:*aa....aa*, The *cc....cc* was added to *bb....bb*.

サーバ識別名で示すサーバの、サーバ対応の環境設定の該当するオペランドに、リソース名称を追加しました。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : オペランド名

cc....cc : リソース名称

S :

処理を続行します。

KAMN458-I

[日本語]

サーバ : *aa....aa* の *bb....bb* から、*cc....cc* を削除しました。

[英語]

Server:*aa....aa*, The *cc....cc* was deleted from *bb....bb*.

サーバ識別名で示すサーバの、 サーバ対応の環境設定の該当するオペランドから、 リソース名称を削除しました。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : オペランド名

cc....cc : リソース名称

S :

処理を続行します。

KAMN459-I (S)

[日本語]

aa....aa コマンド処理を終了しました。

[英語]

Command:*aa....aa* was terminated.

コマンド名で示す HA モニタのコマンドの処理を終了しました。

aa....aa : コマンド名

S :

コマンド処理を終了します。

KAMN460-E (E+L)

[日本語]

aa....aa コマンド処理中に異常が発生しました。コマンド処理を中止します。

[英語]

An error occurred in command(*aa....aa*). Command cannot be executed.

コマンド名で示す HA モニタのコマンドの処理中に異常が発生しました。コマンド処理を中止します。

aa....aa : コマンド名

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

このメッセージの前に出力されるエラーメッセージを基に、原因を調査してください。

サーバの共有リソース動的変更コマンド (`mondevice` コマンド) を実行してこのメッセージが出力された場合は、サーバと系の状態表示コマンド (`monshow` コマンド) を-d オプションを指定して実行し、デバイスの状態、およびサーバ対応の環境設定の内容が正しいかどうかを確認してください。正しくない場合は、定義を変更してからサーバの共有リソース動的変更コマンド (`mondevice` コマンド) を再度実行してください。

KAMN461-W

[日本語]

他系ホストのサーバ : *aa....aa* はデバイス処理中に異常が発生しました。自系サーバは実行サーバのためデバイス処理を続けます。

[英語]

Server:*aa....aa* of other host occurred abnormally during device processing. The server of own host continues device processing for Online server.

指定された他系ホストのサーバのデバイス処理中に、異常が発生しました。自系サーバは実行サーバのため、デバイス処理を続行します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○ :

実行サーバと待機サーバのデバイスの状態を確認してください。デバイスの状態が異なる場合は待機サーバを終了させ、定義を変更してから再起動してください。

KAMN462-E

[日本語]

他系ホストのサーバ : *aa....aa* はデバイス処理中に異常が発生しました。自系サーバは待機サーバのためデバイス処理を中止します。

[英語]

Server:*aa....aa* of other host occurred abnormally during device processing. The server of own host stopped device processing for Standby server.

指定された他系ホストのサーバのデバイス処理中に、異常が発生しました。自系サーバは待機サーバのため、デバイス処理を中止します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を中止します。

O :

実行サーバと待機サーバのデバイスの状態を確認してください。デバイスの状態が異なる場合は待機サーバを終了させ、定義を変更してから再起動してください。

KAMN463-W

[日本語]

定義ファイル:servers の変更中に異常が発生しました。定義ファイルの内容を確認してください。

[英語]

Abnormality had occurred in changing definition file:servers. Confirm the contents of the definition file.

サーバの共有リソース動的変更コマンド (`mondevice` コマンド) の処理で、サーバ対応の環境設定の内容変更中に、異常が発生しました。

S :

処理を続行します。

O :

サーバ対応の環境設定の内容が正しく変更されているか確認してください。正しく変更されていない場合は、サーバ対応の環境設定の内容を修正してください。

KAMN464-I

[日本語]

ホスト：*aa....aa* でサーバの停止コマンドが処理に失敗しました。

[英語]

Processing of the command to stop a server failed on a host:*aa....aa*.

ホスト名で示すホストで、サーバの停止コマンドが失敗しました。このメッセージに続いて、メッセージ KAMN348-I が出力されます。

aa....aa : ホスト名

S :

処理を続行します。

○ :

ホスト名で示すホストでサーバの停止コマンドが失敗した原因を調査し、障害の原因を取り除いてください。

KAMN465-E (E)

[日本語]

サーバ:aa....aa はコマンド処理中のため、bb....bb コマンドは実行できません。

[英語]

Because server:aa....aa is during command processing, Command(bb....bb) cannot be executed.

サーバ識別名で示すサーバはコマンド処理中のため、指定したコマンドは実行できません。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : コマンド名

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

実行中のコマンド処理が終了したあと、コマンドを再実行してください。

KAMN466-E (E)

[日本語]

HA モニタはaa....aa コマンド処理中のため、bb....bb コマンドは実行できません。

[英語]

Because HAmonitor is during Command(aa....aa) processing, Command(bb....bb) cannot be executed.

HA モニタがコマンド処理中のため、指定したコマンドを実行できません。

aa....aa : 処理中のコマンド名

bb....bb : 実行しようとしたコマンド名

S :

実行しようとしたコマンド処理を中止します。

○ :

実行中のコマンド処理が終了したあと、コマンドを再実行してください。

KAMN474-E

[日本語]

サーバ：*aa....aa* の制御グループが切り離しができません。ID：*bb....bb* code：*cc....cc*

[英語]

The control group of server:*aa....aa* cannot be disconnected. ID:*bb....bb* code:*cc....cc*

サーバ識別名で示すサーバの制御グループの切り離しができません。接続したまま処理を続行します。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : 制御グループ ID

cc....cc : 詳細コード

S :

処理を続行します。

○ :

必要に応じてデバイスの切り離しをしてください。

KAMN475-E

[日本語]

サーバ：*aa....aa* の制御グループが接続できません。ID：*bb....bb* code：*cc....cc*

[英語]

The control group of server:*aa....aa* cannot be connected. ID:*bb....bb* code:*cc....cc*

サーバ識別名で示すサーバの制御グループが、接続できません。接続しないまま処理を続行します。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : 制御グループ ID

cc....cc : 詳細コード

S :

処理を続行します。

○ :

必要に応じてデバイスを接続してください。

KAMN477-W

[日本語]

他系ホスト：*aa....aa* のサーバ：*bb....bb* はデバイス処理中に異常が発生しました。自系サーバはデバイス処理を続けます。

[英語]

Server:*bb....bb* of other host:*aa....aa* occurred abnormally during device processing. The server of own host continues device processing.

指定された他系ホストのサーバのデバイス処理中に、異常が発生しました。自系サーバはデバイス処理を続行します。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○ :

自系サーバと他系サーバのデバイスの状態を確認してください。デバイスの状態が異なる場合は他系サーバを終了させ、定義を変更してから再起動してください。

KAMN478-E (E+L)(AIX)

[日本語]

このシステムでは指定された機能は使用出来ません。機能：*aa....aa*

[英語]

The specified function cannot be used in this system. Function:*aa....aa*

現在の環境では指定された機能は使用できません。

aa....aa : 機能

CPUDOWN-SYSTEM : 相互系切り替え構成での、系切り替え時間の短縮

S :

処理を中断します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

機能別に、次の処置をしてください。

機能	処置
CPUDOWN-SYSTEM	HA モニタの環境設定、およびハードウェア構成を確認してください。必要に応じて定義を修正したり、ハードウェアを見直したりしてください。

KAMN478-E (E+L)(Linux(x86))

[日本語]

このシステムでは指定された機能は使用出来ません。機能 : *aa....aa*

[英語]

The specified function cannot be used in this system. Function:*aa....aa*

現在の環境では指定された機能は使用できません。

aa....aa : 機能

CPUDOWN-SYSTEM : 相互系切り替え構成での、系切り替え時間の短縮

S :

処理を中断します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

機能別に、次の処置をしてください。

機能	処置
CPUDOWN-SYSTEM	HA モニタの環境設定の cpudown オペランド、およびスイッチ&マネジメントモジュールのクラスタ管理機能に関する設定を確認してください。必要に応じて定義、およびスイッチ&マネジメントモジュールの設定を修正してください。

KAMN479-E (E)

[日本語]

定義ファイル:servers *aa....aa* オペランドに指定されている LAN アダプタ *bb....bb* は、定義ファイル:sysdef の *cc....cc* オペランドに含まれていなければなりません。

[英語]

Definition file:servers, The LAN adaptor '*bb....bb*' specified as the '*aa....aa*' operand must be also specified as '*cc....cc*' operand in definition file:sysdef.

サーバ対応の環境設定に指定した LAN アダプタ名は、HA モニタの環境設定のオペランドにも指定する必要があります。

aa....aa で示すサーバ対応の環境設定のオペランド名が switchbyfail オペランドの場合は、switchbyfail オペランドに指定した LAN アダプタを、*cc....cc* で示す HA モニタの環境設定のオペランド名で現用 LAN アダプタとして指定する必要があります。

aa....aa : サーバ対応の環境設定のオペランド名

bb....bb : LAN アダプタ名

cc....cc : HA モニタの環境設定のオペランド名

S :

処理を続行します。

O :

サーバ対応の環境設定と HA モニタの環境設定とで、正しい LAN アダプタ名が両方の環境設定に指定されているかを確認し、必要に応じて修正してください。

KAMN480-E

[日本語]

LAN アダプタ *aa....aa* のチェックに失敗しました。詳細コード:*bb....bb*

[英語]

An error occurred in the LAN adaptor '*aa....aa*' checking. Error details:*bb....bb*

LAN アダプタの監視時の状態チェック処理でエラーが発生しました。

aa....aa : LAN アダプタ名

bb....bb : 詳細コード

詳細コード	意味
1	現在待機状態の LAN アダプタのチェック処理に失敗しました。
2	現在使用されている LAN アダプタのチェック処理に失敗しました。
3	LAN アダプタ切り替え処理発生時、切り替え先となる LAN アダプタのチェック処理に失敗しました。

S :

処理を続行します。

○ :

LAN アダプタ名が正しく構成されているかどうかを確認し、必要に応じて修正してください。

KAMN481-E

[日本語]

LAN アダプタ aa....aa に接続障害が発生しました。

[英語]

A connection error had occurred in the LAN adaptor 'aa....aa'.

LAN アダプタの監視時の状態チェック処理で LAN アダプタの障害が検出されました。

aa....aa : LAN アダプタ名

S :

処理を続行します。

○ :

LAN アダプタ名が正しく構成されているかどうかを確認し、必要に応じて修正してください。

KAMN482-W

[日本語]

接続障害発生のため LAN アダプタ aa....aa を bb....bb に切替えました。

[英語]

Because a connection error had occurred, Switch the LAN adaptor 'aa....aa' to 'bb....bb'.

ペア指定された LAN アダプタの片方に障害が発生したため、もう片方の LAN アダプタに接続を切り替えました。

aa....aa : ペア LAN アダプタ名 1

bb....bb : ペア LAN アダプタ名 2

S :

処理を続行します。

KAMN483-E

[日本語]

ペア指定されている LAN アダプタ *aa....aa* と *bb....bb* の両方とも接続可能状態にすることができますませんでした。

[英語]

Cannot set connection availability status to pair LAN adaptor both '*aa....aa*' and '*bb....bb*'.

HA モニタの環境設定の `lan_pair` オペランドでペア指定された二つの LAN アダプタの両方とも起動に失敗しました。

aa....aa : ペア LAN アダプタ名 1

bb....bb : ペア LAN アダプタ名 2

S :

処理を続行します。

O :

LAN アダプタ名が正しく構成されているかどうかを確認し、必要に応じて修正してください。

KAMN484-E (E)

[日本語]

LAN アダプタペアの指定方法に誤りがあります。

[英語]

There is an error in specified 'lan_pair' operand.

HA モニタの環境設定の `lan_pair` オペランドの指定方法に誤りがあります。

S :

処理を中止します。

O :

HA モニタの環境設定の `lan_pair` オペランドの指定方法が正しいかどうかを確認し、必要に応じて修正してください。

KAMN485-E (E)

[日本語]

ペアとして指定した LAN アダプタ *aa....aa* はアダプタ名として適当ではありません。

[英語]

The specified LAN adaptor name '*aa....aa*' is wrong as the LAN adaptor name.

HA モニタの環境設定の `lan_pair` オペランドに指定された LAN アダプタ名が誤っています。

aa....aa : LAN アダプタ名

S :

処理を中止します。

○ :

HA モニタの環境設定の `lan_pair` オペランドに指定した LAN アダプタ名が "lan" で始まる名称かどうかを確認し、必要に応じて修正してください。

KAMN486-E (E)

[日本語]

同じ LAN アダプタ同士はペアとして指定できません。

[英語]

The same LAN adaptor cannot be specified as LAN pair.

HA モニタの環境設定の `lan_pair` オペランドに同じ LAN アダプタ同士がペアとして指定されています。

S :

処理を中止します。

○ :

HA モニタの環境設定の `lan_pair` オペランドに同じ LAN アダプタがペアとして指定されていないかどうかを確認し、必要に応じて修正してください。

KAMN487-E (E)

[日本語]

ペアとして指定した LAN アダプタ *aa....aa* は本システムでは使用できません。

[英語]

The specified LAN adaptor name 'aa....aa' cannot be used in this system.

HA モニタの環境設定の lan_pair オペランドにこのシステムでは定義されていない LAN アダプタが指定されています。

aa....aa : LAN アダプタ名

S :

処理を中止します。

○ :

HA モニタの環境設定の lan_pair オペランドにこのシステムで使用できない LAN アダプタがないかどうかを確認し、必要に応じて修正してください。

KAMN488-E

[日本語]

ペア指定されている LAN アダプタ *aa....aa* と *bb....bb* 両方に障害が発生したため、LAN アダプタの切替えができませんでした。

[英語]

Because a connection failure was occurred both LAN adaptor '*aa....aa*' and '*bb....bb*', cannot switch the LAN adaptor.

LAN アダプタの監視処理のタイミングでペア指定されている両方の LAN アダプタが障害状態のため、LAN アダプタの切り替え処理ができませんでした。

aa....aa : 現用 LAN アダプタ名

bb....bb : 予備 LAN アダプタ名

S :

処理を続行します。

○ :

表示された LAN アダプタの障害を取り除き、HA モニタを再起動してください。

KAMN489-E

[日本語]

LAN アダプタ *aa....aa* から *bb....bb* への切替え処理に失敗しました。詳細コード : *cc....cc*

[英語]

An error occurred in switch the LAN adaptor 'aa....aa' to 'bb....bb'. Error details:cc....cc

LAN アダプタの監視処理のタイミングでアダプタの切り替え処理を試みましたが、内部コマンドエラーによって切り替え処理が完了できませんでした。

aa....aa : 現用 LAN アダプタ名

bb....bb : 予備 LAN アダプタ名

CC....CC : 詳細コード

詳細コード	意味
1	障害となった LAN アダプタからのエイリアス IP アドレスの削除処理に失敗しました。
2	切り替え先 LAN アダプタへのステーショナリ IP アドレスを与える処理に失敗しました。
3	切り替え先 LAN アダプタへのエイリアス IP アドレスを与える処理に失敗しました。
4	LAN アダプタ切り替え処理でシステムコールエラーが発生しました。エラーの詳細はこのメッセージの前に出力されるメッセージ KAMN601-W に表示されています。

S :

処理を続行します。

○ :

使用している LAN アダプタの接続状態を確認し、障害が発生していれば障害の原因を取り除き、 HA モニタを再起動してください。

KAMN490-E (E+L)

[日本語]

LAN アダプタペア指定において、LAN アダプタ *aa....aa* が複数のペアで使用されています。

[英語]

The LAN adaptor 'aa....aa' was defined multiply in 'lan_pair' operand.

HA モニタの環境設定の `lan_pair` オペランドの指定で、一つの LAN アダプタが複数のペアで定義されています。

aa....aa : LAN アダプタ名

S :

処理を中止します。

○：

HA モニタの環境設定の `lan_pair` オペランドの項目を見直し、一つの LAN アダプタが複数のペアで使用されていないかどうかを確認し、必要に応じて修正してください。

KAMN491-I

[日本語]

ペア指定されている LAN アダプタのうち `aa....aa` が障害から復帰したため、接続を回復します。

[英語]

The LAN adaptor '`aa....aa`' is recovered from error. Network connection is now restored.

ペア指定されている LAN アダプタが両方とも障害になっている状態から、片側の LAN アダプタが障害から回復したため、その LAN アダプタを使用してネットワーク接続を回復しました。

`aa....aa` : LAN アダプタ名

S :

処理を続行します。

KAMN492-I

[日本語]

LAN アダプタ `aa....aa` の接続が回復しました。

[英語]

The LAN adaptor '`aa....aa`' 's connection is recovered.

ペア指定している LAN アダプタの接続が回復しました。

`aa....aa` : LAN アダプタ名

S :

処理を続行します。

KAMN493-E

[日本語]

LAN アダプタ `aa....aa` に障害が発生しています。

[英語]

The error has occurred to the lan adaptor.

LAN アダプタに障害が発生しています。

aa....aa : LAN アダプタ名

S :

処理を続行します。

○ :

LAN アダプタの障害を取り除いてください。

KAMN494-E

[日本語]

LAN の状態設定ファイル : *aa....aa* の実行中に異常が発生しました。原因コード : *bb....bb*

[英語]

Abnormalities occurred in execution of the LAN status setting file:*aa....aa*. Cause code:*bb....bb*.

LAN の状態設定ファイルの実行中に異常が発生しました。

aa....aa : LAN の状態設定ファイル名

bb....bb : 原因コード (LAN の状態設定ファイルの終了コード)

S :

処理を続行します。

○ :

異常の原因を取り除いてください。

パブリッククラウド上で実行している場合、パブリッククラウド上で CLI を実行するための設定がされていないか、設定が誤っているおそれがあります。マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタパブリッククラウド編』の「【AWS】 AWS の設定」、「【Azure】 Azure の設定」、または「【OCI】 OCI の設定」を参照して設定を見直し、誤りを修正してください。

KAMN495-E

[日本語]

ユーザコマンドの実行中に異常が発生しました。原因コード : *aa....aa*

[英語]

Abnormalities occurred during execution of a usercommand. Cause code: aa....aa

ユーザコマンドの実行中に異常が発生しました。

aa....aa : 原因コード（ユーザコマンドの終了コード）

S :

処理を続行します。

○ :

異常の原因を取り除いてください。

KAMN496-I

[日本語]

グループ : aa....aa の連動系切り替えが完了しました。

[英語]

The group conversion for the group:aa....aa is complete.

グループ名で示すグループの連動系切り替えが完了しました。

aa....aa : 連動系切り替えが完了したグループ名

S :

処理を続行します。

KAMN497-E

[日本語]

サーバ : aa....aa の停止コマンドの実行中に異常が発生しました。原因コード : bb....bb

[英語]

An abnormality occurred during the processing of the command to stop a server:aa....aa, cause code:bb....bb

サーバの停止コマンドの実行中に異常が発生しました。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : 原因コード

原因コード	意味
0	サーバの停止コマンドが exit しないで終了しました。
0 以外	サーバの停止コマンドの終了コードです。

S :

処理を続行します。

○ :

異常の原因を取り除いてください。

KAMN498-E

[日本語]

サーバ : aa....aa の起動を中止します。

[英語]

Starting of a server: aa....aa is stopped.

このメッセージは次の場合に 出力されます。

- ・ サーバ対応の環境設定の lan_neck オペランドに指定した二重化指定された LAN アダプタについて、現用・予備ともに障害状態の場合。
- ・ サーバ対応の環境設定の ip_neck オペランドに use を指定し、LAN の状態設定ファイルが 0 以外で exit した場合。
- ・ サーバ対応の環境設定の vg_neck オペランドまたは fs_neck オペランドに use を指定したリソースの接続に失敗した場合。
- ・ サーバ対応の環境設定の uoc_neck オペランドに use を指定し、ユーザコマンドが 0 以外で exit した場合。
- ・ HA モニタの環境設定の fence_scsi オペランドに use を指定し、サーバ対応の環境設定の scsi_device オペランドまたは scsi_dmmp オペランドに指定したデバイスの SCSI リザーブに失敗した場合。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○ :

異常の原因を取り除き、サーバを再起動してください。

KAMN499-E

[日本語]

共有リソースの処理がタイムアウトしました。

[英語]

Processing of a shared resource carried out the timeout.

定義に指定された時間内に、共有リソースの処理が完了しませんでした。

S :

処理を続行します。

○ :

共有リソースの状態を確認し、必要に応じてサーバを再起動させてください。

2.6 KAMN500～KAMN599

KAMN511-E

[日本語]

指定された LAN インタフェース :aa....aa は本システムでは使用できません。

[英語]

The specified LAN interface:aa....aa cannot be used with this system.

サーバ対応の環境設定の switchbyfail オペランドに指定された LAN インタフェースは、このシステムで使用できません。

aa....aa : LAN インタフェース名

S :

処理を中断します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

サーバ対応の環境設定の switchbyfail オペランドの指定値を確認してください。必要に応じて定義を修正したあと、HA モニタを再起動してください。

KAMN512-E (E)

[日本語]

LAN インタフェース :aa....aa に対応した LAN 監視定義ファイルが使用できません。詳細コード : bb....bb

[英語]

LAN monitor definition file corresponding to LAN interface:aa....aa cannot be used.
Details:bb....bb

指定された LAN インタフェースに対応した LAN 監視定義ファイルが使用できないか、または LAN 監視定義ファイルで指定された LAN インタフェースが使用できないおそれがあります。

aa....aa : LAN インタフェース名

bb....bb : 詳細コード

詳細コード	意味
0x00000001	LAN 監視定義ファイルで指定した、監視対象の LAN インタフェース名が 32 バイトを超えています。
0x00000002	LAN 監視定義ファイルで指定した監視対象の LAN はシステムに存在しません。
0x00000003	LAN 監視定義ファイルの読み取りができません。
0x00000004	LAN 監視定義ファイルの属性がディレクトリです。
0x00000007	LAN 監視定義ファイルに指定された IP アドレスまたは IP ラベルが /etc/hosts ファイルに指定されていません。
0x00000008	LAN 監視定義ファイルに指定された IP アドレスまたは IP ラベルが重複しています。
0x00000009	LAN 監視定義ファイルの構文に誤りがあります。
0x0000000A	<p>hbonding を監視する場合、LAN 監視定義ファイル内に指定された IP アドレスまたは IP ラベルの数が誤っています。lancheck_mode オペランドの指定値ごとに次のどちらかです。</p> <p>オペランド省略または packet 指定の場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> 次の数ではありません。 • 0, または 2~1,024 の間 <p>route 指定の場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> 次の数ではありません。 • 0, または 1~1,024 の間 <p>ethernet, または bonding を監視する場合、LAN 監視定義ファイル内に指定された IP アドレスまたは IP ラベルの数が、lancheck_mode オペランドの指定値ごとに次のどちらかです。</p> <p>オペランド省略または packet 指定の場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> 2~1,024 の間ではありません。 <p>route 指定の場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> 1~1,024 の間ではありません。

S :

処理を続行します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

LAN 監視定義ファイルを確認してください。必要に応じて定義を修正したあと、HA モニタを再起動してください。

KAMN513-E (E+L)

[日本語]

LAN監視の内部処理で異常が発生しました。詳細コード : aa....aa LANインターフェース : bb....bb

[英語]

Abnormality occurred by internal processing of LAN monitor processing. Details:*aa....aa* LAN interface: *bb....bb*

LAN の監視処理の環境確認で異常が発生しました。

aa....aa : 詳細コード

bb....bb : LAN インタフェース名

S :

処理を中断します。

O :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

このメッセージの前に出力されるメッセージを基に、異常の原因を取り除いてください。

KAMN514-E (E)(AIX)

[日本語]

定義ファイル：*aa....aa* の *bb....bb* オペランドの指定値と、定義ファイル：*cc....cc* の *dd....dd* オペランドの指定値に矛盾があります。

[英語]

There are contradiction in a specified value of the *bb....bb* operand of definition file:*aa....aa* and a specified value of the *dd....dd* operand of definition file:*cc....cc*.

各定義の指定方法に矛盾があります。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : オペランド名

cc....cc : 定義ファイル名

dd....dd : オペランド名

S :

処理を中断します。

O :

システム管理者に連絡してください。

対策：

表示内容の組み合わせ別に、次の処置を行ってください。HA モニタの環境設定を修正した場合、HA モニタを再起動してください。

表示内容の組み合わせ		処置
servers の switch_error	servers の switch_retry	系切り替え時の起動リトライ機能を使用する場合 <code>servers</code> の <code>switch_error</code> に <code>retry</code> を指定してください。 系切り替え時の起動リトライ機能を使用しない場合 <code>servers</code> の <code>switch_retry</code> を定義しないでください。
servers の dev_timelimit	servers の dev_onlimit	系切り替え時の共有リソース解放処理と接続処理に対するタイムアウト値に同じ時間を指定する場合 <code>servers</code> の <code>dev_onlimit</code> オペランドを定義しないでください。 系切り替え時の共有リソース解放処理と接続処理に対するタイムアウト値を分けて時間を指定する場合 <code>servers</code> の <code>dev_timelimit</code> オペランドを定義しないでください。
servers の dev_timelimit	servers の dev_offlimit	系切り替え時の共有リソース解放処理と接続処理に対するタイムアウト値に同じ時間を指定する場合 <code>servers</code> の <code>dev_offlimit</code> オペランドを定義しないでください。 系切り替え時の共有リソース解放処理と接続処理に対するタイムアウト値を分けて時間を指定する場合 <code>servers</code> の <code>dev_timelimit</code> オペランドを定義しないでください。
servers の ptrlcmd_ex	servers の patrolcommand	モニタモードのサーバの監視機能 (<code>servers</code> の <code>ptrlcmd_ex</code> オペランドを指定) を使用する場合 <code>servers</code> の <code>ptrlcmd_ex</code> オペランドを指定し、 <code>patrolcommand</code> オペランドを指定しないでください。 モニタモードのサーバの監視機能 (<code>servers</code> の <code>patrolcommand</code> オペランドを指定) を使用する場合 <code>servers</code> の <code>patrolcommand</code> オペランドを指定し、 <code>ptrlcmd_ex</code> オペランドを指定しないでください。

KAMN514-E (E)(Linux(x86))

[日本語]

定義ファイル : `aa....aa` の `bb....bb` オペランドの指定値と、定義ファイル : `cc....cc` の `dd....dd` オペランドの指定値に矛盾があります。

[英語]

There are contradiction in a specified value of the `bb....bb` operand of definition file:`aa....aa` and a specified value of the `dd....dd` operand of definition file:`cc....cc`.

各定義の指定方法に矛盾があります。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : オペランド名

cc....cc : 定義ファイル名

dd....dd : オペランド名

S :

処理を中断します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

表示内容の組み合わせ別に、次の処置を行ってください。HA モニタの環境設定を修正した場合、HA モニタを再起動してください。

表示内容の組み合わせ		処置
sysdef の cpudown	sysdef の vmware_env	<p>リセット優先系を実行系、または待機系にする場合 sysdef の cpudown に online もしくは standby を指定するか、または定義しないでください。</p> <p>リセット優先系を決めない場合</p> <ul style="list-style-type: none">VMware ESXi による仮想化環境上で、系切り替えを行うとき sysdef の cpudown に online もしくは standby を指定するか、または定義しないでください。VMware ESXi による仮想化環境上で、系切り替えを行わないとき sysdef の vmware_env に nouse を指定するか、または定義しないでください。
sysdef の fence_reset	sysdef の fence_scsi	<p>共有ディスクのデータの保護方法として、系のリセットをする場合</p> <ul style="list-style-type: none">sysdef の fence_reset に use を指定するか、または定義しないでください。sysdef の fence_scsi に nouse を指定するか、または定義しないでください。 <p>共有ディスクのデータの保護方法として、共有ディスクの SCSI リザーブをする場合</p> <ul style="list-style-type: none">sysdef の fence_scsi に use を指定してください。sysdef の fence_reset に nouse を指定してください。 <p>共有ディスクのデータの保護方法として、ハイブリッドフェンシングで系切り替えする場合</p> <ul style="list-style-type: none">sysdef の fence_reset に use を指定するか、または定義しないでください。sysdef の fence_scsi に use を指定してください。
servers の switch_error	servers の switch_retry	系切り替え時の起動リトライ機能を使用する場合 servers の switch_error に retry を指定してください。

表示内容の組み合わせ		処置
		系切り替え時の起動リトライ機能を使用しない場合 <code>servers</code> の <code>switch_retry</code> を定義しないでください。
sysdef の <code>fence_lan</code>	<code>sysdef</code> の <code>lanfailswitch</code>	サーバの系切り替え制御に LAN の通信可否制御を使用する場合 <code>sysdef</code> の <code>lanfailswitch</code> に <code>use</code> を指定してください。 サーバの系切り替え制御に LAN の通信可否制御を使用しない場合 <code>sysdef</code> の <code>fence_lan</code> に <code>nouse</code> を指定してください。
<code>servers</code> の <code>dev_timelimit</code>	<code>servers</code> の <code>dev_onlimit</code>	系切り替え時の共有リソース解放処理と接続処理に対するタイムアウト値に同じ時間を指定する場合 <code>servers</code> の <code>dev_onlimit</code> オペランドを定義しないでください。 系切り替え時の共有リソース解放処理と接続処理に対するタイムアウト値を分けて時間を指定する場合 <code>servers</code> の <code>dev_timelimit</code> オペランドを定義しないでください。
<code>servers</code> の <code>dev_timelimit</code>	<code>servers</code> の <code>dev_offlimit</code>	系切り替え時の共有リソース解放処理と接続処理に対するタイムアウト値に同じ時間を指定する場合 <code>servers</code> の <code>dev_offlimit</code> オペランドを定義しないでください。 系切り替え時の共有リソース解放処理と接続処理に対するタイムアウト値を分けて時間を指定する場合 <code>servers</code> の <code>dev_timelimit</code> オペランドを定義しないでください。
<code>servers</code> の <code>ptrlcmd_ex</code>	<code>servers</code> の <code>patrolcommand</code>	モニタモードのサーバの監視機能 (<code>servers</code> の <code>ptrlcmd_ex</code> オペランドを指定) を使用する場合 <code>servers</code> の <code>ptrlcmd_ex</code> オペランドを指定し, <code>patrolcommand</code> オペランドを指定しないでください。 モニタモードのサーバの監視機能 (<code>servers</code> の <code>patrolcommand</code> オペランドを指定) を使用する場合 <code>servers</code> の <code>patrolcommand</code> オペランドを指定し, <code>ptrlcmd_ex</code> オペランドを指定しないでください。
<code>servers</code> の <code>ptrlcmd_ex</code>	<code>servers</code> の <code>program</code>	モニタモードのサーバの監視機能 (<code>servers</code> の <code>ptrlcmd_ex</code> オペランドを指定) を使用する場合 <code>servers</code> の <code>ptrlcmd_ex</code> オペランドを指定し, <code>program</code> オペランドを指定しないでください。 プログラム管理機能を使用する場合 <code>servers</code> の <code>program</code> オペランドを指定し, <code>ptrlcmd_ex</code> オペランドを指定しないでください。

KAMN515-E (E)

[日本語]

LAN監視スクリプト :aa....aaがないか、実行権限がありません。

[英語]

The LAN monitoring script:*aa....aa* does not exist or execution of this script is not permitted.

LAN 監視スクリプトが存在しないか、実行権限がありません。

aa....aa : LAN 監視スクリプトのファイル名

S :

処理を中断します。

O :

LAN 監視スクリプトが設定されているかどうか、または実行権限があるかどうかを確認したあと、 HA モニタを再起動してください。

KAMN516-E (E)

[日本語]

定義ファイル：*aa....aa* の *bb....bb* オペランドの指定値：*cc....cc* に設定誤りがあります。詳細コード：*dd....dd*

[英語]

The value specified (specified value:*cc....cc*) for the *bb....bb* operand of the *aa....aa* definition file is invalid. Details code:*dd....dd*

定義ファイルに指定されたオペランドの設定に誤りがあります。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : オペランド名

cc....cc : オペランドの指定値

dd....dd : 詳細コード

詳細コード	意味
NOT HBONDING	指定した LAN インタフェースは hbonding でないため、LAN の監視機能で hbonding のステータスを監視できません。
NOT 802.3AD LACP	指定した LAN インタフェースは動作モードが 802.3ad モードでないため、LAN の監視機能で hbonding のステータスを監視する場合、障害が検知できないことがあります。
NOT FOUND LANMONDEF	指定した LAN インタフェースに対応する LAN 監視定義ファイルが存在しないため、LAN の監視機能を使用できません。
NOT FOUND DISKMONDEF	ディスク監視を使用する設定となっていますが、ディスクの監視定義ファイルが存在しないため、ディスク監視を使用できません。

詳細コード	意味
FAILED FENCE_NETWORK_ENV	<p>ネットワーク遮断による系切り替えをする設定となっていますが、次のどちらかの理由で、系障害時に系切り替えできないおそれがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク遮断設定ファイルがないか、ファイルの定義内容に誤りがある AWS 上で AWS CLI が実行できなかった

S :

処理を続行します。

○ :

詳細コード別に、次の処置をしてください。

詳細コード	意味
NOT HBONDING	指定した LAN インタフェースが <code>hbonding</code> であることを確認し、 <code>hbonding</code> を指定してください。
NOT 802.3AD LACP	指定した LAN インタフェースの動作モードが <code>802.3ad</code> モードであることを確認し、動作モードが <code>802.3ad</code> モードの <code>hbonding</code> を指定してください。
NOT FOUND LANMONDEF	指定した LAN インタフェースに対応する LAN 監視定義ファイルがあるかどうかを確認し、LAN の監視機能を使用するための設定をしてください。
NOT FOUND DISKMONDEF	ディスクの監視定義ファイルを作成してください。
FAILED FENCE_NETWORK_ENV	<p>AWS 上で AWS CLI が実行できない場合は、マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタパブリッククラウド編』の「【AWS】AWS の設定」を参照して設定を見直し、誤りを修正してください。</p> <p>AWS 上で AWS CLI が実行できる場合は、ネットワーク遮断設定ファイルを正しく作成してください。</p>

KAMN517-E

[日本語]

サーバ：`aa....aa` の監視コマンドによりサーバの異常を検知しました。HA モニタを異常終了させます。

[英語]

An error of Online server:`aa....aa` was detected by patrol command. The HAmonitor is made to end abnormally.

モニタモードのサーバの監視コマンドで、サーバ識別名で示すサーバの異常を検知したため、HA モニタを異常終了させます。このメッセージは系のペアダウン機能使用時に出力されます。

`aa....aa` : サーバ識別名

S :

HA モニタを異常終了させます。ホストは別ホストの HA モニタからシステムリセットされます。

○：

システム管理者に連絡してください。

対策：

サーバの異常の原因を調査し、ホストを再起動させてください。/opt/hitachi/Hamon/spool/ptrlcmd_ex/
サーバ識別名_ptrlcmdlog ファイルに取得された監視コマンドの実行ログを参考に、サーバの異常の原
因を調査してください。

KAMN519-E

[日本語]

サーバ：aa....aa の待機系での監視コマンドにより異常を検知しました。

[英語]

An error of server:aa....aa was detected by patrol command in the standby system.

待機系での監視コマンド（サーバ対応の環境設定の sby_ptrlcmd_ex）でサーバ識別名で示すサーバの異常を検出しました。

aa....aa : サーバ識別名

S：

サーバ対応の環境設定の sby_servexec_retry オペランドに従い、次の動作をします。

- サーバ対応の環境設定の sby_servexec_retry オペランドを省略、または 0 を指定している場合、
サーバを停止します。
- サーバ対応の環境設定の sby_servexec_retry オペランドに 0 以外を指定している場合、サーバを再
起動します。ただし、プログラムの再起動限界に達した場合は、サーバを停止します。

○：

システム管理者に連絡してください。

対策：

監視コマンドにより異常を検知した原因を調査してください。/opt/hitachi/Hamon/spool/ptrlcmd_ex/
サーバ識別名_ptrlcmdlog ファイルに取得された監視コマンドの実行ログを参考に、異常の原因を調査
してください。

KAMN521-W (Linux(x86)およびAIX)

[日本語]

サーバ：aa....aa は監視の一時停止中です。機能：bb....bb

[英語]

Monitoring is paused for a server. Server: aa....aa. Function: bb....bb.

サーバ識別名で示すサーバは、該当する機能の監視を一時停止中です。このメッセージは、ユーザへの状態通知を目的として、一定間隔で出力されます。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : 機能（オペランド）

機能	意味
ptrlcmd_ex	ptrlcmd_ex での実行サーバの監視を表します。
sby_ptrlcmd_ex	待機系での監視を表します。
disk_ptrl	業務ディスクの監視を表します。

S :

処理を続行します。

○ :

必要に応じて、該当する機能（オペランド）の監視を再開してください。

KAMN523-E

[日本語]

LAN インタフェース : aa....aa で異常を検出しました。サーバ : bb....bb

[英語]

Abnormality was detected LAN interface: aa....aa. server:bb....bb

監視対象の LAN で異常を検出しました。

aa....aa : LAN インタフェース名

bb....bb : サーバ識別名

S :

処理を続行します。該当する LAN を使用する実行サーバが系切り替えできる状態の場合、計画系切り替えをします。

○ :

LAN 監視定義ファイル、および LAN 監視スクリプトの内容に誤りがないかを確認してください。また、HA モニタの環境設定の hbond_lacp オペランドで指定した LAN インタフェースの場合、hbonding と接続しているネットワークスイッチでチャネルグループが設定できているかどうかを確認してください。誤りがない場合、LAN に障害が発生した原因を調査して、障害要因を取り除いてください。

KAMN524-I

[日本語]

LANインターフェース : *aa....aa* が使用可能です。サーバ : *bb....bb*

[英語]

LAN interface:*aa....aa* was restored. server:*bb....bb*

監視対象の LAN が使用できます。

aa....aa : LAN インタフェース名

bb....bb : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN525-E

[日本語]

LANインターフェース : *aa....aa* の異常を検知しているため、サーバ : *bb....bb* を系切り替えします。

[英語]

Server:*bb....bb*, Hotstandby is started, because it detected abnormality in LAN interface: (*aa....aa*).

該当する LAN の異常を検知したため、系切り替え可能な実行サーバの系切り替えをします。

aa....aa : LAN インタフェース名

bb....bb : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN526-W

[日本語]

LANインターフェース : *aa....aa* の監視処理において異常が発生しました。監視処理を再開始します。

[英語]

LAN interface:*aa....aa*, abnormality occurred in the monitoring process. The monitoring process is restarted.

LAN の監視処理を続行できない異常が発生したため、監視処理を再開始します。

aa....aa : LAN インタフェース名

S :

処理を続行します。

KAMN528-I

[日本語]

LAN インタフェース：*aa....aa* の状態をチェックします。

[英語]

The state of LAN interface:*aa....aa* will be checked.

`switch_judge` オペランドに指定した LAN インタフェースを、他系の障害検知時に、状態が正常である場合に実行系とするため、状態をチェックします。このメッセージのあとにメッセージ KAMN529-I、またはメッセージ KAMN530-E が output されます。

このメッセージは、障害となった系ごとに LAN インタフェース単位で出力されます。

aa....aa : LAN インタフェース名称

S :

処理を続行します。

KAMN529-I

[日本語]

LAN インタフェース：*aa....aa* の状態が正常です。

[英語]

The state of LAN interface:*aa....aa* is normal.

`switch_judge` オペランドに指定した LAN インタフェースの状態をチェックした結果、監視対象の LAN の状態を正常と判断しました。

`switch_judge` オペランドを指定したサーバ、および `switch_judge` オペランドを指定したサーバと同じサーバグループのサーバは次の動作をします。

- 系切り替え待ち状態のサーバの場合、系切り替えを開始します

このメッセージは、LAN インタフェース単位に出力されます。

aa....aa : LAN インタフェース名称

S :

処理を続行します。

KAMN530-E

[日本語]

LAN インタフェース：*aa....aa* の異常を検出しました。

[英語]

An abnormal state of LAN interface:*aa....aa* was detected.

`switch_judge` オペランドに指定した LAN インタフェースの状態をチェックした結果、監視対象の LAN の状態を異常と判断しました。

`switch_judge` オペランドを指定したサーバ、および `switch_judge` オペランドを指定したサーバと同じサーバグループのサーバは停止します。

このメッセージは、LAN インタフェース単位に出力されます。

aa....aa : LAN インタフェース名称

S :

サーバを停止します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策：

LAN が障害となった原因を調査して、障害要因を取り除き、必要に応じてサーバを起動してください。

KAMN531-I (Linux(x86)および AIX)

[日本語]

ディスクの監視を開始します。種別：*aa....aa* サーバ：*bb....bb*

[英語]

Disk monitoring will now start. Type: *aa....aa*. Server: *bb....bb*.

種別に示すディスクの監視を開始します。

aa....aa : 種別

種別	意味
SYSTEM	システムディスクの監視を表します。
SERVER	サーバ識別名で示すサーバの業務ディスク監視を表します。

bb....bb : サーバ識別名 (種別が SYSTEM の場合は, "----"を表示します)

S :

処理を続行します。

KAMN532-E (Linux(x86)および AIX)

[日本語]

ディスクの監視を開始しません。種別：*aa....aa* サーバ：*bb....bb*

[英語]

Disk monitoring will not start. Type: *aa....aa*. Server: *bb....bb*.

種別に示すディスクの監視を開始できません。

aa....aa : 種別

種別	意味
SYSTEM	システムディスクの監視を表します。
SERVER	サーバ識別名で示すサーバの業務ディスク監視を表します。

bb....bb : サーバ識別名 (種別が SYSTEM の場合は, "----"を表示します)

S :

処理を続行します。

O :

種別によって、次の処置をしてください。

種別	意味
SYSTEM	このメッセージの前に出力される KAMN533-W の原因を基に、システムディスクの監視定義ファイルの内容を修正してください。
SERVER	このメッセージの前に出力される KAMN533-W の原因を基に、サーバ識別名で示すサーバの業務ディスクの監視定義ファイルの内容を修正してください。

KAMN533-W (Linux(x86)およびAIX)

[日本語]

ディスクの監視定義ファイルに誤りがあります。種別 : aa....aa サーバ : bb....bb 原因コード : cc....cc
監視対象 : dd....dd

[英語]

There is an error in the monitoring definition file for the disk. Type: aa....aa. Server: bb....bb.
Cause code: cc....cc. Monitored file: dd....dd.

種別に示すディスクの監視で、設定誤りがあります。

aa....aa : 種別

種別	意味
SYSTEM	システムディスクの監視を表します。
SERVER	サーバ識別名で示すサーバの業務ディスクの監視を表します。

bb....bb : サーバ識別名（種別が SYSTEM の場合は、"----"を表示します）

cc....cc : 原因コード

原因コード	意味
DEFINITION NOT READ	ディスクの監視定義ファイルが存在しないか、記述が空のため読み込めませんでした。 この原因コードが出力された場合は、ディスク監視は行われません。
PATH NOT FOUND	ディスクの監視定義ファイルに記載されている、監視対象のファイルが存在しません。 この原因コードが出力された場合は、該当するファイルは監視しません。
TYPE NOT FILE	ディスクの監視定義ファイルに記載されている、監視対象のファイルが通常のファイルではありません。 監視対象が次のパスとなっている可能性があります。 <ul style="list-style-type: none">ソケットシンボリックリンクブロックデバイスディレクトリキャラクターデバイスFIFO この原因コードが出力された場合は、該当するファイルは監視しません。
DUPLICATE PATH	同じ監視対象のファイルパスが、一つのディスクの監視定義ファイル内に複数記載されています。または、同じ監視対象のファイルパスが、複数のディスクの監視定義ファイルに記載されています。
PATH TOO LONG	ディスクの監視定義ファイルに記載されている、監視対象のファイルパスが、247 バイトを超えていません。

原因コード	意味
	この原因コードが出力された場合は、該当するファイルは監視しません。
TOO MUCH FILES	<p>ディスクの監視定義ファイルに記載されている、監視対象のファイルパスが 128 行を越えています。なお、ファイルの終端だけの行は、行数に含みません。</p> <p>この原因コードが出力された場合は、種別ごとに次の動作をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種別が SYSTEM の場合はシステムディスク監視は行われません。 ・種別が SERVER の場合はサーバ識別名で示すサーバの業務ディスク監視は行われません。
SYNTAX ERR	ディスクの監視定義ファイル内にタブまたはスペースが含まれています。
INTERNAL ERR	内部処理で異常が発生しました。

dd....dd : ディスクの監視定義ファイルに記載されているパス（原因コードが DEFINITION NOT READ または TOO MUCH FILES の場合は、"---" を表示します）

S :

処理を続行します。

O :

原因コードによって、次の処置をしてください。

原因コード	意味
DEFINITION NOT READ	ディスクの監視定義ファイルを作成し、監視対象のファイルの絶対パスを一つ以上記載してください。
PATH NOT FOUND	監視対象として、存在するファイルのパスを記載してください。
TYPE NOT FILE	監視対象として、通常のファイルのパスを記載してください。
DUPLICATE PATH	一つのディスクの監視定義ファイル内で、監視対象のファイルパスが重複しないようにしてください。また、複数のディスクの監視定義ファイルで、監視対象のファイルパスが重複しないようにしてください。
PATH TOO LONG	ディスクの監視定義ファイルに、監視対象のファイルパスを 247 バイト以下で指定してください。
TOO MUCH FILES	ディスクの監視定義ファイルに、監視対象のファイルパスを 128 行以内で記載してください。
SYNTAX ERR	ディスクの監視定義ファイル内からタブおよびスペースを取り除いてください。
INTERNAL ERR	このメッセージの前に出力されたメッセージを確認し、異常の原因を取り除いてください。

KAMN534-E (Linux(x86)および AIX)

[日本語]

ディスクの監視で異常を検知しました。種別 : *aa....aa* サーバ : *bb....bb* 監視対象 : *cc....cc*

[英語]

Disk monitoring detected an abnormality. Type: aa....aa. Server: bb....bb. Monitored file: cc....cc.

ディスクの監視で、監視対象のファイルにアクセスできませんでした。

aa....aa : 種別

種別	意味
SYSTEM	システムディスクの監視を表します。
SERVER	サーバ識別名で示すサーバの業務ディスク監視を表します。

bb....bb : サーバ識別名 (種別が SYSTEM の場合は、"----"を表示します)

cc....cc : 監視対象のファイルのパス

S :

処理を続行します。種別によって次の処理をします。

種別	意味
SYSTEM	系切り替えできる状態のサーバがある場合、HA モニタを異常終了させます。系切り替えできる状態のサーバがない場合、システムディスクの監視を続行します。
SERVER	該当する実行サーバが系切り替えできる状態の場合、該当するディスクを使用する実行サーバは、disk_ptrl_act オペランドの指定に従い動作します。該当する実行サーバが系切り替えできない場合、業務ディスクの監視を続行します。

○ :

このメッセージの前に出力されるメッセージ KAMN601-W で示される、システムコールのエラー要因を取り除いてください。

KAMN535-E (Linux(x86)および AIX)

[日本語]

ディスクの監視で異常を検知したため、HA モニタを異常終了させます。

[英語]

The HA monitor will end abnormally because disk monitoring detected an abnormality.

ディスクの監視で異常を検知したため、HA モニタを異常終了させます。このメッセージは、システムディスクの監視で異常を検知した場合、または、disk_ptrl_act オペランドに pairdown を指定したときの業務ディスクの監視で異常を検知した場合に出力されます。

S :

HA モニタを異常終了させます。

○：

ホストを再起動していない場合は、再起動してください。

KAMN536-E (Linux(x86)およびAIX)

[日本語]

ホスト : aa....aa から異常終了通知を受信しました。詳細コード : bb....bb

[英語]

An abnormal termination notice was received from a host. Host: aa....aa. Detail code: bb....bb.

異常終了したホストから異常終了通知を受信しました。異常終了したホストを系障害として処理します。

aa....aa : 異常終了したホスト名

bb....bb : 詳細コード

詳細コード	意味
DISK_PATROL	ディスクの監視で異常を検知しました。

S：

処理を続行します。異常終了したホストに実行サーバが存在する場合は系切り替えします。

KAMN537-I (Linux(x86)およびAIX)

[日本語]

ディスクの監視で回復を検知しました。種別 : aa....aa サーバ : bb....bb 監視対象 : cc....cc

[英語]

Disk monitoring detected the recovery of the disk. Type: aa....aa. Server: bb....bb. Monitored file: cc....cc.

ディスクの監視で、監視対象のファイルにアクセスできるようになりました。

aa....aa : 種別

種別	意味
SYSTEM	システムディスクの監視を表します。
SERVER	サーバ識別名で示すサーバの業務ディスク監視を表します。

bb....bb : サーバ識別名（種別が SYSTEM の場合は、"----"を表示します）

cc....cc : 監視対象のファイルのパス

S :

処理を続行します。

KAMN538-I (Linux(x86)およびAIX)

[日本語]

ディスクの監視で異常を検知したため、系切り替えします。サーバ：*aa....aa*

[英語]

A hot standby operation will now start because disk monitoring detected an abnormality.
Server: *aa....aa*.

ディスクの監視で異常を検知したため、サーバ名で示すサーバを系切り替えします。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN539-E (Linux(x86)およびAIX)

[日本語]

ディスクの監視でタイムアウトを検知しました。種別：*aa....aa* サーバ：*bb....bb* 監視対象：*cc....cc*

[英語]

Disk monitoring detected a timeout. Type: *aa....aa*. Server: *bb....bb*. Monitored file: *cc....cc*.

ディスクの監視で、監視対象のファイルの監視がタイムアウトしました。

aa....aa : 種別

種別	意味
SYSTEM	システムディスクの監視を表します。
SERVER	サーバ識別名で示すサーバの業務ディスク監視を表します。

bb....bb : サーバ識別名（種別が SYSTEM の場合は、"----"を表示します）

cc....cc : 監視対象のファイルのパス

S:

処理を続行します。種別によって次の処理をします。

種別	意味
SYSTEM	系切り替えできる状態のサーバがある場合、HA モニタを異常終了させます。系切り替えできる状態のサーバがない場合、システムディスクの監視を続行します。
SERVER	該当する実行サーバが系切り替えできる状態の場合、該当するディスクを使用する実行サーバは、 <code>disk_ptrl_act</code> オペランドの指定に従い動作します。該当する実行サーバが系切り替えできない場合、業務ディスクの監視を続行します。

○:

ディスクの監視で、監視対象に同期書き込みが完了しなかった原因を取り除いてください。

KAMN540-W (Linux(x86)およびAIX)

[日本語]

ホスト : *aa....aa* は監視の一時停止中です。機能 : *bb....bb*

[英語]

Monitoring is paused for a host. Host: *aa....aa*. Function: *bb....bb*.

ホスト名で示すホストでの、該当する機能の監視を一時停止中です。このメッセージは、ユーザへの状態通知を目的として、一定間隔で出力されます。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : 機能 (オペランド)

機能	意味
<code>disk_ptrl</code>	システムディスクの監視を表します。

S:

処理を続行します。

○:

必要に応じて、該当する機能 (オペランド) の監視を再開してください。

KAMN541-I (Linux(x86)およびAIX)

[日本語]

ホスト：*aa....aa* のディスクの監視定義ファイル：*bb....bb cc....cc* 行目のパスの監視で、異常を検知しました。システムコール：*dd....dd* 詳細コード：*ee....ee* 異常が発生した関数名：*ff....ff*

[英語]

An abnormality was detected during monitoring of the file path in line *cc....cc* in the disk monitoring definition file *bb....bb* of the host *aa....aa*. System call: *dd....dd*. Error details: *ee....ee*. Functional name: *ff....ff*.

ディスクの監視で、ホスト名で示す系でディスクの異常を検知しました。原因調査するための詳細情報を出力します。

aa....aa：ホスト名

bb....bb：監視定義ファイル名

cc....cc：行数

dd....dd：発行したシステムコール

ee....ee：詳細コード（1～3桁）

ff....ff：エラーが発生した関数名

S：

処理を続行します。

○：

発行したシステムコールの詳細コードを基に原因を調査し、エラーの原因を取り除いてください。

KAMN542-I (Linux(x86)およびAIX)

[日本語]

ホスト：*aa....aa* のディスクの監視定義ファイル：*bb....bb cc....cc* 行目のパスの監視で、タイムアウトを検知しました。

[英語]

A timeout was detected during monitoring of the file path in line *cc....cc* in the disk monitoring definition file *bb....bb* of the host *aa....aa*.

ディスクの監視で、ホスト名で示す系でディスクの異常を検知しました。原因調査するための詳細情報を出力します。

aa....aa：ホスト名

bb....bb：監視定義ファイル名

cc....cc : 行数

S :

処理を続行します。

○ :

ディスクの監視で、監視対象に同期書き込みが完了しなかった原因を取り除いてください。

KAMN543-I

[日本語]

サーバ：*aa....aa* を実行サーバレスモードで待機サーバとして起動します。

[英語]

Server:*aa....aa* will now start as the standby server in online serverless mode.

サーバ識別名で示すサーバを、待機サーバとして起動します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN544-I (S)

[日本語]

サーバ：*aa....aa* を実行サーバレスモードで待機サーバとして起動します。

[英語]

Server:*aa....aa* will now start as the standby server in online serverless mode.

サーバ識別名で示すサーバを、待機サーバとして起動します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN545-I

[日本語]

実行サーバレスモードにしました。

[英語]

The system was set to online serverless mode.

実行サーバレスモードにしました。

S :

処理を続行します。

KAMN546-I

[日本語]

実行サーバレスモードを解除しました。

[英語]

The system was released from online serverless mode.

実行サーバレスモードを解除しました。

S :

処理を続行します。

KAMN547-E

[日本語]

実行サーバレスモードにできません。

[英語]

The system cannot be set to online serverless mode.

実行サーバレスモードにできません。

S :

処理を中止します。

○ :

次に示す状態かどうかを確認してください。

- すべてのサーバが停止状態かどうか。

すべてのサーバが停止していない場合は、停止させてください。すべてのサーバを停止させ、再度 monchange コマンドを実行して、実行サーバレスモードの設定をしてください。

- マルチスタンバイ機能を使用していないかどうか。

マルチスタンバイ機能を使用している場合には、実行サーバレスモードにできません。`multistandby` オペランドを省略するか、`nouse` に設定し、HA モニタを再起動してください。そのあと、すべてのサーバを停止させ、再度 `monchange` コマンドを実行して、実行サーバレスモードの設定をしてください。

KAMN548-E

[日本語]

実行サーバレスモードを解除できません。

[英語]

The system cannot be released from online serverless mode.

実行サーバレスモードを解除できません。

S :

処理を中止します。

○ :

次に示す状態かどうかを確認してください。

- すべてのサーバが停止状態かどうか。

すべてのサーバが停止していない場合は、停止させてください。すべてのサーバを停止させ、再度 `monchange` コマンドを実行して、実行サーバレスモードを解除してください。

- 実行サーバが起動完了、系切り替え可能状態（サーバの状態：ONL）かどうか。

サーバの状態を ONL に設定し、再度 `monchange` コマンドを実行して、実行サーバレスモードを解除してください。

- 待機サーバが系切り替え可能状態（サーバの状態：SBY）かどうか。

サーバの状態を SBY に設定し、再度 `monchange` コマンドを実行して、実行サーバレスモードを解除してください。

KAMN549-W

[日本語]

実行サーバレスモードで稼働中です。

[英語]

The system is running in online serverless mode.

実行サーバレスモードで稼働中です。

S :

処理を続行します。

○ :

必要に応じて、`monchange` コマンドを実行して、実行サーバレスモードを解除してください。

KAMN550-I (S)

[日本語]

実行サーバレスモードの待機サーバ：*aa....aa* を実行サーバとして起動します。

[英語]

Standby server:*aa....aa* in online serverless mode will now start as the online server.

サーバ識別名で示す実行サーバレスモードの待機サーバの強制起動処理を完了しました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN551-I (S)

[日本語]

Health Check HA to Agent

HA *aa....aa aa....aa*

Address recv Address recv

bb....bb cc....cc dd....dd cc....cc dd....dd

[英語]

Health Check HA to Agent

HA *aa....aa aa....aa*

Address recv Address recv

bb....bb cc....cc dd....dd cc....cc dd....dd

HA モニタエージェントを使用した構成で、サーバ・系の状態表示コマンド（`monshow` コマンド）に`-agt` オプションを指定した場合に表示されます。HA モニタから HA モニタエージェントに送信されるヘルスチェックメッセージの現在時刻から 60 秒前までの受信数を表示します。

aa....aa : AZ 名

bb....bb : ポート番号

cc....cc : HA モニタのアドレス

dd....dd : ヘルスチェックメッセージの受信数

S :

処理を続行します。

KAMN553-W

[日本語]

HA モニタエージェントとの接続が確認できません。

[英語]

The connection to the HA Monitor Agent cannot be confirmed.

HA モニタエージェントとの接続が確認できないため、次の判定が正常に行えないおそれがあります。

- HVRD のレプリケーション障害発生時に行う、AZ ごとのネットワーク通信状態の判定
- AZ のネットワーク障害発生による系障害検知時に行う障害 AZ の判定

これによって、ネットワーク通信が正常な系を判定できないため、通信が正常な系で業務を続行できなくなるおそれがあります。

S :

処理を続行します。

○ :

HA モニタエージェントの稼働状況、および HA モニタと HA モニタエージェントの接続パスを確認してください。

KAMN554-W

[日本語]

HA モニタ間のエージェントパスに異常が発生しました。エージェントパス：*aa....aa* ホスト名：*bb....bb*

[英語]

An error occurred in the agent path between HA monitors.Agent Path name:*aa....aa* Host Name:*bb....bb*

ホスト名で示すホストとのエージェントパスに異常が発生しました。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : 異常が発生したエージェントヘルスチェックに使用するパス

S :

処理を続行します。

○ :

ネットワークの通信状況を確認し、障害を取り除いてください。

KAMN555-W

[日本語]

自系の孤立状態を検知しました。ホスト：*aa....aa* のシステムリセットをしません。

[英語]

Split brain detected. None system reset. Host : *aa....aa*

自系は孤立状態です。ホスト *aa....aa* のリセットを抑止します。

自系に待機サーバがある場合は、自系の待機サーバをすべて系切り替え待ち状態にします。

aa....aa : 他系ホスト名

S :

処理を続行します。

○ :

ネットワークの通信状況を確認し、障害を取り除いてください。

KAMN556-I (S)

[日本語]

HA モニタ間のエージェントパスが回復しました。エージェントパス：*aa....aa* ホスト名：*bb....bb*

The agent path between the HA monitors has been restored.Agent Path name: *aa....aa* Host Name:*bb....bb*

ホスト名で示すホストとのエージェントパスが回復しました。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : 回復したエージェントヘルスチェックに使用するパス

S :

処理を続行します。

KAMN557-I (S)

[日本語]

使用方法: `monshow -c`

`monshow -agt`

[英語]

Usage:`monshow -c`

`monshow -agt`

サーバ・系の状態表示コマンド (`monshow` コマンド) の実行形式が誤っているとき、メッセージ KAMN021-E, または KAMN327-E に続いて出力されます。

S :

処理を続行します。

KAMN558-E

[日本語]

コントロールプレーンの確認に失敗しました。

[英語]

Control plane check failed.

コントロールプレーン確認用の AWS CLI の実行に失敗しました。次の項目が正常に実行できないおそれがあります。

- 他系の系障害検知による系切り替え
- `monswap` コマンドによる系切り替え
- サーバ障害による系切り替え
- サーバの計画系切り替え

S :

処理を続行します。

○ :

コントロールプレーンの AWS CLI が正しく実行できるかどうかを確認してください。

KAMN559-I

[日本語]

コントロールプレーンの確認に成功しました。

[英語]

Control plane check succeeded.

コントロールプレーン確認用の AWS CLI が正しく実行できることを確認しました。

S :

処理を続行します。

2.7 KAMN600～KAMN699

KAMN601-W (E+L)

[日本語]

aa....aa システムコールで異常が発生しました。詳細コード：*bb....bb* 異常が発生した関数名：*cc....cc*

[英語]

An error occurred in the *aa....aa* system call. Error details:*bb....bb* Functional name:*cc....cc*

HA モニタの関数内で発行したシステムコールでエラーが発生しました。詳細コードについては、対応する OS のマニュアルを参照してください。

aa....aa：発行したシステムコール

bb....bb：詳細コード（1～3 行）

cc....cc：エラーが発生した関数名

S：

処理を続行します。

○：

システム管理者に連絡してください。

対策：

詳細コードを基に原因を調査してください。

なお、OS が Red Hat Enterprise Linux server のバージョン 7 以上の場合、HA モニタの起動時に次のメッセージが出力されることがあります。

KAMN601-W sched_setscheduler システムコールで異常が発生しました。詳細コード:1 異常が発生した関数名:osl_fixprio_linux

このメッセージが出力されるときは、CPU サブシステム（CPU リソースコントローラ）にルート cgroup 以外の cgroup が存在するかどうかを確認してください。※

注※

CPU サブシステムのルート cgroup 以外の cgroup は、手動で作成する以外にも、次のような契機で自動的に作成されます。

- Docker コンテナを起動した時
- Unit 設定ファイルで CPUShares 指定値を使用しているサービスを起動した時

CPU サブシステムにルート cgroup 以外の cgroup が存在する場合、/usr/lib/systemd/system/Hamon-powercontrol.service ファイルの ExecStart 指定値を次のように書き換えてください。書き換えることで、HA モニタのプロセスを明示的にルート cgroup で動作させます。

- 書き換え前

```
:  
ExecStart=/bin/sh -c '/opt/hitachi/Hamon/bin/HApwon >/dev/null 2>&1'  
:
```

- 書き換え後

```
:  
ExecStart=/bin/cgexec -g cpu:/ --sticky /bin/sh -c '/opt/hitachi/Hamon/bin/HApwon >/d  
ev/null 2>&1'  
:
```

KAMN607-E

[日本語]

監視パスがオープンできません。障害監視パス名 : aa....aa 詳細コード : bb....bb

[英語]

Patrol Path cannot be opened. Patrol Path name:aa....aa Error details:bb....bb

監視パスのオープンに失敗しました。

このメッセージの前に、エラーの詳細を示すメッセージがOutputされます。

aa....aa : 障害監視パス名※

bb....bb : 詳細コード (1~2行)

注※

HA モニタエージェントを使用した構成の HA モニタで、エージェントヘルスチェックに使用するパスの場合は、障害監視パス名に「(agt)」が付加されます。

S :

処理を続行します。

○ :

このメッセージの前に出力されるメッセージの原因を調査し、HA モニタを再起動してください。

KAMN608-W

[日本語]

ホスト : aa....aa に送信できません。

[英語]

It cannot be sent to host:*aa....aa*.

ホスト名で示すホストと通信しましたが、データを正常に送信できませんでした。

aa....aa : ホスト名

S :

処理を続行します。

○ :

監視パス状態表示コマンド (`monpath` コマンド) を実行し、監視パスの状態を調査してください。監視パスにエラーが発生している場合は、エラーの原因を取り除いてください。NO RESPONSE と表示されている場合は、ネットワークの接続状況を確認し、機器の障害ではないかどうかを調査してください。

KAMN609-W

[日本語]

監視パスに異常（読み込み不可）が発生しました。障害監視パス名：*aa....aa*

[英語]

Receiving errors occurred in the Patrol Path. Patrol Path name:*aa....aa*.

障害監視パス名で示す監視パスで他系ホストと通信しましたが、データを正常に受信できませんでした。

aa....aa : 障害監視パス名※

注※

HA モニタエージェントを使用した構成の HA モニタで、エージェントヘルスチェックに使用するパスの場合は、障害監視パス名に「(agt)」が付加されます。

S :

処理を続行します。

○ :

監視パス状態表示コマンド (`monpath` コマンド) を実行して、監視パスの状態をチェックしてください。

対策：

このメッセージの前に出力されるメッセージの原因を調査してください。

KAMN610-W

[日本語]

The following language(s) are not available: `LANG = aa....aa`

Continuing processing using the language "C".

[英語]

The following language(s) are not available: LANG = aa....aa

Continuing processing using the language "C".

メッセージ環境変数の LANG 値が誤っているため、 LANG 値を"C"にして処理を続行します。

aa....aa : LANG 環境変数の値

S :

処理を続行します。

O :

メッセージ環境変数 LANG の値を修正してください。

KAMN611-W

[日本語]

Cannot read "aa....aa" message catalog; proceeding in default language.

[英語]

Cannot read "aa....aa" message catalog; proceeding in default language.

メッセージ環境変数にあったメッセージカタログファイルを読み込めないため、 HA モニタのデフォルトで処理を続行します。

aa....aa : LANG 環境変数の値

S :

処理を続行します。

O :

LANG 環境変数の値が HA モニタで指定できる内容かどうかを確認してください。

KAMN612-E (E+L)

[日本語]

It errs in the message environment. Message number:aa....aa

[英語]

It errs in the message environment. Message number:aa....aa

メッセージ環境が誤っているため、メッセージを出力できません。

aa....aa : 出力できないメッセージ番号

S :

処理を続行します。

O :

メッセージ環境の誤りの原因を取り除いてください。

KAMN613-E (E+L)

[日本語]

There is not message. Message number:*aa....aa*

[英語]

There is not message. Message number:*aa....aa*

メッセージ番号で示すメッセージがメッセージカタログファイルにないため、メッセージを出力できません。

aa....aa : 出力できないメッセージ番号

S :

処理を続行します。

O :

HA モニタのメッセージカタログファイルのシステムへの組み込みが正しいかどうかを確認し、正しいディレクトリに組み込んでください。

正しい場合は、システム管理者に連絡してください。

対策：

このメッセージの前にエラーメッセージが出力されている場合、そのエラーメッセージを基に原因を調査してください。

KAMN614-E (E)(AIX)

[日本語]

aa....aa: bb....bb

[英語]

aa....aa: bb....bb

メッセージカタログファイルにエラーが発生しました。

エラー情報については、対応するOSのマニュアルを参照してください。

aa....aa : メッセージカタログファイル名

メッセージカタログファイル名	意味
/usr/lib/nls/msg/C/Hamon.cat	英語メッセージ
/usr/lib/nls/msg/Ja_JP/SJIS/Hamon.cat	日本語メッセージ

bb....bb : エラー情報

S :

処理を続行します。

○ :

HAモニタのメッセージカタログファイルのエラーの原因を取り除いてください。

KAMN614-E (E)(HP-UX(PA-RISC)およびHP-UX(IPF))

[日本語]

aa....aa: bb....bb

[英語]

aa....aa: bb....bb

メッセージカタログファイルにエラーが発生しました。

エラー情報については、対応するOSのマニュアルを参照してください。

aa....aa : メッセージカタログファイル名

メッセージカタログファイル名	意味
/usr/lib/nls/msg/C/Hamon.cat	英語メッセージ
/usr/lib/nls/msg/ja_JP.SJIS/Hamon.cat	日本語メッセージ

bb....bb : エラー情報

S :

処理を続行します。

○ :

HAモニタのメッセージカタログファイルのエラーの原因を取り除いてください。

KAMN614-E (E)(Linux(x86)およびLinux(IPF))

[日本語]

aa....aa: bb....bb

[英語]

aa....aa: bb....bb

メッセージカタログファイルにエラーが発生しました。

エラー情報については、対応するOSのマニュアルを参照してください。

aa....aa : メッセージカタログファイル名

メッセージカタログファイル名	意味
/usr/share/locale/C/Hamon.cat	英語メッセージ
/usr/share/locale/ja_JP.eucJP/Hamon.cat	日本語メッセージ (EUC)
/opt/hitachi/Hamon/nls/ja_JP.UTF-8/Hamon.cat	日本語メッセージ (UTF-8)

bb....bb : エラー情報

S :

処理を続行します。

○ :

HAモニタのメッセージカタログファイルのエラーの原因を取り除いてください。

KAMN615-E (E)

[日本語]

It errs in the message environment. Command is stopped.

[英語]

It errs in the message environment. Command is stopped.

メッセージ環境にエラーがあります。

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

メッセージKAMN614-Eのエラーの原因を取り除き、コマンドを再実行してください。

KAMN616-E (E+L)

[日本語]

HA モニタのコマンド aa....aa が異常終了しました。

[英語]

Command(aa....aa) of HAmonitor stopped abnormally.

指定されたコマンドがないか、または処理中にシグナルを検出したため、子プロセスとして発行したコマンドで、エラーが発生しました。

aa....aa : コマンド名

S :

処理を終了します。

O :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

このメッセージの前に出力されるエラーメッセージを基に、原因を調査してください。

KAMN617-E

[日本語]

HA モニタは異常終了します。アボート ID : aa....aa

[英語]

HAmonitor stopped abnormally. abort-id:aa....aa

HA モニタ内で回復できないエラーが発生したため、異常終了します。

aa....aa : アボート ID

アボート ID	意味
213	ホスト管理テーブルの追加に失敗した場合のアボート (HA モニタの環境設定の address オペランドが他系と重複している場合)
250	サーバ障害の検知、またはデバイス切り離し失敗時のアボート (ペアダウン機能使用時にサーバ障害を検知した場合、または系切り替え時に共有リソースの切り離しが失敗した場合)
260	自系の障害検知、またはリセット完了受信時のアボート (HA モニタの環境設定の address オペランドが他系と重複している場合)

S :

処理を終了します。

○ :

ホストを再起動してください。特にファイルシステムを使用している場合は、リソースが破壊されるおそれがあるため、必ず再起動してください。

対策 :

出力されたアポート ID を基に、エラーの原因を取り除いてください。前述以外のアポート ID が出力された場合は、保守員に連絡してください。

KAMN619-E

[日本語]

ファイル :aa....aa がオープンできません。原因コード :bb....bb

[英語]

File:aa....aa cannot be opened. Cause code:bb....bb

ファイル名で示すファイルがオープンできないため、メッセージをファイルに出力できません。原因コードについては、対応する OS のマニュアルを参照してください。

aa....aa : ファイル名 (/dev/console または /dev/null)

bb....bb : 原因コード (ファイルオープン時のシステムコールの errno)

S :

処理を続行します。メッセージは、標準出力または標準エラー出力に出力します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

原因コードを基に原因を調査してください。

KAMN620-E

[日本語]

自系 HA モニタのスローダウンを検知しました。待機サーバ :aa....aa を再起動します。

[英語]

Slowdown of HAmonitor in the own host was detected. Standby server:aa....aa is started again.

自系 HA モニタのスローダウンを検知したため、サーバ識別名で示す待機サーバを再起動し、接続を回復します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○ :

自系 HA モニタがスローダウンする原因を調査し、必要に応じて HA モニタを再起動してください。

KAMN621-E (AIX)

[日本語]

SP に異常が発生しました。詳細コード：*aa....aa*

[英語]

Abnormality occurred in SP. Error details:*aa....aa*

リセットパスでつながる他系ホストの SP か、リセットパスに異常が発生しました。

aa....aa : 詳細コード

詳細コード	意味
SEND	通信障害
TIME-OUT	リセット応答または HRA レスポンス応答なし
IMPOSSIBLE	他系ホストでのリセット不可
PARAMETER	自 HRA パラメタ不正
HRA-TIMEOUT	相手 HRA 応答なし
SVP-TIMEOUT	相手 SP 応答なし
COMMAND-BUSY	同一 HRA へコマンド連続発行
HRA-BUSY	相手 HRA 処理中
SVP-OFF	相手 SP 無反応
INT-ERROR	自 HRA 内部エラー
LAN-ERROR	LAN エラー
RRF-FAILURE	リセットコマンド応答なし
HRA-IDLE	自 HRA アドレス未設定
NORSTD	リセットパス初期化失敗

詳細コード	意味
DEF-ERR	定義エラー

S :

処理を続行します。

○ :

詳細コード別に、次の処置をしてください。

詳細コード	処置
SEND	このメッセージの前に出力されるメッセージ KAMN601-W で示される、システムコールのエラー要因を取り除き、SP 状態表示コマンド（monsp コマンド）を実行してください。
• TIME-OUT • HRA-TIMEOUT • SVP-TIMEOUT • SVP-OFF • INT-ERROR • LAN-ERROR • RRF-FAILURE • HRA-IDLE	主にハードウェアの異常が原因です。異常の原因を取り除き、SP 状態表示コマンド（monsp コマンド）を実行してください。
• COMMAND-BUSY • HRA-BUSY	複数系切り替え構成で、他系ホストと競合した場合に出力されます。一時的な障害と判断して無視してください。
上記以外の詳細コード	保守員に連絡してください。

KAMN621-E (HP-UX(PA-RISC))

[日本語]

GSP に異常が発生しました。詳細コード : aa....aa

[英語]

Abnormality occurred in GSP. Error details:aa....aa

リセットパスでつながる他系ホストの GSP か、リセットパスに異常が発生しました。

aa....aa : 詳細コード

詳細コード	意味
TIMEOUT	リセット応答または GSP レスポンス応答なし

S :

処理を続行します。

○：

異常の原因を取り除き、GSP 状態表示コマンド（`mongsp` コマンド）を実行してください。

KAMN621-E (HP-UX(IPF))

[日本語]

MP に異常が発生しました。詳細コード：`aa....aa`

[英語]

Abnormality occurred in MP. Error details:`aa....aa`

リセットパスでつながる他系ホストのリセットパスに異常が発生しました。リセットパスにスイッチ＆マネジメントモジュール、または OA を使用している場合も MP と表示されます。

`aa....aa`：詳細コード

詳細コード	意味
TIMEOUT	リセット応答または MP レスポンス応答なし
SEND	通信障害
NORSTD	リセットパス初期化失敗

S：

処理を続行します。

○：

異常の原因を取り除き、MP 状態表示コマンド（`monmp` コマンド）またはリセットパス状態表示コマンド（`monrp` コマンド）を実行してください。

KAMN621-E(Linux(x86))

[日本語]

リセットパスに異常が発生しました。詳細コード：`aa....aa`

[英語]

Abnormality occurred in Reset Path. Error details:`aa....aa`

リセットパスでつながる他系ホストのリセットパスに異常が発生しました。

`aa....aa`：詳細コード

詳細コード	意味
SEND	通信障害
NORSTD	リセットパス初期化失敗

S :

処理を続行します。

○ :

このメッセージの前に出力されるメッセージ KAMN601-W で示されるシステムコールのエラー要因、またはメッセージ KAMN624-E で示されるリセットパス異常の要因を取り除き、リセットパス状態表示コマンド (monrp コマンド) を実行してください。

KAMN621-E (Linux(IPF))

[日本語]

MP に異常が発生しました。詳細コード : aa....aa

[英語]

Abnormality occurred in MP. Error details:aa....aa

リセットパスでつながる他系ホストのリセットパスに異常が発生しました。リセットパスにスイッチ&マネジメントモジュールを使用している場合も MP と表示されます。

aa....aa : 詳細コード

詳細コード	意味
TIMEOUT	リセット応答または MP レスポンス応答なし
SEND	通信障害
NORSTD	リセットパス初期化失敗

S :

処理を続行します。

○ :

異常の原因を取り除き、MP 状態表示コマンド (monmp コマンド) またはリセットパス状態表示コマンド (monrp コマンド) を実行してください。

KAMN622-E (HP-UX(PA-RISC))

[日本語]

GSP のホスト名 : *aa....aa* が /etc/hosts に登録されていません。

[英語]

GSP hostname:*aa....aa* was not found in /etc/hosts.

HA モニタの環境設定の name オペランドに定義した GSP のホスト名が /etc/hosts ファイルに登録されていないため、処理を続行できません。

aa....aa : GSP ホスト名

S :

処理を終了します。

○ :

HA モニタの環境設定の name オペランドに指定した名称が /etc/hosts ファイルに定義されているかどうかを確認してください。

KAMN622-E (HP-UX(IPF) および Linux(IPF))

[日本語]

MP のホスト名 : *aa....aa* が /etc/hosts に登録されていません。

[英語]

MP hostname:*aa....aa* was not found in /etc/hosts.

HA モニタの環境設定の name オペランドに定義した MP のホスト名が /etc/hosts ファイルに登録されていないため、処理を続行できません。

aa....aa : MP のホスト名

S :

処理を終了します。

○ :

HA モニタの環境設定の name オペランドに指定した名称が /etc/hosts ファイルに定義されているかどうかを確認してください。

KAMN624-E (AIX)

[日本語]

ホスト : *aa....aa* の系切替機構が異常です。

詳細コード : *bb....bb*

障害系切替機構 : cc....cc

[英語]

The state of system switchover feature of Host:aa....aa is abnormal.

Error details:bb....bb

System switchover feature:cc....cc

リセットパスでつながるホストの系切替機構、またはリセットパスに異常が発生しました。

aa....aa : ホスト名称

bb....bb : 詳細コード

詳細コード	意味
SEND	通信障害
SVP-TIMEOUT	対象系切替機構でタイムアウト検出
LPAR-NOTFOUND	指定された LPAR がない
NO-CONNECT	対象ホストの系切替機構が未接続
LPAR-RSP-FAIL	対象ホストの系切替機構から LPAR への問い合わせ異常
LPAR-NOTACT	指定された LPAR は正常実行状態でない
SUBSYSNO-OVER-32	LPAR 数が 32 を超えている
POWER-FAILURE	指定された LPAR は電源断状態
CTRLPTH-DOWN	対象ホストと系切替機構間の制御線断
NO SET ADDRESS	ホスト名で示す系の HA モニタが系切替機構に初期設定した情報が消失しています。原因としては系切替機構の再起動などが考えられます。
REQ-TIMEOUT	<p>系切替機構への要求がタイムアウトしました。障害要因としては次が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none">リセットパスの設定誤りに関する要因構成に関する要因HA モニタが稼働する系での要因系切替機構での要因 <p>それぞれについて説明します。</p> <p>リセットパスの設定誤りに関する要因 (HA モニタのリセットパスの設定)</p> <p>次の設定誤りのため、系切替機構への要求がタイムアウトしました。</p> <ul style="list-style-type: none">リセットパスの IP アドレスリセットパスのポート番号系切替機構の IP アドレス系切替機構のポート番号 <p>リセットパスの設定誤りに関する要因 (系切替機構の HA モニタの設定)</p> <p>次の設定誤りのため、系切替機構への要求がタイムアウトしました。</p> <ul style="list-style-type: none">IP アドレスやポート番号などの HA モニタとの通信に関する設定

詳細コード	意味
	<p>構成に関する要因</p> <p>次の理由のため、系切替機構への要求がタイムアウトしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> リセットパスと系切替機構とが、物理的に結線されていない（ハード障害も含む） リセットパスと系切替機構とが、同じネットワークではない リセットパスと系切替機構とが、ファイアウォールなどにより通信できない <p>HA モニタが稼働する系での要因</p> <p>次の理由のため、系切替機構への要求がタイムアウトしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> リセットパスの IP アドレスが使えない状態（非活性など） リセットパスのポート番号が使えない状態（HA モニタ以外で使用されているなど） <p>系切替機構での要因</p> <p>次の理由のため、系切替機構への要求がタイムアウトしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ハードウェアの障害や誤動作 ファームウェアの障害や誤動作
SYSTEM-DUMP	指定された LPAR はダンプ処理中
IMPOSSIBLE	他系ホストでのリセット不可
COMMAND-BUSY	対象系切替機構が他 LPAR のリセット処理中
DEF-ERR	<code>monsetup</code> コマンドで設定した系切替機構のポート番号について、ホスト名称で示すホストと自系ホストが一致していない
VERSION-ERR	系切替機構のバージョン不正
RESET-ERR	対象系切替機構でリセット失敗

CC....CC : 障害になった系切替機構

Primary : 系切替機構

Secondary : 交代用系切替機構

S :

処理を終了します。

○ :

詳細コード別に、次の処置をしてください。

詳細コード	処置
SEND	このメッセージの前に出力されるメッセージ KAMN601-W で示される、システムコードのエラー要因を取り除いたあと、SP 状態表示コマンド（ <code>monsp</code> コマンド）を実行してください。
NO SET ADDRESS	<p>次の手順でリセットパスを回復してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ホスト名で示す系で、SP 状態表示コマンド（<code>monsp</code> コマンド）を実行してください。リセットパスが初期設定されます。

2. KAMN で始まるメッセージ

詳細コード	処置
	2. すべての系で、SP 状態表示コマンド（monsp コマンド）を実行し、リセットパスの状態が正常になることを確認してください。
<ul style="list-style-type: none"> • SVP-TIMEOUT • POWER-FAILURE • CTRLPTH-DOWN • LPAR-RSP-FAIL • LPAR-NOTACT • SYSTEM-DUMP • RESET-ERR 	主にハードウェアの異常が原因です。異常の原因を取り除き、SP 状態表示コマンド（monsp コマンド）を実行してください。
<ul style="list-style-type: none"> • LPAR-NOTFOUND • NO-CONNECT • SUBSYSNO-OVER-32 • VERSION-ERR 	主にリセットパスの設定や構成の誤りが原因です。リセットパスの設定および構成を見直し、HA モニタを再起動してください。
REQ-TIMEOUT	リセットパスの設定や構成に誤りがあった場合は、修正して HA モニタを再起動してください。 その他の場合は、障害要因を取り除いたあと、SP 状態表示コマンド（monsp コマンド）を実行してください。
COMMAND-BUSY	複数系切り替え構成で、他系ホストと競合した場合に出力されます。一時的な障害と判断して無視してください。
DEF-ERR	リセットパスの設定を修正して、HA モニタを再起動してください。
上記以外の詳細コード	保守員に連絡してください。

KAMN624-E (HP-UX(IPF)およびLinux(IPF))

[日本語]

ホスト : aa....aa のリセットパスが異常です。

詳細コード : bb....bb

障害リセットパス : cc....cc

[英語]

The state of Reset Path of Host:aa....aa is abnormal.

Error details:bb....bb

Reset Path:cc....cc

リセットパスに異常が発生しました。

aa....aa : ホスト名称

bb....bb : 詳細コード

詳細コード	意味
SEND	通信障害
NO SET ADDRESS	対象ホストがリセットパスの初期設定未完
SVP-TIMEOUT	対象リセットパスでタイムアウト検出
RESET-ERR	障害管理プロセサがリセットに失敗
LPAR-RSP-FAIL	対象ホストへの問い合わせ異常
SYSNAME-ERR	管理システム名不正
PARTITION-ERR	パーティション名不正
HOST-OVER	制御できるホスト数が上限を超えた
POWER-FAILURE	指定されたホストは電源断状態
CTRLPTH-DOWN	リセットパス間の制御線断
REQ-TIMEOUT	リセットパスへの要求がタイムアウトで失敗
IMPOSSIBLE	他系ホストでのリセット不可

CC....CC : 障害になったリセットパス

Primary : リセットパス

S :

処理を終了します。

○ :

詳細コード別に、次の処置をしてください。

詳細コード	処置
SEND	このメッセージの前に出力されるメッセージ KAMN601-W で示される、システムコールのエラー要因を取り除いたあと、リセットパス状態表示コマンド (<code>monrp</code> コマンド) を実行してください。
• NO SET ADDRESS • SVP-TIMEOUT • RESET-ERR • LPAR-RSP-FAIL • POWER-FAILURE • CTRLPTH-DOWN	主にハードウェアの異常が原因です。異常の原因を取り除き、リセットパス状態表示コマンド (<code>monrp</code> コマンド) を実行してください。
• SYSNAME-ERR • PARTITION-ERR • HOST-OVER • IMPOSSIBLE	主にリセットパスの設定や構成の誤りが原因です。リセットパスの設定および構成を見直し、HA モニタを再起動してください。

詳細コード	処置
REQ-TIMEOUT	まずリセットパスの設定および構成を見直してください。リセットパスの設定や構成に誤りがあった場合は、修正して HA モニタを再起動してください。 リセットパスの設定や構成に誤りがなかった場合は、ハードウェアの異常が原因として考えられます。異常の原因を取り除き、リセットパス状態表示コマンド (<code>monrp</code> コマンド) を実行してください。

KAMN624-E(Linux(x86))

[日本語]

ホスト : *aa....aa* のリセットパスが異常です。

詳細コード : *bb....bb*

障害リセットパス : *cc....cc*

[英語]

The state of Reset Path of Host : *aa....aa* is abnormal.

Error details : *bb....bb*

Reset Path : *cc....cc*

リセットパスに異常が発生しました。

aa....aa : ホスト名称

bb....bb : 詳細コード

詳細コード	意味
SEND	通信障害
NO SET ADDRESS	ホスト名で示す系の HA モニタが障害管理プロセサに初期設定した情報が消失しています。原因としては障害管理プロセサの再起動などが考えられます。
SVP-TIMEOUT	対象リセットパスでタイムアウト検出
RESET-ERR	障害管理プロセサがリセットに失敗
LPAR-RSP-FAIL	対象ホストへの問い合わせ異常
SYSNAME-ERR	管理システム名不正
PARTITION-ERR	パーティション名不正
HOST-OVER	制御できるホスト数が上限を超えた
POWER-FAILURE	指定されたホストは電源断状態
CTRLPTH-DOWN	リセットパス間の制御線断

詳細コード	意味
REQ-TIMEOUT	<p>パブリッククラウド環境でない場合、障害管理プロセサへの要求がタイムアウトしました。障害要因としては次が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> リセットパスの設定誤りに関する要因 構成に関する要因 HA モニタが稼働する系での要因 障害管理プロセサでの要因 <p>それぞれについて説明します。</p> <p>リセットパスの設定誤りに関する要因 (HA モニタのリセットパスの設定)</p> <p>次の設定誤りのため、障害管理プロセサへの要求がタイムアウトしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> リセットパスの IP アドレス リセットパスのポート番号 障害管理プロセサの IP アドレス 障害管理プロセサのポート番号 <p>リセットパスの設定誤りに関する要因 (障害管理プロセサの HA モニタの設定)</p> <p>次の設定誤りのため、障害管理プロセサへの要求がタイムアウトしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> IP アドレスやポート番号などの HA モニタとの通信に関する設定 N+M コールドスタンバイ連携機能を使用している場合、N+M コールドスタンバイの設定 (HA モニタのリセットパスと同じネットワークに属する、すべてのスイッチ&マネジメントモジュールについての設定、および管理システム名の重複の有無) HA モニタの環境設定で cpudown オペランドに system を指定している場合、スイッチ&マネジメントモジュールのクラスタ管理機能に関する設定の有無 <p>構成に関する要因</p> <p>次の理由のため、障害管理プロセサへの要求がタイムアウトしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> リセットパスと障害管理プロセサとが、物理的に結線されていない (ハード障害も含む) リセットパスと障害管理プロセサとが、同じネットワークではない リセットパスと障害管理プロセサとが、ファイアウォールなどによって通信できない <p>HA モニタが稼働する系での要因</p> <p>次の理由のため、障害管理プロセサへの要求がタイムアウトしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> リセットパスの IP アドレスが使えない状態 (非活性など) リセットパスのポート番号が使えない状態 (HA モニタ以外で使用されているなど) <p>障害管理プロセサでの要因</p> <p>次の理由のため、障害管理プロセサへの要求がタイムアウトしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ハードウェアの障害や誤動作 ファームウェアの障害や誤動作 HA Monitor Connector が未起動、または障害や誤動作 (HA8000xN モデル以降または RV3000 の場合) <p>パブリッククラウド環境の場合、ホスト名称で示すホストのパブリッククラウド環境への要求がタイムアウトしました。障害要因として、パブリッククラウド環境の障害が考えられます。</p>
IMPOSSIBLE	他系ホストでのリセット不可
SSH-ERR	ホスト名称で示すホストの VMware ESXi との通信障害

詳細コード	意味
SSH-TIMEOUT	ホスト名称で示すホストの VMware ESXi からの応答がタイムアウト
VMNAME-ERR	仮想マシン名不正
VMNAME-DBL	仮想マシン名重複
NOLRSTD	リセットパス初期化失敗

CC....CC : 障害になったリセットパス

Primary : リセットパス

ESXi : VMware ESXi 接続用リセットパス

---- : リセットパスなし (パブリッククラウド環境使用時)

S :

処理を終了します。

○ :

詳細コード別に、次の処置をしてください。

詳細コード	処置
SEND	このメッセージの前に出力されるメッセージ KAMN601-W で示される、システムコールのエラー要因を取り除き、リセットパス状態表示コマンド (monrp コマンド) を実行してください。
NO SET ADDRESS	次の手順でリセットパスを回復してください。 1. ホスト名で示す系で、リセットパス状態表示コマンド (monrp コマンド) を実行してください。リセットパスが初期設定されます。 2. すべての系で、リセットパス状態表示コマンド (monrp コマンド) を実行し、リセットパスの状態が正常になることを確認してください。
• RESET-ERR • LPAR-RSP-FAIL • POWER-FAILURE • CTRLPTH-DOWN	主にハードウェアの異常が原因です。異常の原因を取り除き、リセットパス状態表示コマンド (monrp コマンド) を実行してください。
SVP-TIMEOUT	HA モニタの環境設定の cpudown オペランドに system を指定している場合は、スイッチ&マネジメントモジュールのクラスタ管理機能に関する設定や構成を見直してください。設定や構成に誤りがあった場合は、修正してください。 これ以外の場合は、主にハードウェアの異常が原因です。異常の原因を取り除き、リセットパス状態表示コマンド (monrp コマンド) を実行してください。
PARTITION-ERR	主にリセットパスの設定および構成の誤りが原因です。 リセットパスの設定および構成を見直し、正しく設定をしてから HA モニタを再起動してください。 RV3000 の場合は、次の原因が考えられます。

2. KAMN で始まるメッセージ

詳細コード	処置
	<ul style="list-style-type: none"> 高信頼化機能を追加した vSphere を使用する場合、 HA モニタのリセットパスの設定で、指定した仮想マシン名に誤りがある HA モニタのリセットパスの設定と HA Monitor Connector の仮想サーバの設定に、次のどちらかの矛盾がある <ul style="list-style-type: none"> HA モニタのリセットパスの設定が高信頼化機能を追加した vSphere を使用しない設定になっているが、 HA Monitor Connector の仮想サーバの設定では vmware パラメタが <code>Enable</code> に設定されている HA モニタのリセットパスの設定で高信頼化機能を追加した vSphere を使用する設定になっているが、 HA Monitor Connector の仮想サーバの設定では vmware パラメタが <code>Disable</code> に設定されている
• SYSNAME-ERR • HOST-OVER	主にリセットパスの設定や構成の誤りが原因です。リセットパスの設定および構成を見直し、 HA モニタを再起動してください。
IMPOSSIBLE	主にリセットパスの設定や構成の誤りが原因です。リセットパスの設定および構成を見直し、 HA モニタを再起動してください。 パブリッククラウド環境の場合は、このメッセージの前にメッセージ KAMN766-E を出力します。メッセージ KAMN766-E を参照し、対処をしてください。
REQ-TIMEOUT	<p>障害要因を取り除いたあと、次のどちらかの対処をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> このメッセージが HA モニタ起動時または稼働中に出力された場合 リセットパスの設定や構成に誤りがあった場合は再起動してください。 その他の場合は、リセットパス状態表示コマンド (<code>monrp</code> コマンド) を実行し、リセットパスの状態が正常になることを確認してください。 このメッセージがリセットパスの設定コマンド (<code>mosnetup</code> コマンドに <code>-resetpath</code> オプションを指定) 実行時に出力された場合 リセットパスの設定コマンドを再実行してください。 <p>パブリッククラウド環境の場合は、このメッセージのあとにメッセージ KAMN347-E を出力します。メッセージ KAMN347-E を参照し、対処をしてください。</p>
SSH-ERR	<p>次の内容を見直してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> HA モニタに設定した VMware ESXi の IP アドレス HA モニタに設定した VMware ESXi の SSH 接続用のポート番号 VMware ESXi に設定した IP アドレス VMware ESXi に設定した SSH 接続用のポート番号 <p>HA モニタの設定に誤りがあった場合は、修正して HA モニタを再起動してください。 VMware ESXi の設定に誤りがあった場合は、修正してリセットパス状態表示コマンド (<code>monrp</code> コマンド) を実行してください。</p> <p>上記に誤りがない場合は、ハードウェアや VMware ESXi の異常が原因として考えられます。異常の原因を取り除き、リセットパス状態表示コマンド (<code>monrp</code> コマンド) を実行してください。</p>
SSH-TIMEOUT	<p>次の内容を見直してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> HA モニタに設定した VMware ESXi の IP アドレス HA モニタに設定した VMware ESXi の SSH 接続用のポート番号 VMware ESXi に設定した IP アドレス VMware ESXi に設定した SSH 接続用のポート番号 VMware ESXi の SSH 接続に関する設定*

詳細コード	処置
	<p>注※ 系切り替え構成内のすべての仮想マシンから、系切り替え構成内のすべての VMware ESXi へ SSH 接続できることを確認してください。なお、「VMware ESXi の SSH 接続に関する設定」については、マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタ Linux(R) (x86) 編』の「VMware ESXi への SSH 接続のための設定」を参照してください。</p> <p>HA モニタの起動時や稼働中の場合</p> <p>HA モニタの設定に誤りがあった場合は、修正して HA モニタを再起動してください。VMware ESXi の設定に誤りがあった場合は、修正してリセットパス状態表示コマンド (<code>monrp</code> コマンド) を実行してください。</p> <p>上記に誤りがない場合は、ハードウェアや VMware ESXi の異常が原因として考えられます。異常の原因を取り除き、リセットパス状態表示コマンド (<code>monrp</code> コマンド) を実行してください。</p> <p>それでも対処できない場合は、リセット処理のためのプロセスが一時的にスローダウンしたおそれがあります。時間をおいてリセットパス状態表示コマンド (<code>monrp</code> コマンド) を実行してください。</p> <p>リセットパスの設定コマンド (<code>mosnetup</code> コマンドに <code>-resetpath</code> オプションを指定) 実行時の場合</p> <p>HA モニタの設定、および VMware ESXi の設定に誤りがあった場合は、修正してください。誤りがない場合は、ハードウェアや VMware ESXi の異常が原因として考えられます。異常の原因を取り除き、リセットパスの設定コマンド (<code>mosnetup</code> コマンドに <code>-resetpath</code> オプションを指定) を実行してください。</p> <p>正常状態に回復しない場合、システム管理者に連絡してください。</p>
VMNAME-ERR	<p>次の内容を見直してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • HA モニタに設定した VMware ESXi の IP アドレス • HA モニタに設定した仮想マシン名 • VMware ESXi に設定した IP アドレス • VMware ESXi に設定した自系が稼働する論理パーティションの名称 <p>HA モニタの起動時や稼働中の場合</p> <p>HA モニタの設定に誤りがあった場合は、修正して HA モニタを再起動してください。VMware ESXi の設定に誤りがあった場合は、修正してリセットパス状態表示コマンド (<code>monrp</code> コマンド) を実行してください。</p> <p>リセットパスの設定コマンド (<code>mosnetup</code> コマンドに <code>-resetpath</code> オプションを指定) 実行時の場合</p> <p>HA モニタの設定に誤りがあった場合は、修正してください。それ以外の場合は、リセットパスの設定コマンド (<code>mosnetup</code> コマンドに <code>-resetpath</code> オプションを指定) を実行してください。</p>
VMNAME-DBL	仮想マシン名が重複しないように、VMware ESXi、および HA モニタの設定を修正して、HA モニタを再起動してください。
NOLRSTD	<p>HA モニタの起動時や稼働中の場合</p> <p>このメッセージの前に、メッセージ <code>KAMN601-W</code> が出力されている場合は、メッセージ <code>KAMN601-W</code> で示される、システムコールのエラー要因を取り除き、リセットパス状態表示コマンド (<code>monrp</code> コマンド) を実行してください。</p> <p>このメッセージの前に、メッセージ <code>KAMN601-W</code> が出力されていない場合は、次の内容を見直してください。</p>

詳細コード	処置
	<ul style="list-style-type: none"> ・ HA モニタに設定した VMware ESXi の IP アドレス ・ HA モニタに設定した VMware ESXi の SSH 接続用のポート番号 ・ VMware ESXi に設定した IP アドレス ・ VMware ESXi に設定した SSH 接続用のポート番号 ・ VMware ESXi の SSH 接続に関する設定※ <p>HA モニタの設定に誤りがあった場合は、修正して HA モニタを再起動してください。VMware ESXi の設定に誤りがあった場合は、修正してリセットパス状態表示コマンド（monrp コマンド）を実行してください。</p> <p>メッセージ KAMN751-I 出力後にこのメッセージが出力されている場合は、リセットパス状態表示コマンド（monrp コマンド）を実行してください。</p> <p>リセットパスの設定コマンド（mosnetup コマンドに -resetpath オプションを指定）実行時の場合</p> <p>このメッセージの前に、メッセージ KAMN601-W が output されている場合は、メッセージ KAMN601-W で示される、システムコールのエラー要因を取り除き、リセットパスの設定コマンド（mosnetup コマンドに -resetpath オプションを指定）を実行してください。</p> <p>このメッセージの前に、メッセージ KAMN601-W が output されていない場合は、次の内容を見直してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HA モニタに設定した VMware ESXi の IP アドレス ・ HA モニタに設定した VMware ESXi の SSH 接続用のポート番号 ・ VMware ESXi に設定した IP アドレス ・ VMware ESXi に設定した SSH 接続用のポート番号 ・ VMware ESXi の SSH 接続に関する設定※ <p>HA モニタの設定、および VMware ESXi の設定に誤りがあった場合は、修正してください。</p> <p>注※ 系切り替え構成内の複数の仮想マシンから、系切り替え構成内の複数の VMwareESXi へ SSH 接続できることを確認してください。なお、「VMware ESXi の SSH 接続に関する設定」については、マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタ Linux(R) (x86) 編』の「VMware ESXi への SSH 接続のための設定」を参照してください。</p>

KAMN625-W (AIX)

[日本語]

系切替機構の設定が変更されました。

[英語]

The definition of system switchover feature was changed.

系切替機構の設定が変更されました。次のどちらかの原因が考えられます。

1. HA モニタの環境設定の address オペランドの指定値を変更したあと、HA モニタが再起動されました。特に問題はありません。

2. KAMN で始まるメッセージ

2. 次のどちらかの設定誤りがあります。系切り替えのときにリセットが失敗するおそれがあります。

- ・ HA モニタの環境設定の address オペランドの指定値が、複数の系※で重複しています。
- ・ HA モニタのリセットパスの環境設定コマンド（monsetup コマンド）で設定したシステムの管理システム名とパーティション名が、複数の系※で重複しています。

注※ 複数の系には、リセットパスを共用する別の系切り替え構成がある場合、その系切り替え構成の系も含みます。

S :

処理を続行します。

O :

原因が 1 に該当する場合は、対処は不要です。

原因が 2 に該当する場合は、次の順序で対処してください。

1. 設定が誤っている系が含まれる系切り替え構成のすべての HA モニタを停止する。
2. 手順 1 で停止した HA モニタのすべての系について正しく設定したあと、HA モニタを再起動する。
3. 手順 1 で停止した HA モニタ以外の系も含めた、すべての系で monrp コマンドを実行し、リセットパスの状態が正常であることを確認する。

KAMN625-W(HP-UX(IPF), Linux(x86), および Linux(IPF))

[日本語]

リセットパスの設定が変更されました。

[英語]

The definition of Reset Path was changed.

リセットパスの設定が変更されました。次のどちらかの原因が考えられます。

1. HA モニタの環境設定の address オペランドの指定値を変更したあと、HA モニタが再起動されました。特に問題はありません。

2. 次のどちらかの設定誤りがあります。系切り替えのときにリセットが失敗するおそれがあります。

- ・ HA モニタの環境設定の address オペランドの指定値が、複数の系※で重複しています。
- ・ HA モニタのリセットパスの環境設定コマンド（monsetup コマンド）で設定したシステムのパーティション名と LPAR 名が、複数の系※で重複しています。

注※ 複数の系には、リセットパスを共用する別の系切り替え構成がある場合、その系切り替え構成の系も含みます。

S :

処理を続行します。

○：

原因が 1 に該当する場合は、対処は不要です。

原因が 2 に該当する場合は、次の順序で対処してください。

1. 設定が誤っている系が含まれる系切り替え構成のすべての HA モニタを停止する。
2. 手順 1 で停止した HA モニタのすべての系について正しく設定したあと、HA モニタを再起動する。
3. 手順 1 で停止した HA モニタ以外の系も含めた、すべての系で monrp コマンドを実行し、リセットパスの状態が正常であることを確認する。

KAMN626-E (E+L)

[日本語]

HA モニタのコマンド aa....aa が異常終了しました。詳細コード : bb....bb

[英語]

Command(aa....aa) of HAmonitor stopped abnormally. Error details:bb....bb

指定されたコマンドが処理中にシグナルを検出したため、子プロセスとして発行したコマンドで、エラーが発生しました。

aa....aa : コマンド名

bb....bb : 詳細コード

S :

処理を終了します。

○：

システム管理者に連絡してください。

対策：

HA モニタを再起動してください。

KAMN628-I (S)

[日本語]

対応する HA Booster がないため、他系の OS パニック検知機能を使用しません。

[英語]

Since there is no corresponding HA Booster, the function that detects Operating System panic of other systems function is not used.

他系の OS パニック検知機能を使用しないで HA モニタが動作します。

S :

処理を続行します。

KAMN629-I (S)

[日本語]

ダンプデバイスが指定されていないため、他系の OS パニック検知機能を使用しません。

[英語]

Since the dump device is not specified, the function that detects Operating System panic of other systems function is not used.

他系の OS パニック検知機能を使用しないで HA モニタが動作します。

S :

処理を続行します。

KAMN635-E

[日本語]

監視パス : *aa....aa* でのシステムコールで異常が発生しました。リターンコード : *bb....bb* 詳細コード : *cc....cc* システムコール名 : *dd....dd*

[英語]

The system call for a Patrol Path:*aa....aa* ended abnormally. Return code:*bb....bb*. Error details:*cc....cc*. System call name:*dd....dd*.

監視パスの使用中にシステムコールでエラーが発生しました。詳細コードについては、対応する OS のマニュアルを参照してください。

aa....aa : 障害監視パス名*

bb....bb : リターンコード

cc....cc : 詳細コード

dd....dd : システムコール名

注※

HA モニタエージェントを使用した構成の HA モニタで、エージェントヘルスチェックに使用するパスの場合は、障害監視パス名に「(agt)」が付加されます。

S :

処理を続行します。

○ :

監視パス状態表示コマンド（monpath コマンド）を実行して、監視パスの状態をチェックしてください。

KAMN639-W

[日本語]

スイッチ＆マネジメントモジュールに設定されている管理システム名が重複しています。スイッチ＆マネジメントモジュールの IP アドレス : aa....aa : bb....bb 管理システム名 : cc....cc

[英語]

The system name set to Switch and Management Modules overlaps each other. IP address of the Switch and Management Module: aa....aa : bb....bb system name : cc....cc

スイッチ＆マネジメントモジュールに設定されている管理システム名が重複しています。リセットパスの設定に誤りがあるため、矛盾が生じるおそれがあります。

aa....aa : スイッチ＆マネジメントモジュールの IP アドレス

bb....bb : スイッチ＆マネジメントモジュールの IP アドレス

cc....cc : 管理システム名

S :

処理を続行します。

○ :

リセットパスと同じネットワークのすべてのスイッチ＆マネジメントモジュールについて、管理システム名が重複していないかどうか確認してください。誤りを取り除いた場合はすべての系の HA モニタを再起動してください。

KAMN640-E

[日本語]

監視パス : aa....aa に異常が発生しました。詳細 : bb....bb

[英語]

Abnormality occurred in Patrol Path:*aa....aa*. Details:*bb....bb*.

監視パスに異常が発生しました。

aa....aa : 障害監視パス名※

bb....bb : 詳細コード

注※

HA モニタエージェントを使用した構成の HA モニタで、エージェントヘルスチェックに使用するパスの場合は、障害監視パス名に「(agt)」が付加されます。

詳細コード	意味
4	LAN 回線障害

S :

処理を続行します。

○ :

監視パス状態表示コマンド（monpath コマンド）を実行し、再度監視パスの状態を調査してください。調査の結果に問題がなかった場合は、マシンの高負荷、または監視パスの一時的な障害だったと判断して無視してください。問題があった場合は、システム管理者に連絡してください。

対策 :

異常の原因を調査し、取り除いてください。

KAMN641-W

[日本語]

ホスト：*aa....aa* から監視パスの状態問い合わせメッセージの応答が送られません。監視パス：*bb....bb*

[英語]

The answer of the state inquiry message of Patrol Path is not sent from host:*aa....aa*. Patrol Path name:*bb....bb*.

監視パスでホスト名で示すホストに監視パスの状態問い合わせメッセージを送信しましたが、応答メッセージが送られません。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : 障害監視パス名

S :

処理を続行します。

○ :

監視パス状態表示コマンド (monpath コマンド) を実行し、再度監視パスの状態を調査してください。調査の結果に問題がなかった場合は、マシンの高負荷、または監視パスの一時的な障害だったと判断して無視してください。問題があった場合は、システム管理者に連絡してください。

対策 :

異常の原因を調査し、取り除いてください。

KAMN642-W

[日本語]

ホスト : aa....aa から alive メッセージが送られません。

[英語]

Alive message is not sent from host:aa....aa.

ホスト名で示すホストの状態監視中、監視時間の 7 割程度の時間が経過しても alive メッセージが送られません。

aa....aa : ホスト名

S :

ホストの監視を続行します。HA モニタの環境設定の lan オペランドに、優先的に使用する監視パスが指定してある場合は、監視パスを切り替えます。alive メッセージが送られてこない原因が監視パスではなくホストにある場合は、このメッセージを出力してから監視時間の残りの 3 割が経過したときに、メッセージ KAMN340-E を出力して障害処理を実行します。

○ :

監視パス状態表示コマンド (monpath コマンド) を実行し、再度監視パスの状態を調査してください。調査の結果に問題がなかった場合は、マシンの高負荷、または監視パスの一時的な障害だったと判断して無視してください。問題があった場合は、システム管理者に連絡してください。

対策 :

異常の原因を調査し、取り除いてください。

KAMN643-W

[日本語]

ホスト : aa....aa から問い合わせメッセージの応答が送られません。

[英語]

The answer of the inquiry message is not sent from host:*aa....aa*.

ホスト名で示すホストに問い合わせメッセージを送信しましたが、監視時間の7割程度の時間が経過しても応答メッセージが送られてきません。

aa....aa : ホスト名

S :

ホストの監視を続行します。

HA モニタの環境設定の lan オペランドに、優先的に使用する監視パスが指定してある場合は、監視パスを切り替えます。応答メッセージが送られてこない原因が監視パスではなくホストにある場合は、このメッセージを出力してから監視時間の残りの3割程度が経過したときに、メッセージ KAMN340-E を出力して障害処理を実行します。

O :

監視パス状態表示コマンド (monpath コマンド) を実行し、再度監視パスの状態を調査してください。調査の結果に問題がなかった場合は、マシンの高負荷、または監視パスの一時的な障害だったと判断して無視してください。問題があった場合は、システム管理者に連絡してください。

対策 :

異常の原因を調査し、取り除いてください。

KAMN644-W

[日本語]

ホスト：*aa....aa* のリセットパスで異常が発生しています。詳細コード：*bb....bb* 障害リセットパス：*cc....cc*

[英語]

An error occurred in the reset path of the host:*aa....aa*. (details code:*bb....bb*, reset path:*cc....cc*)

ホスト名で示すホストのリセットパスが異常です。実行系の障害時、実行系のリセットが抑止され、系切り替え待ち状態となる可能性があります。このメッセージは、ユーザへの状態通知を目的として、一定間隔で出力されます。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : KAMN621-E, KAMN624-E の詳細コードの表を参照してください。

cc....cc : 詳細コードが NORSTD の場合は---- (半角ハイフン四つ) が表示されます。詳細コードが NORSTD 以外の場合は、KAMN624-E の障害になったリセットパスを参照してください。

S :

処理を続行します。

○ :

KAMN624-E の ○ の表を参照してください。

KAMN646-I (AIX)

[日本語]

ホスト : aa....aa のリセットパスが回復しました。回復系切替機構 : bb....bb

[英語]

The reset path of host:aa....aa was recovered. (System switchover feature:bb....bb)

ホスト名で示すホストのリセットパスが回復しました。ただし、自ホストのリセットパスが回復した場合は、ホスト名は"OWN HOST"と表示します。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : 回復した系切替機構

Primary : 系切替機構

Secondary : 交代用系切替機構

S :

処理を続行します。

KAMN646-I (Linux(x86))

[日本語]

ホスト : aa....aa のリセットパスが回復しました。回復リセットパス : bb....bb

[英語]

The reset path of host:aa....aa was recovered. (Reset Path:bb....bb)

ホスト名で示すホストのリセットパスが回復しました。ただし、自ホストのリセットパスが回復した場合は、ホスト名は"OWN HOST"と表示します。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : 回復したリセットパス

Primary : リセットパス

ESXi : VMware ESXi 接続用リセットパス

S :

処理を続行します。

KAMN647-I (Linux(x86)およびAIX)

[日本語]

ホスト : *aa....aa* のシステムリセットに失敗したため、共有ディスクのリザーブをします。

[英語]

The shared disk will now be reserved, because a system reset of the host:*aa....aa* failed.

ホスト名で示すホストのシステムリセットができなかつたため、共有ディスクのリザーブをします。

aa....aa : ホスト名

S :

処理を続行します。

KAMN648-D (Linux(x86)およびAIX)

[日本語]

サーバ : *aa....aa* はシステムリセット、共有ディスクのリザーブができないため系切り替え待ち状態にします。

[英語]

The server:*aa....aa* changed to the Hotstandby wait state, because a system reset cannot be performed and the shared disk cannot be reserved.

サーバ識別名で示す実行サーバは、システムリセットに失敗し、かつ、サーバ対応の環境設定の `scsi_device` オペランド、または `dmmpl_device` オペランドに指定したデバイスで I/O エラーが発生し、SCSI リザーブができないため系切り替え待ち状態にします。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○：

他系で実行サーバが稼働していないことを必ず確認したあと※、系切り替え待ち状態の実行サーバを待ち状態のサーバ起動コマンド（monact コマンド）で実行サーバとして起動させるか、待ち状態のサーバ停止コマンド（mondeact コマンド）で停止させてください。

注※ 確認しないで待ち状態のサーバ起動コマンド（monact コマンド）を実行すると、他系で実行サーバが稼働していた場合に二つの実行サーバが稼働するため、共有リソースが破壊されるおそれがあります。

KAMN649-E (Linux(x86)および AIX)

[日本語]

サーバ：aa....aa の共有ディスクがリザーブされました。

[英語]

The shared disk of server:aa....aa was reserved.

サーバ識別名で示すサーバの共有ディスクがリザーブされました。サーバを停止します。このメッセージは、共有ディスクの保護方法として、ハイブリッドフェンシングで系切り替えする場合に出力されます。

リザーブの要因は次のどちらかです。

- ・ 自系のスローダウン、または監視パスの障害によって系切り替えが発生し、他系がリザーブしました。
- ・ サーバの使用する共有ディスクが、ほかのプログラムまたは運用によって、不当にリザーブされました。

aa....aa : サーバ識別名

S：

処理を続行します。

○：

システム管理者に連絡してください。

対策：

障害要因を取り除き、必要に応じてサーバを起動してください。

KAMN650-E (E)

[日本語]

aa....aa system call error (bb....bb): cc....cc

[英語]

aa....aa system call error (*bb....bb*): *cc....cc*

HA モニタの関数内で発行したシステムコールでエラーが発生しました。詳細コードについては、対応する OS のマニュアルを参照してください。

aa....aa : 発行したシステムコール

bb....bb : 詳細コード

cc....cc : 詳細コードのメッセージ

S :

処理を続行します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

詳細コードを基に原因を調査してください。

KAMN651-E (E+L)(AIX)

[日本語]

HA モニタの環境確認、もしくは終了処理に失敗しました。

詳細コード : *aa....aa* : *bb....bb* : *cc....cc*

[英語]

The environment check or termination process of the HA monitor was failed.

Error details:*aa....aa*:*bb....bb*:*cc....cc*.

HA モニタの環境確認、または終了処理に失敗しました。

aa....aa : 詳細コード (1 行)

詳細コード	意味
0	HA モニタのカーネルモジュールのロードに失敗しました。
1	HA モニタの初期設定に失敗しました。
2	HA モニタのカーネルモジュールのアンロードに失敗しました。
3	HA モニタの環境確認に失敗しました。

bb....bb : 内部エラーコード

cc....cc : システムコールの errno (1~3 行)

S :

処理を終了します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

次に示す対策を行ってください。

- システムコールのエラー要因を取り除き、再実行してください。
- 詳細コードが 2 の場合、誤動作のおそれがあるためシステムを再起動してください。
- 内部エラーコードの先頭が、"habpn_regdmpdev="または、"habpn_ODMgetdmpdev_primary="の場合、HA Booster の初期設定でエラーとなっています。

"habpn_regdmpdev="で始まる場合

HA モニタのリセットパスに指定した IP アドレスや IP アドレスのネットマスクが ODM に正しく登録されていないことが考えられます。AIX のシステム管理ツール (smit コマンド) で再設定してください。設定変更後は HA モニタを再起動してください。

また、リセットパスに HA Booster が対応していない LAN アダプタを使用していることが考えられます。HA Booster のドキュメントを参照し、対応している LAN アダプタかどうかを確認してください。

"habpn_ODMgetdmpdev_primary="で始まる場合

HA モニタ起動時の環境変数に ODMDIR 環境変数が設定されていないことが考えられます。HA モニタ起動時の環境変数に ODMDIR 環境変数を設定してください。設定変更後は HA モニタを再起動してください。

KAMN651-E (E+L)(Linux(x86)および Linux(IPF))

[日本語]

HA モニタの環境確認、もしくは終了処理に失敗しました。

詳細コード : aa....aa : bb....bb : cc....cc

[英語]

The environment check or termination process of the HA monitor was failed.

Error details:aa....aa:bb....bb:cc....cc.

HA モニタの環境確認、または終了処理に失敗しました。

aa....aa : 詳細コード (1 行)

詳細コード	意味
4	Linux Tough Dump サービスを使用できません。

bb....bb : 内部エラーコード

cc....cc : システムコールの `errno` (1~3 衔)

詳細コードが 4 の場合 : 0

S :

処理を終了します。

O :

内部エラーコード別に、次の処置をしてください。

内部エラーコード	処置
SYSTEM_CALL	このメッセージの前に出力されるメッセージ KAMN601-W で示される、システムコールのエラー要因を取り除いたあと、HA モニタを再起動してください。
LTD_STOP	Linux Tough Dump サービス、および HA モニタを再起動してください。
LTD_ERROR	Linux Tough Dump サービス、および HA モニタを再起動してください。 また、このメッセージの前に Linux Tough Dump サービスのメッセージが表示されている場合は、そのメッセージで示されるエラー要因を取り除いたあと、Linux Tough Dump サービス、および HA モニタを再起動してください。
LTD_NOT_FOUND	HA モニタの環境設定に <code>lanport_ltd</code> オペランドが定義されていますが、Linux Tough Dump がインストールされていません。 次のどちらかの処置をしたあと、HA モニタを再起動してください。 <ul style="list-style-type: none">• Linux Tough Dump サービスを使用する場合は、Linux Tough Dump をインストールしてください。• Linux Tough Dump サービスを使用しない場合は、HA モニタの環境設定から <code>lanport_ltd</code> オペランドを削除してください。
LANPORT_LTD_ERROR	HA モニタの環境設定の <code>lanport_ltd</code> オペランドに指定された値に誤りがあります。このメッセージの前に出力されたメッセージで示されるエラー要因を取り除いたあと、HA モニタを再起動してください。

KAMN654-E

[日本語]

HA モニタの環境設定に失敗しました。

詳細コード : *aa....aa* : *bb....bb*

[英語]

The environment check process of the HA monitor was failed.

Error details:*aa....aa:bb....bb*

HA モニタの環境設定に失敗しました。障害調査に必要なログ情報が採取できません。

aa....aa : 詳細コード (1 行)

詳細コード	意味
0	HA モニタの内部モジュールのロードに失敗しました。
1	HA モニタの内部モジュールの初期設定に失敗しました。
2	HA モニタの内部モジュールのアンロードに失敗しました。

bb....bb : 内部エラーコード

S :

処理を終了します。

○ :

このメッセージの前に出力されるメッセージ KAMN601-W で示される、システムコールのエラー要因を取り除いたあと、HA モニタを再起動してください。詳細コードが 2 の場合、誤動作のおそれがあるためシステムを再起動してください。

KAMN655-W

[日本語]

リセットパスを構成する管理サーバの冗長性が確保されていません。IP アドレス：*aa....aa*

[英語]

The management server in the reset path is not in a redundant configuration. IP address:*aa....aa*

リセットパスを構成する管理サーバのうち、主系または副系のどちらかしか動作していないため、冗長性が確保されていません。系のリセットおよび系切り替えはできますが、管理サーバの障害に備えるために冗長性を確保してください。次の原因が考えられます。

- 管理サーバおよび HA Monitor Connector の未起動
- 管理サーバおよび HA Monitor Connector の設定誤り
- 管理サーバ間の通信障害

aa....aa : HA Monitor Connector の IP アドレス

S :

処理を続行します。

○：

IP アドレスに示した管理サーバの状態を確認し、冗長性を確保してください。管理サーバの状態の確認および設定方法は、HA Monitor Connector のドキュメントを参照してください。
冗長性が確保されたことを HA モニタが検知すると、KAMN656-I メッセージが出力されます。

KAMN656-I

[日本語]

リセットパスを構成する管理サーバの冗長性が確保されました。IP アドレス : aa....aa

[英語]

The management server in the reset path is in a redundant configuration. IP address:aa....aa

リセットパスを構成する管理サーバの冗長性が確保されました。

aa....aa : HA Monitor Connector の IP アドレス

S :

処理を続行します。

KAMN660-E

[日本語]

ユーザコマンド : aa....aa が起動できません。

[英語]

Usercommand : aa....aa cannot start.

ユーザコマンドが実行できませんでした。

aa....aa : コマンド名

S :

処理を続行します。

○：

HA モニタの環境設定の `usrcommand` オペランドを確認し、起動できなかったユーザコマンドのエラーの原因を取り除いてください。

KAMN661-I (S)

[日本語]

使用方法: `moninfo` サーバ識別名 `-p` 引き継ぎ情報

`moninfo` サーバ識別名 `-g`

[英語]

Usage: `moninfo alias -p` inheritable information

`moninfo alias -g`

サーバ引き継ぎ情報設定・表示コマンド (`moninfo` コマンド) の実行形式が誤っているとき、メッセージ KAMN021-E、または KAMN327-E に続いて出力されます。

S:

処理を続行します。

KAMN662-E (E)

[日本語]

`aa....aa` コマンドの引き継ぎ情報が不正です。

[英語]

The inheritable information of `aa....aa` command is improper.

コマンドに指定されたサーバ引き継ぎ情報が制限値を超えていたり、または指定できない文字を含んでいます。

`aa....aa` : コマンド名

S:

コマンド処理を中止します。

○:

正しい形式でサーバ引き継ぎ情報を設定してください。

KAMN663-I (S)

[日本語]

サーバ: `aa....aa` に引き継ぎ情報を設定しました。

[英語]

Inheritable information was set at server:`aa....aa`.

サーバ引き継ぎ情報設定・表示コマンド（`moninfo` コマンド）で指定した引き継ぎ情報を、サーバ識別名で示すサーバに設定しました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

KAMN666-E

[日本語]

サーバ：*aa....aa* の共有ディスクのリザーブ消滅を検知しました。

[英語]

Removal of a shared disk reserve for the server *aa....aa* was detected.

サーバ識別名で示すサーバの共有ディスクのリザーブ消滅を検知しました。サーバを停止します。このメッセージは、系切り替えの方式として、共有ディスクの SCSI リザーブによる系切り替えを選択したときだけ出力されます。

リザーブ消滅の要因は次のどちらかです。

- 自系のスローダウン、または監視パスの障害によって、系切り替えが発生し、他系がリザーブしました。
- サーバが使用する共有ディスクが、ほかのプログラムまたは運用によって、不当にリザーブされました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

O :

障害の原因を取り除き、必要に応じてサーバを再起動してください。

KAMN667-I (S)

[日本語]

リセットパスを使用していません。

[英語]

No reset path is being used.

リセットパスを使用していないため、リセットパス状態表示コマンド（`monrp` コマンド）は使用できません。

S :

処理を続行します。

KAMN671-E

[日本語]

リセットパスに、自系のホストアドレスの設定ができません（HRA 障害）。障害リセットパス名：
aa....aa

[英語]

Own host address cannot be set at a reset path. Reset path name:*aa....aa*

次の原因で、HRA に対する自系のホストアドレスの設定時に、障害が発生しました。

- 処理中にシグナルを検出しました。
- デバイスに異常があります。

aa....aa : 障害リセットパス名

S :

処理を続行します。

O :

SP 状態表示コマンド（`monsp` コマンド）を実行してリセットパスの状態を確認してください。障害がある場合は障害を取り除いてから、HA モニタを再起動してください。

KAMN672-E

[日本語]

リセットパスがオープンできません。障害リセットパス名：*aa....aa* 詳細コード：*bb....bb*

[英語]

Reset path cannot be opened. Reset path name:*aa....aa* Error details:*bb....bb*

次の原因で、リセットパスのオープンに失敗しました。

- リセットパス用のスペシャルファイルがありません。
- スロットに、リセットパス用のアダプタがありません。
- リセットパスの詳細情報が設定されていません。

詳細コードについては、対応する OS のマニュアルを参照してください。

aa....aa : 障害リセットパス名

bb....bb : 詳細コード (1~2 行)

S :

処理を続行します。

○ :

このメッセージの前に出力されるメッセージ KAMN601-W で示される、システムコールのエラー要因を取り除いたあと、HA モニタを再起動してください。

KAMN673-E

[日本語]

リセットパスに指定されたスペシャルファイルがありません。障害リセットパス名：*aa....aa*

[英語]

There is not a special file specified for a reset path. Path name:*aa....aa*.

リセットパスに指定されたスペシャルファイルがありません。

aa....aa : 障害リセットパス名

S :

処理を続行します。

○ :

HA モニタの環境設定コマンド (`monsetup` コマンド) で、リセットパスの設定が正しいかどうかを確認してください。正しい場合には、システム管理者に連絡してください。

対策：

このメッセージの前に出力されるエラーメッセージを基に、原因を調査してください。

KAMN675-E

[日本語]

リセットパス：*aa....aa* でのシステムコールで異常が発生しました。リターンコード：*bb....bb* 詳細コード：*cc....cc* システムコール名（異常が発生した関数名）：*dd....dd* (*ee....ee*)

[英語]

The system call for a reset path:*aa....aa* ended abnormally. Return code:*bb....bb* Error details:*cc....cc* System call name: (Functional name):*dd....dd*(*ee....ee*)

リセットパスの使用中にシステムコールでエラーが発生しました。詳細コードについては、対応するOSのマニュアルを参照してください。

aa....aa : 障害リセットパス名

bb....bb : リターンコード

cc....cc : 詳細コード

dd....dd : システムコール名

ee....ee : 異常が発生した関数名

S :

処理を続行します。

○ :

SP 状態表示コマンド (`monsp` コマンド) を実行して、リセットパスの状態を確認してください。

KAMN676-E

[日本語]

システムリセット手順ファイル *aa....aa* の読み込みでエラーが発生しました。

ホスト *bb....bb* はシステムリセットできません。

[英語]

An error occurred in reading system reset procedure file '*aa....aa*'.

The host *bb....bb* cannot be system reset.

ホストに対応するリセット手順ファイルの読み込みに失敗しました。

aa....aa : リセット手順ファイル名

bb....bb : ホスト名

S :

処理を続行します。

○ :

リセット手順ファイルのアクセス権限が正しいかどうかを確認し、必要に応じて修正してください。

KAMN677-E

[日本語]

システムリセット手順ファイル *aa....aa* の内容に誤りがあります。

ホスト *bb....bb* はシステムリセットできません。

[英語]

The system reset procedure file '*aa....aa*' has some syntax errors.

The host *bb....bb* cannot be system reset.

ホストに対応するリセット手順ファイルの内容に誤りがあるため読み込みできません。

aa....aa : リセット手順ファイル名

bb....bb : ホスト名

S :

処理を続行します。

○ :

リセット手順ファイルの記述内容に誤りがないかどうかを確認し、必要に応じて修正してください。

KAMN678-E

[日本語]

使用可能なシステムリセット手順ファイルが一つもありません。

ホスト *aa....aa* はシステムリセットできません。

[英語]

There is no available system reset procedure file.

The host *aa....aa* cannot be system reset.

必要なリセット手順ファイルが見つからないため、該当ホストはシステムリセットできません。

aa....aa : ホスト名

S :

処理を続行します。

○ :

HA モニタのリセット手順ファイルが /opt/hitachi/Hamon/etc ディレクトリにあるかどうかを確認してください。なければ、リセット手順ファイルを作成してください。

KAMN679-E (HP-UX(PA-RISC))

[日本語]

システムリセット手順ファイル *aa....aa* の定義の中に GSP との最終応答を示すデータがありません。ホスト *bb....bb* はシステムリセットできません。

[英語]

The GSP final communication data is not defined in system reset procedure file '*aa....aa*'. The host *bb....bb* cannot be system reset.

定義されたシステムリセット手順の中に、 HA モニタがリセット処理の完了を認識するための最終通信データの定義がありません。そのため、該当ホストはシステムリセットできません。

aa....aa : リセット手順ファイル名

bb....bb : ホスト名

S :

処理を続行します。

○ :

HA モニタのリセット手順ファイルの中に"RF"タグで定義されたレコードがあるかどうかを確認してください。なければ、リセット手順ファイルを作成してください。

KAMN679-E (HP-UX(IPF)および Linux(IPF))

[日本語]

システムリセット手順ファイル *aa....aa* の定義の中に MP との最終応答を示すデータがありません。ホスト *bb....bb* はシステムリセットできません。

[英語]

The MP final communication data is not defined in system reset procedure file '*aa....aa*'. The host *bb....bb* cannot be system reset.

定義されたシステムリセット手順の中に、 HA モニタがリセット処理の完了を認識するための最終通信データの定義がありません。そのため、該当ホストはシステムリセットできません。

aa....aa : リセット手順ファイル名

bb....bb : ホスト名

S :

処理を続行します。

○：

HA モニタのリセット手順ファイルの中に"RF"タグで定義されたレコードがあるかどうかを確認してください。なければ、リセット手順ファイルを作成してください。

KAMN680-E (HP-UX(PA-RISC))

[日本語]

システムリセット手順ファイル *aa....aa* の定義の中に GSP のプロンプト文字列の定義がありません。
ホスト *bb....bb* はシステムリセットできません。

[英語]

The GSP prompt string data is not defined in system reset procedure file '*aa....aa*'. The host *bb....bb* cannot be system reset.

定義されたシステムリセット手順の中に、 HA モニタが GSP との通信に使用するプロンプト文字列の定義がありません。そのため、該当ホストはシステムリセットできません。

aa....aa : リセット手順ファイル名

bb....bb : ホスト名

S：

処理を続行します。

○：

HA モニタのリセット手順ファイルの中に"PROMPT"タグで定義されたレコードがあるかどうかを確認してください。なければ、リセット手順ファイルを作成してください。

KAMN680-E (HP-UX(IPF)および Linux(IPF))

[日本語]

システムリセット手順ファイル *aa....aa* の定義の中に MP のプロンプト文字列の定義がありません。
ホスト *bb....bb* はシステムリセットできません。

[英語]

The MP prompt string data is not defined in system reset procedure file '*aa....aa*'. The host *bb....bb* cannot be system reset.

定義されたシステムリセット手順の中に、 HA モニタが MP との通信に使用するプロンプト文字列の定義がありません。そのため、該当ホストはシステムリセットできません。

aa....aa : リセット手順ファイル名

bb....bb : ホスト名

S :

処理を続行します。

○ :

HA モニタのリセット手順ファイルの中に"PROMPT"タグで定義されたレコードがあるかどうかを確認してください。なければ、リセット手順ファイルを作成してください。

KAMN681-E (HP-UX(PA-RISC))

[日本語]

システムリセット手順ファイル *aa....aa* の中に GSP のリセットコマンド文字列の定義がありません。
ホスト *bb....bb* はシステムリセットできません。

[英語]

The GSP reset command string data is not defined in system reset procedure file '*aa....aa*'. The host *bb....bb* cannot be system reset.

定義されたシステムリセット手順の中に、 HA モニタが GSP との通信に使用するリセットコマンド文字列の定義がありません。そのため、該当ホストはシステムリセットできません。

aa....aa : リセット手順ファイル名

bb....bb : ホスト名

S :

処理を続行します。

○ :

HA モニタのリセット手順ファイルの中に"RSTCMD"タグで定義されたレコードがあるかどうかを確認してください。なければ、リセット手順ファイルを作成してください。

KAMN681-E (HP-UX(IPF)および Linux(IPF))

[日本語]

システムリセット手順ファイル *aa....aa* の定義の中に MP のリセットコマンド文字列の定義がありません。ホスト *bb....bb* はシステムリセットできません。

[英語]

The MP reset command string data is not defined in system reset procedure file '*aa....aa*'. The host *bb....bb* cannot be system reset.

定義されたシステムリセット手順の中に、 HA モニタが MP との通信に使用するリセットコマンド文字列の定義がありません。そのため、該当ホストはシステムリセットできません。

aa....aa : リセット手順ファイル名

bb....bb : ホスト名

S :

処理を続行します。

○ :

HA モニタのリセット手順ファイルの中に "RSTCMD" タグで定義されたレコードがあるかどうかを確認してください。なければ、リセット手順ファイルを作成してください。

KAMN682-E

[日本語]

自系をリセットできる状態にできませんでした。

[英語]

Own host could not be set to a state where it can be reset.

シリアルポートの設定やシステムの異常によって自系をリセット可能な状態にできませんでした。原因によってはこのメッセージが複数出力されることがあります。

S :

処理を続行します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

このメッセージの前に KAMN673-E が output された場合や、シリアルポートの設定直後にこのメッセージが出力される場合は、シリアルポートの設定に誤りがあることが考えられます。再度シリアルポートの設定をしてください。

KAMN683-E

[日本語]

システムリセット手順ファイル *aa....aa* に定義されている S P N タグは本システムでは使用できません。ホスト *bb....bb* はシステムリセットできません。

[英語]

The 'SPN' tag defined in system reset procedure file 'aa....aa' is not available on this system.
The host bb....bb cannot be system reset.

定義されたシステムリセット手順の中に nPartition システムのパーティション番号を送信する"SPN"タグの指定がされているが、稼働中のシステムが nPartition システムではない、またはパーティション番号の取得に失敗したため該当ホストはシステムリセットできません。

aa....aa : リセット手順ファイル名

bb....bb : ホスト名

S :

処理を続行します。

O :

リセット手順ファイルの中の"SPN"タグの定義を削除するか、パーティション番号を確認し、正しく修正してください。

KAMN684-E (AIX)

[日本語]

自系 HA モニタの異常を検知しました。自系はシステムリセットできません。

原因コード : aa....aa

[英語]

Abnormality of HAmonitor in the own host was detected. Own host cannot be system reset.

Error details:aa....aa

原因コードに示す自系 HA モニタの異常を検知したため自系はシステムリセットすることも、システムリセットされることもできません。

aa....aa : 原因コード

原因コード	意味
ATTACH	デーモン起動失敗
PIPE	pipe システムコールエラー
FORK	fork システムコールエラー
CONNECT	通信エラー
NOEXIST	デーモン異常終了

S :

処理を続行します。

○ :

このメッセージの前にメッセージ KAMN601-W が output されている場合、そのメッセージで示されるシステムコールのエラー要因を取り除き、SP 状態表示コマンド (monsp コマンド) を実行してください。

このメッセージの前にメッセージ KAMN624-E が output されている場合、そのメッセージで示される詳細コードのエラー要因を取り除き、SP 状態表示コマンド (monsp コマンド) を実行してください。

KAMN684-E(HP-UX(IPF), Linux(x86), および Linux(IPF))

[日本語]

自系 HA モニタの異常を検知しました。自系はシステムリセットできません。

原因コード : aa....aa

[英語]

Abnormality of HAmonitor in the own host was detected. Own host cannot be system reset.

Error details:aa....aa

原因コードに示す自系 HA モニタの異常を検知したため自系はシステムリセットすることも、システムリセットされることもできません。

aa....aa : 原因コード

原因コード	意味
ATTACH	デーモン起動失敗
PIPE	pipe システムコールエラー
FORK	fork システムコールエラー
CONNECT	通信エラー
NOEXIST	デーモン異常終了

S :

処理を続行します。

○ :

原因コードが PIPE の場合、およびそれ以外の場合で対処が異なります。

原因コードが PIPE の場合は次の対処をしてください。

- HA モニタの環境設定コマンド (monsetup コマンド) でリセットパスの設定をしていないおそれがあります。リセットパスの設定を確認してください。リセットパスの設定をしていない場合、HA

モニタを正常終了させてから HA モニタの環境設定コマンド（`monsetup` コマンド）でリセットパスの設定をし、HA モニタを再起動してください。

なお、このメッセージの出力前に、メッセージ KAMN601-W が output されていて、「発行したシステムコールが bind」である場合は、要因は次のどちらかです。

- リセットパスの設定で「リセットパスのポート番号」に指定しているポート番号は、監視パスで使用しているポート番号と重複しているか、または、既に他のプログラムが使用中です。未使用的番号を指定してください。リセットパスの設定および、構成を見直し、リセットパス状態表示コマンド（`monrp` コマンド）を実行してください。

- リセットパスの設定コマンド（`monsetup` コマンドに `-resetpath` オプションを指定）を実行中に、HA モニタを起動しました。リセットパスの設定中に HA モニタを起動しないでください。リセットパスの設定を完了させてから、リセットパス状態表示コマンド（`monrp` コマンド）を実行してください。

原因コードが PIPE 以外の場合は次の対処をしてください。

- このメッセージの前にメッセージ KAMN601-W が output されている場合、そのメッセージで示されるシステムコールのエラー要因を取り除き、リセットパス状態表示コマンド（`monrp` コマンド）を実行してください。
- このメッセージの前にメッセージ KAMN624-E が output されている場合、そのメッセージで示される詳細コードのエラー要因を取り除き、リセットパス状態表示コマンド（`monrp` コマンド）を実行してください。

KAMN685-W

[日本語]

ホスト：`aa....aa` と接続しましたが、自系とリセットパスの構成が異なります。

[英語]

The definition of host(`aa....aa`)'s Reset Path is different from own host's definition.

ホスト名で示すホストと接続しましたが、自系とリセットパスの構成が異なるため、このホストに対してシステムリセットができません。リセットパスにスイッチ&マネジメントモジュールを使用している場合、HA モニタの環境設定コマンド（`monsetup` コマンド）を使用してリセットパスの設定をしていないおそれがあります。

`aa....aa`：ホスト名

S：

処理を続行します。

○：

リセットパスの設定を確認し、誤りを修正したあと、HA モニタを再起動してください。

KAMN686-W

[日本語]

スイッチ&マネジメントモジュールの機能が使用できません。詳細コード : aa....aa

[英語]

The function of Switch and Management Module cannot be used. Details : aa....aa

自系のスイッチ&マネジメントモジュールから、使用できない機能があることを通知されました。

aa....aa : 詳細コード

詳細コード	意味
CLUSTER-MANAGER	スイッチ&マネジメントモジュールのクラスタ管理機能が無効な状態になっています。

S :

処理を続行します。

○ :

詳細コード別に、次の処置をしてください。

詳細コード	意味
CLUSTER-MANAGER	自系のスイッチ&マネジメントモジュールのクラスタ管理機能の設定および構成を見直し、誤りがあった場合は修正してください。

KAMN689-E (HP-UX(PA-RISC))

[日本語]

GSP に接続できませんでした。ホスト aa....aa はシステムリセットできません。

[英語]

Unable to connect GSP. The host aa....aa cannot be system reset.

他系ホストと接続しましたが、該当ホストの GSP に接続できなかったため、該当ホストはシステムリセットできません。

aa....aa : ホスト名

S :

処理を続行します。

○ :

LAN ケーブルの接続や、GSP の設定が外部からのログインを許可しない設定になっていないか確認してください。

KAMN689-E (HP-UX(IPF)およびLinux(IPF))

[日本語]

MP に接続できませんでした。ホスト *aa....aa* はシステムリセットできません。

[英語]

Unable to connect MP. The host *aa....aa* cannot be system reset.

他系ホストと接続しましたが、該当ホストの MP に接続できなかったため、該当ホストはシステムリセットできません。

aa....aa : ホスト名

S :

処理を続行します。

○ :

LAN ケーブルの接続や、MP の設定が外部からのログインを許可しない設定になつてないか確認し、ログインを許可する設定にしてください。

KAMN690-W

[日本語]

aa....aa コマンドで異常が発生しました。

コマンド出力メッセージ : 'bb....bb'

[英語]

An error occurred in the *aa....aa* command.

Command output details:'bb....bb'

HA モニタの関数内で発行した OS のコマンドでエラーが発生しました。出力メッセージの詳細については、各 OS のマニュアルを参照してください。

aa....aa : 発行したコマンド

bb....bb : コマンドが出力したメッセージ（空の場合もあります）

S :

処理を続行します。

対策 :

出力されたメッセージを基にエラー原因を調査し、障害の原因を取り除いてください。

KAMN693-W

[日本語]

aa....aa を強制的に varyon しました。

[英語]

A forced varyon was executed to *aa....aa*.

デバイス名称で示すボリュームグループに対して強制 varyon を実行しました。

aa....aa : デバイス名称

S :

処理を続行します。

○ :

必要に応じてデバイスの状態を確認してください。

KAMN694-W

[日本語]

aa....aa を強制的に varyon できません。

[英語]

A forced varyon cannot be executed to *aa....aa*.

デバイス名称で示すボリュームグループに対して強制 varyon を実行できませんでした。

aa....aa : デバイス名称

S :

処理を続行します。

○ :

必要に応じてデバイスの状態を確認してください。

KAMN695-I

[日本語]

他系の OS パニック検知機能を有効化しました。

[英語]

The function that detects Operating System panic of other systems was enabled.

他系の OS パニック検知機能を有効化しました。他系の OS パニック検知機能を使用して HA モニタが動作します。

S :

処理を続行します。

KAMN696-W

[日本語]

他系の OS パニック検知機能を有効化できませんでした。原因コード : aa....aa

[英語]

The function that detects Operating System panic of other systems was not enabled. Cause code:aa....aa

他系の OS パニック検知機能を使用しないで HA モニタが動作します。

aa....aa : 原因コード

原因コード	意味
SYSTEM_CALL	システムコールのエラー
LTD_STOP	Linux Tough Dump サービスが未起動
LTD_ERROR	Linux Tough Dump サービスのエラー

S :

処理を続行します。

O :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

原因コード別に、次の処置をしてください。

原因コード	処置
SYSTEM_CALL	このメッセージの前に出力されるメッセージ KAMN601-W で示される、システムコールのエラー要因を取り除いたあと、HA モニタを再起動してください。
LTD_STOP	Linux Tough Dump サービス、および HA モニタを再起動してください。
LTD_ERROR	このメッセージの前に出力されている OS 障害通知機能のメッセージを基にエラー要因を調査してください。エラー要因を取り除いたあと、Linux Tough Dump サービス、および HA モニタを再起動してください。

原因コード	処置
	なお、OS障害通知機能のメッセージについては、Linux Tough Dumpのドキュメントを参照してください。

KAMN699-I

[日本語]

Linux Tough Dump サービスを使用します。

[英語]

The function that Linux Tough Dump Service is used.

Linux Tough Dump サービスを使用します。系障害時にシステムダンプを取得できます。

他系のOSパニック検知機能を使用できる場合は、他系のOSパニック検知機能を使用してHAモニタが動作します。

S :

処理を続行します。

2.8 KAMN700～KAMN799

KAMN701-I

[日本語]

`trb_mtb_malloc` 関数は既に発行されているため、この関数は受け付けません。

[英語]

Because it is already published, the `trb_mtb_malloc` function rejects.

モジュールトレースバッファ確保関数 (`trb_mtb_malloc`) はすでに発行されていてバッファは確保されています。この関数の発行は受け付けられません。

S :

処理を続行します。

KAMN702-W

[日本語]

モジュールトレース情報取得に必要な作業領域を確保できません。モジュールトレース情報を取得できません。

[英語]

Because a module trace buffer cannot be gotten, module trace information stops.

メモリが不足したため、モジュールトレースバッファを取得するのに必要な作業領域を確保できないので、モジュールトレース情報を取得できません。

S :

処理を続行します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

このメッセージの前に出力されるエラーメッセージを基に、原因を調査してください。

KAMN703-I (S+L)

[日本語]

ホスト : aa....aa を強制停止します。

[英語]

Performing a forced stop on host:aa....aa.

ホスト名で示すホストを強制停止します。

aa....aa : ホスト名

S :

処理を続行します。

KAMN705-W (E+L)

[日本語]

ホスト : aa....aa の HA モニタは詳細コードで示す機能をサポートしていません。 詳細コード : bb....bb

[英語]

The HA monitor on host:aa....aa does not support the functions shown in the detailed code.
Detailed code:bb....bb.

ホスト名で示すホストの HA モニタは、 詳細コードで示す機能を使用できません。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : 詳細コード

詳細コード	機能名
FORCIBLY_STOP	強制系切り替え

S :

詳細コード別に、 次のとおりです。

詳細コード	処置
FORCIBLY_STOP	系障害時の系切り替え処理を開始します。

○ :

詳細コード別に、 次の処置をしてください。

詳細コード	処置
FORCIBLY_STOP	系のリセットを使用している場合 対処不要です。 共有ディスクの SCSI リザーブを使用している場合 系切り替え元の OS が停止していないときは OS を停止してください。

詳細コード	処置
	LAN の通信可否による系切り替え制御を使用している場合 系切り替え元の OS が停止していないときは OS を停止してください。 ハイブリッドフェンシングを使用している場合 系切り替え元の OS が停止していないときは OS を停止してください。

KAMN706-E (E+L)

[日本語]

グループ : *aa....aa* は実行サーバが稼働するホストが複数存在するため、強制系切り替えできる状態ではありません。

[英語]

Forced system switchover cannot be performed in the current state, because there are online servers running on more than one host in group:*aa....aa*.

グループ名で示すグループは、実行サーバが稼働するホストが複数存在するため、強制系切り替えできる状態ではありません。

aa....aa : グループ名

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

グループ名で示すグループ内のサーバで、系切り替えをして業務を継続したいサーバを指定し、コマンドを再実行してください。

KAMN707-E (E+L)

[日本語]

サーバ : *aa....aa* とペアになるサーバが存在しません。*bb....bb* コマンドは実行できません。

[英語]

The server paired with server:*aa....aa* does not exist. The *bb....bb* command cannot be executed.

サーバ識別名で示すサーバとペアになるサーバが存在しないため、コマンド名で示すコマンドは実行できません。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : コマンド名

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

ペアとなっているサーバ識別名を指定して、コマンドを再実行してください。

KAMN708-I

[日本語]

ホスト：*aa....aa* の強制系切り替え要求を受けました。

[英語]

A request was received for forced system switchover of host:*aa....aa*.

ホスト名で示すホストの強制系切り替え要求を受けました。このメッセージは、強制系切り替えする場合に出力されます。

aa....aa : ホスト名

S :

処理を続行します。

KAMN717-E

[日本語]

J P 1 イベント通知に失敗しました。イベント ID=*aa....aa* メッセージ ID=*bb....bb* 関数名=*cc....cc* 状態コード=*dd....dd*

[英語]

Failed to JP1 event notification. Event-ID=*aa....aa* Message-ID=*bb....bb* Function-name=*cc....cc* Status=*dd....dd*

JP1 イベント通知に失敗しました。JP1 イベントは通知されません。

aa....aa : 通知しようとしたイベントの ID

bb....bb : 通知しようとしたイベントに対応する HA モニタのメッセージ ID

cc....cc : エラーの発生した関数名

dd....dd : 状態コード

状態コード	意味
NO_LIBRARY	ライブラリが見つかりません。
CONNECT_ERROR	JP1/Base と接続できません。
MAXOPEN	ファイルオープン数が限界を超えました。
NO_MEMORY	メモリが不足しています。

S :

処理を続行します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

次の表の回避策を参考に障害を取り除いてください。次の表の状態コード以外が出力された場合は、必要に応じて情報を集めてください。

状態コード	処置
NO_LIBRARY	JP1/Base がインストールされていないおそれがあります。 インストール後、HA モニタを再起動してください。
CONNECT_ERROR	JP1/Base が起動されていないおそれがあります。 JP1/Base を起動してください。
MAXOPEN	カーネルパラメタを見直し、HA モニタを再起動してください。
NO_MEMORY	システムに十分なメモリが割り当てられているか見直してください。

KAMN723-E

[日本語]

共有ディスクのデータ保護方法の設定に誤りがあります。

[英語]

The data protection method setting for the shared disk is invalid.

サーバ対応の環境設定に `scsi_device` オペランド、または `dmmp_device` オペランドが指定されていますが、HA モニタの環境設定の `fence_scsi` オペランドに `use` が指定されていません。

S :

起動処理を中止します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策：

定義を修正したあと、 HA モニタを再起動してください。

KAMN724-E

[日本語]

定義ファイル：sysdef function 定義文の address オペランドに 0 は指定できません。

[英語]

0 cannot be set for the address operand of the function statement in the sysdef definition file.

HA モニタの環境設定で、 fence_scsi オペランドに use が指定されているため、 address オペランドに 0 を指定できません。

S :

処理を終了します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策：

HA モニタの環境設定の address オペランドに、 1 以上を指定してください。

KAMN725-W (E+L)(Linux(x86))

[日本語]

デバイス : aa....aa での SCSI コマンドの実行で異常が発生しました。 詳細コード : bb....bb サーバ : cc....cc ホストアドレス : dd....dd(0xee....ee)

[英語]

Execution of the SCSI command on the device aa....aa ended abnormally. (details code: bb....bb, server: cc....cc, host address: dd....dd (0xee....ee))

デバイス aa....aa で、 SCSI コマンドの実行エラーが発生しました。 bb....bb が OPEN、 または IOCTL の場合は、 このメッセージの前にメッセージ KAMN601-W が出力されます。

aa....aa : サーバ対応の環境設定のオペランドに指定した、 障害が発生したデバイス名

デバイス名の詳細は、 次の表を参照してください。

オペランド名	環境	デバイス名
scsi_device	マルチパスソフトウェア が HDLM	HDLM の論理デバイス名。
	VMware ESXi での仮想化環境	シンボリックリンク名。
	KVM での仮想化環境	
	上記以外	
dmmp_device	マルチパスソフトウェア が DMMP	DMMP の論理デバイス名。 DMMP の論理デバイス名の後ろには 「(/dev/xxx)」 が output されます。 xxx は障害が発生したパス名です。

bb...bb : 詳細コード

詳細コード	意味
OPEN	aa....aa のオープンに失敗しました。aa....aa がありません。
IOCTL	aa....aa は、SCSI リザーブに対応していません。
ALREADY-RESERVATION	aa....aa が、すでにリザーブされています。または、系切り替えによって他系にリザーブされました。
IO-ERR	aa....aa で、I/O エラーが発生しました。

cc....cc : aa....aa の共有ディスクを使用しているサーバのサーバ識別名

dd....dd : 詳細コード別に、次の内容が表示されます。

詳細コード	表示内容
OPEN	*
IOCTL	
ALREADY-RESERVATION	ディスクをリザーブしている系のホストアドレス
IO-ERR	自系のホストアドレス（ただし、monscsiclr コマンドによって出力された場合は、99999999 固定）

ee....ee : 詳細コード別に、次の内容が表示されます。

詳細コード	表示内容
OPEN	*
IOCTL	
ALREADY-RESERVATION	dd....dd に表示された内容が、16進数で表示されます。対策時に実行する sg_persist コマンドの指定キーとなります。
IO-ERR	

S:

処理を続行します。

○:

システム管理者に連絡してください。

対策:

詳細コード別に、次の処置をしてください。

詳細コード	処置
OPEN	<code>scsi_device</code> オペランドに、シンボリックリンク、または HDLM の論理デバイス名を指定してください。または、 <code>dmmp_device</code> オペランドに、マルチパスソフトウェア (DMMP) の論理デバイス名を指定してください。
IOCTL	<code>scsi_device</code> オペランドに、SCSI リザーブに対応した共有ディスクのシンボリックリンク、または HDLM の論理デバイス名を設定してください。または、 <code>dmmp_device</code> オペランドに、DMMP の論理デバイス名を指定してください。
ALREADY-RESERVATION	次に示す運用、または事象のあとに実行サーバを起動した場合、この詳細コードが出力され、実行サーバの起動に失敗します。この場合、リザーブ解除コマンド (<code>monscsiclr</code> コマンド) を実行するか、またはマニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタ Linux(R) (x86) 編』のリザーブを解放しないサーバの対処に関する記述を参照し、手順に従ってリザーブを解除したあとで、実行サーバを再起動してください。 <ul style="list-style-type: none">実行サーバを停止したときに、I/O エラーなどの要因でリザーブを解除できなかった (KAMN726-E メッセージを出力)待機サーバが未起動の場合など、系切り替えできない状態で実行系の系障害が発生した実行サーバが稼働したまま OS をシャットダウンした系障害で系切り替えをしたとき、障害となった系および待機サーバを起動する前に実行サーバを停止した これらの運用、または事象に該当しない場合は、マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタ Linux(R) (x86) 編』の共有ディスクのデバイス障害の対処に関する記述を参照し、手順に従って対策してください。
IO-ERR	マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタ Linux(R) (x86) 編』の共有ディスクのデバイス障害の対処に関する記述を参照し、手順に従って対策してください。 KVM による仮想化環境の場合は、マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタ Linux(R) (x86) 編』の KVM の設定に関する記述を参照し、設定が誤っていないか確認してください。

KAMN725-W (E+L)(AIX)

[日本語]

デバイス : aa....aa での SCSI コマンドの実行で異常が発生しました。詳細コード : bb....bb サーバ : cc....cc ホストアドレス : dd....dd(0xee....ee)

[英語]

Execution of the SCSI command on the device aa....aa ended abnormally. (details code: bb....bb, server: cc....cc, host address: dd....dd (0xee....ee))

デバイス aa....aa で、 SCSI コマンドの実行エラーが発生しました。bb....bb が OPEN, または IOCTL の場合は、このメッセージの前にメッセージ KAMN601-W が出力されます。

aa....aa : サーバ対応の環境設定のオペランドに指定した、障害が発生したデバイス名

デバイス名の詳細は、次の表を参照してください。

オペランド名	環境	デバイス名
scsi_device	マルチパスソフトウェア が HDLM	サーバ対応の環境設定の scsi_device オペランドに指定した HDLM の論理デバイス名。
	上記以外	物理デバイス名。

bb....bb : 詳細コード

詳細コード	意味
OPEN	aa....aa のオープンに失敗しました。aa....aa がありません。
IOCTL	aa....aa は、SCSI リザーブに対応していません。
ALREADY-RESERVATION	aa....aa が、すでにリザーブされています。または、系切り替えによって他系にリザーブされました。
IO-ERR	aa....aa で、I/O エラーが発生しました。

cc....cc : aa....aa の共有ディスクを使用しているサーバのサーバ識別名

dd....dd : 詳細コード別に、次の内容が表示されます。

詳細コード	表示内容
OPEN	*
IOCTL	
ALREADY-RESERVATION	ディスクをリザーブしている系のホストアドレス
IO-ERR	自系のホストアドレス（ただし、monscsiclr コマンドによって出力された場合は、99999999 固定）

ee....ee : 詳細コードが ALREADY-RESERVATION または IO-ERR の場合は、dd....dd が 16 進数で表示されます。詳細コードが OPEN または IOCTL の場合は「*」が表示されます。

S:

処理を続行します。

○:

システム管理者に連絡してください。

対策:

詳細コード別に、次の処置をしてください。

詳細コード	処置
OPEN	<code>scsi_device</code> オペランドに、物理デバイス名、または HDLM の論理デバイス名を指定してください。
IOCTL	<code>scsi_device</code> オペランドに、SCSI リザーブに対応した共有ディスクの物理デバイス名、または HDLM の論理デバイス名を設定してください。
ALREADY-RESERVATION	<p>次に示す運用、または事象のあとに実行サーバを起動した場合、この詳細コードが出力され、実行サーバの起動に失敗します。この場合、リザーブ解除コマンド (<code>monscsiclr</code> コマンド) を実行してリザーブを解除してから、実行サーバを再起動してください。</p> <ul style="list-style-type: none">実行サーバを停止したときに、I/O エラーなどの要因でリザーブを解除できなかった (KAMN726-E メッセージを出力)待機サーバが未起動の場合など、系切り替えできない状態で実行系の系障害が発生した実行サーバが稼働したまま OS をシャットダウンした系障害で系切り替えをしたとき、障害となった系および待機サーバを起動する前に実行サーバを停止した <p>これらの運用、または事象に該当しない場合は、マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタ AIX(R)編』の共有ディスクのデバイス障害の対処に関する記述を参照し、手順に従って対策してください。</p>
IO-ERR	<p>状況によって、必要な処置が異なります。処置しないで実行サーバを起動したときは、実行サーバの起動に失敗します。</p> <p>ユーザの操作によってディスクリザーブ（オプションなしで <code>varyonvg</code> コマンドを実行）している場合、またはシステム起動時に自動でボリュームグループが活動化するように OS で設定 (<code>auto_on</code> 属性が y) されている場合 ボリュームグループ活動化によるリザーブを解除してください。</p> <p>HA モニタ以外のプログラムがリザーブしている場合 HA モニタ以外のプログラムのリザーブを解除してください。</p> <p>上記以外の場合 マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタ AIX(R)編』の共有ディスクのデバイス障害の対処に関する記述を参照し、手順に従って対策してください。</p>

KAMN726-E (E+L)(Linux(x86))

[日本語]

デバイス : aa....aa に対応するすべてのパスで異常が発生しました。

[英語]

Errors occurred on all the paths to the device aa....aa.

デバイス aa....aa に対応するすべてのパスで異常が発生しました。このメッセージの前にメッセージ KAMN725-W が出力されます。

aa....aa : サーバ対応の環境設定のオペランドに指定した、障害が発生したデバイス名

デバイス名の詳細は、次の表を参照してください。

オペランド名	環境	デバイス名
scsi_device	マルチパスソフトウェア が HDLM	HDLM の論理デバイス名。
	VMware ESXi での仮想化環境	シンボリックリンク名。
	KVM での仮想化環境	
	上記以外	
dmmp_device	マルチパスソフトウェア が DMMP	DMMP の論理デバイス名。 DMMP の論理デバイス名の後ろには「(/dev/xxx)」が出力されます。 xxx は障害が発生したパス名です。パス名には、同じ DMMP の論理デバイスに対応する物理パスの中で、メッセージ KAMN726-E の直前に出力されたメッセージ KAMN725-W のパス名が出力されます。

S :

処理を続行します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

このメッセージの前に出力されているメッセージ KAMN725-W を参照し、原因を取り除いてください。

KAMN726-E (E+L)(AIX)

[日本語]

デバイス : aa....aa に対応するすべてのパスで異常が発生しました。

[英語]

Errors occurred on all the paths to the device aa....aa.

デバイス aa....aa に対応するすべてのパスで異常が発生しました。このメッセージの前にメッセージ KAMN725-W が表示されます。

aa....aa : サーバ対応の環境設定のオペランドに指定した、障害が発生したデバイス名

デバイス名の詳細は、次の表を参照してください。

オペランド名	環境	デバイス名
scsi_device	マルチパスソフトウェア が HDLM	サーバ対応の環境設定の scsi_device オペランドに指定した HDLM 論理デバイス名。
	上記以外	サーバ対応の環境設定の scsi_device オペランドに指定した物理デバイス名。

S :

処理を続行します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

このメッセージの前に出力されているメッセージ KAMN725-W を参照し、原因を取り除いてください。

KAMN727-I (Linux(x86))

[日本語]

デバイス : aa....aa の回復を検知しました。 詳細コード : bb....bb サーバ : cc....cc

[英語]

Recovery of the device aa....aa was detected. (details code: bb....bb, server: cc....cc)

SCSI コマンドの実行で障害が発生していた、デバイス aa....aa の回復を検知しました。

aa....aa : サーバ対応の環境設定のオペランドに指定した、障害が発生したデバイス名

デバイス名の詳細は、次の表を参照してください。

オペランド名	環境	デバイス名
scsi_device	マルチパスソフトウェア が HDLM	HDLM の論理デバイス名。
	VMware ESXi での仮想化環境	シンボリックリンク名。

オペランド名	環境	デバイス名
	KVM での仮想化環境	
	上記以外	
dmmp_device	マルチパスソフトウェア が DMMP	DMMP の論理デバイス名。 DMMP の論理デバイス名の後ろには 「(/dev/xxx)」 が 出力されます。 xxx は障害が発生したパス名です。

bb....bb : 詳細コード

詳細コード	意味
STANDBY_CHECK	待機サーバで定期的に実施する共有ディスクのパスの状況のチェック処理で障害の回復を検知しました。
ONLINE_CHECK	実行サーバ稼働中に定期的に実施する共有ディスクのリザーブのチェック処理で障害の回復を検知しました。
ONLINE_CHECK(NO_KEY)	実行サーバ稼働中に定期的に実施する共有ディスクのリザーブのチェック処理で障害の回復を検知しましたが、回復したパスはディスクの更新ができない状態です。

cc....cc : aa....aa の共有ディスクを使用しているサーバのサーバ識別名

S :

処理を続行します。

○ :

詳細コード別に、次の処置をしてください。

詳細コード	処置
STANDBY_CHECK	マルチパス構成の場合は、HDLM、DMMP、またはHFC-PCMのコマンドを実行してパスの状態を確認してください。オンライン状態に回復（フェイルバック）していない場合は、HDLM、DMMP、またはHFC-PCMのコマンドを使用してオンライン状態に回復（フェイルバック）してください。 マルチパス構成を使用していない場合は、処置は不要です。
ONLINE_CHECK	
ONLINE_CHECK(NO_KEY)	このメッセージの前に出力されるメッセージ KAMN725-W の内容を参照して、マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタ Linux(R) (x86) 編』の共有ディスクのデバイス障害の対処に関する記述を参照し、手順に従って対策してください。

KAMN727-I (AIX)

[日本語]

デバイス : aa....aa の回復を検知しました。 詳細コード : bb....bb サーバ : cc....cc

[英語]

Recovery of the device aa....aa was detected. (details code: bb....bb, server: cc....cc)

SCSI コマンドの実行で障害が発生していた、デバイス aa....aa の回復を検知しました。

aa....aa : サーバ対応の環境設定のオペランドに指定した、障害が発生したデバイス名

デバイス名の詳細は、次の表を参照してください。

オペランド名	環境	デバイス名
scsi_device	マルチパスソフトウェア が HDLM	サーバ対応の環境設定の scsi_device オペランドに指定した HDLM の論理デバイス名。
	上記以外	サーバ対応の環境設定の scsi_device オペランドに指定した物理デバイス名。

bb....bb : 詳細コード

詳細コード	意味
STANDBY_CHECK	待機サーバで定期的に実施する共有ディスクのパスの状況のチェック処理で障害の回復を検知しました。
ONLINE_CHECK	実行サーバ稼働中に定期的に実施する共有ディスクのリザーブのチェック処理で障害の回復を検知しました。

cc....cc : aa....aa の共有ディスクを使用しているサーバのサーバ識別名

S :

処理を続行します。

○ :

詳細コード別に、次の処置をしてください。

詳細コード	処置
STANDBY_CHECK	マルチパス構成の場合は、HDLM のコマンドを実行してパスの状態を確認してください。オンライン状態に回復（フェイルバック）していない場合は、HDLM のコマンドを使用してオンライン状態に回復（フェイルバック）してください。
ONLINE_CHECK	マルチパス構成を使用していない場合は、処置は不要です。

KAMN728-W (Linux(x86))

[日本語]

サーバ：aa....aa の共有ディスクのリザーブを解除しません。

[英語]

A shared disk reserve for the server *aa....aa* is not released.

他系の状態が確認できないため、共有ディスクのデータ破壊のおそれがあります。このため、リザーブを解除しません。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○ :

マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタ Linux(R) (x86) 編』のリザーブを解放しないサーバに対処する手順を参照して対策してください。

ただし、次に該当する場合は上記対策は不要です。メッセージは無視してください。

- ・マルチスタンバイ機能使用時、サーバ識別名の実行サーバが他系で稼働している場合
- ・ハイブリッドフェンシングを使用していて、すでに運用でリザーブの解放を行っている場合

KAMN728-W (AIX)

[日本語]

サーバ：*aa....aa* の共有ディスクのリザーブを解除しません。

[英語]

A shared disk reserve for the server *aa....aa* is not released.

他系の状態が確認できないため、共有ディスクのデータ破壊のおそれがあります。このため、リザーブを解除しません。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○ :

サーバ識別名で示すサーバが使用する共有ディスクのリザーブを、リザーブ解除コマンド (`monsccsiclr` コマンド) で解除してください。

ただし、すでに運用でリザーブを解放している場合、上記対策は不要です。メッセージは無視してください。

KAMN729-W

[日本語]

デバイス : aa....aa での SCSI コマンドの実行で異常が発生しています。詳細コード : bb....bb サーバ : cc....cc ホストアドレス : dd....dd(0xee....ee)

[英語]

Execution of a SCSI command on the device:aa....aa ended abnormally. (details code:bb....bb, server:cc....cc, host address:dd....dd (0xee....ee)).

サーバ識別名で示す待機サーバで、SCSI コマンドの実行エラーが発生しています。実行系の障害時、切り替え先の待機サーバの起動に失敗する可能性があります。このメッセージは、ユーザへの状態通知を目的として、一定間隔で出力されます。

aa....aa : サーバ対応の環境設定のオペランドに指定した、障害が発生したデバイス名

デバイス名の詳細は、KAMN725-W の aa....aa の表を参照してください。

bb....bb : KAMN725-W の詳細コードを参照してください。

cc....cc : aa....aa の共有ディスクを使用しているサーバのサーバ識別名

dd....dd : KAMN725-W の dd....dd の表を参照してください。

ee....ee : KAMN725-W の ee....ee の表を参照してください。

S :

処理を続行します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

このメッセージの前に出力されているメッセージ KAMN725-W を参照し、原因を取り除いてください。

KAMN730-E (E)

[日本語]

定義ファイル : sysdef function 定義文に ph_log_size オペランドが指定されていません。

[英語]

In the function definition statement in the definition file:sysdef, the ph_log_size operand is not specified.

HA モニタの環境設定に ph_threshold オペランドが指定されていますが、ph_log_size オペランドが指定されていません。

S :

処理を終了します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

監視履歴を取得する場合、HA モニタの環境設定に `ph_log_size` オペランドを指定してください。

KAMN731-E (E)

[日本語]

定義ファイル : `sysdef` function 定義文の `ph_threshold` オペランドに、`patrol` オペランド以上の値が指定されています。

[英語]

In the function definition statement in the definition file:`sysdef`, the value specified in the `ph_threshold` operand is the same as or more than the value specified in the `patrol` operand.

HA モニタの環境設定で、`patrol` オペランドの指定値以上の値が `ph_threshold` オペランドに指定されています。

S :

処理を終了します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

`ph_threshold` オペランドの指定値が、`patrol` オペランドの指定値未満となるように、HA モニタの環境設定を修正してください。

KAMN732-E (E)

[日本語]

サーバ : `aa....aa` は、定義ファイル : `servers` `ph_threshold` オペランドに `patrol` オペランド以上の値が指定されています。

[英語]

For server `aa....aa`, in the definition file:`servers` the value specified in the `ph_threshold` operand is the same as or more than the value specified in the `patrol` operand.

サーバ対応の環境設定で、`patrol` オペランドの指定値以上の値が`ph_threshold` オペランドに指定されています。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を終了します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

`ph_threshold` オペランドの指定値が、`patrol` オペランドの指定値未満となるように、サーバ対応の環境設定を修正してください。

KAMN733-E (E)

[日本語]

サーバ：*aa....aa* は`ph_threshold` オペランドが指定されていますが定義ファイル：`sysdef function` 定義文に`ph_log_size` オペランドが指定されていません。

[英語]

For server *aa....aa*, the `ph_threshold` operand is specified in the definition file:servers, but in the function definition statement in the definition file:`sysdef`, the `ph_log_size` operand is not specified.

サーバ識別名で示すサーバは、サーバ対応の環境設定の`ph_threshold` オペランドが指定されていますが、HA モニタの環境設定に`ph_log_size` オペランドが指定されていません。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を終了します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

監視履歴を取得する場合、HA モニタの環境設定に`ph_log_size` オペランドを追加してください。

監視履歴を取得しない場合、サーバ対応の環境設定から`ph_threshold` オペランドを削除してください。

KAMN740-I

[日本語]

監視履歴ファイルをバックアップしました。

[英語]

The patrol history file has been backed up.

監視履歴ファイルをバックアップしました。必要に応じてバックアップファイル（/opt/hitachi/Hamon/history/patrol_history_old）を退避してください。

S :

処理を続行します。

KAMN741-E

[日本語]

監視履歴の取得ができませんでした。

原因コード : aa....aa

[英語]

The patrol history could not be acquired.

Cause:aa....aa

監視履歴の取得に失敗しました。監視履歴の取得を終了します。

aa....aa : 原因コード

原因コード	意味
OPEN	監視履歴ファイルのオープンに失敗
WRITE	監視履歴のファイル出力に失敗
BACKUP	監視履歴ファイルのバックアップに失敗

S :

処理を続行します。

O :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

このメッセージの前に出力されるメッセージ KAMN601-W で示される、システムコールのエラー要因を取り除いてください。

エラー要因を取り除いたあと、HA モニタを再起動してください。

KAMN750-W

[日本語]

ホスト : aa....aa の HA モニタは、自系をシステムリセットできません。

[英語]

HA monitor in host:aa....aa cannot system reset to own host.

ホスト名で示すホストの HA モニタは、バージョンが古いため、他社仮想化環境上にある自系をシステムリセットできません。

aa....aa : ホスト名

S :

処理を続行します。

○ :

ホスト名で示すホストの HA モニタのバージョンを、自系が動作する仮想化環境に対応するバージョンに上げてください。または、ホスト名で示すホストとは、異なる系切り替え構成で動作させてください。

KAMN751-I

[日本語]

仮想マシンのリセットのための初期化処理が完了しました。

[英語]

Initialization of performing a system reset of a virtual machine was completed.

仮想マシンのリセットができるようになりました。

S :

処理を続行します。

KAMN752-E

[日本語]

ホスト : aa....aa と自系の間で、リセットパスの設定に矛盾があります。自系の管理システム名 : bb....bb 自系のマシンアドレス : cc....cc ホスト : aa....aa の管理システム名 : dd....dd ホスト : aa....aa のマシンアドレス : ee....ee

[英語]

There is a contradiction in the definition of Reset Path between host:*aa....aa* and own host.
system name of own host:*bb....bb* machine address of own host:*cc....cc* system name of
host:*aa....aa*:*dd....dd* machine address of host:*aa....aa*:*ee....ee*

ホスト名で示すホストと自系のリセットパスの設定に矛盾があります。このメッセージは、次のどちらかの場合に出力されます。

- 自系と他系の管理システム名が異なるのに、マシンアドレスが同一の場合
- 自系と他系の管理システム名が同一なのに、マシンアドレスが異なる場合

aa....aa : ホスト名

bb....bb : 自系の管理システム名

cc....cc : 自系のマシンアドレス

dd....dd : ホスト名で示すホストの管理システム名

ee....ee : ホスト名で示すホストのマシンアドレス

S :

処理を続行します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

ホスト名で示すホストまたは自系のリセットパスの設定を見直してください。管理システム名またはマシンアドレスの設定を修正したあと、修正した系の HA モニタを再起動してください。

KAMN755-I

[日本語]

HA モニタが VMware ESXi と SSH で接続しました。VMware ESXi の IP アドレス：*aa....aa*

[英語]

HA monitor connected to the VMware ESXi via Secure Shell. IP address of the VMware ESXi:*aa....aa*

HA モニタが VMware ESXi と SSH で接続しました。

aa....aa : IP アドレス

S :

処理を続行します。

KAMN757-W

[日本語]

ホスト : *aa....aa* と仮想マシン名が重複しています。仮想マシン名 : *bb....bb*

[英語]

The virtual machine name set to host:*aa....aa* overlaps each other. Virtual machine name:*bb....bb*

ホスト名で示すホストに設定されている仮想マシン名が、自系の設定と重複しています。リセットパスの設定が正しくないため、自系または他系が誤ってリセットされるおそれがあります。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : 仮想マシン名

S :

処理を続行します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

HA モニタが接続できるすべての VMware ESXi について、自系と他系の仮想マシン名が重複していないかどうかを確認してください。仮想マシン名を変更した場合は、HA モニタを再起動してください。

KAMN758-W

[日本語]

ホスト : *aa....aa* と自系の HA モニタオプションの組み合わせに矛盾があります。

[英語]

There is a contradiction in the combination of HA monitor option, between Host:*aa....aa* and own host.

自系と他系の HA8000 の HA モニタオプションは組み合わせて使用できません。

aa....aa : ホスト名

S :

処理を続行します。

○ :

リセットパスの構成を見直してください。

KAMN761-E

[日本語]

HA モニタ Extension を使用する機能の設定ができません。詳細コード : *aa....aa*

[英語]

The function of HAmonitor Extension cannot be set. Error details:*aa....aa*

HA モニタ Extension の機能の設定時に、エラーが発生しました。このため、機能の設定ができませんでした。

aa....aa : 詳細コード（1 衔）

詳細コード	意味
1	HA モニタ Extension がインストールされていません。
2	HA モニタが稼働中です。

S :

処理を中断します。

○ :

詳細コードを基にエラーの原因を取り除いたあと、再度 HA モニタ Extension の機能の設定をしてください。

KAMN762-E

[日本語]

HA モニタ Extension を使用する機能の設定がされていないため、指定した機能が使用できません。
定義ファイル : *aa....aa bb....bb* オペランド

[英語]

HA monitor Extension is not set. The function to specify cannot be used. Definition file: *aa....aa bb....bb* operand

HA モニタ Extension の機能の設定がされていないため、指定した機能は使用できません。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : オペランド名

S :

処理を中断します。

○：

定義を見直すか、または HA モニタ Extension の機能の設定をしてください。

KAMN763-E

[日本語]

HA モニタ Extension がインストールされていないため、コマンドの実行ができません

[英語]

HAmonitor Extension is not installed, can not execute the command.

HA モニタ Extension がインストールされていないため、コマンドを実行できません。

S：

処理を中断します。

○：

HA モニタ Extension をインストールしてください。

KAMN764-E

[日本語]

スクリプト群 :aa....aa が、設定されていません。

[英語]

A script group:aa....aa is not set.

aa....aa で示す、スクリプト群が設定されていません。

S：

処理を終了します。

○：

システム管理者に連絡してください。

対策：

aa....aa で示す、スクリプト群ごとに次の対策をしてください。対策後、定義チェックコマンド (moncheck コマンド) を実行してエラーが表示されないことを確認してください。

スクリプト群	対策
public_cloud	AWS 環境下の場合 /opt/hitachi/Hamon/lib/cloud/aws_script.tar.gz を展開してください。

スクリプト群	対策
	<p>Azure 環境下の場合 <code>/opt/hitachi/Hamon/lib/cloud/azure_script.tar.gz</code> を展開してください。</p> <p>OCI 環境下の場合 <code>/opt/hitachi/Hamon/lib/cloud/oci_script.tar.gz</code> を展開してください。</p> <p>展開方法は、マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタ パブリッククラウド編』の「【AWS】 AWS 用のシェルスクリプト群の展開」、「【Azure】 Azure 用のシェルスクリプト群の展開」、または「【OCI】 OCI 用のシェルスクリプト群の展開」を参照してください。</p>
rep_device	<code>/opt/hitachi/Hamon/lib/rep/drbd_script.tar.gz</code> を展開してください。展開方法は、マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタ パブリッククラウド編』の「【AWS】 AWS 用のシェルスクリプト群の展開」または「【Azure】 Azure 用のシェルスクリプト群の展開」を参照してください。

KAMN765-I

[日本語]

パブリッククラウド環境の情報取得が完了しました。

[英語]

The acquisition of information about the public cloud environment is complete.

AWS 環境下の場合

他系ホストが自系をリセットするために必要な情報（インスタンス ID）の取得が完了しました。他系ホストから自系をリセットできます。

Azure 環境下の場合

他系ホストが自系をリセットするために必要な情報（仮想マシン ID）の取得が完了しました。他系ホストから自系をリセットできます。

OCI 環境下の場合

他系ホストが自系をリセットするために必要な情報（インスタンスの OCID）の取得が完了しました。他系ホストから自系をリセットできます。

S :

処理を続行します。

KAMN766-E

[日本語]

パブリッククラウド環境の情報取得で異常が発生しました。

[英語]

An error occurred during the acquisition of information about the public cloud environment.

AWS 環境下の場合

他系ホストが自系をリセットするために必要な情報（インスタンス ID、ネットワーク遮断 ENI ID）の取得に失敗しました。他系ホストから自系をリセットできないか、またはネットワーク遮断ができません。

また、HA モニタエージェントを使用した構成では、必要な情報が取得できていないため、HA モニタエージェントとの接続ができません。

Azure 環境下の場合

他系ホストが自系をリセットするために必要な情報（仮想マシン ID）の取得に失敗しました。他系ホストから自系をリセットできません。

OCI 環境下の場合

他系ホストが自系をリセットするために必要な情報（インスタンスの OCID）の取得に失敗しました。他系ホストから自系をリセットできません。

S :

処理を続行します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

AWS 環境下の場合

自系のインスタンス ID、リージョン名、またはネットワーク遮断 ENI ID の取得に失敗しています。他系ホストから自系をリセットできないか、またはネットワーク遮断ができない状態です。

次のどれかの要因が考えられます。

- ・ネットワーク遮断設定ファイルに誤りがある（ネットワーク遮断による系切り替え機能を使用している場合だけ）
- ・AWS 上で AWS CLI の実行に失敗している
- ・AWS 上でインスタンスマタデータサービス（IMDS）からのインスタンス ID、またはリージョン名の取得に失敗している

HA モニタは、異常検知後に定期的（60 秒間隔）に自系インスタンス ID、ネットワーク遮断 ENI ID の取得を試みます。以降で説明する対処をして、異常の原因を取り除いたあとは、メッセージ KAMN765-I が出力されることを確認してください。

また、HA モニタエージェントを使用した構成では、メッセージ KAMN765-I が出力されたあと、HA モニタエージェントとの接続ができるか確認してください。

対処しても KAMN765-I が出力されない場合、早急に、次の実行ログを基に AWS サポートに調査を依頼し、適切に対処してください。

• /opt/hitachi/Hamon/spool/cloud/moncl_getinf.log_err

・ /opt/hitachi/Hamon/spool/cloud/moncld_nwdefchk.log_err (ネットワーク遮断による系切り替え機能を使用している場合だけ)

次の「ネットワーク遮断設定ファイルの確認（ネットワーク遮断による系切り替え機能を使用している場合だけ）」、「AWS の設定の確認」の対処をしてください。

ネットワーク遮断設定ファイルの確認（ネットワーク遮断による系切り替え機能を使用している場合だけ）

ネットワーク遮断設定ファイルに誤りがないか確認してください。

誤りがある場合は、ネットワーク遮断設定ファイルを修正後、HA モニタを再起動してください。

誤りがない場合は、定義された ENI がインスタンスにアタッチされているかを確認してください。

定義した ENI がアタッチされていない場合：

業務通信および業務ディスクのレプリケーションができない状態です。必要な ENI をインスタンスにアタッチしてください。

アタッチの手順については、マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタ パブリッククラウド編』の「ネットワーク遮断による系切り替え」を参照してください。

定義した ENI がアタッチされている場合：

次の「AWS の設定の確認」の対処をしてください。

AWS の設定の確認

マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタ パブリッククラウド編』の「【AWS】AWS の設定」を参照して設定を見直し、誤りを修正してください。

Azure 環境下の場合

仮想マシン ID の取得に失敗しています。他系ホストから自系をリセットできない状態です。早急に、実行ログ (/opt/hitachi/Hamon/spool/cloud/moncld_getinf.log_err) を基に Azure サポートに調査を依頼し、適切に対処してください。

HA モニタは、異常検知後に定期的（60 秒間隔）に仮想マシン ID の取得を試みます。異常の原因を取り除いたあとは、メッセージ KAMN765-I が出力されることを確認してください。

OCI 環境下の場合

インスタンスの OCID の取得に失敗しています。他系ホストから自系をリセットできない状態です。早急に、実行ログ (/opt/hitachi/Hamon/spool/cloud/moncld_getinf.log_err) を基に OCI サポートに調査を依頼し、適切に対処してください。

HA モニタは、異常検知後に定期的（60 秒間隔）にインスタンスの OCID の取得を試みます。異常の原因を取り除いたあとは、メッセージ KAMN765-I が出力されることを確認してください。

KAMN767-W

[日本語]

パブリッククラウド環境の情報取得で異常が発生しています。

[英語]

An error has occurred during the acquisition of information about the public cloud environment.

AWS 環境下の場合

他系ホストが自系をリセットするために必要な情報（インスタンス ID、ネットワーク遮断 ENI ID）の取得に失敗しました。他系ホストから自系をリセットできないか、またはネットワーク遮断ができません。

Azure 環境下の場合

他系ホストが自系をリセットするために必要な情報（仮想マシン ID）の取得に失敗しました。他系ホストから自系をリセットできません。

OCI 環境下の場合

他系ホストが自系をリセットするために必要な情報（インスタンスの OCID）の取得に失敗しました。他系ホストから自系をリセットできません。

このメッセージは、ユーザへの状態通知を目的として、一定間隔で出力されます。

S :

処理を続行します。

O :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

メッセージ KAMN766-E を参照し、対処してください。

KAMN768-E

[日本語]

パブリッククラウド環境の監視で異常を検知しました。

[英語]

An abnormality was detected during the monitoring of the public cloud environment.

CLI 実行可否チェックで異常を検知しました。

S :

処理を続行します。

O :

システム管理者に連絡してください。

対策：

AWS 環境下の場合

マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタ パブリッククラウド編』の「【AWS】 AWS の設定」を参照して設定を見直し、誤りを修正してください。

AWS CLI の実行に失敗した原因が不明な場合は、HA モニタが系切り替えができない状態であるため、AWS CLI の実行ログ（/opt/hitachi/Hamon/spool/cloud/moncld_polling.log）を基に AWS サポートに調査を依頼し、適切に対処してください。

Azure 環境下、または OCI 環境下の場合

HA モニタ起動時から出力されている場合、パブリッククラウド上で CLI を実行するための設定がされていないか、設定が誤っています。マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタ パブリッククラウド編』の「【Azure】 Azure の設定」、または「【OCI】 OCI の設定」を参照して設定を見直し、誤りを修正してください。

HA モニタ稼働中に出力された場合、CLI の実行に失敗しています。エンドポイントへの通信ができるかを調査してください。CLI の実行に失敗した原因が不明な場合は、HA モニタが系切り替えができない状態であるため、CLI の実行ログ（/opt/hitachi/Hamon/spool/cloud/moncld_polling.log）を基に Azure サポート、または OCI サポートに調査を依頼し、適切に対処してください。

KAMN769-W

[日本語]

パブリッククラウド環境の監視で異常を検知しています。

[英語]

An abnormality has been detected during the monitoring of the public cloud environment.

CLI 実行可否チェックで異常を検知しています。このメッセージは、ユーザへの状態通知を目的として、一定間隔で出力されます。

S：

処理を続行します。

○：

システム管理者に連絡してください。

対策：

メッセージ KAMN768-E を参照し、対処してください。

KAMN770-I

[日本語]

パブリッククラウド環境の監視で回復を検知しました。

[英語]

Recovery was detected during the monitoring of the public cloud environment.

CLI 実行可否チェックで回復を検知しました。

S :

処理を続行します。

KAMN771-E

[日本語]

レプリケーションデバイス :aa....aa の処理に失敗しました。サーバ名 :bb....bb 原因コード :cc....cc

[英語]

The processing of a replication device:aa....aa failed. Server:bb....bb. Cause code:cc....cc.

レプリケーションデバイス aa....aa で、原因コード cc....cc に示す処理に失敗または事象が発生しました。

aa....aa : サーバ対応の環境設定のオペランドに指定した、処理が失敗または事象が発生したレプリケーションデバイス名

bb....bb : aa....aa のレプリケーションデバイスを使用しているサーバのサーバ識別名

cc....cc : 原因コード

原因コードの意味を次に示します。

原因コード	意味
1	プライマリ抑止設定が失敗しました。または、マルチスタンバイ構成でレプリケーションパスに異常が発生しました。
2	他系へのプライマリ抑止設定が失敗しました。

S :

原因コード別の処理を次に示します。

原因コード	処理
1	待機サーバを停止します。
2	実行サーバのディスク I/O を停止したままとします。

○：

システム管理者に連絡してください。

対策：

原因コード別に、次の対処をしてください。

原因コード	対処
1	<p>レプリケーションパスが障害になっているため、レプリケーションパスを回復させてください。回復後に、待機サーバを再起動してください。</p> <p>なお、処理が失敗した原因については実行ログ（/opt/hitachi/Hamon/spool/rep/monrep_ctl_レプリケーションデバイス名.log）を基に調査してください。</p>
2	<p>このメッセージが出力されたあと、待機系によってリセットされた場合は、何も対処する必要ありません。</p> <p>待機系によってリセットされなかった場合は、次の順に対処してください。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 待機系を手動で停止するなど、系切り替えをしないでください。2. 監視パスおよびレプリケーションパスが障害になっているため、回復させてください。3. drbdadm resume-io コマンドでディスク I/O を再開してください。

KAMN772-W

[日本語]

レプリケーションデバイス : aa....aa のパスに異常が発生しました。サーバ : bb....bb

[英語]

A path error occurred in a replication device:aa....aa. Server:bb....bb.

aa....aa に示すレプリケーションデバイスのレプリケーションパスの実行系から、待機系のディスクは更新されないことを示す情報が通知されました。

aa....aa : サーバ対応の環境設定のオペランドに指定した、パスに異常が発生したレプリケーションデバイス名

bb....bb : aa....aa のレプリケーションデバイスを使用しているサーバのサーバ識別名

S：

処理を続行します。未更新のディスクへのアクセスを防止するため、ディスク状態を outdated にしてプライマリ化を抑止します。

○：

早急にレプリケーションパスを回復させてください。レプリケーションパスが回復すると、ディスクのプライマリ化抑止状態は解除されます。

KAMN773-E

[日本語]

定義ファイル : *aa....aa* のフォーマットに誤りがあります。 詳細コード : *bb....bb*

[英語]

The format of the definition file:*aa....aa* is invalid. Details code:*bb....bb*.

aa....aa に示す定義ファイルのフォーマットに誤りがあります。

aa....aa : 定義ファイル名

bb....bb : 詳細コード

詳細コード	意味
TGW	<i>aa....aa</i> に示す定義ファイルのトランジットゲートウェイ情報の記述形式に誤りがあります。
RTB	<i>aa....aa</i> に示す定義ファイルのルートテーブル情報の記述形式に誤りがあります。
HOST	<i>aa....aa</i> に示す定義ファイルのホスト情報の記述形式に誤りがあります。
UNKNOWN (<i>xxx</i>) *	<i>aa....aa</i> に示す定義ファイルの記述形式に誤りがあります。 " <i>xxx</i> " は指定できません。

注※

例えば、 `vip_tgw_def` ファイルに "rtd" という文字列がある場合は、 UNKNOWN (rtd) と表示されます。

S :

処理を続行します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

詳細コード別に、次の処置をしてください。

詳細コード	処置
TGW	トランジットゲートウェイ情報の記述形式のルールを確認し、修正してください。
RTB	ルートテーブル情報の記述形式のルールを確認し、修正してください。
HOST	ホスト情報の記述形式のルールを確認し、修正してください。
UNKNOWN (<i>xxx</i>)	次のどちらかを実施してください。 <ul style="list-style-type: none">• "<i>xxx</i>" の文字列を削除する。• "#" を先頭に追加し、コメントアウトする。

なお、記述形式のルールについては、マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタ パブリック クラウド編』の『vip_tgw_def ファイルの記述形式』を参照してください。

KAMN774-W

[日本語]

パブリッククラウド環境の VIP の処理で異常が発生しました。サーバ : aa....aa

[英語]

An error occurred in the VIP processing of the public cloud environment. Server:aa....aa.

複数のリージョン間または複数の VPC 間で系切り替えをする構成で、LAN の状態設定ファイル（サーバ識別名.up ファイル）の実行中に、VIP の処理で異常が発生しました。

一部またはすべてのクライアントから、VIP による業務通信が使用できないおそれがあります。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○ :

異常の原因を取り除いてから、LAN の状態設定ファイル（サーバ識別名.up ファイル）を再実行してください。

AWS CLI の実行に失敗している場合は、マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタ パブリッククラウド編』の「【AWS】AWS の設定」を参照して設定を見直し、誤りを修正してください。

KAMN775-I

[日本語]

ホスト : aa....aa のネットワークを遮断します。

[英語]

The host:aa....aa will now be disconnected from the network.

ホスト名で示すホストの障害を検知したため、ホストのネットワークを遮断します。

aa....aa : ホスト名

S :

ホストのネットワークを遮断して、処理を続行します。

KAMN776-E (E+L)

[日本語]

ホスト : *aa....aa* のネットワークを遮断できません。

[英語]

The host:*aa....aa* could not be disconnected from the network.

ホスト名で示すホストの障害を検知しましたが、ネットワークを遮断できませんでした。

aa....aa : ホスト名

S :

系切り替え処理を中止します。

O :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

AWS 上で AWS CLI が実行できなかったおそれがあります。マニュアル『高信頼化システム監視機能 HA モニタ パブリッククラウド編』の「【AWS】AWS の設定」を参照して設定を見直し、誤りを修正してください。

なお、原因が不明な場合は、*/opt/hitachi/Hamon/spool/cloud/moncldfencenw_ネットワーク遮断対象インスタンスID.log* を参照して、ネットワーク遮断ができない原因を調査してください。

KAMN777-I

[日本語]

ホスト : *aa....aa* の HA モニタからネットワーク遮断の要求を受けました。

[英語]

A network disconnection request was received from the HA Monitor of the host:*aa....aa*.

ホスト名で示すホストの HA モニタから、ネットワーク遮断の要求を受けました。このメッセージは、ペアダウン機能使用時、またはサーバが接続しているデバイスの切り離しができない場合に出力されます。

aa....aa : ホスト名

S :

処理を続行します。

KAMN778-D (S+L)

[日本語]

サーバ : *aa....aa* はネットワーク遮断ができないため系切り替え待ち状態にします。

[英語]

The server *aa....aa* cannot disconnect from the network. As a result, the server is in the Hotstandby wait state.

サーバ識別名で示す実行サーバは、ネットワーク遮断ができないため系切り替え待ち状態にします。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○ :

他系で実行サーバが稼働していないことを確認したあと、系切り替え待ち状態の実行サーバを `monact` コマンドで実行サーバとして起動させるか、`mondeact` コマンドで停止させてください。

KAMN779-E (E+L)

[日本語]

ホスト : *aa....aa* の強制停止ができません。

[英語]

Host: *aa....aa*, forced stop is failed.

ホスト名で示すホストの障害を検知して、強制停止を実行しましたが失敗しました。

aa....aa : ホスト名

S :

処理を続行します。

○ :

システム管理者に連絡してください。

対策 :

AWS 環境下の場合

他 WS 上で AWS CLI が実行できなかったおそれがあります。エンドポイントまでの通信が可能か調査してください。なお、強制停止ができない原因が不明な場合は、`/opt/hitachi/Hamon/spool/cloud/moncld_fstop_強制停止対象インスタンスID.log` を参照して、原因を調査してください。

2.9 KAMN900～KAMN999

KAMN901-E (E+L)

[日本語]

回線切り替え処理の *aa....aa* システムコールでエラーが発生しました。デバイス：*bb....bb* 詳細コード：*cc....cc*

[英語]

The system call(*aa....aa*) error occurred in line switch execution. Device name:*bb....bb* Error details:*cc....cc*

HA モニタの関数内で発行したシステムコールで、エラーが発生しました。詳細コードについては、対応する OS のマニュアルを参照してください。

aa....aa：発行したシステムコール

bb....bb：デバイス名称

cc....cc：詳細コード（1～2 行）

S：

処理を続行します。

○：

システム管理者に連絡してください。

対策：

詳細コードを基に原因を調査してください。

KAMN902-E

[日本語]

回線切替装置の制御モードが PNL モードになっています。RC モードに切り替えてください。デバイス：*aa....aa*

[英語]

The control mode of the line switching device is the PNL mode. Change the mode into the RC mode. Device name:*aa....aa*

回線切替装置の制御モードが PNL モードになっています。

aa....aa：デバイス名称

S :

処理を続行します。

○ :

回線切替装置の制御パネルの制御モードを確認して、RC モードに切り替えてください。

KAMN903-E

[日本語]

回線切替装置の電源障害、ラインアダプタの誤搭載のため回線切り替えができません。デバイス :
aa....aa

[英語]

Unable to switch line due to the power obstacle of the line switching device or incorrect mount of the line adapter. Device name:aa....aa

回線切替装置の電源障害、またはラインアダプタの誤搭載によって、回線を切り替えられません。

aa....aa : デバイス名称

S :

処理を続行します。

○ :

回線切替装置を確認してください。

KAMN904-E (E+L)

[日本語]

回線切り替え装置のRCポートとして指定されたデバイス aa....aa がありません。

[英語]

There is not a device(aa....aa) specified as RC port of the line switching device.

デバイス名称で示すデバイスファイルがありません。

aa....aa : デバイス名称

S :

処理を続行します。

○：

サーバ対応の環境設定の `port` オペランドまたは `hls` オペランドを修正するか、またはデバイスファイルを作成してください。

KAMN905-E

[日本語]

回線切替装置の RC ポートとして指定されたデバイス `aa....aa` が回線切替装置と接続されていません。

[英語]

Device(`aa....aa`) that specified as RC port is not connected with the line switching device.

デバイス名称で示すデバイスファイルに、対応するアダプタが入っていません。

`aa....aa` : デバイス名称

S：

処理を続行します。

○：

サーバ対応の環境設定の `port` オペランドを確認し、修正してください。または、デバイス名称で示すデバイスファイルに対応するスロットに、アダプタが搭載されているかどうかを確認し、正しく搭載してください。

KAMN906-E

[日本語]

回線切替装置の RC ポートとして、デバイス `aa....aa` が複数指定されています。

[英語]

As RC port of the line switching device, same device name(`aa....aa`) specified multiply.

同じデバイスが複数指定されています。

`aa....aa` : デバイス名称

S：

1 回だけ対象デバイスを処理します。

○：

サーバ対応の環境設定の `port` オペランドに同じデバイスが指定されていないかどうかを確認し、指定し直してください。

KAMN909-E (E+L)

[日本語]

回線切替装置からの応答がありません。

[英語]

There is no response from line switching device.

回線切替装置からコマンドへの応答がありません。

S :

処理を続行します。

○ :

サーバ対応の環境設定で設定した `hls` オペランドの指定値と、回線切替装置の設定が合っているかどうかを確認してください。

KAMN910-E (E+L)

[日本語]

回線切替装置が要求を受け付けませんでした。

詳細コード : `aa....aa`

[英語]

The line switching device did not receive a command.

Details : `aa....aa`

要求に対して回線切替装置がエラーを返しました。

`aa....aa` : 回線切替装置からのエラーコード

S :

処理を続行します。

○ :

エラーコードを基に回線切替装置の障害原因を調査してください。

KAMN920-I (S)

[日本語]

ダンプデバイスの監視を開始しました。

1次ダンプデバイス : aa....aa

2次ダンプデバイス : bb....bb

[英語]

Monitoring dump device started.

primary dump device : aa....aa

secondary dump device: bb....bb

HA モニタの監視対象とするダンプデバイスが設定されました。

aa....aa : 1次ダンプデバイス

bb....bb : 2次ダンプデバイス

S :

コマンド処理を続行します。

KAMN921-E (E+L)

[日本語]

コマンド内部でエラーが発生しました。

詳細コード : aa....aa

[英語]

An internal error occurred.

Details : aa....aa

内部で予期しないエラーが発生しました。

aa....aa : エラーの種類と発生個所を示すコード

コード	意味
2xxxx	HA モニタが起動していない。

S :

コマンド処理を中止します。

対策 :

出力されたコードを基に、エラーの原因を取り除いてください。

KAMN922-E (E)

[日本語]

1次及び2次ダンプデバイスに/dev/sysdumpnullが設定されています。

[英語]

/dev/sysdumpnull is set as primary and secondary dump device.

1次および2次ダンプデバイスに/dev/sysdumpnullを設定した状態では、HAモニタはダンプデバイスの監視をしません。

S:

コマンド処理を中止します。

○:

1次または2次どちらかのダンプデバイスに/dev/sysdumpnull以外を設定し、HAモニタを再起動してください。

KAMN931-I (S+L)

[日本語]

サーバは前提サーバ停止待ちです。サーバ:aa....aa 前提サーバ:bb....bb グループ名:cc....cc

[英語]

A server is waiting for a premise server stop. server:aa....aa premise server:bb....bb group name :cc....cc

順序制御が設定されたサーバの停止時に、停止の前提となるサーバが停止していないため、サーバを停止できません。サーバを親サーバ停止待ちとします。

aa....aa:停止待ちとしたサーバのサーバ識別名

bb....bb:停止の前提となるサーバのサーバ識別名

cc....cc:サーバのグループ名

S:

サーバを親サーバ停止待ちとし、親サーバ停止後にサーバの停止処理を再開します。

KAMN932-I (S+L)

[日本語]

サーバは前提サーバ起動待ちです。サーバ:aa....aa 前提サーバ:bb....bb グループ名:cc....cc

[英語]

A server is waiting for premise server starting. server:*aa....aa* premise server:*bb....bb* group name:*cc....cc*

順序制御が設定されたサーバの起動時に、起動の前提となるサーバが起動していないため、サーバを親サーバ起動待ちとします。

aa....aa : 起動待ちとしたサーバのサーバ識別名

bb....bb : 起動の前提となるサーバのサーバ識別名

cc....cc : サーバのグループ名

S :

サーバを親サーバ起動待ちとし、親サーバ起動後にサーバの起動処理を再開します。

KAMN933-E

[日本語]

前提サーバ：*aa....aa* が停止したため、前提サーバ起動待ちサーバをすべて停止します。

[英語]

All of servers which are waiting for start are stopped, because premise server:*aa....aa* stopped abnormally.

親サーバが停止したため、サーバ起動待ち状態のサーバをすべて停止します。

aa....aa : 起動の前提となるサーバのサーバ識別名

S :

処理を続行します。

○ :

親サーバが停止した原因を調査してください。

KAMN934-W

[日本語]

サーバ：*aa....aa* は順序制御に従い起動しようとしたが、前提サーバ：*bb....bb* が順序制御の条件を満たしていません。

[英語]

Server: aa....aa would start according to order control although premise server: bb....bb does not meet the condition of order control.

サーバの親サーバは稼働していないので、親サーバの状態に関係なくサーバの起動処理を続行します。

aa....aa : サーバのサーバ識別名

bb....bb : 起動の前提となるサーバのサーバ識別名

S :

処理を続行します。

○ :

必要であれば親サーバを起動してください。

KAMN936-I (S)

[日本語]

リソースサーバが起動していないため、サーバはリソースサーバ起動待ちです。サーバ:aa....aa リソースサーバ:bb....bb グループ名:cc....cc

[英語]

resource server has not started. server is made the waiting for start. server:aa....aa premise server:bb....bb group name:cc....cc

サーバの起動時に、リソースサーバが起動していないため、サーバはリソースサーバの起動を待ちます。

aa....aa : 起動待ちとしたサーバのサーバ識別名

bb....bb : リソースサーバのサーバ識別名

cc....cc : サーバのグループ名

S :

サーバをリソースサーバ起動待ちとし、リソースサーバ起動後にサーバの起動処理を再開します。

KAMN937-E

[日本語]

グループで使用するリソース処理が失敗したため、サーバの起動を中止します。サーバ:aa....aa グループ名:bb....bb

[英語]

An error occurred in group resource process, server activation is stopped. server:*aa....aa* group name:*bb....bb*

グループで使用するリソース処理が失敗したため、サーバを起動できませんでした。

aa....aa : 起動を中止したサーバのサーバ識別名

bb....bb : サーバのグループ名

S :

サーバ起動処理を中止します。

○ :

異常の原因を取り除き、サーバを再起動してください。

KAMN944-E (E)

[日本語]

サーバ:*aa....aa* は、グループ化されていません。

[英語]

server: *aa....aa* is not grouped.

コマンドのオプションに指定されたサーバが、グループ化されていません。

aa....aa : サーバ識別名

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

実行したコマンドは、グループ化されていないサーバに対しては使用できません。コマンドの実行形式、またはサーバ識別名に誤りがないかを確認して、コマンドを再実行してください。

KAMN950-I (S)

[日本語]

Order Information

group name: *aa....aa*

alias: *bb....bb* parent: *cc....cc*

[英語]

Order Information

```
group name: aa....aa  
alias: bb....bb parent: cc....cc
```

サーバ順序制御状態表示コマンド（monodrshw コマンド）で表示される情報です。

aa....aa : グループ名

bb....bb : サーバ識別名

cc....cc : サーバの親サーバ

サーバ識別名 : 親サーバの指定がある場合に表示されます。

none : 親サーバの指定がない場合に表示されます。

S :

処理を続行します。

KAMN952-I (S)

[日本語]

使用方法 : monodrshw -s サーバ識別名

monodrshw -g グループ名

[英語]

Usage: monodrshw -s alias

monodrshw -g group

サーバ順序制御状態表示コマンド（monodrshw コマンド）の実行形式が誤っているとき、メッセージ KAMN021-E、または KAMN327-E に続いて出力されます。

S :

コマンド処理を中止します。

KAMN953-E (E)

[日本語]

サーバ : *aa....aa* はリソースサーバです。monbegin コマンドでは起動できません。

[英語]

server:*aa....aa* is a resource server. It cannot start in monbegin.

サーバ識別名で示すサーバは、リソースサーバであるため、コマンドが実行できません。

aa....aa : サーバ識別名

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

リソースサーバ起動コマンド (`monresbgn` コマンド) で起動してください。

KAMN954-E (E)

[日本語]

サーバ：*aa....aa* はリソースサーバではありません。`monresbgn` コマンドでは起動できません。

[英語]

server:*aa....aa* is not a resource server. It cannot start in `monresbgn`.

サーバ識別名で示すサーバは、リソースサーバでないため、コマンドが実行できません。

aa....aa : サーバ識別名

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

モニタモードのサーバ起動コマンド (`monbegin` コマンド) で起動してください。

KAMN955-E (E)

[日本語]

サーバ：*aa....aa* はリソースサーバです。`monend` コマンドでは停止できません。

[英語]

server:*aa....aa* is a resource server. It cannot stop in `monend`.

サーバ識別名で示すサーバは、リソースサーバであるため、コマンドが実行できません。

aa....aa : サーバ識別名

S :

コマンド処理を中止します。

○：

実行中のリソースサーバ停止コマンド (`monresend` コマンド) で停止してください。

KAMN956-E (E)

[日本語]

サーバ：`aa....aa` はリソースサーバではありません。`monresend` コマンドでは停止できません。

[英語]

`server:aa....aa` is not a resource server. It cannot stop in `monresend`.

サーバ識別名で示すサーバは、リソースサーバでないため、コマンドが実行できません。

aa....aa : サーバ識別名

S：

コマンド処理を中止します。

○：

モニタモードのサーバ停止コマンド (`monend` コマンド) で停止してください。

KAMN957-E (E)

[日本語]

サーバ：`aa....aa` はリソースサーバです。`monsbystp` コマンドでは停止できません。

[英語]

`server:aa....aa` is a resource server. It cannot stop in `monsbystp`.

サーバ識別名で示すサーバは、リソースサーバであるため、コマンドが実行できません。

aa....aa : サーバ識別名

S：

コマンド処理を中止します。

○：

待機中のリソースサーバ停止コマンド (`monressbystp` コマンド) で停止してください。

KAMN958-E (E)

[日本語]

サーバ : *aa....aa* はリソースサーバではありません。monressbystp コマンドでは停止できません。

[英語]

server:*aa....aa* is not a resource server. It cannot stop in monressbystp.

サーバ識別名で示すサーバは、リソースサーバでないため、コマンドが実行できません。

aa....aa : サーバ識別名

S :

コマンド処理を中止します。

○ :

待機サーバ停止コマンド (monsbystp コマンド) で停止してください。

KAMN959-E (E)

[日本語]

サーバ : *aa....aa* のグループ : *bb....bb* では既にリソースサーバが定義されています。

[英語]

The resource server is already defined by the group:*bb....bb* of server:*aa....aa*.

サーバ識別名で示すリソースサーバを含むグループではすでにリソースサーバが定義されています。

aa....aa : サーバ識別名

bb....bb : サーバのグループ名

S :

処理を中止します。

○ :

サーバ対応の環境設定を見直し、誤りを修正してください。

KAMN961-E (E)

[日本語]

サーバ : *aa....aa* の順序制御関係に異常があります。

[英語]

Order control relation of server:*aa....aa* is incorrect.

サーバ識別名で示すサーバを含む順序制御関係に異常があります。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を中止します。

○ :

サーバ対応の環境設定を見直し、誤りを修正してください。

KAMN963-E (E)

[日本語]

リソースを使用するサーバが稼働中のため、サーバ：*aa....aa* を停止できません。

[英語]

Since a server while using a resource is, server:*aa....aa* cannot be stopped.

リソースを使用するサーバが稼働中のため、サーバ識別名で示すサーバの停止を中止します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を中止します。

○ :

リソースを使用するサーバを停止してから、サーバ識別名で示すサーバを停止してください。

KAMN964-E

[日本語]

プログラム：*aa....aa* の *bb....bb* オペランドに指定されているコマンド：*cc....cc* がないか、実行権限がありません。

[英語]

The command:*cc....cc* specified as the *bb....bb* operand of program:*aa....aa* does not exist or execution of this command is not permitted.

プログラム識別名で示すプログラムの、オペランド名で示すオペランドに指定したコマンドがないか、実行権限がありません。または、ディレクトリを指定しています。

aa....aa : プログラム識別名

bb....bb : オペランド名

cc....cc : コマンドのパス名

S :

処理を終了します。

○ :

次の項目を確認し、サーバを再起動してください。

- コマンド名で示すコマンドが作成されているかどうか。
- 実行権限があるかどうか。
- コマンドのパス名にディレクトリを指定していないか。

KAMN965-E (E)

[日本語]

サーバ:*aa....aa* はプログラム管理機能を使用しますが、サーバ:*aa....aa* を `server_alias` オペランドに指定している `program` 定義文が存在しません。

[英語]

The program defining statement to specify the server:*aa....aa* for `server_alias` operand doesn't exist though the server:*aa....aa* uses the function of `program`.

サーバ識別名で示すサーバは、サーバ対応の環境設定の `program` オペランドで `use` が指定されています。しかし、サーバ識別名で示すサーバをモニタモードのプログラム対応の環境設定の `server_alias` オペランドに指定している、`program` 定義文が存在しません。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を終了します。

○ :

サーバ対応の環境設定とモニタモードのプログラム対応の環境設定を見直し、誤りを修正してください。

KAMN966-I

[日本語]

プログラム : aa....aa の server_alias オペランドに指定されたサーバ : bb....bb が server 定義文に定義されていないか、モニタモードのプログラム管理機能を使用する設定になっていません。

[英語]

For program:aa....aa, the server:bb....bb specified in the program operand is not defined in the server definition sentence or cannot use the function of program.

プログラム識別名で示すプログラムを管理するサーバの設定が、次のどれかになっています。

- サーバ対応の環境設定の server 定義文に定義されていない。
- サーバ対応の環境設定の acttype オペランドに monitor が指定されていない。
- サーバ対応の環境設定の program オペランドが指定されていない。

aa....aa : プログラム識別名

bb....bb : サーバ識別名

S :

処理を続行します。

○ :

サーバ対応の環境設定の program オペランドとモニタモードのプログラム対応の環境設定の server_alias オペランドの内容に、誤りがないかを確認してください。

KAMN967-E (E)

[日本語]

サーバ : aa....aa が管理するプログラムの数が pgmmax オペランドの値を超えてます。

[英語]

The number of program belong the server:aa....aa has exceeded the number of the pgmmax operand.

サーバ識別名で示すサーバが管理するプログラムの数が、HA モニタの環境設定の pgmmax オペランドの値を超えているため、処理を中止します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を終了します。

○ :

pgmmax オペランドとモニタモードのプログラム対応の環境設定の内容に、誤りがないかを確認してください。

KAMN968-I (S)

[日本語]

定義ファイル : servers に定義された各サーバが管理するプログラムの合計が、 pgmmax オペランドの値を超えています。

[英語]

The total number of program belong each servers in definition file:servers has exceeded the number of the pgmmax operand.

サーバ対応の環境設定で定義された各サーバが管理するプログラムの合計が、 HA モニタの環境設定の pgmmax オペランドの値を超えています。

S :

処理を続行します。

○ :

次の処置を実施して、 HA モニタまたはサーバを再起動してください。

- サーバが管理するプログラムの数が pgmmax オペランドの指定値を超えないように、 HA モニタの環境設定の pgmmax オペランドの定義を見直す。
- モニタモードのプログラム対応の環境設定を修正する。

KAMN969-E (E)

[日本語]

定義ファイル : programs サーバ : aa....aa の定義が間違っています。コマンド処理を中止します。

[英語]

Definition file:programs, The method of a definition of the server:aa....aa is incorrect.
Command processing is stopped.

モニタモードのプログラム対応の環境設定の解析処理で、 エラーが発生しました。 HA モニタのコマンドで指定されたサーバ識別名のサーバに対する処理を中止します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を終了します。

○ :

モニタモードのプログラム対応の環境設定を修正し、 サーバを再起動してください。

KAMN970-E

[日本語]

サーバ : *aa....aa* のサーバ優先度が他系と重複しています。サーバの起動を中止します。

[英語]

Since a server:*aa....aa* starting priority overlaps other systems, therefore starting of server is stopped.

サーバの切り替え優先度が他系と重複しています。サーバ識別名で示すサーバの起動を中止します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を終了します。

○ :

サーバ対応の環境設定を修正し、サーバを再起動してください。

KAMN971-E

[日本語]

サーバ : *aa....aa* の実行サーバが他の複数の系で稼働しています。サーバの起動を中止します。

[英語]

Server:*aa....aa* online server is executed by two or more of other systems, therefore starting of server is stopped.

サーバ起動時に複数の系で実行サーバの稼働を確認しました。サーバ識別名で示すサーバの起動を中止します。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を終了します。

○ :

他系の実行サーバを停止させ、システム管理者に連絡してください。

対策 :

実行サーバで使用していたリソースの状態を調査し、リソースに問題がないことを確認してから、サーバを再起動してください。

KAMN972-D (S+L)

[日本語]

サーバ : aa....aa 起動時に未接続のホストがありました。待機サーバ起動待ち状態にしました。

[英語]

Server:aa....aa non-connected host exists. it was made a start wait state.

サーバ起動時に接続が確認できないホストがありました。サーバ識別名で示すサーバを待機サーバ起動待ち状態にしました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を終了します。

○ :

HA モニタの各系間の接続を確認してください。各系間の接続は、サーバ・系の状態表示コマンド (`monshow` コマンド) または監視パス状態表示コマンド (`monpath` コマンド) で確認できます。

他系の状態を必ず確認し、他系で実行サーバが稼働していない場合※は、待ち状態のサーバ起動コマンド (`monact` コマンド) を実行し、サーバを実行サーバにできます。他系で実行サーバが稼働している場合は、待ち状態のサーバ停止コマンド (`mondeact` コマンド) で実行サーバを停止してください。

注※ 確認しないで待ち状態のサーバ起動コマンド (`monact` コマンド) を実行すると、他系で実行サーバが稼働していた場合に二つの実行サーバが稼働するため、共有リソースが破壊されるおそれがあります。

KAMN973-D (S+L)

[日本語]

サーバ : aa....aa を起動しようとしたが、リセットに失敗したホストがありました。他系の状態が確認できいため、待機サーバ起動待ち状態にしました。

[英語]

Server:aa....aa The host who failed in reset exists. server state is not able to be check. it was made a start wait state.

サーバ起動時に実行サーバ起動待ちのホストがありました。サーバ識別名で示すサーバを待機サーバ起動待ち状態にしました。

aa....aa : サーバ識別名

S :

処理を終了します。

○：

各系の状態を確認し、他系で実行サーバが稼働していないことを必ず確認したあと※、起動待ち状態のサーバを待ち状態のサーバ起動コマンド（`monact` コマンド）で実行サーバとして起動させるか、待ち状態のサーバ停止コマンド（`mondeact` コマンド）で停止させてください。

注※ 確認しないで待ち状態のサーバ起動コマンド（`monact` コマンド）を実行すると、他系で実行サーバが稼働していた場合に二つの実行サーバが稼働するため、共有リソースが破壊されるおそれがあります。

KAMN974-E (E)

[日本語]

サーバ：`aa....aa` は他系で実行サーバとして起動しています。`bb....bb` コマンドは実行できません。

[英語]

Online server : `aa....aa` is started in other systems. Command(`bb....bb`) cannot be executed.

他系で実行サーバが稼働している場合は、待ち状態のサーバ起動コマンド（`monact` コマンド）を実行できません。

`aa....aa`：サーバ識別名

`bb....bb`：コマンド名

S：

コマンド処理を中止します。

○：

各系のサーバ状態を確認してください。

KAMN975-D

[日本語]

サーバ：`aa....aa` はシステムリセットができないため停止させます。

[英語]

Server : `aa....aa` is made to stop normally, because system reset is failed.

サーバ識別名で示す待機サーバは、システムリセットができないため停止させます。

`aa....aa`：サーバ識別名

S :

処理を終了します。

○ :

障害が発生したホストの状態を確認してください。障害が発生したホストで待機サーバが停止している場合は、必要に応じて待機サーバを起動できます。必要に応じて待機サーバを再起動してください。

KAMN976-W (E)

[日本語]

HA モニタの自動停止の設定がされていません。

[英語]

HA monitor auto stop is not set.

/etc/rc.shutdown ファイルに HA モニタを停止するための設定がありません。

S :

処理を続行します。

○ :

/etc/rc.shutdown ファイルの内容を確認してください。

KAMN977-W (HP-UX(IPF), および Linux(IPF))

[日本語]

ホスト : aa....aa の HA モニタと設定が異なっています。詳細情報 : bb....bb

[英語]

The definition of host:aa....aa is different. Detailed information:bb....bb

自系の HA モニタの設定と、ホスト名で示すホストの HA モニタの設定に差異があります。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : 詳細情報

PATROL : 系障害監視時間が異なります。

S :

処理を続行します。

○：

詳細情報別に、次の処置をしてください。

詳細情報	処置
PATROL	定義ファイルを見直し、必要に応じて定義を修正したあと、HA モニタを再起動してください。 または、monchange コマンドを実行して、系間の系障害監視時間を一致させてください。

KAMN977-W(Linux(x86))

[日本語]

ホスト：*aa....aa* の HA モニタと設定が異なっています。 詳細情報：*bb....bb*

[英語]

The definition of host:*aa....aa* is different. Detailed information:*bb....bb*

自系の HA モニタの設定と、ホスト名で示すホストの HA モニタの設定に差異があります。

aa....aa：ホスト名

bb....bb： 詳細情報

PATROL：系障害監視時間が異なります。

MULTICAST：マルチキャストに関する設定が異なります。

PATROL_TYPE：系の監視タイミングに関する設定が異なります。

FENCE_TYPE：共有リソースのデータ保護方法に関する設定が異なります。

LANPORT_AGENT：HA モニタエージェントを使用した構成の HA モニタで、エージェントヘルスチェックに使用する TCP/IP LAN のサービス名の設定が異なっています。

S：

処理を続行します。

○：

詳細情報別に、次の処置をしてください。

詳細情報	処置
PATROL	定義ファイルを見直し、必要に応じて定義を修正したあと、HA モニタを再起動してください。 または、monchange コマンドを実行して、系間の系障害監視時間を一致させてください。
MULTICAST	HA モニタの環境設定の hostmax オペランド、alive_multicast オペランド、および multicast_lan オペランドの指定値を系間で一致させたあと、HA モニタを再起動してください。

詳細情報	処置
PATROL_TYPE	HA モニタの環境設定の <code>patrol_type</code> オペランドの指定値を系間で一致させたあと、 HA モニタを再起動してください。
FENCE_TYPE	HA モニタの環境設定の <code>fence_reset</code> オペランド、 <code>fence_scsi</code> オペランド、 <code>fence_lan</code> オペランド、 および <code>fence_network</code> オペランドの指定値を系間で一致させたあと、 HA モニタを再起動してください。
LANPORT_AGENT	HA モニタエージェントを使用した構成の HA モニタで、 HA モニタの環境設定の <code>lanport_agent</code> オペランドに指定した TCP/IP LAN のサービス名を系間で一致させて、 HA モニタを再起動してください。

KAMN977-W (AIX)

[日本語]

ホスト : *aa....aa* の HA モニタと設定が異なっています。 詳細情報 : *bb....bb*

[英語]

The definition of host:*aa....aa* is different. Detailed information:*bb....bb*

自系の HA モニタの設定と、 ホスト名で示すホストの HA モニタの設定に差異があります。

aa....aa : ホスト名

bb....bb : 詳細情報

PATROL : 系障害監視時間が異なります。

RESETPATH : リセットパス・交代用リセットパスに指定した系切替機構が異なります。

FENCE_TYPE : 共有リソースのデータ保護方法に関する設定が異なります。

S :

処理を続行します。

○ :

詳細情報別に、 次の処置をしてください。

詳細情報	処置
PATROL	定義ファイルを見直し、 必要に応じて定義を修正したあと、 HA モニタを再起動してください。 または、 <code>monchange</code> コマンドを実行して、 系間の系障害監視時間を一致させてください。
RESETPATH	リセットパス・交代用リセットパスを一致させて、 HA モニタを再起動してください。
FENCE_TYPE	HA モニタの環境設定の <code>fence_scsi</code> オペランドの定義を系間で一致させて HA モニタを再起動してください。

KAMN978-I (S) (AIX, HP-UX(IPF), および Linux(IPF))

[日本語]

使用方法 : monchange -m オペランド名 指定値

```
monchange -m オペランド名 {-stop_patrol | -start_patrol}
```

```
monchange -s サーバ識別名 オペランド名 指定値
```

```
monchange -s サーバ識別名 オペランド名 {-stop_patrol | -start_patrol}
```

```
monchange -p プログラム識別名 オペランド名 指定値
```

[英語]

Usage:monchange -m operand value

```
monchange -m operand {-stop_patrol | -start_patrol}
```

```
monchange -s alias operand value
```

```
monchange -s alias operand {-stop_patrol | -start_patrol}
```

```
monchange -p program alias operand value
```

monchange コマンドの実行形式が誤っているとき、メッセージ KAMN021-E、または KAMN392-E に続いて出力されます。

S :

処理を続行します。

KAMN978-I (S) (Linux(x86))

[日本語]

使用方法 : monchange -m オペランド名 指定値

```
monchange -m オペランド名 {-stop_patrol | -start_patrol}
```

```
monchange -m オペランド名 {-use | -nouse}
```

```
monchange -s サーバ識別名 オペランド名 指定値
```

```
monchange -s サーバ識別名 オペランド名 {-stop_patrol | -start_patrol}
```

```
monchange -p プログラム識別名 オペランド名 指定値
```

[英語]

Usage:monchange -m operand value

```
monchange -m operand {-stop_patrol | -start_patrol}
```

```
monchange -m operand {-use | -nouse}
```

```
monchange -s alias operand value
```

```
monchange -s alias operand {-stop_patrol | -start_patrol}
```

```
monchange -p program alias operand value
```

monchange コマンドの実行形式が誤っているとき、メッセージ KAMN021-E、または KAMN392-E に続いて出力されます。

S :

処理を続行します。

KAMN979-I (S+L)

[日本語]

MP が回復しました。相手ホスト名称 : aa....aa

[英語]

MP has recovered. Other host:aa....aa

ホスト名称に示すホストの MP が回復しました。

aa....aa : ホスト名

S :

処理を続行します。

KAMN980-W

[日本語]

HAMON_UAPNAME:aa....aa An error occurred in the bb....bb system call. Error details:cc....cc dd....dd

[英語]

HAMON_UAPNAME:aa....aa An error occurred in the bb....bb system call. Error details:cc....cc dd....dd

API の処理内で発行したシステムコールでエラーが発生しました。詳細コードおよび詳細メッセージについては、対応する OS のマニュアルを参照してください。

aa....aa : プログラム名 (HAMON_UAPNAME 環境変数の指定値。指定値が 32 文字を超える場合、最後の 32 文字だけ表示)

bb....bb : 発行したシステムコール

cc....cc : 詳細コード (システムコールの errno, 1~3 行。0 の場合は詳細メッセージを表示)

dd....dd : 詳細メッセージ

S:

処理を続行します。

○:

表示されたシステムコール別に、次の処置をしてください。

システムコール	処置
dlopen	UAP を停止して、詳細メッセージに表示されたエラーの要因を取り除いてください。HA モニタがインストールされていない、またはインストールされている HA モニタが UAP の監視ができないバージョンの場合は、対応するバージョンの HA モニタをインストールし、設定してください。
connect	UAP を停止して、詳細コードに表示されたエラーの要因を取り除いてください。 詳細コードが 2 の場合、HA モニタが稼働していない、または HA モニタが UAP の監視ができないバージョンです。必要に応じて UAP を再起動してください。
write	UAP を停止して、詳細コードに表示されたエラーの要因を取り除いてください。 詳細コードが 2 の場合、HA モニタが稼働していません。必要に応じて UAP を再起動してください。
read	UAP を停止して、詳細コードに表示されたエラーの要因を取り除いてください。 詳細コードが 2 の場合、HA モニタが稼働していません。必要に応じて UAP を再起動してください。
その他	UAP を停止して、詳細コードに表示されたエラーの要因を取り除いてください。必要に応じて UAP を再起動してください。

KAMN981-E

[日本語]

While processing API an error occurred. Cause: aa....aa Details: bb....bb

[英語]

While processing API an error occurred. Cause: aa....aa Details: bb....bb

API の処理で異常が発生しました。

aa....aa : 原因コード

原因コード	意味
1	次のどれかです。詳細情報に"NO UAP name"を出力します。 <ul style="list-style-type: none">HAMON_UAPNAME 環境変数が設定されていない。HAMON_UAPNAME 環境変数の指定値が空。HAMON_UAPNAME 環境変数の指定値が 1,001 文字以上。

bb....bb : 詳細情報

S:

HA モニタは監視を行いません。

対策:

次の処置をしてください。

原因コード	処置
1	モニタモードのプログラム対応の環境設定の name オペランドに指定したプログラム名を, HAMON_UAPNAME 環境変数に指定してください。

付録

付録 A 各バージョンの変更内容

各バージョンの変更内容を次に示します。

付録 A.1 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-79, AIX 版 HA モニタ 01-35 (3000-9-203-80)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-79, AIX 版 HA モニタ 01-35 に対応する変更内容 (3000-9-203-80) を次の表に示します。

追加・変更内容
次のメッセージを追加した。 KAMN121-W, KAMN122-E, KAMN123-E
次のメッセージを変更した。 KAMN651-E(Linux(x86)およびLinux(IPF))
適用 OS に Oracle Linux 9(x86_64)を追加した。

付録 A.2 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-78, AIX 版 HA モニタ 01-34 (3000-9-203-70)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-78, AIX 版 HA モニタ 01-34 に対応する変更内容 (3000-9-203-70) を次の表に示します。

追加・変更内容
適用 OS に RHEL9, および AIX 7.3 を追加した。

付録 A.3 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-77, AIX 版 HA モニタ 01-33 (3000-9-203-60)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-77 に対応する変更内容 (3000-9-203-60) を次の表に示します。

追加・変更内容
次のメッセージを追加した。 KAMN277-E, KAMN278-I, KAMN282-E
次のメッセージを変更した。 KAMN347-E(Linux(x86)), KAMN494-E, KAMN516-E, KAMN766-E, KAMN768-E, KAMN774-W(Linux(x86)), KAMN776-E

付録 A.4 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-76, Linux (x86) 版 HA モニタ 01-75 (3000-9-203-50)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-76 に対応する変更内容 (3000-9-203-50) を次の表に示します。

追加・変更内容
次のメッセージを変更した。 KAMN113-E(Linux(x86)), KAMN624-E(Linux(x86)), KAMN725-W(Linux(x86)), KAMN726-E(Linux(x86)), KAMN727-I(Linux(x86))

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-75 に対応する変更内容 (3000-9-203-50) を次の表に示します。

追加・変更内容
次のメッセージを追加した。 KAMN775-I, KAMN776-E, KAMN777-I, KAMN778-D, KAMN779-E
次のメッセージを変更した。 KAMN516-E, KAMN766-E, KAMN767-W, KAMN977-W(Linux(x86))

付録 A.5 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-74 (3000-9-203-40)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-74 に対応する変更内容 (3000-9-203-40) を次の表に示します。

追加・変更内容
適用 OS に Oracle Linux 7(x86_64), Oracle Linux 8(x86_64)を追加した。
次のメッセージを変更した。 KAMN347-E(Linux(x86)), KAMN764-E, KAMN765-I, KAMN766-E, KAMN767-W, KAMN768-E

付録 A.6 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-73, AIX 版 HA モニタ 01-32 (3000-9-203-30)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-73 に対応する変更内容 (3000-9-203-30) を次の表に示します。

追加・変更内容
次のメッセージを追加した。 KAMN109-I, KAMN773-E, KAMN774-W
次のメッセージを変更した。 KAMN292-E, KAMN293-E

付録 A.7 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-72, AIX 版 HA モニタ 01-31 (3000-9-203-20)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-72 に対応する変更内容 (3000-9-203-20) を次の表に示します。

追加・変更内容
次のメッセージを追加した。 KAMN543-I, KAMN544-I, KAMN545-I, KAMN546-I, KAMN547-E, KAMN548-E, KAMN549-W, KAMN550-I
次のメッセージを変更した。 KAMN325-I, KAMN978-I

付録 A.8 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-71, AIX 版 HA モニタ 01-30 (3000-9-203-10)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-71 に対応する変更内容 (3000-9-203-10) を次の表に示します。

追加・変更内容
次のメッセージを追加した。 KAMN213-I (AIX), KAMN325-I (AIX)
次のメッセージを変更した。 KAMN764-E, KAMN765-I, KAMN766-E, KAMN767-W, KAMN768-E, KAMN769-W, KAMN770-I

AIX 版 HA モニタ 01-30 に対応する変更内容 (3000-9-203-10) を次の表に示します。

追加・変更内容
一部メッセージの適用 OS 拡大によって、「表 1-1 メッセージ ID と適用 OS の対応」の内容を変更した。

付録 A.9 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-70, AIX 版 HA モニタ 01-29 (3000-9-203)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-70 に対応する変更内容 (3000-9-203) を次の表に示します。

追加・変更内容
次のメッセージを追加した。 KAMN347-E (Linux (x86)), KAMN764-E, KAMN765-I, KAMN766-E, KAMN767-W, KAMN768-E, KAMN769-W, KAMN770-I, KAMN771-E, KAMN772-W
次のメッセージを変更した。 KAMN624-E (Linux (x86))

追加・変更内容

Linux (x86) 上で動作する HA モニタで AWS をサポートすることに伴い、関連マニュアルの体系図にパブリッククラウド編を追加した。

AIX 版 HA モニタ 01-29 に対応する変更内容（3000-9-203）を次の表に示します。

追加・変更内容

次のメッセージを変更した。

KAMN113-E (AIX)

付録 A.10 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-69 (3000-9-134-Y0)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-69 に対応する変更内容（3000-9-134-Y0）を次の表に示します。

追加・変更内容

次のメッセージを追加した。

KAMN213-I (Linux (x86)), KAMN325-I (Linux (x86)), KAMN521-W, KAMN531-I, KAMN532-E, KAMN533-W, KAMN534-E, KAMN535-E, KAMN536-E, KAMN537-I, KAMN538-I, KAMN539-E, KAMN540-W, KAMN541-I, KAMN542-I

次のメッセージを変更した。

KAMN113-E (Linux (x86)), KAMN512-E, KAMN516-E, KAMN978-I

付録 A.11 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-68 (3000-9-134-X0)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-68 に対応する変更内容（3000-9-134-X0）を次の表に示します。

追加・変更内容

次のメッセージを追加した。

KAMN655-W, KAMN656-I

次のメッセージを変更した。

KAMN478-E (Linux (x86)), KAMN624-E (Linux (x86))

付録 A.12 AIX 版 HA モニタ 01-28 の変更内容 (3000-9-134-W0)

AIX 版 HA モニタ 01-28 に対応する変更内容（3000-9-134-W0）を次の表に示します。

追加・変更内容

次のメッセージの適用 OS に AIX を追加した。

KAMN066-E, KAMN107-I, KAMN108-I, KAMN647-I～KAMN649-E, KAMN723-E～KAMN729-W

追加・変更内容

次のメッセージを追加した。

KAMN725-W (AIX), KAMN726-E (AIX), KAMN727-I (AIX), KAMN728-W (AIX), KAMN977-W (AIX)

次のメッセージを変更した。

KAMN113-E (AIX)

付録 A.13 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-67 の変更内容 (3000-9-134-V0)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-67 に対応する変更内容 (3000-9-134-V0) を次の表に示します。

追加・変更内容

次のメッセージを追加した。

KAMN647-I (Linux (x86)), KAMN648-D (Linux (x86)), KAMN649-E (Linux (x86))

次のメッセージを変更した。

KAMN238-D, KAMN242-D, KAMN243-D, KAMN272-E, KAMN275-E, KAMN276-E, KAMN347-E (AIX および Linux (x86)), KAMN364-D, KAMN368-D, KAMN399-E (Linux (x86)), KAMN514-E (Linux (x86)), KAMN601-W, KAMN666-E, KAMN705-W, KAMN728-W, KAMN972-D, KAMN973-D

HA モニタの前提機種として、日立アドバンストサーバ HA8000V シリーズをサポートした。

付録 A.14 AIX 版 HA モニタ 01-27 の変更内容 (3000-9-134-U0)

AIX 版 HA モニタ 01-27 に対応する変更内容 (3000-9-134-U0) を次の表に示します。

追加・変更内容

次のメッセージを追加した。

KAMN292-E (AIX), KAMN293-E (AIX), KAMN514-E (AIX)

次のメッセージを変更した。

KAMN030-E, KAMN034-E

付録 A.15 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-66 の変更内容 (3000-9-134-T0)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-66 に対応する変更内容 (3000-9-134-T0) を次の表に示します。

追加・変更内容

次のメッセージを追加した。

KAMN519-E

次のメッセージを変更した。

KAMN270-W, KAMN273-E, KAMN274-I, KAMN292-E, KAMN293-E, KAMN381-E, KAMN974-E

付録 A.16 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-65, 01-64 の変更内容 (3000-9-134-S0)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-65 に対応する変更内容 (3000-9-134-S0) を次の表に示します。

追加・変更内容

次のメッセージを追加した。

KAMN015-E, KAMN464-I, KAMN497-E, KAMN517-E

次のメッセージを変更した。

KAMN272-E, KAMN275-E, KAMN276-E, KAMN514-E

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-64 に対応する変更内容 (3000-9-134-S0) を次の表に示します。

追加・変更内容

次のメッセージを追加した。

KAMN703-I, KAMN705-W, KAMN706-E, KAMN707-E, KAMN708-I

次のメッセージを変更した。

KAMN214-I

付録 A.17 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-63, AIX 版 HA モニタ 01-25 の 変更内容 (3000-9-134-R0)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-63 に対応する変更内容 (3000-9-134-R0) を次の表に示します。

追加・変更内容

次のメッセージを変更した。

KAMN058-W, KAMN407-I, KAMN624-E (Linux (x86)), KAMN625-W (HP-UX (IPF), Linux (x86), および Linux (IPF)),
KAMN684-E (HP-UX (IPF), Linux (x86), および Linux (IPF))

AIX 版 HA モニタ 01-25 に対応する変更内容 (3000-9-134-R0) を次の表に示します。

追加・変更内容

次のメッセージの適用 OS に AIX を追加した。

KAMN514-E

次のメッセージを変更した。

KAMN058-W, KAMN624-E (AIX), KAMN625-W (AIX)

付録 A.18 AIX 版 HA モニタ 01-24, 01-23 の変更内容 (3000-9-134-Q0)

AIX 版 HA モニタ 01-24 に対応する変更内容 (3000-9-134-Q0) を次の表に示します。

追加・変更内容

次のメッセージの適用 OS に AIX を追加した。

KAMN414-E

次のメッセージを追加した。

KAMN014-E

次のメッセージを変更した。

KAMN624-E

AIX 版 HA モニタ 01-23 に対応する変更内容 (3000-9-134-Q0) を次の表に示します。

追加・変更内容

次のメッセージを追加した。

KAMN646-I (AIX), KAMN646-I (Linux (x86))

付録 A.19 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-61 の変更内容 (3000-9-134-P0)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-61 に対応する変更内容 (3000-9-134-P0) を次の表に示します。

追加・変更内容

次のメッセージを変更した。

KAMN727-I

次のメッセージを追加した。

KAMN758-W

付録 A.20 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-58 の変更内容 (3000-9-134-O0)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-58 に対応する変更内容 (3000-9-134-O0) を次の表に示します。

追加・変更内容
次のメッセージを追加した。 KAMN107-I, KAMN108-I
次のメッセージを変更した。 KAMN407-I, KAMN414-E, KAMN624-E (HP-UX (IPF) および Linux (IPF)), KAMN624-E (Linux (x86)), KAMN725-W, KAMN726-E

付録 A.21 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-57 の変更内容 (3000-9-134-N0)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-57 に対応する変更内容 (3000-9-134-N0) を次の表に示します。

追加・変更内容
次のメッセージを変更した。 KAMN194-W, KAMN206-E, KAMN246-W, KAMN302-W, KAMN324-W, KAMN343-W, KAMN377-E, KAMN423-E, KAMN460-E, KAMN474-E, KAMN475-E, KAMN513-E, KAMN529-I, KAMN530-E, KAMN690-W, KAMN693-W, KAMN694-W, KAMN696-W
次のメッセージを削除した。 KAMN527-W

付録 A.22 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-56 の変更内容 (3000-9-134-M0)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-56 に対応する変更内容 (3000-9-134-M0) を次の表に示します。

追加・変更内容
次のメッセージを追加した。 KAMN066-E, KAMN164-E, KAMN235-I, KAMN528-I, KAMN529-I, KAMN530-E
次のメッセージを変更した。 KAMN153-E, KAMN154-E, KAMN157-E, KAMN158-E, KAMN159-E, KAMN161-E, KAMN162-E, KAMN514-E, KAMN977-W (Linux (x86))

付録 A.23 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-55-01 の変更内容 (3000-9-134-L0)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-55-01 に対応する変更内容 (3000-9-134-L0) を次の表に示します。

追加・変更内容
系切り替え時に、サーバを自動で起動リトライする機能をサポートしたことに伴い、次のメッセージを追加した。 KAMN296-I, KAMN334-I また、次のメッセージを変更した。 KAMN273-E, KAMN276-E, KAMN300-E, KAMN301-E, KAMN305-E, KAMN312-E, KAMN315-E, KAMN514-E
サーバの停止完了時および連動系切り替え完了時にメッセージを出力できるようにしたことに伴い、次のメッセージを追加した。 KAMN298-I, KAMN496-I

付録 A.24 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-55 の変更内容 (3000-9-134-K0)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-55 に対応する変更内容 (3000-9-134-K0) を次の表に示します。

追加・変更内容
系切り替え不可状態の通知処理改善に伴い、Linux (x86) 版の次のメッセージを追加した。これらのメッセージは、一定間隔で出力する警告メッセージである。 KAMN288-W, KAMN447-W, KAMN644-W, KAMN729-W
系切り替え時の FS 切り離し失敗後の処理改善に伴い、Linux (x86) 版の次のメッセージを追加した。このメッセージは、VG 切り離し処理をスキップした際に出力する警告メッセージである。 KAMN291-W
次のメッセージにマルチスタンバイ機能使用時、サーバ識別名の実行サーバが他系で稼働している場合の説明を追加した。 KAMN728-W

付録 A.25 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-54 の変更内容 (3000-9-134-J0)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-54 に対応する変更内容 (3000-9-134-J0) を次の表に示します。

追加・変更内容
メッセージ ID と適用 OS の対応表を一つにまとめた。
メッセージの詳細を 2 章にまとめた。
マルチパスソフトウェアとして HDLM に対応したことに伴い、Linux (x86) 版の次のメッセージの説明を変更した。 KAMN113-E また、次のメッセージの説明を変更した。

追加・変更内容

KAMN725-W, KAMN726-E, KAMN727-I

VMware ESXi での仮想化環境で共有ディスクの SCSI リザーブができるようにしたことに伴い、次のメッセージの説明を変更した。

KAMN165-E

802.3ad モードの hbonding を監視できるようにしたことに伴い、Linux (x86) 版の次のメッセージを追加した。

KAMN516-E

また、次のメッセージの説明を変更した。

KAMN523-E

Linux (x86) 版の次のメッセージの説明を変更した。

KAMN624-E

付録 A.26 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-53 の変更内容 (3000-9-134-I0)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-53 に対応する変更内容 (3000-9-134-I0) を次の表に示します。

追加・変更内容

address オペランドの指定値が重複しているかどうかがわかるようになったことに伴い、Linux (x86) 版の次のメッセージを追加した。

KAMN414-E

付録 A.27 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-52 の変更内容 (3000-9-134-H0)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-52 に対応する変更内容 (3000-9-134-H0) を次の表に示します。

追加・変更内容

他社 PC/AT 互換機に対応し、共有ディスクの SCSI リザーブができるようにしたことに伴い、Linux (x86) 版の次のメッセージを追加した。

KAMN113-E, KAMN666-E, KAMN667-I, KAMN723-E, KAMN724-E, KAMN725-W, KAMN726-E, KAMN727-I, KAMN728-W

また、次のメッセージを変更した。

KAMN237-E, KAMN498-E, KAMN977-W

適用 OS が Linux (IPF) か Linux (x86) かによって、参照先のマニュアルを変更した。

付録 A.28 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-51 の変更内容 (3000-9-134-G0)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-51 に対応する変更内容 (3000-9-134-G0) を次の表に示します。

追加・変更内容
異常発生時の Linux (x86) 版の次のメッセージを追加した。 KAMN013-E
系間接続時から系を監視できるようにしたことに伴い、Linux (x86) 版の次のメッセージを追加した。 KAMN286-I, KAMN287-I また、次のメッセージの説明を変更した。 KAMN977-W
次のメッセージの説明を変更した。 KAMN407-I, KAMN624-E, KAMN684-E

付録 A.29 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-50 の変更内容 (3000-9-134-F0)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-50 に対応する変更内容 (3000-9-134-F0) を次の表に示します。

追加・変更内容
VMware ESXi による仮想化構成への対応に伴い、Linux (x86) 版の次のメッセージを追加した。 KAMN514-E, KAMN750-W, KAMN751-I, KAMN752-E, KAMN755-I, KAMN757-W また、次のメッセージの説明を変更した。 KAMN621-E, KAMN624-E
次のメッセージの説明を変更した。 KAMN005-E
Linux (x86) 版の次のメッセージを変更した。 KAMN119-W

付録 A.30 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-42 の変更内容 (3000-9-134-E0)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-42 に対応する変更内容 (3000-9-134-E0) を次の表に示します。

追加・変更内容
Linux (x86) 版の次のメッセージを追加した。 KAMN119-W

追加・変更内容

次のメッセージの説明に、プログラム管理機能使用時の説明を追加した。

KAMN130-E

適用 OS に Red Hat Enterprise Linux server 6(x86), および Red Hat Enterprise Linux server 6(x86_64)を追加した。

また、これらの OS に対応した HA モニタの形名として、P-812C-E111 を追加した。

付録 A.31 HP-UX (IPF) 版 HA モニタ 01-33, Linux (x86) 版 HA モニタ 01-42 の変更内容 (3000-9-134-D0)

HP-UX (IPF) 版 HA モニタ 01-33, Linux (x86) 版 HA モニタ 01-42 に対応する変更内容 (3000-9-134-D0) を次の表に示します。

追加・変更内容

モニタモードのプログラム管理機能の追加に伴い、Linux (x86) 版の次のメッセージを追加した。

KAMN118-W, KAMN262-E, KAMN263-E, KAMN264-I, KAMN266-I, KAMN267-W, KAMN268-E, KAMN269-E, KAMN283-W, KAMN284-I, KAMN285-E, KAMN292-E, KAMN293-E, KAMN294-I, KAMN295-I, KAMN413-E, KAMN415-W, KAMN964-E, KAMN965-E, KAMN966-I, KAMN967-E, KAMN968-I, KAMN969-E, KAMN980-W, KAMN981-E

また、次のメッセージの説明を変更した。

KAMN105-I, KAMN325-I, KAMN377-E, KAMN978-I

系のリセットを抑止する機能の追加に伴い、次のメッセージの適用 OS に HP-UX (IPF) 版を追加した。

KAMN404-I, KAMN410-I, KAMN411-I

マシンの機種が HA8500 で OA 切り替え時にリセットパスのヘルスチェックおよび系のリセットを継続する機能の追加に伴い、HP-UX (IPF) 版の次のメッセージを追加した。

KAMN979-I

また、HP-UX (IPF) 版の次のメッセージの説明を変更した。

KAMN299-I, KAMN347-E, KAMN398-E, KAMN399-E, KAMN621-E

各バージョンの変更内容を追加した。

付録 A.32 AIX 版 HA モニタ 01-22, Linux (x86) 版 HA モニタ 01-41 の変更内容 (3000-9-134-C0)

AIX 版 HA モニタ 01-22, Linux (x86) 版 HA モニタ 01-41 に対応する変更内容 (3000-9-134-C0) を次の表に示します。

追加・変更内容

系のリセットを抑止する機能の追加に伴い、AIX 版、および Linux (x86) 版の次のメッセージを追加した。

KAMN404-I, KAMN410-I, KAMN411-I

系切り替え時間を短縮する機能の追加に伴い、Linux (x86) 版の次のメッセージを追加した。

追加・変更内容

KAMN478-E, KAMN686-W

また、Linux (x86) 版の次のメッセージの説明を変更した。

KAMN624-E

次のメッセージで出力される原因コード 3 の説明を変更した。

KAMN377-E

次のメッセージに、address オペランドについての説明を追加した。

KAMN625-W

AIX 版の次のメッセージの対処の説明を変更した。

KAMN651-E

付録 A.33 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-40, HA モニタ Extension 01-00 の変更内容 (3000-9-134-B0)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-40, HA モニタ Extension 01-00 に対応する変更内容 (3000-9-134-B0) を次の表に示します。

追加・変更内容

HA モニタ Extension サポートに伴い、Linux (x86) 版の次のメッセージを追加した。

KAMN117-E, KAMN761-E, KAMN762-E, KAMN763-E

Linux (x86) 版の次のメッセージの説明を変更した。

KAMN409-I, KAMN412-E, KAMN977-W

また、用語解説に HA モニタ Extension を追加した。

LAN を監視して障害時に自動的に系切り替えをする機能の追加に伴い、Linux (x86) 版の次のメッセージを追加した。

KAMN115-E, KAMN511-E, KAMN512-E, KAMN513-E, KAMN515-E, KAMN523-E, KAMN524-I, KAMN525-E, KAMN526-W, KAMN527-W

リリースノートのソフトウェアマニュアルの訂正内容の反映に伴い、AIX 版の次のメッセージを追加した。

KAMN183-I

リリースノートのソフトウェアマニュアルの訂正内容の反映に伴い、次のメッセージの説明を変更した。

KAMN003-E

付録 A.34 HP-UX (IPF) 版 HA モニタ 01-32 の変更内容 (3000-9-134-A0)

HP-UX (IPF) 版 HA モニタ 01-32 に対応する変更内容 (3000-9-134-A0) を次の表に示します。

追加・変更内容

メッセージ ID と、メッセージを出力する OS の対応表を追加した。

追加・変更内容

また、メッセージ ID ごとに記載していた出力先 OS の情報を削除した。

サーバ障害監視時間が表示されたときに出力されるサーバの状態リストを、HP-UX (IPF) 版の次のメッセージに追加した。

KAMN213-I

リリースノートのソフトウェアマニュアルの訂正内容の反映に伴い、次のメッセージの適用 OS に HP-UX (IPF) を追加した。

KAMN433-W, KAMN434-W, KAMN435-W, KAMN436-W, KAMN437-W, KAMN438-W, KAMN439-W

HA モニタ・サーバの稼働中に設定を変更する機能の追加に伴い、次のメッセージの適用 OS に HP-UX (IPF) を追加した。

KAMN325-I, KAMN466-E, KAMN474-E, KAMN977-W, KAMN978-I

適用 OS が HP-UX (PA-RISC) か HP-UX (IPF) かによって、参照先のマニュアルを変更した。

付録 A.35 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-32 の変更内容 (3000-9-134-90)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-32 に対する変更内容 (3000-9-134-90) を次の表に示します。

追加・変更内容

Linux (x86) 版の HA Booster サポートに伴い、次のメッセージの適用 OS に Linux (x86) を追加した。

KAMN112-E, KAMN474-E, KAMN475-E, KAMN651-E, KAMN699-I

Linux (x86) 版の HA Booster サポートに伴い、Linux (x86) の次のメッセージを変更した。

KAMN213-I

サーバ障害監視時間が表示されたときに出力されるサーバの状態リストを、AIX 版の次のメッセージに追加した。

KAMN213-I

リリースノートのソフトウェアマニュアルの訂正内容の反映に伴い、次のメッセージの適用 OS に Linux (x86) を追加した。

KAMN433-W, KAMN434-W, KAMN435-W, KAMN436-W, KAMN437-W, KAMN438-W, KAMN439-W

N+M コールドスタンバイ構成での系切り替えに対応したことに伴い、Linux (x86) 版の次のメッセージを追加した。

KAMN624-E, KAMN639-W

付録 A.36 Linux (IPF) 版 HA モニタ 01-31, Linux (IPF) 版 HA モニタ 01-30 の変更内容 (3000-9-134-80)

Linux (IPF) 版 HA モニタ 01-31 に対する変更内容 (3000-9-134-80) を次の表に示します。

追加・変更内容

Linux (IPF) 版の HA Booster サポートに伴い、次のメッセージの適用 OS に Linux (IPF) を追加した。

KAMN112-E, KAMN474-E, KAMN475-E

Linux (IPF) 版の HA Booster サポートに伴い、次のメッセージを追加した。

追加・変更内容

KAMN651-E, KAMN699-I

Linux (IPF) 版 HA モニタ 01-30 に対応する変更内容 (3000-9-134-80) を次の表に示します。

追加・変更内容

リリースノートのソフトウェアマニュアルの訂正内容の反映に伴い、次のメッセージの説明を変更した。

KAMN199-E

リリースノートのソフトウェアマニュアルの訂正内容の反映に伴い、Linux (IPF) 版の次のメッセージの説明を変更した。

KAMN213-I

HA モニタ・サーバの稼働中に設定を変更する機能の追加に伴い、次のメッセージの適用 OS に Linux (IPF) を追加した。

KAMN325-I, KAMN466-E, KAMN977-W, KAMN978-I

系障害監視時間を短縮する機能の追加に伴い、次のメッセージを追加した。

KAMN408-E, KAMN409-I

次のメッセージのメッセージ種別を「E」から「W」に変更した。

KAMN433-W, KAMN434-W, KAMN435-W, KAMN436-W, KAMN437-W, KAMN438-W

リリースノートのソフトウェアマニュアルの訂正内容の反映に伴い、次のメッセージの適用 OS に Linux (IPF) を追加した。

KAMN433-W, KAMN434-W, KAMN435-W, KAMN436-W, KAMN437-W, KAMN438-W, KAMN439-W

Linux (IPF) 版で、サーバモードで使用できるプログラムとして、uCosminexus TP1/Server Base Enterprise Option を追加したことに伴い、記述を変更した。

付録 A.37 Linux (x86) 版 HA モニタ 01-22, AIX 版 HA モニタ 01-21 の 変更内容 (3000-9-134-60)

Linux (x86) 版 HA モニタ 01-22 に対応する変更内容 (3000-9-134-60) を次の表に示します。

追加・変更内容

Virtage サポートに伴い、Linux (x86) 版の次のメッセージを変更した。

KAMN395-I

Virtage サポートに伴い、次のメッセージの適用 OS に Linux (x86) を追加した。

KAMN407-I

AIX 版 HA モニタ 01-21 に対応する変更内容 (3000-9-134-60) を次の表に示します。

追加・変更内容

強制 varyon 機能の改善に伴い、AIX 版の次のメッセージの説明を変更した。

KAMN034-E

リリースノートのソフトウェアマニュアルの訂正内容の反映に伴い、次のメッセージを追加した。

追加・変更内容

KAMN249-E, KAMN433-E, KAMN434-E, KAMN435-E, KAMN436-E, KAMN437-E, KAMN438-E, KAMN439-W

HA モニタ・サーバの稼働中に設定を変更する機能の追加に伴い、AIX 版および Linux (x86) 版の次のメッセージを変更した。
KAMN325-I

リリースノートのソフトウェアマニュアルの訂正内容の反映に伴い、次のメッセージの説明を変更した。

KAMN456-E, KAMN460-E

HA モニタ・サーバの稼働中に設定を変更する機能の追加に伴い、AIX 版および Linux (x86) 版の次のメッセージを追加した。
KAMN466-E, KAMN977-W, KAMN978-I

系切り替え時間を短縮する機能の追加に伴い、AIX 版の次のメッセージを追加した。

KAMN478-E

付録 A.38 HA モニタ 01-20, HA モニタ 01-13 の変更内容 (3000-9-134-40)

HA モニタ 01-20 に対する変更内容 (3000-9-134-40) を次の表に示します。

追加・変更内容

サーバの切り替え順序制御をする場合の処理方法の変更に伴い、次のメッセージを追加した。

KAMN058-W

定義チェック項目の追加に伴い、次のメッセージを追加した。

KAMN116-W

次のメッセージの出力先種別を変更した。

KAMN142-E, KAMN144-E, KAMN146-E

待機サーバの停止処理方法の追加に伴い、次のメッセージを追加した。

KAMN257-I, KAMN432-W

HA モニタの起動エラー時の処理改善に伴い、次のメッセージを追加した。

KAMN626-E

HA モニタ 01-13 に対する変更内容 (3000-9-134-40) を次の表に示します。

追加・変更内容

AIX 版の次のメッセージを追加した。

KAMN030-E, KAMN034-E, KAMN035-I, KAMN036-E, KAMN037-I, KAMN113-E

HP-UX (PA-RISC), HP-UX (IPF), および Linux (IPF) 版の次のメッセージで、説明を変更した。

KAMN347-E

AIX 版の次のメッセージで、説明を変更した。

KAMN395-I

追加・変更内容

HP-UX (IPF) および Linux (IPF) 版の次のメッセージで、説明を変更した。

KAMN395-I

Linux (IPF) 版の次のメッセージを追加した。

KAMN407-I

AIX 版の次のメッセージを変更した。

KAMN650-E

HP-UX (PA-RISC) 版の次のメッセージで、説明を変更した。

KAMN689-E

付録 A.39 HA モニタ 01-12 の変更内容 (3000-9-134-20)

HA モニタ 01-12 に対応する変更内容 (3000-9-134-20) を次の表に示します。

追加・変更内容

次のメッセージの種類を変更した。

KAMN321-I

次のメッセージの説明を追加した。

KAMN323-E, KAMN617-E, KAMN974-E

次のメッセージの出力先種別を変更した。

KAMN379-E, KAMN423-E

次のメッセージの説明を変更した。

KAMN452-E, KAMN453-E

次のメッセージを変更した。

KAMN450-I, KAMN611-W, KAMN641-W

次のメッセージを出力する OS を明記した。

KAMN608-W, KAMN690-W

適用 OS として Red Hat Enterprise Linux AS 4(x86) および Red Hat Enterprise Linux AS 4(IPF) をサポートしたため、Linux (x86) 版および Linux (IPF) 版の次のメッセージで、説明を追加した。

KAMN614-E

AIX 版の次のメッセージで、説明を追加した。

KAMN621-E

HP-UX (PA-RISC) 版と HP-UX (IPF) および Linux (IPF) 版の次のメッセージで、説明を変更した。

KAMN621-E

AIX 版の次のメッセージを変更した。

KAMN671-E

監視履歴機能のサポートに伴い、次のメッセージを追加した。

追加・変更内容

KAMN730-E, KAMN731-E, KAMN732-E, KAMN733-E, KAMN740-I, KAMN741-E

付録 A.40 HA モニタ 01-11 の変更内容 (3000-9-134-10)

HA モニタ 01-11 に対する変更内容 (3000-9-134-10) を次の表に示します。

追加・変更内容
次のメッセージを削除した。 KAMN110-E, KAMN111-E, KAMN960-E, KAMN962-E
次のメッセージが出力される適用 OS を変更した。 KAMN166-W, KAMN230-E, KAMN232-E, KAMN239-I, KAMN651-E, KAMN672-E
他系の OS パニック検知機能のサポートに伴い、Linux (x86) 版および Linux (IPF) 版の次のメッセージを追加した。 KAMN180-I, KAMN695-I, KAMN696-W
次のメッセージの説明を追加した。 KAMN246-W, KAMN339-E, KAMN347-E, KAMN390-I, KAMN616-E, KAMN651-E
HP-UX (IPF) 版、Linux (x86) 版、および Linux (IPF) 版の次のメッセージを追加した。 KAMN299-I
HP-UX (IPF) 版および Linux (IPF) 版の次のメッセージを変更した。 KAMN395-I, KAMN396-I, KAMN398-E
HP-UX (IPF) 版および Linux (IPF) 版の次のメッセージで、説明を変更した。 KAMN399-E, KAMN621-E
HP-UX (PA-RISC) 版および HP-UX (IPF) 版の次のメッセージで、説明を変更した。 KAMN479-E
AIX 版の次のメッセージで、説明を変更した。 KAMN621-E, KAMN624-E
Linux (x86) 版の次のメッセージで、説明を追加した。 KAMN621-E, KAMN624-E, KAMN684-E
HP-UX (IPF) 版および Linux (IPF) 版の次のメッセージを追加した。 KAMN624-E, KAMN625-W, KAMN684-E, KAMN685-W
次のメッセージの説明を変更した。 KAMN640-E, KAMN953-E, KAMN954-E, KAMN955-E, KAMN956-E, KAMN958-E
次のメッセージを変更した。 KAMN933-E

付録 A.41 HA モニタ 01-10 の変更内容 (3000-9-134)

HA モニタ 01-10 に対する変更内容 (3000-9-134) を次の表に示します。

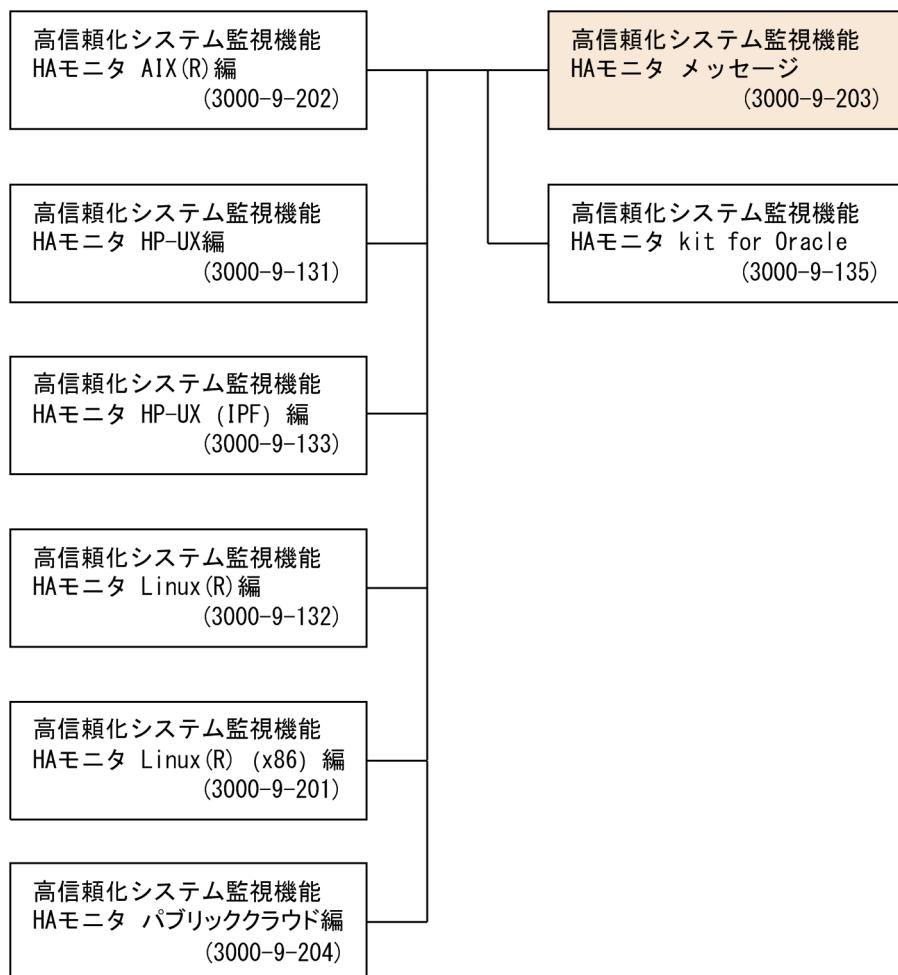
追加・変更内容
次のメッセージを変更した。 KAMN001-I, KAMN213-I, KAMN222-I, KAMN253-E, KAMN601-W, KAMN624-E, KAMN625-W, KAMN650-E, KAMN651-E
すべての OS 対象の次のメッセージを追加した。 KAMN265-W, KAMN299-I
適用 OS として Linux (x86) をサポートしたため、Linux (x86) 版の次のメッセージまたはメッセージの説明を追加・変更した。 KAMN213-I, KAMN325-I, KAMN395-I, KAMN396-I, KAMN398-E, KAMN399-E, KAMN614-E, KAMN621-E, KAMN624-E, KAMN625-W, KAMN684-E
AIX 版の次のメッセージを追加した。 KAMN654-E
HP-UX (PA-RISC) 版および HP-UX (IPF) 版の次のメッセージを追加した。 KAMN491-I
AIX 版の次のメッセージの説明を追加した。 KAMN624-E, KAMN625-E, KAMN673-E, KAMN628-I, KAMN629-I, KAMN682-E, KAMN684-E, KAMN693-W, KAMN920-I, KAMN921-E, KAMN922-E, KAMN976-W
AIX 版および HP-UX (PA-RISC) 版の次のメッセージの説明を追加した。 KAMN901-E, KAMN904-E, KAMN909-E, KAMN910-E
JP1 のイベント通知機能のサポートに伴い、次のメッセージを追加した。 KAMN717-E

付録 B このマニュアルの参考情報

このマニュアルを読むに当たっての参考情報を示します。

付録 B.1 関連マニュアル

HA モニタのマニュアル体系を次に示します。



HA モニタのマニュアル以外で、このマニュアルと関連するマニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

プログラムに OpenTP1 を使用する場合

- 『OpenTP1 Version 7 分散トランザクション処理機能 OpenTP1 解説』(3000-3-D50)
- 『OpenTP1 Version 7 分散トランザクション処理機能 OpenTP1 システム定義』(3000-3-D52)
- 『OpenTP1 Version 7 分散トランザクション処理機能 OpenTP1 運用と操作』(3000-3-D53)
- 『OpenTP1 Version 7 分散トランザクション処理機能 OpenTP1 メッセージ』(3000-3-D56)

- ・『OpenTP1 Version 7 分散トランザクション処理機能 OpenTP1 クライアント使用の手引 TP1/Client/W, TP1/Client/P 編』(3000-3-D58)
- ・『OpenTP1 Version 7 分散トランザクション処理機能 OpenTP1 クライアント使用の手引 TP1/Client/J 編』(3000-3-D59)
- ・『OpenTP1 Version 7 分散トランザクション処理機能 TP1/Server Base Enterprise Option 使用の手引』(3000-3-F51)
- ・『OpenTP1 Version 7 高速トランザクション処理基盤 TP1/EE/Extended Transaction Controller 使用の手引』(3000-3-F54)

プログラムに HiRDB を使用する場合

- ・『HiRDB Version 9 解説』(3020-6-450)
- ・『HiRDB Version 9 システム導入・設計ガイド (UNIX(R)用)』(3000-6-452)
- ・『HiRDB Version 9 システム定義 (UNIX(R)用)』(3000-6-453)
- ・『HiRDB Version 9 システム運用ガイド (UNIX(R)用)』(3000-6-454)
- ・『HiRDB Version 9 コマンドリファレンス (UNIX(R)用)』(3000-6-455)
- ・『HiRDB Version 9 メッセージ』(3020-6-458)
- ・『HiRDB Version 10 解説』(3020-6-551)
- ・『HiRDB Version 10 システム導入・設計ガイド (UNIX(R)用)』(3020-6-552)
- ・『HiRDB Version 10 システム定義 (UNIX(R)用)』(3020-6-554)
- ・『HiRDB Version 10 システム運用ガイド (UNIX(R)用)』(3020-6-556)
- ・『HiRDB Version 10 コマンドリファレンス (UNIX(R)用)』(3020-6-558)
- ・『HiRDB Version 10 メッセージ』(3020-6-562)

イベント管理によってシステムの運用を自動化する場合

- ・『JP1 Version 11 JP1/Base 運用ガイド』(3021-3-A01)
- ・『JP1 Version 11 JP1/Base メッセージ』(3021-3-A02)
- ・『JP1 Version 12 JP1/Base 運用ガイド』(3021-3-D65)
- ・『JP1 Version 12 JP1/Base メッセージ』(3021-3-D66)
- ・『JP1 Version 13 JP1/Base 運用ガイド』(3021-3-L09)
- ・『JP1 Version 13 JP1/Base メッセージ』(3021-3-L10)

適用 OS が AIX で、他系の OS パニック検知機能を使用する場合および他系の OS パニック発生時に共有ディスクの高速切り替えをする場合

- ・『Hitachi HA Booster Pack for AIX』(3000-3-B12)

ディスクパスを冗長化する場合

- 『Hitachi Dynamic Link Manager Software ユーザーズガイド (AIX(R)用)』(3000-3-F02)
- 『Hitachi Dynamic Link Manager Software ユーザーズガイド (HP-UX 用)』(3000-3-F03)
- 『Hitachi Dynamic Link Manager Software ユーザーズガイド (Linux(R)用)』(3000-3-F04)

適用 OS が Linux (x86) または Linux (IPF) で、N+M コールドスタンバイ構成で系切り替えをする場合

- 『Hitachi Command Suite Compute Systems Manager Software ユーザーズガイド』(3020-3-V91)
- 『Hitachi Command Suite Compute Systems Manager ユーザーズガイド』(3021-9-096)

付録 B.2 このマニュアルで使用する製品名・機能名

このマニュアルでは、製品名を次のように表記しています。

表記	製品名
AIX	AIX 5L V5.1
	AIX 5L V5.2
	AIX 5L V5.3
	AIX V6.1
	AIX V7.1
	AIX V7.2
	AIX 7.3
AWS	Amazon Web Services
Azure	Microsoft Azure
EMPD	ETERNUS Multipath Drive
HA Booster	Hitachi HA Booster Pack for AIX
	Hitachi HA Booster Pack for Linux(R)
HCSM	Hitachi Compute Systems Manager
HDLM	Hitachi Dynamic Link Manager Software
HFC-PCM	Hitachi Fiber Channel - Path Control Manager
HiRDB	HiRDB Version 9
	HiRDB Accelerator Version 9
	HiRDB Advanced High Availability Version 9
	HiRDB Server Version 9

表記		製品名
HiRDB	HiRDB Version 10	HiRDB Server with Additional Function Version 9
		HiRDB Accelerator Version 10
		HiRDB Advanced High Availability Version 10
		HiRDB Server Version 10
HP-UX	HP-UX (PA-RISC)	HP-UX 11.0
		HP-UX 11i
		HP-UX 11i V2(PA-RISC)
	HP-UX (IPF)	HP-UX 11i V2(IPF)
HVRD		HP-UX 11i V3(IPF)
		Hitachi Volume Replication Driver for Linux
JP1/ServerConductor		JP1/ServerConductor/Advanced Agent
		JP1/ServerConductor/Agent
		JP1/ServerConductor/Blade Server Manager
		JP1/ServerConductor/Blade Server Manager Plus
		JP1/ServerConductor/Server Manager
Linux		Linux
Linux	Linux (x86)	Oracle Linux 7(x86_64)
		Oracle Linux 8(x86_64)
		Oracle Linux 9(x86_64)
		Red Hat Enterprise Linux Server7(x86_64)
		Red Hat Enterprise Linux Server8(x86_64)
		Red Hat Enterprise Linux Server9(64-bit x86_64)
	Linux (IPF)	Red Hat Enterprise Linux AS 3(IPF)
		Red Hat Enterprise Linux AS 4(IPF)
		Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform(Intel Itanium)
	RHEL7	Red Hat Enterprise Linux Server7(x86_64)
	RHEL8	Red Hat Enterprise Linux Server8(x86_64)
	RHEL9	Red Hat Enterprise Linux Server9(64-bit x86_64)
UNIX		UNIX
VMware ESXi		VMware ESXi(TM)
		VMware vSphere(R) ESXi(TM)

付録 B.3 このマニュアルで使用する英略語

このマニュアルで使用する英略語を、次に示します。

英略語	英字での表記
API	Application Programming Interface
BMC	Baseboard Management Controller
CPU	Central Processing Unit
DB	Database
DMMP	Device Mapper Multipath
EUC	Extended UNIX Code
GSP	Guardian Service Processor
HA	High Availability
HRA	Health-check and Reset Adaptor
IPF	Itanium Processor Family
LA	Line Adaptor
LAN	Local Area Network
LPAR	Logical Partitioning
LVM	Logical Volume Manager
MP	Management Processor
NLS	National Language Support
OA	Onboard Administrator
OCI	Oracle Cloud Infrastructure
OS	Operating System
OSI	Open Systems Interconnection
PA-RISC	Precision Architecture - Reduced Instruction Set Computer
PV	Physical Volume
SCSI	Small Computer System Interface
SP	Service Processor
SSH	Secure SHell
SVP	Service Processor
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol
UTF-8	8-bit UCS Transformation Format

英略語	英字での表記
XNF	Extended Hitachi Network Architecture Based Communication Networking Facility

付録 B.4 このマニュアルで使用する KB (キロバイト) などの単位表記

1KB (キロバイト), 1MB (メガバイト), 1GB (ギガバイト), 1TB (テラバイト) はそれぞれ 1,024 バイット, $1,024^2$ バイト, $1,024^3$ バイト, $1,024^4$ バイトです。

英字

alive メッセージ

系と系との間で相手が正常であるかどうかを知るために、一定の周期で発行するメッセージです。

HA モニタ Extension

HA モニタのオプション製品です。HA モニタ Extension を導入することによって、大規模なシステム構成での系切り替え制御に対応できるようになります。HA モニタ Extension は、OS が Linux (x86) の場合に使用できます。

HA モニタとのインターフェースを持たないプログラム

HA モニタと専用のインターフェースを持たないプログラムのことです。待機系のプログラムを事前に起動させておいたり、サーバ障害を監視したりするなどの HA モニタの機能を一部使用できません。

HA モニタでは、HA モニタとのインターフェースを持つプログラムをモニタモードで運用する場合と、HA モニタとのインターフェースを持たないプログラムを使用する場合とで、制限される機能に差はありません。

HA モニタとのインターフェースを持つプログラム

HA モニタと専用のインターフェースを持つプログラムのことです。HA モニタとのインターフェースを持つプログラムをサーバモードで運用すると、系障害とサーバ障害の両方を HA モニタが監視します。

HA モニタは、HA モニタとのインターフェースを持つプログラムを監視して、プログラム自身が検知できない障害が発生した場合、系切り替えをします。

IP アドレス

IP プロトコルで使われるアドレスを、IP アドレスといいます。IP プロトコルとは、OSI 基本参照モデルでいうネットワーク層に当たるプロトコルです。ネットワーク層では、データを転送するための経路を確立したり、経路を決めたりするアドレスを管理しています。

LAN アダプタ

コンピュータと LAN を接続するためのデータ変換用のハードウェアです。

LVM

カーネルの機能の一つで、Logical Volume Manager の略です。LVM を使用すると、幾つかの物理ディスク装置をボリュームグループとしてグループ化し、任意の個数とサイズの論理ボリュームに割り当てられます。

AIX および HP-UX の場合、LVM ミラーリングを使用すると、共有ディスクを冗長化できます。

N+M コールドスタンバイ構成

BladeSymphony の場合で、業務を運用中のサーバモジュールでハードウェア障害が発生したときに、JP1/ServerConductor または HCSM を利用して予備のサーバモジュールに切り替えられるシステム構成のことです。1 台または複数台の予備のサーバモジュールを用意するため、障害に対する信頼性が向上します。

OS パニック

OS のカーネルパニックのことです。

TCP/IP

UNIX を使用したコンピュータ間の接続などに用いられる、標準的な通信プロトコルです。「TCP」と「IP」の、二つのプロトコルに対応しています。

UAP

ユーザの業務をプログラムとして作成したものです。モニタモードのサーバの場合に、プログラムとして使用できます。HA モニタでは、UAP から API を発行することで、UAP を監視できます。

ア行

アボートコード

UNIX システムの異常停止の要因コードです。

イベント ID

UNIX システム内で発生した特定の事象（イベント）を管理するために、イベントに付ける番号です。

エイリアス IP アドレス機能

一つの LAN アダプタに複数の IP アドレスを割り当てることで、異なる IP アドレスで一つの LAN アダプタを共用できる機能です。

親サーバ

あるサーバを起動、または系切り替えを開始するために、あらかじめ起動完了している必要のあるサーバです。サーバグループの親子関係では親に該当します。サーバ対応の環境設定で指定します。

カーネル

OSの中核部分のプログラムです。タスク管理、メモリ管理、入出力管理などをします。

稼働報告

サーバが一定時間ごとに HA モニタに送信する情報です。HA モニタはこの情報を基にサーバを監視します。

可搬媒体

プログラムやデータを記憶させて持ち運べる、DATなどの記憶媒体です。

筐体

コンピュータ本体や周辺機器を収納するケースです。使用しているマシンの機種が BladeSymphony の場合、筐体を「シャーシ」と呼びます。一つのシャーシには複数の系を構成できます。

共有リソース

共有ディスクや LAN など、実行系および待機系の系間で共有するリソースのことです。HA モニタが制御する共有リソースには、共有ディスク、ファイルシステム、LAN、および通信回線があります。共有リソースは、サーバ単位で制御します。

また、リソースサーバを使用し、サーバグループ間で共有リソースを共用することもできます。なお、通信回線は、AIX の場合、および HP-UX (PA-RISC) の場合でマシンの機種が H9000V のときだけ使用できます。

クライアント

プログラムが提供する各種のサービスを利用するマシン（ノード）です。

クラスタ型構成

1台のサーバシステムの限界を超えるシステムを構築するための構成です。複数のサーバシステムを高速 LAN で接続し、個々のサーバシステムに処理を分散させます。クライアントからは、一つのサーバシステムとして処理できます。

系

CPU 単位でサーバが稼働するシステムの単位を示します。システムを構成するハードウェア、およびシステム上で稼働するプログラムを総称して「系」といいます。

系切り替え

業務を実行しているシステム（系）やサーバに障害が発生した場合に、待機しているシステム（系）やサーバに業務を引き継ぐ機能のことです。

系切り替え待ち状態

実行系の障害時に待機系が実行系のリセットに失敗し、何らかの原因で実行系のサーバの状態が確認できない場合、待機系で実行サーバを起動すると実行サーバの二重起動が発生することがあります。これを防ぐために、待機系での実行サーバの起動をいったん待たせます。この状態の実行サーバを系切り替え待ち状態であるといいます。系切り替え待ち状態のサーバは、ユーザーが操作するまでは実行サーバとして起動されません。

系のスローダウン

系全体の実行処理時間が通常以上に長くなることです。限度を超えたプログラム数の実行や、プログラム間の通信不良などが原因で起こります。

現用系

起動してから最初に業務処理を実行するシステム（系）です。

コアファイル

プログラムが異常終了時に、そのプロセスのメモリ情報（モジュールトレース情報）が格納されるOS特定のファイルです。なお、コアファイルは、場合によっては作成されません。コアファイルがあると、ユーザ作成のプログラムに異常が起きた場合などに、OSのコマンドを使ってプログラムのデバッグができます。

子サーバ

親サーバの起動完了後に、起動開始するサーバです。サーバグループの親子関係では子に該当します。

サ行

サーバ

要求に応じて業務を処理するサービスです。このマニュアルでは、系切り替えの単位としてのプログラムを「サーバ」といいます。

サーバには大きく分けて、サーバモードのサーバと、モニタモードのサーバがあります。

サーバシステムの二重化

サーバが稼働するシステムのマシン、プログラム、およびリソースなどを二つ用意する（または二重化できるものを共有させる）ことによって、システム全体の信頼性や稼働率を高めることです。

サーバのスローダウン

サーバの実行処理時間が通常以上に長くなることです。プログラムの無限ループ、リソースの競合などが原因で起こります。

サーバ引き継ぎ情報

実行サーバと待機サーバの間にペアが成立した際、実行サーバから待機サーバに引き継がれる情報です。ユーザコマンド内でサーバ間のやり取りが必要な場合に、HA モニタのサーバ引き継ぎ情報設定・表示コマンド (`moninfo -p` コマンド) で設定しておき、サーバ引き継ぎ情報設定・表示コマンド (`moninfo -g` コマンド) で参照・表示します。

サーバモード

サーバの運用方法の一つで、プログラムが HA モニタとのインターフェースを持つ場合だけ選択できます。サーバをサーバモードで運用すると、系障害とサーバ障害の両方を HA モニタが監視します。

再起動待ち状態

サーバ対応の環境設定の `switchtype` オペランドで、`restart` または `manual` を指定した実行サーバにサーバ障害が発生した場合、実行サーバを停止させないで、実行サーバが再起動するのを待たせます。この状態の実行サーバを再起動待ち状態であるといいます。

システムダンプ

特定のプログラムに限定できない障害情報を、可搬媒体に格納する OS の機能です。システムダンプでは、メモリ情報、スワップ領域（仮想メモリ）の情報、および処理装置固有の情報を取得できます。一般に、システムのどこに原因があるのかわからない障害時にシステムダンプを使います。

実行系

実行サーバを稼働させて、業務処理を実行しているシステム（系）です。

実行サーバ

現在、業務処理を実行しているサーバです。

実行サーバの起動待ち状態

待機サーバの起動時、何らかの原因で他系の実行サーバの起動が確認できない場合があります。このとき、実行サーバの状態が確認できるまで待機サーバの起動を待たせます。このような待機サーバを、実行サーバの起動待ち状態であるといいます。起動待ち状態の待機サーバはユーザーの操作待ちになり、実行サーバの起動開始が確認できるようになったら、待機サーバとして起動させます。

制御グループ ID

HA Booster が管理する、個々の制御グループに割り当てた値です。制御グループは、HA Booster がアクセス制御の対象とするディスクデバイスの集まりです。HA Booster を使用する場合、サーバ対応の環境設定に設定する必要があります。

夕行

待機系

待機サーバを稼働させて、障害に備えて待機しているシステム（系）です。

待機サーバ

現在、実行サーバの障害に備えて待機しているサーバです。

ハ行

パーティション

サーバマシンを複数の区画に分割し、それぞれを一つの仮想的なサーバマシンとして動作させる機能を、パーティショニングといいます。また、この区画をパーティションといいます。

BladeSymphony の場合、一つの筐体（シャーシ）に複数のプロセサを搭載できることから、個々のプロセサをパーティションと呼ぶことがあります。

OS が HP-UX の場合、パーティションは「HP-UX nPartitions」のことを指します。

また、日立サーバ論理分割機構を利用すると、プロセサ内に論理パーティション（LPAR）を構成できます。

排他サーバ

待機系に別のサービスを提供する待機サーバが複数ある場合、系切り替えによって複数の実行サーバが同時に稼働するのを避けることができます。

ある待機サーバが実行サーバとして稼働すると、同じ系で稼働しているほかの待機サーバを HA モニタが停止します。この停止される待機サーバのことを排他サーバと呼びます。

排他制御

システムのリソースに対して複数の要求が競合した場合、同時更新やデッドロックを防ぐための制御のことです。HA モニタでは、共有ディスクが、実行サーバと待機サーバの両方から同時に更新されるのを防ぐ機能を、「排他制御機能」といいます。

プログラム

業務を実際に実行するプログラム（アプリケーション）のことです。HA モニタは、プログラムを系切り替え構成にすることで冗長化し、システムの信頼性を向上します。

プログラムは、HA モニタとのインターフェースを持つプログラムと持たないプログラムに分けられます。

マ行

マルチスタンバイ機能

一つの実行サーバに対して、複数の待機サーバを準備するための機能のことです。

一つの実行サーバに対して一つの待機サーバを準備する場合に比べると、現用系の障害が復旧するまでの間も、システムの障害に備えることができるという特長があります。

メッセージログ

出力されるメッセージを特定のファイル（メッセージログファイル）に格納するOSの機能です。

モジュールトレース情報

HAモニタ内のモジュール処理の流れを、モジュールトレースバッファ（コアファイル）に取得したものです。モジュールトレース情報は、可搬媒体に移送して解析します。

モニタモード

サーバの運用方法の一つです。サーバをモニタモードで運用する場合、待機系のサーバを事前に起動させておいたり、サーバ障害を監視したりするなどの、HAモニタの機能の一部を使用できません。ただし、モニタモードのプログラム管理機能を使用すれば、使用できない機能の一部を使用することもできます。

ヤ行

ユーザコマンド

ユーザが作成するコマンドです。HAモニタでは、事前にユーザコマンドを登録しておくことで、サーバの状態変化に対するHAモニタの処理を契機に、ユーザコマンドを自動発行できます。ユーザコマンドを使用すると、HAモニタが制御しないリソースを共有リソースとして使用できます。

予備系

起動時に最初に稼働状態で待機するシステム（系）です。

ラ行

リソースサーバ

複数サーバで共有リソースを共用するためだけに使用するサーバです。そのため、サーバとしての機能は持ちません。

リソースサーバを使用しない場合、サーバ単位で共有リソースを制御するのに対し、リソースサーバを使用する場合はサーバグループ単位で共有リソースを制御します。

連動系切り替え

サーバをあらかじめグループ化しておくことで、そのグループ（サーバグループ）内の実行サーバのどれかに障害が発生した場合に、グループ単位で待機サーバに切り替える機能です。HA モニタでは、サーバグループ内でも、サーバ単位に系切り替え時の動作を指定できます。

連動系切り替え待ち状態

サーバ対応の環境設定の `group` オペランドで、`no_exchange` を指定した実行サーバにサーバ障害が発生した場合、待機系の待機サーバの系切り替えをいったん待たせます。この状態の待機サーバを連動系切り替え待ち状態であるといいます。連動系切り替え待ち状態の待機サーバは、ユーザの操作待ちになりますが、グループ内の `exchange` 指定の実行サーバにサーバ障害が発生すると、一緒に連動系切り替えをします。



株式会社 日立製作所

〒 100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 6 号
